SigmaSystemCenter 2.1

リファレンスガイド
Web コンソール編

ー第 5 版ー

Copyright © NEC Corporation 2003-2010. All rights reserved.

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。
本書の内容の一部または全部を無断で転載および複写することは禁止されています。
本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。
日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標および著作権

SigmaSystemCenter、WebSAM、NetvisorPro、iStorage、ESMPRO、EXPRESSBUILDER、および EXPRESSSCOPE エンジンは日本電気株式会社の商標および登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer、SQL Server、および Hyper-V は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Linux は Linux Travalds 氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
SUSE は、米国およびその他の国における Novell, Inc.の登録商標もしくは商標です。
Red Hat は、米国 Red Hat Software, Inc.の登録商標です。
HP-UX、Ignite-UX、および HP OpenView は、米国 Hewlett-Packard 社の登録商標です。
Intel、Pentium、Xeon、Itanium は、米国 Intel 社の登録商標です。
AMD は、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。

EMC、Symmetrix、CLARiX、Navisphere は EMC Corporation の登録商標です。
VMware、ESX、ESXi および VMotion は、VMware, Inc.の登録商標もしくは商標です。
Xen、Citrix、XenServer、XenCenter は、Citrix Systems, Inc.の登録商標もしくは商標です。

ORACLE は、米国 ORACLE Corporation の登録商標です。
PXE Software Copyright (C) 1997 - 2000 Intel Corporation.
Copyright (C) 2005, 2007, ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved.
(C) 1992-2007 Cisco Systems Inc. All rights reserved.
Foundry Networks, FastIron, ServerIron and the 'Iron' family of marks are trademarks or registered trademarks of Foundry Networks, Inc. in the United Status and other countries.
BIG-IP は米国および他の国における F5 Networks, Inc.の登録商標です。
InstallShield is a registered trademark and service mark of Macrovision Corporation and/or Macrovision Europe Ltd. in the United States and/or other countries.

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
Apache は、Apache Software Foundation の商標です。
本製品には、Sun Microsystems 社が無償で配布している JRE (Java Runtime Environment)、および、Apache Software Foundation が無償で配布している TOMCAT を含んでいます。これらの製品については、それぞれの製品の使用許諾に同意したうえでご利用願います。著作権、所有権の詳細につきましては以下の LICENSE ファイルを参照してください。
TOMCAT: *TOMCAT をインストールしたフォルダ*¥LICENSE
JRE: *JRE をインストールしたフォルダ*¥LICENSE

Some icons used in this program are based on Silk Icons released by Mark James under a Creative Commons Attribution 2.5 License. Visit http://www.famfamfam.com/lab/icons/silk/ for more details.

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。
なお、® マーク、TMマークは本書に明記しておりません。

目次

はじめに ix

対象読者と目的 ix
本書の構成 ix
SigmaSystemCenterマニュアル体系 x
本書の表記規則 xii

1. Webコンソールの概要 3

1.1. Webコンソールの概要 4
1.1.1.ログインウィンドウ 8
1.1.2. 検索 9
1.1.3.保守操作 11
1.1.4.マシンのステータス 12
1.1.5.マシンの種別 16
1.1.6.キャパシティ値、コスト値の設定 17
1.1.7.プライオリティ値 18

2. 管理 19

2.1. [管理] ビュー 20
2.2. [ライセンス] アイコン 21
2.2.1.ライセンスの詳細情報 21
2.3. [ユーザ] アイコン 23
2.4. ユーザの詳細情報 24
2.4.1.ユーザ追加 25
2.4.2.ユーザ編集 26
2.4.3.ユーザ削除 28
2.4.4.ロール追加 28
2.4.5.ロール編集 29
2.4.6.ロールにカテゴリを割り当てる (ロール範囲編集) 30
2.4.7.ロール削除 31
2.5. [ポリシー] アイコン 32
2.6. ポリシーの詳細情報 32
2.6.1.ポリシー追加 33
2.6.2.既存ポリシーのコピー 34
2.6.3.ポリシー削除 34
2.7. ポリシープロパティ設定 35
2.7.1.対応処置詳細設定 38
2.7.2.アクションパラメータ詳細 40
2.8. [サブシステム] アイコン 42
2.9. サブシステムの詳細情報 42
2.10. サブシステム追加 43
2.10.1.サブシステム追加 (VMware vCenter Server) 44
2.10.2.サブシステム追加 (Citrix XenServer Pool Master) 45
2.10.3.サブシステム追加 (Hyper-V Cluster) 46
2.10.4.サブシステム追加 (Webサーバ for DPM) 47
2.10.5.サブシステム追加 (管理サーバ for DPM (HP-UX)) 48
2.10.6.サブシステム追加 (WebSAM NetvisorPro) 49
2.10.7.サブシステム追加 (スイッチブレード) 50
2.10.8.サブシステム追加 (ストレージ管理サーバ) 51
2.11. サブシステム編集 52

2.11.1.サブシステム編集 (VMware vCenter Server) 52
2.11.2.サブシステム編集 (Citrix XenServer Pool Master) 54
2.11.3.サブシステム編集 (Hyper-V Cluster) 55
2.11.4.サブシステム編集 (Webサーバ for DPM) 56
2.11.5.サブシステム編集 (管理サーバ for DPM (HP-UX)) 57
2.11.6.サブシステム編集 (WebSAM NetvisorPro) 58
2.11.7.サブシステム編集 (スイッチブレード) 59
2.11.8.サブシステム編集 (ストレージ管理サーバ) 60
2.11.9.サブシステム編集 (Hyper-V) 61
2.11.10.サブシステム編集 (VMware ESX / ESXi) 62
2.11.11.サブシステム編集 (Citrix XenServer) 63
2.12. サブシステム削除 64
2.13. [環境設定] アイコン 65
2.13.1.[全般] タブ 65
2.13.2.[通報] タブ 66
2.13.3.[ログ] タブ 67
2.13.4.[仮想リソース] タブ 68
2.13.5.[表示] タブ 69
2.13.6.[その他] タブ 70

3. システムリソース 71

3.1. [リソース] ビュー 72
3.2. [マシン] アイコン 73
3.2.1.マシン移動 (マシン一括移動) 75
3.3. リソースグループ 77
3.4. リソースグループの詳細情報 77
3.4.1.リソースグループ追加 79
3.4.2.リソースグループ編集 80
3.4.3.リソースグループ移動 81
3.4.4.リソースグループ削除 81
3.5. ラック 82
3.6. ラックの詳細情報 82
3.6.1.ラック追加 84
3.6.2.ラック編集 85
3.6.3.ラック移動 86
3.6.4.ラック削除 86
3.7. スマートグループ 87
3.8. スマートグループの詳細情報 87
3.8.1.スマートグループ追加 89
3.8.2.スマートグループ編集 98
3.8.3.スマートグループ移動 99
3.8.4.スマートグループ削除 100
3.8.5.スマートグループ複製 100
3.8.6.既定のスマートグループ 100
3.9. タグクラウド 102
3.9.1.タグの文字の色とサイズについて 103
3.9.2. タブ 104
3.9.3.タグクラウドによる絞込み 105
3.9.4.タグクラウドによる絞込みの解除 106
3.10. マシンの詳細情報 107
3.10.1.マシン登録 (マシン登録時にリソースグループ、もしくはラックを指定する場合) 109
3.10.2.マシン登録 (リソースグループ、もしくはラックを指定して登録する場合) 110
3.10.3.マシン移動 (マシン単体移動) 111
3.10.4.マシン管理外 111
3.11. マシンプロパティ設定 112
3.11.1.[全般] タブ 112

3.11.2.[ネットワーク] タブ 113
3.11.3.[ストレージ] タブ 115
3.11.4.[ソフトウェア] タブ 117
3.11.5.[ソフトウェア配布履歴] タブ 120
3.11.6.[アカウント情報] タブ 121
3.12. IPMI情報 127
3.12.1.[SEL] タブ 128
3.12.2.[センサー] タブ 129
3.13. [ストレージ] アイコン 133
3.14. ストレージの詳細情報 134
3.14.1.ディスクアレイ登録 (iStorage、Symmetrixの場合) 135
3.14.2.ディスクアレイ登録 (CLARiXの場合) 136
3.14.3.ディスクアレイ編集 (CLARiXの場合) 138
3.14.4.ディスクアレイ解除 139
3.14.5.ディスクボリューム登録 140
3.14.6.ディスクボリューム共有 141
3.14.7.ディスクボリューム非共有 141
3.14.8.ディスクボリューム解除 141
3.15. [ネットワークデバイス] アイコン 142
3.16. スイッチの詳細情報 143
3.16.1.スイッチ登録 144
3.16.2.スイッチ編集 145
3.16.3.スイッチ解除 145
3.16.4.スイッチブレード登録 146
3.16.5.VLAN追加 147
3.16.6.VLAN編集 148
3.16.7.VLAN削除 149
3.17. ロードバランサの詳細情報 150
3.17.1.ロードバランサ登録 151
3.17.2.ロードバランサ編集 152
3.17.3.ロードバランサ解除 152
3.17.4.ロードバランサグループ追加 153
3.17.5.ロードバランサグループ編集 155
3.17.6.ロードバランサグループ削除 156
3.18. [ソフトウェア] アイコン 157
3.19. ソフトウェアー覧 158
3.20. ソフトウェアの基本情報 159
3.20.1.ソフトウェア編集 172
3.20.2.ローカルスクリプト追加 183
3.20.3.ローカルスクリプト削除 183
3.21. イメージの詳細情報 184
3.21.1.イメージ作成 186
3.21.2.イメージ削除 189
3.22. リソースグループへのメニュー操作 191
3.22.1.起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンド 191
3.22.2.収集 (ALL) / マシン収集 / ソフトウェア収集 / センサー収集 191
3.22.3.再構成 192
3.22.4.指定ソフトウェア配布 192
3.22.5.ジョブ実行結果のリセット 193
3.22.6.故障状態の解除 193
3.22.7.メンテナンスモードオン / メンテナンスモードオフ 194
3.22.8. 収集 194
3.22.9.DPM収集 194
3.22.10.スクリプト収集 194
3.22.11.マシンの保守操作 195
4. 運用 197

4.1. [運用] ビュー 198
4.2. カテゴリ 199
4.3. カテゴリの詳細情報 199
4.3.1.カテゴリ追加 200
4.3.2.カテゴリ編集 201
4.3.3.カテゴリ移動 202
4.3.4.カテゴリ削除 202
4.4. 運用グループ 203
4.5. 運用グループの詳細情報 203
4.5.1.運用グループ追加 205
4.5.2.運用グループ編集 206
4.5.3.運用グループ移動 207
4.5.4.運用グループ削除 207
4.5.5.設定一覧 208
4.6. グループプロパティ設定 211
4.6.1.[全般] タブ 211
4.6.2.[モデル] タブ 212
4.6.3.[ホスト] タブ 214
4.6.4.[ソフトウェア] タブ 216
4.6.5.[VLAN設定] タブ 220
4.6.6.[LB設定] タブ 222
4.6.7.[OS設定] タブ (Windowsの場合) 224
4.6.8.[OS設定] タブ (Linuxの場合) 226
4.6.9.[OS設定] タブ (HP-UXの場合) 227
4.6.10.[ESMPRO / SM] タブ 228
4.6.11.[マシンプロファイル] タブ 229
4.7. モデルプロパティ設定 234
4.7.1.[全般] タブ (物理マシンの場合) 234
4.7.2.[全般] タブ (仮想マシンの場合) 235
4.7.3.[全般] タブ (仮想マシンサーバの場合) 237
4.7.4.[ソフトウェア] タブ 238
4.7.5.[マシンプロファイル] タブ (仮想マシンの場合) 241
4.7.6.[VM最適配置] タブ (仮想マシンサーバの場合) 245
4.8. ホストの詳細情報 247
4.9. ホスト設定 249
4.9.1.[全般] タブ 249
4.9.2.[ネットワーク] タブ 250
4.9.3.[ストレージ] タブ 252
4.9.4.[ソフトウェア] タブ 254
4.9.5.[マシンプロファイル] タブ 257
4.10. 運用グループへのメニュー操作 262
4.10.1.スケールアウト 262
4.10.2.スケールイン 262
4.10.3.プールに追加 262
4.10.4.起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンド 263
4.10.5.マシン収集 263
4.10.6.リソース割り当て 264
4.10.7.新規リソース割り当て 267
4.10.8.割り当て解除 268
4.10.9.マスタマシン登録 269
4.10.10.マシンの置換 271
4.10.11.マシンの用途変更 274
4.10.12.VM移動 275
4.10.13.再構成 277
4.10.14.ソフトウェア配布 ([ホスト一覧] グループボックス) 279
4.10.15.ソフトウェア配布 ([リソースプール] グループボックス) 281

4.10.16.ソフトウェア再配布 ... 282
4.10.17.ジョブ実行結果のリセット ... 283
4.10.18.故障状態の解除 ... 283
4.10.19.メンテナンスオン / メンテナンスオフ ... 284
4.10.20.プールから削除 ... 284
4.10.21.グループ変更 ... 284
5. 仮想 ... 287
5.1. [仮想] ビュー ... 288
5.2. [仮想] アイコン ... 288
5.2.1.ESXiを管理する ... 289
5.2.2.Hyper-V単体を管理する ... 289
5.2.3.仮想マネージャ削除 ... 289
5.3. 仮想マネージャの詳細情報 ... 290
5.4. データセンターの詳細情報 ... 293
5.4.1.データセンター追加 ... 295
5.4.2.データセンター編集 ... 296
5.4.3.データセンター削除 ... 297
5.5. VMサーバの詳細情報 ... 298
5.5.1.VMサーバ追加 ... 302
5.5.2.VMサーバ編集 ... 304
5.5.3.VM作成 (テンプレート) ... 305
5.5.4.VMサーバ移動 ... 306
5.5.5.VMサーバ削除 ... 307
5.6. 性能情報 ... 308
5.6.1.[サマリ] タブ ... 308
5.6.2.[VMリソース] タブ ... 309
5.6.3.[パフォーマンス] タブ ... 310
5.7. VMの詳細情報 ... 312
5.7.1.VM編集 ... 314
5.7.2.VM移動 ... 317
5.7.3.VM削除 ... 319
5.7.4.Full Clone用のテンプレート作成 (VMware vCenter Server環境の場合) ... 320
5.7.5.Full Clone用のテンプレート作成 (VMware vCenter Server環境以外の場合) ... 323
5.7.6.Full Clone用のテンプレート編集 (VMware vCenter Server環境の場合) ... 324
5.7.7.Full Clone用のテンプレート編集 (VMware vCenter Server環境以外の場合) ... 327
5.7.8.Full Clone用のテンプレート削除 ... 328
5.7.9.HW Profile Clone用のテンプレート作成 ... 328
5.7.10.HW Profile Clone用のテンプレート編集 ... 330
5.7.11.HW Profile Clone用のテンプレート削除 ... 331
5.7.12.Differential Clone用のテンプレート作成 (VMware vCenter Server環境の場合) ... 331
5.7.13.Differential Clone用のテンプレート作成 (VMware vCenter Server環境以外の場合) ... 334
5.7.14.Differential Clone用のテンプレート編集 (VMware vCenter Server環境の場合) ... 336
5.7.15.Differential Clone用のテンプレート編集 (VMware vCenter Server環境以外の場合) ... 339
5.7.16.Differential Clone用のテンプレート削除 ... 341
5.7.17.Disk Clone用のテンプレート作成 ... 341
5.7.18.Disk Clone用のテンプレート編集 ... 343
5.7.19.Disk Clone用のテンプレート削除 ... 344
5.8. スナップショット管理 ... 345
5.8.1.スナップショット作成 ... 346
5.8.2.スナップショット編集 ... 347
5.8.3.スナップショット復元 ... 347
5.8.4.スナップショット削除 ... 348
5.9. コンソール ... 349
5.10. コンソールスクリーンショット ... 350
5.11. テンプレートの詳細情報 ... 351

5.12. 仮想マシンサーバ、および仮想マシンへのメニュー操作 362
5.12.1. 起動 / 再起動 / シャットダウン (仮想マシンサーバ) 362
5.12.2. 起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンド (仮想マシン) 362
6. 監視 363
6.1. [監視] ビュー 364
6.2. [ダッシュボード] アイコン 365
6.3. [運用ログ] アイコン 367
6.4. [ジョブ] アイコン 370
6.5. [イベント履歴] アイコン 373
6.5.1. イベントの詳細情報 378
6.6. [管理サーバ群] アイコン 381
6.6.1. 管理サーバ追加 382
6.6.2. 管理サーバ編集 383
6.6.3. 管理サーバ削除 384
7. 構成情報管理 387
7.1. 構成情報管理画面 388
付録 A 改版履歴 393

はじめに

対象読者と目的

「SigmaSystemCenterリファレンスガイド～Webコンソール編～」は、SigmaSystemCenterの管理者を対象に、SigmaSystemCenterの構築時、運用時に理解しておくべき製品の画面の説明について記載しています。「SigmaSystemCenterコンフィグレーションガイド」を補完する役割を持ちます。SigmaSystemCenterの構築時、運用時に必要な情報を参照してください。

本書の構成

セクション Ⅰ　　Webコンソール一覧

1　　「Webコンソールの概要」: Webコンソールの各名称、および概要について説明します。
2　　「管理」: SigmaSystemCenterの [管理] ビューのWebコンソールについて説明します。
3　　「システムリソース」: SigmaSystemCenterの [リソース] ビューのWebコンソールについて説明します。
4　　「運用」: SigmaSystemCenterの [運用] ビューのWebコンソールについて説明します。
5　　「仮想」: SigmaSystemCenterの [仮想] ビューのWebコンソールについて説明します。
6　　「監視」: SigmaSystemCenterの [監視] ビューのWebコンソールについて説明します。

セクション Ⅱ　　Webコンソール以外の設定

7　　「構成情報管理」: Webコンソール以外での設定に関する画面について説明します。

付録
付録 A 「改版履歴」

SigmaSystemCenterマニュアル体系

SigmaSystemCenter のマニュアルは、各製品およびコンポーネントごとに以下のように構成されています。
また、本書内では、各マニュアルは「本書での呼び方」の名称で記載します。

製品 / コンポーネント名	マニュアル名	本書での呼び方
SigmaSystemCenter 2.1	SigmaSystemCenter 2.1 ファーストステップガイド	SigmaSystemCenter ファーストステップガイド
	SigmaSystemCenter 2.1 インストレーションガイド	SigmaSystemCenter インストレーションガイド
	SigmaSystemCenter 2.1 コンフィグレーションガイド	SigmaSystemCenter コンフィグレーションガイド
	SigmaSystemCenter 2.1 リファレンスガイド	SigmaSystemCenter リファレンスガイド
ESMPRO/ServerManager 4.5	ESMPRO/ServerManager Ver.4.5 インストレーションガイド	ESMPRO/ServerManager インストレーションガイド
	ESMPRO サーバ管理ガイド	ESMPROサーバ管理ガイド
WebSAM DeploymentManager 5.22	WebSAM DeploymentManager Ver5.2 ユーザーズガイド 導入編	DeploymentManager ユーザーズガイド導入編
	WebSAM DeploymentManager Ver5.2 ユーザーズガイド 基本操作編	DeploymentManager ユーザーズガイド基本操作編
	WebSAM DeploymentManager Ver5.2 ユーザーズガイド 応用編	DeploymentManager ユーザーズガイド応用編
	WebSAM DeploymentManager Ver5.2 ユーザーズガイド PackageDescriber編	DeploymentManager ユーザーズガイド PackageDescriber編
	パッケージビルダマニュアル	DeploymentManager パッケージビルダマニュアル
WebSAM DeploymentManager (HP-UX版) R2.1	WebSAM DeploymentManager (HP-UX版) ユーザーズガイド (導入編)	DeploymentManager (HP-UX版) ユーザーズガイド導入編
	WebSAM DeploymentManager (HP-UX版) ユーザーズガイド (機能編)	DeploymentManager (HP-UX版) ユーザーズガイド機能編
	WebSAM DeploymentManager (HP-UX版) 操作マニュアル	DeploymentManager (HP-UX版) 操作マニュアル
	WebSAM DeploymentManager (HP-UX版) ユーザーズガイド エラーメッセージ集	DeploymentManager (HP-UX版) ユーザーズガイド エラーメッセージ集
	WebSAM DeploymentManager (HP-UX版) R2.1 リリースメモ	DeploymentManager (HP-UX版) リリースメモ
SystemMonitor性能監視 4.1.1	SystemMonitor性能監視 4.1.1 ユーザーズガイド	SystemMonitor性能監視 ユーザーズガイド
	SigmaSystemCenter 仮想マシンサーバ (ESX) プロビジョニングソリューションガイド	SigmaSystemCenter 仮想マシンサーバプロビジョニングソリューションガイド

製品 / コンポーネント名	マニュアル名	本書での呼び方
	SigmaSystemCenter sscコマンドリファレンス	sscコマンドリファレンス
	SigmaSystemCenter 2.1 クラスタ構築資料	SigmaSystemCenter クラスタ構築資料
	SigmaSystemCenter 2.1 クラスタ構築手順およびサンプルスクリプト	SigmaSystemCenterクラスタ構築手順およびサンプルスクリプト
	SigmaSystemCenter 2.1 ネットワークアダプタ冗長化構築資料	SigmaSystemCenterネットワークアダプタ冗長化構築手順

関連情報: SigmaSystemCenter のすべての最新のマニュアルは、以下の URL から入手できます。
http://www.nec.co.jp/sigmasystemcenter/download.html

SigmaSystemCenter の製品概要、インストール、設定、運用、保守に関する情報は、以下の４つのマニュアルに含みます。各マニュアルの役割を以下に示します。

「SigmaSystemCenter ファーストステップガイド」
SigmaSystemCenter を使用するユーザを対象読者とし、製品概要、システム設計方法、動作環境などについて記載します。

「SigmaSystemCenter インストレーションガイド」
SigmaSystemCenter のインストール、アップグレードインストール、およびアンインストールを行うシステム管理者を対象読者とし、それぞれの方法について説明します。

「SigmaSystemCenter コンフィグレーションガイド」
インストール後の設定全般を行うシステム管理者と、その後の運用・保守を行うシステム管理者を対象読者とし、インストール後の設定から運用に関する操作手順を実際の流れに則して説明します。また、保守の操作についても説明します。

「SigmaSystemCenter リファレンスガイド」
SigmaSystemCenter の管理者を対象読者とし、SigmaSystemCenter の機能説明、操作画面一覧、操作方法、メンテナンス関連情報およびトラブルシューティング情報などを記載します。「SigmaSystemCenter インストレーションガイド」および「SigmaSystemCenter コンフィグレーションガイド」を補完する役割を持ちます。

本書の表記規則

本書では、注意すべき事項、重要な事項、および関連情報を以下のように表記します。

注: は、機能、操作、および設定に関する注意事項、警告事項、および補足事項です。

関連情報: は、参照先の情報の場所を表します。

また、本書では以下の表記法を使用します。

表記	使用方法	例
[ ] 角かっこ	画面に表示される項目 (テキストボックス、チェックボックス、タブなど) の前後	[マシン名] テキストボックスにマシン名を入力します。 [すべて] チェックボックス
「」 かぎかっこ	画面名 (ダイアログボックス、ウィンドウなど)、他のマニュアル名の前後	「設定」ウィンドウ 「インストレーションガイド」
コマンドライン中の [ ] 角かっこ	かっこ内の値の指定が省略可能であることを示します。	add [/a] Gr1
モノスペースフォント (courier New)	コマンドライン、システムからの出力 (メッセージ、プロンプトなど)	以下のコマンドを実行してください。 `replace Gr1`
モノスペースフォント斜体 (*courier New*)	ユーザが有効な値に置き換えて入力する項目 値の中にスペースが含まれる場合は "" (二重引用符) で値を囲んでください。	`add GroupName` `InstallPath="Install Path"`

セクション Ⅰ　Web コンソール一覧

このセクションでは、SigmaSystemCenterのWebコンソールの説明やSigmaSystemCenterのWebコンソールの各項目の一覧を記載します。

- 1　Webコンソールの概要.....3
- 2　管理.....19
- 3　システムリソース.....71
- 4　運用.....197
- 5　仮想.....287
- 6　監視.....363

1. Web コンソールの概要

SigmaSystemCenterのWebコンソールの各名称、および概要について説明をします。

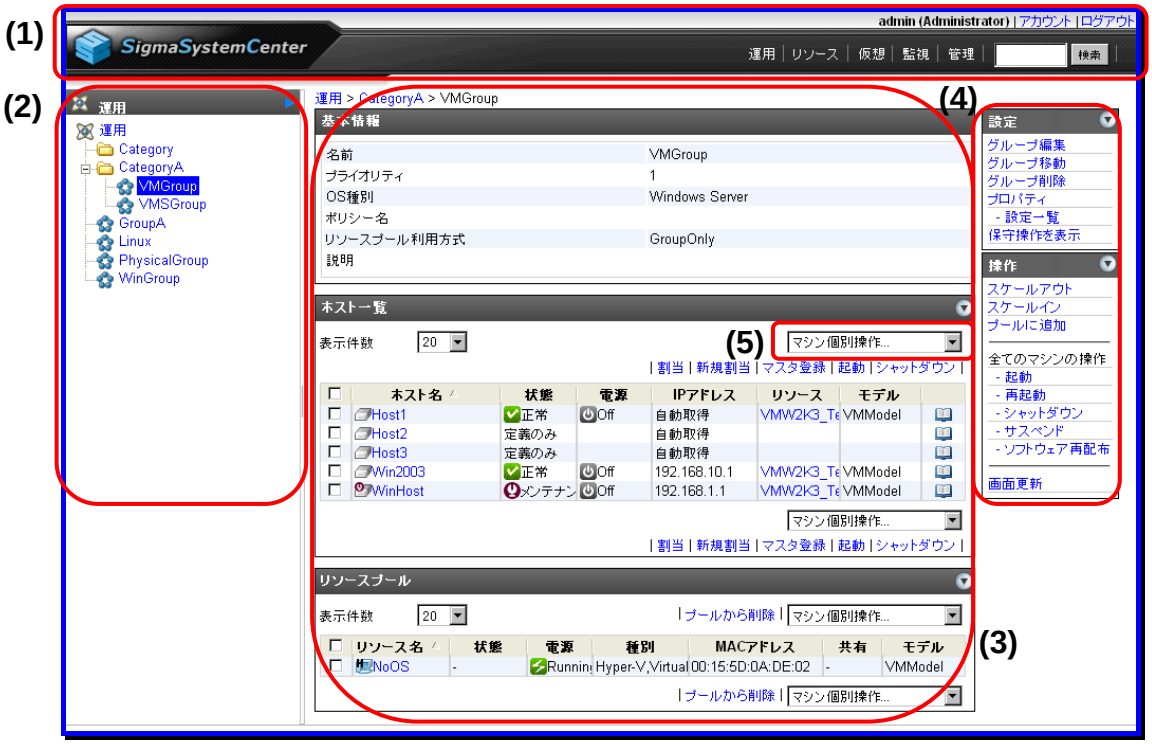
本章で説明する項目は以下の通りです。

- 1.1 Webコンソールの概要.....4

1.1. Web コンソールの概要

Webコンソールを使用して、管理対象マシンの操作やグループ管理など様々な操作を行うことができます。

Web コンソールは、以下の 5 つのパーツから構成されています。



(1) タイトルバー

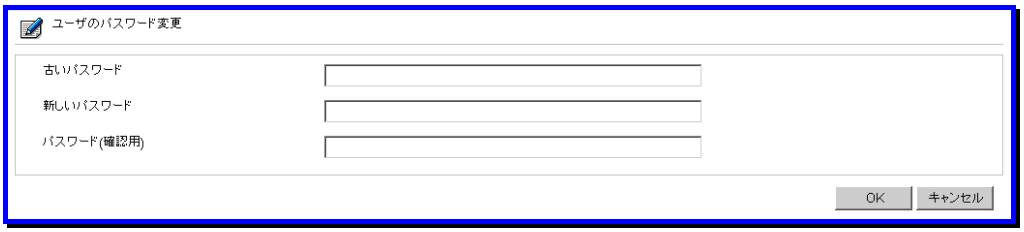
Web コンソール上部には常にタイトルバーが表示されています。

タイトルバーは、検索機能、メインメニュー、アカウント管理機能から構成されています。

- ユーザ名

  ログインしているユーザ名、およびユーザの役割 (権限) を表示します。

- アカウント管理機能
  ログインしているユーザのパスワードを変更できます。



ユーザのパスワード変更	
古いパスワード (入力必須)	現在使用しているパスワードを入力します。
新しいパスワード (入力必須)	変更するパスワードを入力します。入力できる文字数は128文字以内です。使用できる文字はスペースを除く半角英数字、および記号です。
パスワード (確認用) (入力必須)	確認のため再度同じパスワードを入力します。
[OK]	パスワード情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	パスワード情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

- ログアウト
  SystemProvisioning からログアウトします。

- メインメニュー
  各メニューをクリックすると、ツリービュー、およびメインウィンドウの表示を切り替えることができます。

- 検索機能
  マシンの検索ができます。検索機能の詳細は、「1.1.2 検索」を参照してください。

(2) ツリービュー
メインメニューをクリックすることにより、ツリービューが切り替わります。
ツリービューのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに詳細情報、[設定] メニュー、および [操作] メニューが表示され、操作を進めることができます。

(3) メインウィンドウ

SystemProvisioning のメインウィンドウです。

- グループボックス

  グループボックスは、メインウィンドウに表示される詳細情報、各一覧表示ボックスを指します。

グループボックス内に表示される項目

表示件数	対象一覧の表示件数を選択できます。
(チェックボックス)	[アクション] メニューからの操作の対象とする項目を選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべての項目が選択されます。
以下の項目は、表示件数が [表示件数] プルダウンボックスに指定した数を上回る場合のみ表示されます。	
<	前のページのグループボックスに遷移します。
>	次のページのグループボックスに遷移します。
<<	先頭ページのグループボックスに遷移します。
>>	末尾ページのグループボックスに遷移します。
(テキストボックス)	グループボックスのページを指定します。
Go	テキストボックスに指定されたグループボックスのページに遷移します。

(4) [設定] メニュー、[操作] メニュー

対象リソースの設定を管理するためのメニューです。メニューの内容は、操作の状態によって異なります。メニューで行う操作は、ツリービューで選択したビュー内のすべてのリソースに対して行うことができます。

(5) [アクション] メニュー

[アクション] メニューとは、各グループボックス内にあるメニュー、およびプルダウンボックスから選択できるメニューのことを指し、グループボックス内の選択したリソースに対して操作を行います。

メインウィンドウに表示されるグループボックス内のリストからチェックボックスをオンにして操作する対象リソースを選択し、[アクション] メニューの操作を実行します。

1.1.1. ログインウィンドウ

SystemProvisioning の Web コンソールを起動すると表示されます。
ユーザ名、パスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

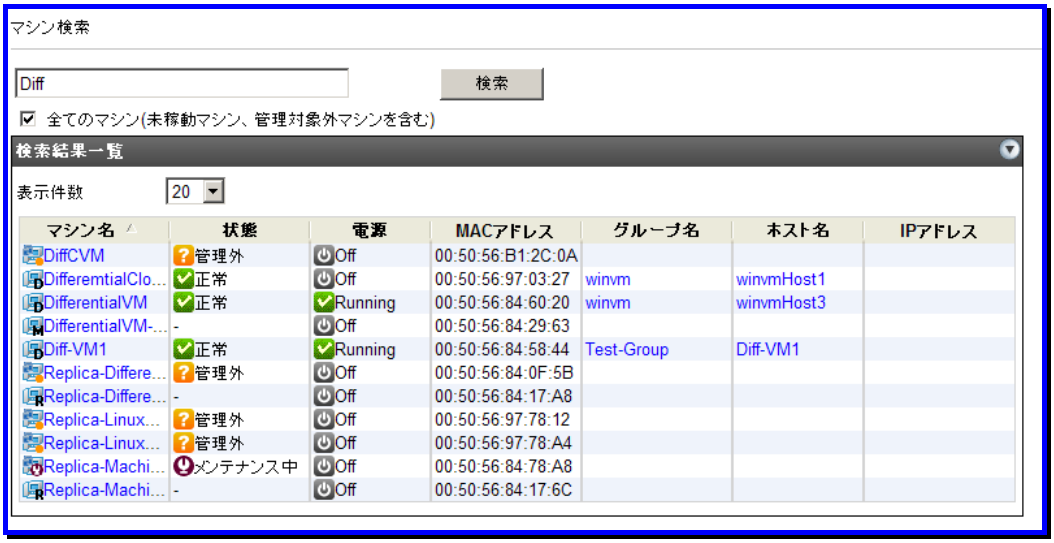
注: 初めてログインする場合は、ユーザ名、およびパスワードに "admin" を入力してください。また、管理者権限を持つ任意のユーザを１つ以上登録すると、初期ユーザは使用できなくなります。

SigmaSystemCenter ログイン	
ユーザ名 **(入力必須)**	ユーザ名を入力します。
パスワード **(入力必須)**	パスワードを入力します。
次回からユーザ名の入力を省略	チェックボックスをオンにすると、次回起動する場合にユーザ名の入力を省略できます。
[ログイン]	ユーザ名、パスワードを確認し、SystemProvisioningにログインします。

1.1.2. 検索

マシンの検索を行います。

タイトルバーのテキストボックスにマシン検索のキーワードを入力し、[検索] をクリックします。



マシン検索	
(テキストボックス) **(入力必須)**	マシンを検索するキーワードとなる文字列を入力します。マシンを検索するキーワードに関しては以下に記載します。
[検索]	マシン検索で入力された情報を元にマシンを検索します。
全てのマシン (未稼働マシン、管理対象外マシンを含む)	未稼働マシン、管理対象外マシンを含むすべてのマシンを検索する場合、チェックボックスをオンにします。
検索結果一覧	
マシン名	検索で該当したマシン名を表示します。
状態	マシンの状態を表示します。
電源	マシンの電源状態を表示します。
MAC アドレス	マシンのMACアドレスを表示します。
グループ名	マシンが所属しているグループ名を表示します。
ホスト名	ホスト名を表示します。
IP アドレス	マシンのIPアドレスを表示します。

マシン検索のキーワードについては、以下のキーワードを入力することができます。

検索キーワード		例
マシン名、ホスト名		OLIVE12
MACアドレス		00:00:4C:71:CE:17
UUID		50281E7B-4547-6463-07CE-F10EFAFA7201
サマリステータス		NORMAL (正常に稼動しているマシン) ERROR (異常が発生しているマシン) WARNING (警告状態のマシン) MAINTENANCE (メンテナンス中のマシン) EXECUTE (処理中のマシン)
IPアドレス	単独指定	192.168.10.1
	範囲指定 ※1	192.168.10.1 192.168.10.100

※1　IPアドレスを2つ入力し、開始アドレスと終了アドレスを半角空白で区切ると、範囲指定の検索を行います。

1.1.3. 保守操作

管理対象マシンの電源 ON や強制 OFF などの保守操作を行うため、保守操作が用意されています。[運用] ビュー、または [リソース] ビューの [設定] メニューから [保守操作を表示] をクリックすると保守操作が表示されます。保守操作の実行にあたっては、注意が必要となるため、画面の背景が黄色に変わります。通常の操作に戻る場合には、[設定] メニュー、またはウィンドウ右下の [保守操作を隠す] をクリックしてください。

注: Administrator 権限でない場合は、[設定] メニューに [保守操作を表示] は表示されません。

関連情報: 保守操作の詳細については、「3.22.11 マシンの保守操作」、または「4.10.21 グループ変更」を参照してください。

1.1.4. マシンのステータス

SystemProvisioning は、マシンごとに以下のようなステータス情報を管理します。

Web コンソールでは、一覧表示やマシン、ホストの詳細情報にて、状態 (サマリステータス)、電源状態、稼動ステータス、OS ステータス、ハードウェアステータス、実行ステータス、ポリシー状態、メンテナンスステータス、SystemProvisioning の管理状態を表示、管理します。

◆ サマリステータス

マシンのサマリ状態 (ハードウェアステータスの異常、実行ステータスの異常終了などをまとめたステータス) を表示、管理します。

状態	説明
正常	障害が発生していない状態です。
異常終了 **故障**	重大な障害が発生し、マシンは停止しています。
一部故障	縮退など一部機能で障害が発生しましたが、マシンは稼動している状態です。
処理中	マシンに対する構成変更などの操作を実行中です。
メンテナンス中	マシンがメンテナンスモードに設定されている状態です。
ー	グループで稼動する準備段階として待機している状態です。
管理外	SystemProvisioningは、マシンとして認識していますが、管理対象にしていない状態です。

注:

・"異常終了"、"故障"、または "一部故障" のそれぞれが発生している場合は、各状態が併記されます。(例: (異常終了、故障) (異常終了、一部故障)) また、マシンが上記状態に加えてメンテナンス中の場合、メンテナンス中の状態はアイコンにて併記されます。

・ 運用グループのホスト一覧では、マシンが割り当てられていない場合、"定義のみ" と表示されます。

◆ 電源状態

マシンへの電源状態を表示、管理します。

状態	説明
On	管理対象マシンの電源がオンの状態です。 (OSが起動途中の状態も含みます)
Off	管理対象マシンの電源がオフの状態です。
サスペンド	管理対象マシンの電源が一時停止の状態です。 (仮想マシンの場合のみ表示されます)
Running	OSが正常に稼動しています。一覧表示の電源列で表示されます。 (OSステータスがオンの状態です)
ー	管理対象マシンの電源が不明の状態です。

注:

・ 管理対象マシンの電源が On の状態でも、連携ソフトウェアから管理対象マシンの状態を取得できない場合は、Off と表示されます。

・ "サスペンド" の仮想マシンに対して移動や追加などの操作を行う場合、必ず事前に "サスペンド" を Web コンソールなどから起動操作でレジュームしてください。

仮想マシンの電源状態が "サスペンド" の場合、電源操作に失敗するため正常に動作しない場合があります。

◆ 稼動ステータス

マシンがグループでホストに割り当てられて稼動している状態を表示、管理します。

状態	説明
On	グループで稼動中です。
Off	グループで稼動していない状態です。

◆ OS ステータス

マシンにインストールされた OS の状態を表示、管理します。

状態	説明
On	OSが正常に稼動しています。
Off	シャットダウンなどでOSが停止している状態です。
ー	マシンのOSが不明の状態です。

◆ ハードウェアステータス

マシンのハードウェア状態を表示、管理します。

状態	説明
正常	障害が発生していない状態です。
故障	重大な障害が発生し、マシンは停止しています。
一部故障	縮退など一部機能で障害が発生しましたが、マシンは稼動している状態です。
ー	ハードウェア状態を管理していません。

"故障"、"一部故障" は ESMPRO などの監視機能で検出し、SystemProvisioning に通報された場合、ポリシーより設定できるステータスです。

◆ 実行ステータス

マシンのアクション実行状態を表示、管理します。

状態	説明
処理中	マシンに対する構成変更などの操作を実行中です。
異常終了	マシンに対する構成変更などの操作が異常終了した状態です。
ー	構成変更は行われていない、または実行したアクションが正常に終了した状態です。

◆ ポリシー状態

イベント通報処理などで SystemProvisioning 内部にて管理する状態です。

状態	説明
全て有効	受信したイベントに対してポリシーが割り当てられている場合、ポリシーが実行されます。
全て無効	既にポリシーが実行されている状態で、この状態の間はイベントを受信してもポリシーは動作しません。
部分有効	既にポリシーが実行されている状態で、電源操作のイベント (起動、シャットダウンなど) のみ無効とし、ポリシー動作を行いません。電源操作以外のイベント受信時は、ポリシーを実行します。

◆ メンテナンスステータス

マシンの保守状態を表示、管理します。

状態	説明
On	マシンがメンテナンスモードに設定されている状態です。
Off	運用で利用できる状態です。

◆ 管理状態

SystemProvisioning での処理状態を表示、管理します。

状態	説明
管理中	マシンが運用で利用できる状態です。
管理外	SystemProvisioningはマシンとして認識していますが、管理対象としていない状態です。

◆ 接続状態

管理対象マネージャの接続状態を表示、管理します。

状態	説明
接続可能	マネージャに接続可能な状態です。
接続未確認	マネージャに接続が確認できていない状態です。
切断	マネージャの連携製品上の接続状態が切断状態です。
接続不可	マネージャに接続不可能な状態です。
メンテナンス中	マネージャのメンテナンス中の状態です。
認証失敗	マネージャ接続時に認証エラーが発生している状態です。
無効	マネージャの接続状態が無効です。

◆ 共有状態

ディスクボリュームの共有状態を表示、管理します。

状態	説明
共有	ディスクボリュームが複数のホストから共有されている状態です。
非共有	ディスクボリュームが共有されていない状態です。

◆ 使用状態

ディスクボリュームの使用状態を表示、管理します。

状態	説明
未使用	ディスクボリュームがホストに割り当てされていない状態です。
使用中	ディスクボリュームがホストに割り当てられている状態です。

1.1.5. マシンの種別

SystemProvisioning で管理するマシンの種別は以下となります。

種別	説明
Unitary	管理サーバ for DPMにて一般マシンのグループに管理されているマシン、および管理サーバ for DPM (HP-UX) で管理されているマシンです。
Blade	管理サーバ for DPMにてBladeサーバグループに管理されているマシンです。
VMware、VM Server	VMware vCenter Serverが管理する仮想マシンサーバです。 他のサブシステムに同じマシンが登録 / 管理されている場合、以下のように併記して表示されます。 ・ Unitary, VMware, VMServer ・ Blade, VMware, VMServer
Xen、VM Server	XenServer Pool Masterが管理する仮想マシンサーバです。 他のサブシステムに同じマシンが登録 / 管理されている場合、以下のように併記して表示されます。 ・ Unitary, Xen, VMServer ・ Blade, Xen, VMServer
Hyper-V、VM Server	Microsoft Hyper-Vマネージャ、もしくはHyper-V クラスタに管理されている仮想マシンサーバです。他のサブシステムに同じマシンが登録/管理されている場合、以下のように併記して表示されます。 ・ Unitary, Hyper-V, VM Server ・ Blade, Hyper-V, VM Server
VMware、Virtual Machine	VMware vCenter Serverが管理する仮想マシンです。
Xen、Virtual Machine	XenServer Pool Masterが管理する仮想マシンです。
Hyper-V、Virtual Machine	Hyper-Vが管理する仮想マシンです。
Unknown	サブシステムとの連携解除などにより種別が不明となったマシンです。

1.1.6. キャパシティ値、コスト値の設定

キャパシティ値とコスト値は、Web コンソールの以下のウィンドウから指定できます。

◆ キャパシティ値

キャパシティ値は、仮想マシンサーバに設定する値です。仮想マシンサーバ上に稼動可能な仮想マシンのコスト値の合計を表します。キャパシティ値の既定値は、(200) です。

ダイアログ	優先順位	説明
「VMサーバ編集」	1	該当仮想マシンサーバのキャパシティ値を指定します。
「環境設定」の [仮想リソース] タブ	2	SystemProvisioningで使用するキャパシティ値の初期値を指定します。

◆ コスト値

コスト値は、仮想マシンに設定する値です。仮想マシンが必要とするコストを数値で表します。SystemProvisioning からテンプレートを使用して作成された仮想マシンのコスト値は、テンプレートで指定された値となります。vCenter Server などのサブシステムを使用して作成され、SystemProvisioning の管理対象となった仮想マシンのコスト値は、"0" が設定されています。コスト値の既定値は、(10) です。

ダイアログ	優先順位	説明
「VM編集」	1	該当仮想マシンのコスト値を指定します。
「テンプレート作成」、または「テンプレート編集」	2	テンプレートから作成される仮想マシンのコスト値を指定します。リソース割り当てを行った場合、およびマスタマシン登録の際にテンプレートを指定した場合にも、テンプレートに指定したコスト値が仮想マシンのコスト値として使用されます。
「環境設定」の [仮想リソース] タブ	3	SystemProvisioningで使用するコスト値の初期値を指定します。テンプレートを指定しないでマスタマシン登録を行った場合に、仮想マシンのコスト値として使用されます。

1.1.7. プライオリティ値

プライオリティの設定は、ポリシー制御、コマンド実行により対象のグループを自動選択する際に使用します。

自動選択される対象のグループ、モデルが以下の場合、指定されたグループ、またはモデルの中から、グループ、モデルに設定されたプライオリティの高い (プライオリティ値が小さい) 順に選択されます。

- マシン追加
- 用途変更
- マシンの起動

また、自動選択される対象のグループ、モデルが以下の場合、指定されたグループ、またはモデルの中から、グループ、モデルに設定されたプライオリティの低い (プライオリティ値が大きい) 順に選択されます。

- マシン削除
- 用途変更
- マシンの停止

2. 管理

[管理] ビューでは、SigmaSystemCenterのライセンス、ユーザ、ポリシー、サブシステム、および環境の設定、および管理の説明をします。

本章で説明する項目は以下の通りです。

- 2.1 [管理] ビュー 20
- 2.2 [ライセンス] アイコン 21
- 2.3 [ユーザ] アイコン 23
- 2.4 ユーザの詳細情報 24
- 2.5 [ポリシー] アイコン 32
- 2.6 ポリシーの詳細情報 32
- 2.7 ポリシープロパティ設定 35
- 2.8 [サブシステム] アイコン 42
- 2.9 サブシステムの詳細情報 42
- 2.10 サブシステム追加 43
- 2.11 サブシステム編集 52
- 2.12 サブシステム削除 64
- 2.13 [環境設定] アイコン 65

2.1. [管理] ビュー

[管理] ビューでは、ライセンスキーの登録、ユーザの追加、システム環境設定など SigmaSystemCenter を使用するにあたって必要な情報の設定を行います。また、運用ポリシーの登録やサブシステムの登録を行います。

タイトルバーの [管理] をクリックすると、[管理] ビューに切り替わります。

2.2. [ライセンス] アイコン

SigmaSystemCenter をインストールした後、製品に添付されているライセンスキーシートに記載のライセンスキーを登録します。

2.2.1. ライセンスの詳細情報

[エディション情報] グループボックスに SigmaSystemCenter のエディション情報、[ターゲット OS ライセンス] グループボックスに登録されているターゲットライセンス (OS の種類、VM ホストソケット、Differential Clone)、また [ライセンス個別情報] グループボックスにライセンスの個別情報がそれぞれ表示されます。

[管理] ツリーから [ライセンス] アイコンをクリックすると、メインウィンドウにライセンスの詳細情報が表示されます。

エディション情報		
	エディション	SigmaSystemCenterのエディション名を表示します。
	バージョン	SigmaSystemCenterのバージョンを表示します。
	最大管理台数	SigmaSystemCenterの管理できるマシンの最大管理台数を表示します。
	オプション	SigmaSystemCenterで使用できるオプションを表示します。
	有効期限	エディションライセンスの有効期限を表示します。
ターゲットライセンス		
	種別	登録されているターゲットライセンスの種類を表示します。

管理可能数	登録されているターゲットライセンスの管理可能数を表示します。
消費数	既に使用しているライセンス数を表示します。
ライセンス個別情報	
ライセンスキー	登録されているライセンスキーを表示します。
オプション	ライセンスのオプション情報を表示します。
種別	登録されているターゲットライセンスの種類を表示します。
ライセンス数	登録されているライセンス数を表示します。
削除	選択したライセンス個別情報を削除します。
ライセンスキー **(入力必須)**	ライセンスキーを入力します。
[追加]	入力したライセンスキーを追加します。ライセンス追加後、SystemProvisioningを再起動する必要がある場合があります。SystemProvisioningの再起動については、「SigmaSystemCenterコンフィグレーションガイド」の「1.1.2. SystemProvisioningを再起動するには」を参照してください。

注: [ライセンス個別情報] グループボックスは、管理者権限を持つ Administrator ユーザの場合のみ表示されます。

2.3. [ユーザ] アイコン

SigmaSystemCenter を使用するユーザのアカウント、およびロールを管理します。

各ユーザアカウントには権限を設定する必要があります。設定された権限によって SigmaSystemCenter の利用範囲が制限されます。

ユーザに与えられる権限は、以下の 3 種類があります。

Administrator	SigmaSystemCenterの設定、変更、マシンの起動・停止などすべての操作を行うことができます。
Operator	SigmaSystemCenterの設定、変更はできません。マシンの起動・停止など、管理対象マシンの操作を行うことができます。
Observer	SigmaSystemCenterの設定、変更はできません。また、マシンの起動・停止などマシンの操作もできません。マシンの稼働状況など、参照のみすることができます。

注: カテゴリ単位のアクセス制限を行う場合、カテゴリにロールを設定します。ロールが設定されたカテゴリにアクセスさせたいユーザアカウントは、そのロールを割り当てる必要があります。

2.4. ユーザの詳細情報

[ユーザー覧] グループボックス、[ロール一覧] グループボックスに SigmaSystemCenter を使用するユーザの一覧、およびロールの一覧を表示します。

[管理] ツリーから [ユーザ] アイコンをクリックすると、メインウィンドウにユーザの詳細情報が表示されます。

ユーザー覧		
	ユーザ	ユーザ名を表示します。
	権限	ユーザの持つ権限を表示します。
	説明	ユーザの説明を表示します。
	編集	[編集] アイコンをクリックすると、ユーザ情報の編集を行います。「ユーザ編集」ウィンドウに遷移します。
	追加	ユーザの追加を行います。「ユーザ追加」ウィンドウに遷移します。
	削除	選択したユーザを削除します。
ロール一覧		
	ロール名	ロール名を表示します。
	権限	ロールの持つ権限を表示します。
	カテゴリ名	ロールを割り当てたカテゴリ名を表示します。
	編集	[編集] アイコンをクリックすると、ロール情報の編集を行います。「ロール編集」ウィンドウに遷移します。
	追加	ロール追加を行います。「ロール追加」ウィンドウに遷移します。
	削除	選択したロールを削除します。

2.4.1. ユーザ追加

SigmaSystemCenter を使用するユーザの追加を行います。

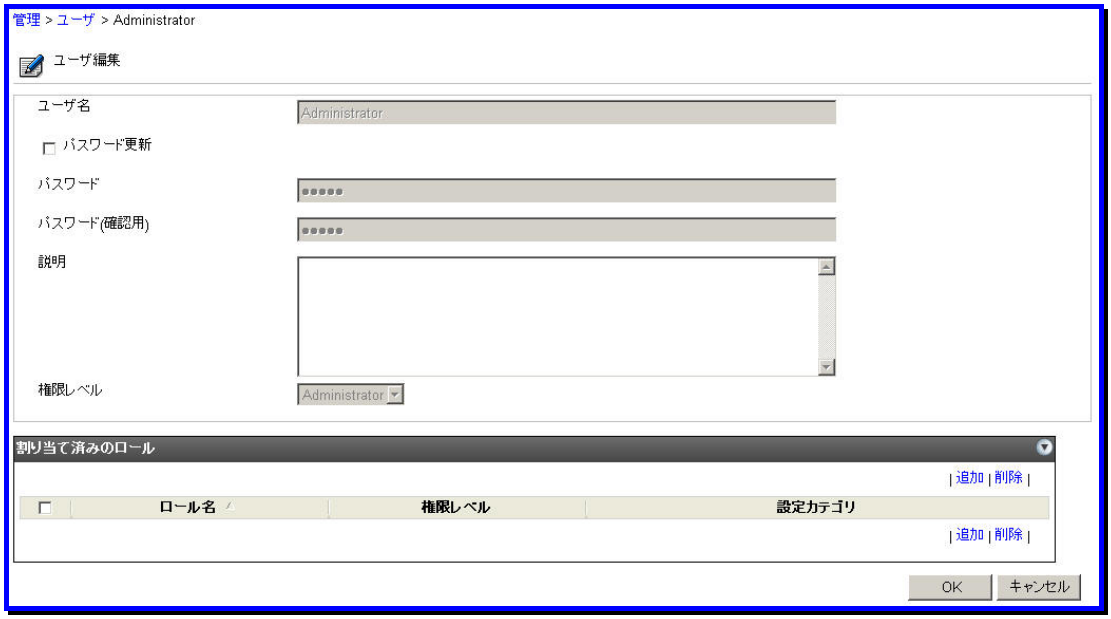
ユーザの詳細情報の [ユーザー覧] グループボックスから [追加] をクリックすると、メインウィンドウに「ユーザ追加」が表示されます。ユーザ情報を入力し、[OK] をクリックするとユーザが追加されます。

ユーザ追加		
	ユーザ名 **(入力必須)**	新規に追加するユーザ名を入力します。既に存在するユーザ名を入力すると、追加時にエラーになります。入力できる文字数は32文字以内です。使用できる文字は任意の文字列です。以下の記号は使用できません。 * + , / : ; < = > ? ¥ | [ ]
	パスワード **(入力必須)**	ユーザのパスワードを入力します。入力できる文字数は128文字以内です。使用できる文字はスペースを除く半角英数字、および記号です。
	パスワード (確認用) **(入力必須)**	確認のため再度同じパスワードを入力します。
	説明	ユーザの説明を入力します。入力できる文字数は128文字以内です。
	権限レベル	ユーザの権限レベルを選択します。ユーザの権限は、"Administrator"、"Operator"、"Observer" の3種類があります。
[OK]		ユーザ追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		ユーザ追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.4.2. ユーザ編集

SigmaSystemCenter を使用するユーザの編集を行います。

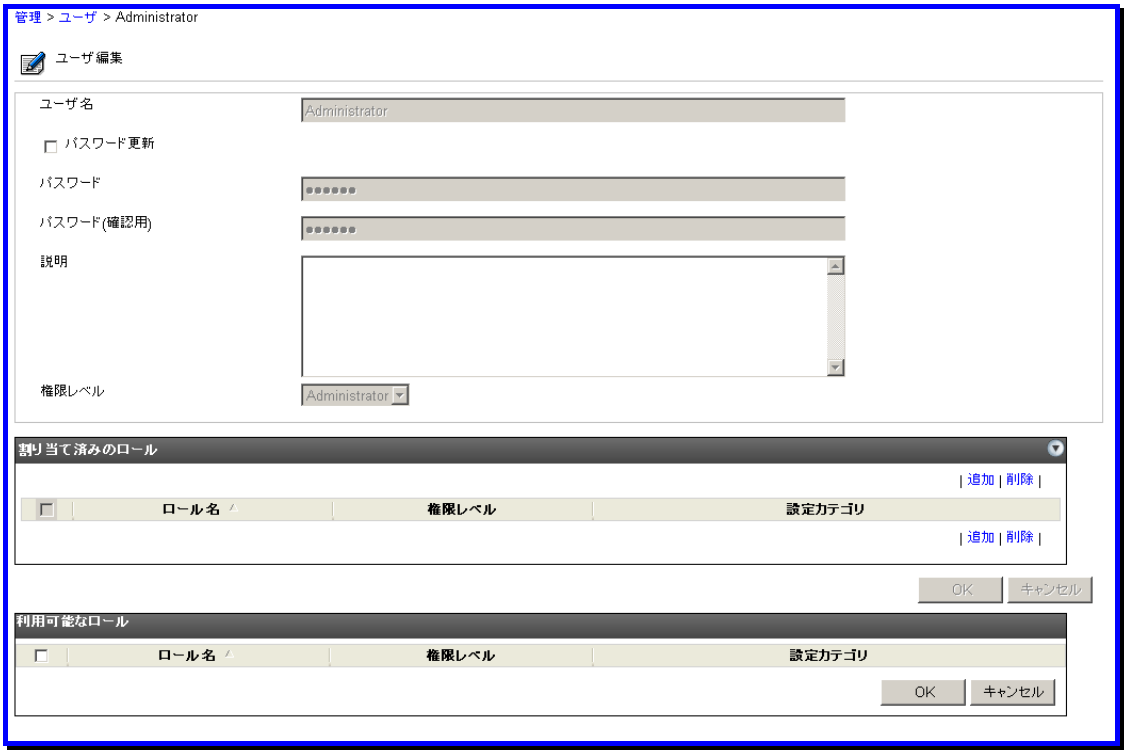
ユーザの詳細情報の [ユーザー覧] グループボックスから編集するユーザの [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「ユーザ編集」が表示されます。ユーザ情報を編集し、[OK] をクリックすると、ユーザ情報が変更されます。



ユーザ編集		
	ユーザ名	ユーザ名を表示します。編集はできません。
	パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
	パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。入力できる文字数は128文字以内です。使用できる文字はスペースを除く半角英数字、および記号です。
	パスワード (確認用)	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
	説明	ユーザの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は128文字以内です。
	権限レベル	ユーザの権限レベルを表示します。編集はできません。
	割り当て済みのロール	
	ロール名	ロール名を表示します。
	権限レベル	ロールの持つ権限レベルを表示します。
	設定カテゴリ	ロールを設定したカテゴリ名を表示します。

追加	ロール追加を行います。[割り当て済みのロール] グループボックスの下部に、[利用可能なロール] グループボックスが表示されます。
削除	選択したロールを削除します。
[OK]	ユーザ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	ユーザ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[割り当て済みのロール] グループボックス下部に、[利用可能なロール] グループボックスが表示されます。



利用可能なロール	
ロール名	ロール名を表示します。
権限レベル	ロールの持つ権限レベルを表示します。
設定カテゴリ	ロールを設定したカテゴリ名を表示します。
[OK]	ロール追加情報を保存し、[割り当て済みのロール] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	ロール追加情報を保存せずに、[利用可能なロール] グループボックスを閉じます。

注: ユーザに追加するロールは、ユーザの権限と同じ権限のものを選択してください。

2.4.3. ユーザ削除

SigmaSystemCenter で使用しているユーザを削除します。

[ユーザー覧] グループボックスから削除するユーザのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [削除] をクリックすると、削除されます。

2.4.4. ロール追加

SigmaSystemCenter でユーザにアクセス権限を割り当てるためのロールを追加します。カテゴリの単位でロール (役割) を設定し、ユーザアカウントに対してロールを割り当てることにより、カテゴリ単位でのアクセス権限を設定することができます。

ユーザの詳細情報の [ロール一覧] グループボックスから [追加] をクリックすると、メインウィンドウに「ロール追加」が表示されます。ロール情報を入力し、[OK] をクリックするとロールが追加されます。

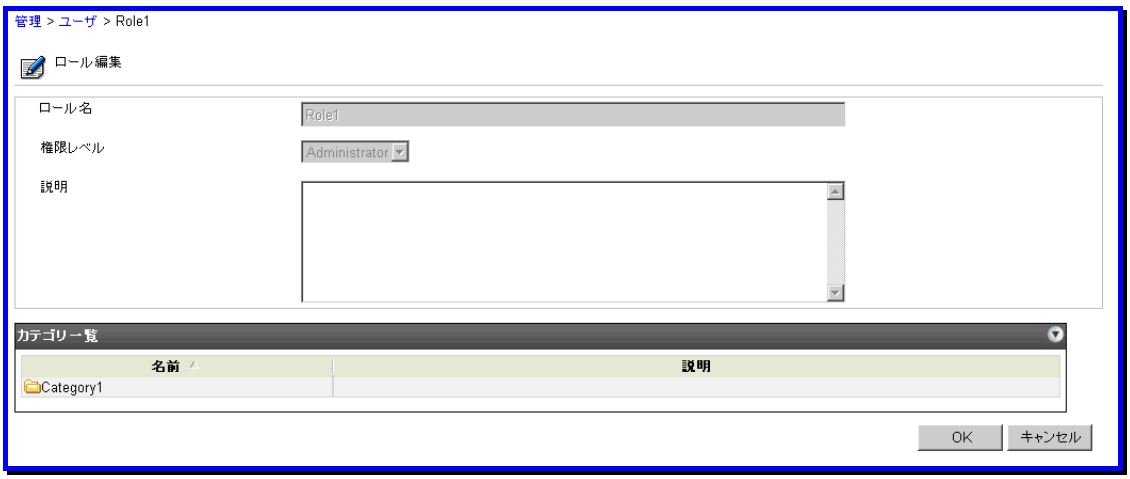
ロール追加		
	ロール名	新規に追加するロール名を入力します。既に存在するロール名を入力すると、追加時にエラーになります。入力できる文字数は32文字以内です。
	権限レベル	ロールの権限レベルを選択します。ロールの権限は、"Administrator"、"Operator"、"Observer" の3種類があります。
	説明	ロールの説明を入力します。入力できる文字数は128文字以内です。
[OK]		ロール追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		ロール追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.4.5. ロール編集

SigmaSystemCenter でユーザにアクセス権限を割り当てるためのロールを編集します。カテゴリの単位でロール (役割) を設定し、ユーザアカウントに対してロールを割り当てることにより、カテゴリ単位でのアクセス権限を設定することができます。

ユーザの詳細情報の [ロール一覧] グループボックスから編集するロールの [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「ロール編集」が表示されます。

表示されたロールを既にカテゴリに割り当てている場合、[カテゴリー覧] グループボックスにそのカテゴリ名が表示されます。ロール情報を編集し、[OK] をクリックするとロール情報が変更されます。



ロール編集		
	ロール名	ロール名を表示します。編集はできません。
	権限レベル	ロールの権限レベルを表示します。変更はできません。
	説明	ロールの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は128文字以内です。
	カテゴリー覧	
	名前	カテゴリ名を表示します。
	説明	カテゴリの説明を表示します。
[OK]		ロール編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		ロール編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.4.6. ロールにカテゴリを割り当てる (ロール範囲編集)

ロールにカテゴリを割り当てます。

割り当て可能なカテゴリは、最上位のカテゴリのみ割り当てることができます。

[設定] メニューから [ロール範囲編集] をクリックすると、メインウィンドウに「ロールにカテゴリを割り当てる」が表示されます。カテゴリを選択し、[割り当て済みのロール] グループボックスの追加、もしくは削除を行い、[適用] をクリックするとロールにカテゴリが割り当てられます。

ロールにカテゴリを割り当てる	
運用	ロールを割り当てるカテゴリを選択します。
割り当て済みのロール	
ロール名	ロール名を表示します。
権限レベル	権限レベルを表示します。
設定カテゴリ	設定カテゴリを表示します。
追加	ロールを追加します。[割り当て済みのロール] グループボックスの下部に [利用可能なロール] グループボックスが表示されます。
削除	選択したロールを削除します。
[適用]	ロールにカテゴリを割り当てます。
[キャンセル]	ロールにカテゴリを割り当てずに、元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[割り当て済みのロール] グループボックス下部に [利用可能なロール] グループボックスが表示されます。

利用可能なロール		
	ロール名	ロール名を表示します。
	権限レベル	権限レベルを表示します。
	設定カテゴリ	設定カテゴリを表示します。
[OK]		選択したロール情報を [割り当て済みのロール] グループボックスに表示します。
[キャンセル]		ロール追加をせずに、[利用可能なロール] グループボックスを閉じます。

2.4.7. ロール削除

ロールを削除します。

[ロール一覧] グループボックスから削除するロールのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [削除] をクリックすると、削除されます。

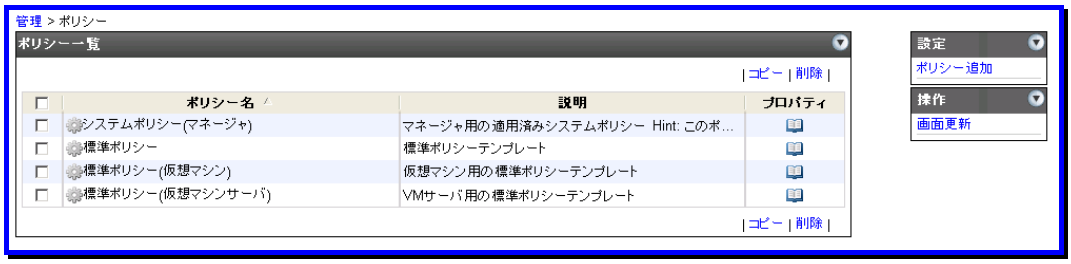
2.5. [ポリシー] アイコン

SigmaSystemCenter で使用するポリシーの設定を行います。ポリシーは、ESMPRO/ServerManager、vCenter Server、Hyper-V クラスタ、および SystemMonitor 性能監視などが検出した障害イベントに対して、どのような処理を自動実行し、復旧するかなどを各グループに対して設定できます。

2.6. ポリシーの詳細情報

[ポリシー一覧] グループボックスに SigmaSystemCenter で使用するポリシー一覧を表示します。

[管理] ツリーから [ポリシー] アイコンをクリックすると、メインウィンドウにポリシーの詳細情報が表示されます。



ポリシー一覧	
ポリシー名	ポリシー名を表示します。
説明	ポリシーの説明を表示します。
プロパティ	ポリシーのプロパティ設定を行います。「ポリシープロパティ設定」ウィンドウに遷移します。
コピー	選択したポリシーをコピーし、複製を作成します。
削除	選択したポリシーを削除します。グループに設定されているポリシーを削除する場合は失敗します。

2.6.1. ポリシー追加

ポリシーの追加を行います。

[設定] メニューから [ポリシー追加] をクリックすると、メインウィンドウに「ポリシー追加」が表示されます。ポリシー情報を入力し、[OK] をクリックするとポリシーが追加されます。

[テンプレート] プルダウンボックスから追加するポリシーのテンプレートを選択することにより、新規、または標準ポリシーを追加することができます。

ポリシー追加		
	名前 **(入力必須)**	ポリシー名を入力します。既に存在するポリシー名を入力すると、追加時にエラーになります。入力できる文字数は100文字以内です。
	説明	ポリシーの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
	テンプレート	使用するテンプレートを選択します。[新規] を選択した場合、空のポリシーデータを作成します。また、各標準ポリシーを選択した場合、選択された標準ポリシー情報から新たにポリシーを作成します。
[OK]		ポリシー追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		ポリシー追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.6.2. 既存ポリシーのコピー

既存のポリシーをコピーします。

[管理] ツリーから [ポリシー] アイコンをクリックし、メインウィンドウにポリシーの詳細情報を表示します。[ポリシー一覧] グループボックスからコピーするポリシーのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [コピー] をクリックすると、選択した既存ポリシーがコピーされます。

2.6.3. ポリシー削除

ポリシーを削除します。

[ポリシー一覧] グループボックスから削除するポリシーのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [削除] をクリックすると、削除されます。

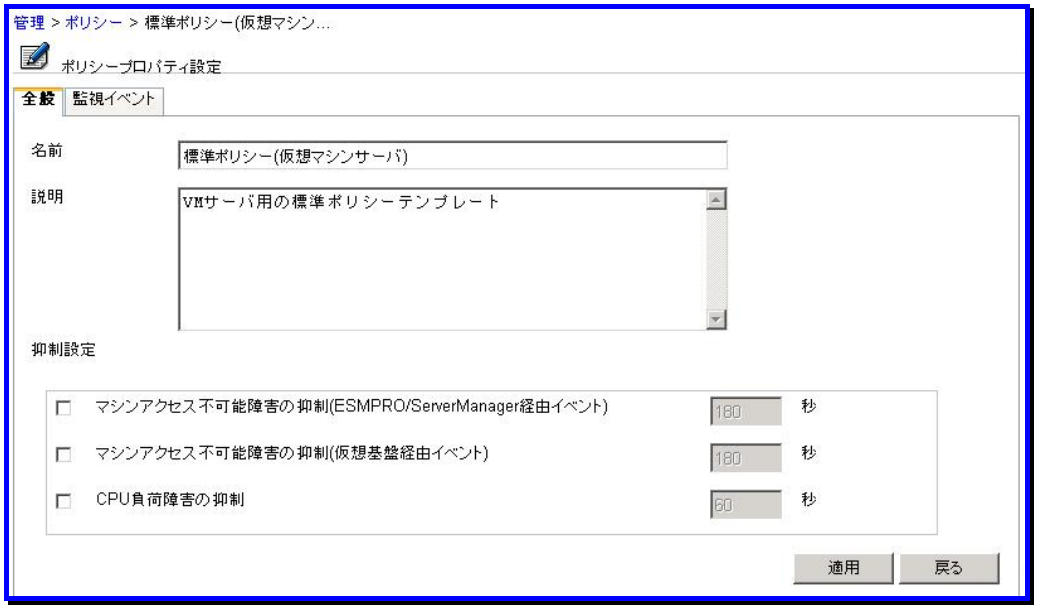
2.7. ポリシープロパティ設定

ポリシープロパティの設定を行います。

ポリシーの監視イベントやイベントに対する復旧処理（アクション）を設定することができます。

ポリシーの詳細情報の［ポリシー一覧］グループボックスから編集するポリシーの［編集］アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「ポリシープロパティ設定」が表示されます。

◆ ［全般］タブ



全般		
	名前 **(入力必須)**	ポリシー名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。
	説明	ポリシーの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
	抑制設定	
	マシンアクセス不可能障害の抑制(ESMPRO/ServerManager経由イベント)	マシンで検出されるアクセス障害のイベントを抑制させる場合、チェックボックスをオンにします。また、回復イベントが発生するかどうかを待ち合わせる時間を入力します。
	待機時間（秒）	[マシンアクセス不可能障害の抑制(ESMPRO/ServerManager経由イベント)] チェックボックスがオンの場合、入力できます。障害イベントを受信してから回復イベントが発生するかどうか待ち合わせる時間を入力します。既定値は（180）秒です。「1～99999」の範囲で設定できます。

マシンアクセス不可能障害の抑制 (仮想基盤経由イベント)	仮想基盤独自に検出されるアクセス障害のイベントを抑制させる場合、チェックボックスをオンにします。また、回復イベントが発生するかどうかを待ち合わせる時間を入力します。
待機時間 (秒)	[マシンアクセス不可能障害の抑制 (仮想基盤経由イベント)] チェックボックスがオンの場合、入力できます。障害イベントを受信してから回復イベントが発生するかどうか待ち合わせる時間を入力します。既定値は (180) 秒です。「1～99999」の範囲で設定できます。
CPU 負荷障害の抑制	CPU負荷障害を抑制させる場合、チェックボックスをオンにします。また、回復イベントが発生するかどうかを待ち合わせる時間を入力します。
待機時間 (秒)	[CPU負荷障害の抑制] チェックボックスがオンの場合、入力できます。障害イベントを受信してから回復イベントが発生するかどうか待ち合わせる時間を入力します。既定値は (60) 秒です。「1～99999」の範囲で設定できます。
[適用]	ポリシープロパティ設定情報を適用します。
[戻る]	ポリシープロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

注: 抑制設定は、「2.7.1 対応処置詳細設定」の [区分全てのイベントを対象とする] チェックボックスをオンにした場合に有効となります。

◆ [監視イベント] タブ

監視イベント	
イベントに対する対応処置一覧	
通報元	イベントの検出モジュールを認識する名称を表示します。「2.7.1 対応処置詳細設定」の [区分全てのイベントを対象とする] チェックボックスがオンの場合は、表示されません。
イベント	イベント名を表示します。

対応処置	対応処置の概要を表示します。
イベント状態	ポリシー設定の状態を表示します。無効に設定されている場合、行全体の文字が灰色で表示されます。
編集	イベントに対する対応処置の編集を行います。「対応処置詳細設定」ウィンドウに遷移します。
追加	イベントに対する対応処置の追加を行います。「対応処置詳細設定」ウィンドウに遷移します。
削除	選択したイベントに対する対応処置を削除します。
有効 / 無効	選択したイベント状態の有効、無効を切り替えます。
[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

2.7.1. 対応処置詳細設定

監視イベントの対応処置の設定を行います。

「ポリシープロパティ設定」ウィンドウの [監視イベント] タブの [イベントに対する対応処置一覧] グループボックスから [追加]、もしくは対応処置詳細設定を編集するイベントの［編集］アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「対応処置詳細設定」が表示されます。対応処置詳細情報を入力し、[OK] をクリックすると対応処置詳細の設定が行えます。

対応処置詳細設定		
名前 **(入力必須)**		ポリシーで実行する対応処置を識別する名称を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。
イベントの選択		
	単一のイベントを指定する	1つだけのイベントを対象とする場合、選択します。
	区分全てのイベントを対象とする	区分すべてのイベントを対象とする場合、選択します。

複数のイベントを選択して条件を設定する	以下の場合、選択された状態で表示され、手動では選択することはできません。 ・ [区分全てのイベントを対象とする] チェックボックスをオンにして登録したものを編集するとき ・ 標準で提供しているポリシーで、複数のイベントが対象になっているものを編集するとき
イベント区分	イベント区分を選択します。イベント区分は、検出可能なイベントを分類しています。 以下の場合、イベント区分は "その他" と表示されます。 ・ [区分全てのイベントを対象とする] チェックボックスをオンにして登録したものを編集するとき ・ 標準で提供しているポリシーで、複数のイベントが対象になっているものを編集するとき
通報元	イベントを検出する通報元を選択します。[イベント区分] プルダウンボックスで選択された区分により通報元の内容は変わります。[イベントの選択] が "区分全てのイベントを対象にする" の場合、この選択は不要です。
イベント	イベントを選択します。選択した [イベント区分] プルダウンボックス、および [通報元] プルダウンボックスによりイベントの内容は変わります。[イベントの選択] が "区分全てのイベントを対象にする" の場合、この選択は不要です。
イベント名	選択したイベントを示す名称が表示されます。入力、および編集もできます。既に同じポリシーで使用されている場合、登録時にエラーになります。入力できる文字数は100文字以内です。
※以下は、"複数のイベントを選択して条件を設定する" 場合のみ表示されます。	
複数イベント条件	[排他抑制]、または [複合要因の発生] を表示します。複合要因の発生は、Webコンソール上では設定できません。
A 群イベント一覧	監視イベントの一覧を表示します。
待ち合わせ時間	[A群イベント一覧] のうちのいずれかが発生した場合、[B群イベント一覧] のイベントを検出するための待ち合わせ時間を表示します。[B群イベント一覧] が空の場合、"0" が表示されます。
B 群イベント一覧	・ [排他抑制] の場合、A群のうちのいずれかが発生した後、このイベント一覧のうちのいずれかが待ち合わせ時間内に発生したとき、ポリシーの実行が抑制されます。 ・ [複合要因の発生] の場合、A群のうちのいずれかが発生した後、このイベント一覧のうちのいずれかが待ち合わせ時間内に [B群発生回数] 以上発生していたときに、ポリシーが実行されます。
B 群発生回数	[複合要因の発生] の場合のみ表示します。[A群イベント一覧] のうちいずれかが発生した後、B群イベント一覧のうちいずれかが、ここで表示している回数以上発生していた場合にポリシーが実行されます。
イベントに対する復旧処理	
実行条件	アクションの実行条件が表示されます。実行条件の設定については、「2.7.2 アクションパラメータ詳細」を参照してください。
アクション ※1	イベントに対する対応処置をプルダウンボックスから選択します。

	編集	アクションの実行条件・パラメータを編集します。「アクションパラメータ詳細」ウィンドウに遷移します。
	[↑]	選択したアクションの順序をひとつ前にします。
	[↓]	選択したアクションの順序をひとつ後にします。
	アクションの追加	アクションのプルダウンボックスを追加します。最大で30件までのアクションを登録することができます。
[OK]		対応処置詳細情報を保存し、「ポリシープロパティ設定」ウィンドウの [監視イベント] タブに遷移します。
[キャンセル]		対応処置詳細情報を保存せずに、「ポリシープロパティ設定」ウィンドウの [監視イベント] タブに遷移します。

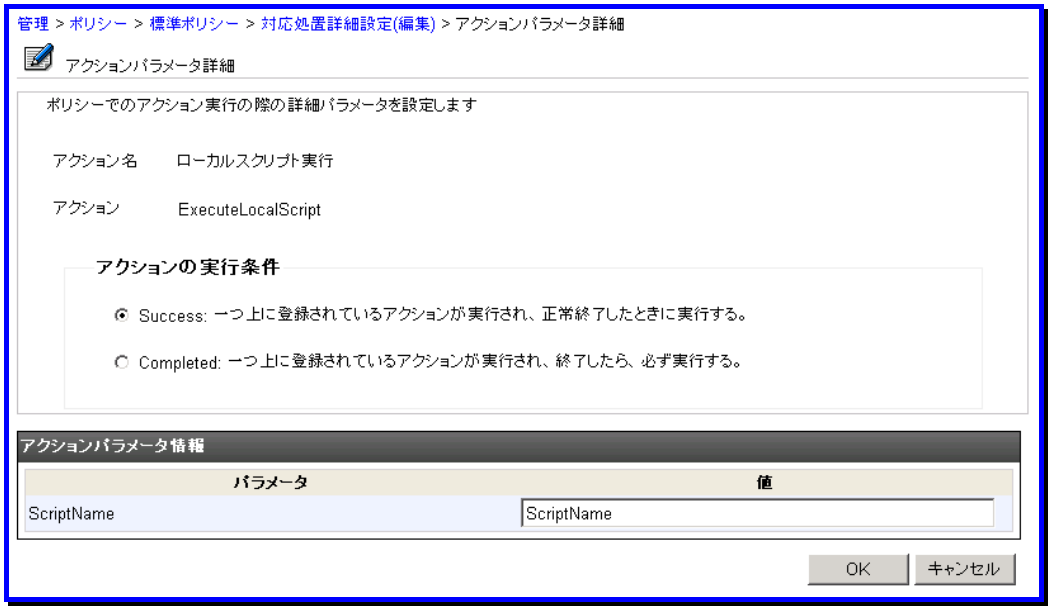
※1 イベントの新規追加時は、空のプルダウンボックスが5つ表示されていますが、編集時は、アクションが設定されている分のみプルダウンボックスが表示されます。

関連情報: 選択可能なイベント区分や通報元については、「SigmaSystemCenter リファレンスガイド」の「5.2. SigmaSystemCenter が検出できる障害」を参照してください。

2.7.2. アクションパラメータ詳細

監視イベントの対応処置の設定を行います。

「対応処置詳細設定 (編集)」ウィンドウの [イベントに対する復旧処理] グループボックスから [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「アクションパラメータ詳細」が表示されます。



アクションパラメータ詳細	
アクション名	編集中のポリシーアクション名を表示します。
アクション	アクション実行時に呼ばれるアクションシーケンスの名前が表示されます。
アクションの実行条件	
Success: 一つ上に登録されているアクションが実行され、正常終了したときに実行する。	1つ上に登録されているアクション名が正常終了したときのみ、このアクションを実行します。 Update 1までのアクションの実行条件は、「Success: 一つ上に登録されているアクションが実行され、正常終了したときに実行する。」と同等になります。
Completed: 一つ上に登録されているアクションが実行され、終了したら、必ず実行する	1つ上に登録されているアクションが実行され、終了したら必ず実行します。前のアクションが異常終了しても必ず実行できるようになります。
アクションパラメータ情報	
パラメータ	編集を行うパラメータ名が表示されます。
値	実行するローカルスクリプト名を入力します。「ローカルスクリプト実行」以外のアクションについては、[値] テキストボックスの編集はできません。実行するローカルスクリプト名が変更された場合、[値] テキストボックスのローカルスクリプト名も変更します。初期の状態では、"ScriptName" が設定されています。
[OK]	アクションパラメータ詳細設定情報を保存し、「対応処置詳細設定 (編集)」ウィンドウに遷移します。
[キャンセル]	アクションパラメータ詳細設定情報を保存せずに、「対応処置詳細設定 (編集)」ウィンドウに遷移します。

関連情報: 「ローカルスクリプト実行」のアクションパラメータの値には、実行するローカルスクリプト名を指定します。ローカルスクリプト名は、「3.20 ソフトウェアの基本情報」の「◆シナリオ、ローカルスクリプトの場合」を参照し、ソフトウェア名を入力してください。

2.8. [サブシステム] アイコン

SystemProvisioning へリソースを登録するには、DPM や NetvisorPro といった各関連製品をサブシステムに追加し、その後サブシステムが管理するマシンやスイッチといったリソースを SystemProvisioning の管理対象として登録する手順となります。

2.9. サブシステムの詳細情報

[サブシステム一覧] グループボックスにサブシステム一覧を表示します。

[管理] ツリーから [サブシステム] アイコンをクリックすると、メインウィンドウにサブシステムの詳細情報が表示されます。

サブシステム一覧	
製品名	サブシステムに登録した関連製品の製品名を表示します。
接続状態	サブシステムに登録した関連製品の接続状態を表示します。
バージョン	サブシステムに登録した関連製品のバージョンを表示します。
アドレス	サブシステムに登録した関連製品とアクセスするアドレス、もしくはポート番号を表示します。
編集	選択したサブシステムの編集を行います。「サブシステム編集」ウィンドウに遷移します。
収集	選択したサブシステムの情報を収集します。
削除	選択したサブシステムの削除を行います。

2.10. サブシステム追加

関連製品をサブシステムとして追加します。

[設定] メニューから [サブシステム追加] をクリックすると、メインウィンドウに「サブシステム追加」が表示されます。サブシステム情報を入力し、[OK] をクリックするとサブシステムが追加されます。

サブシステムを追加すると、追加したサブシステムの情報が自動的に収集されます。

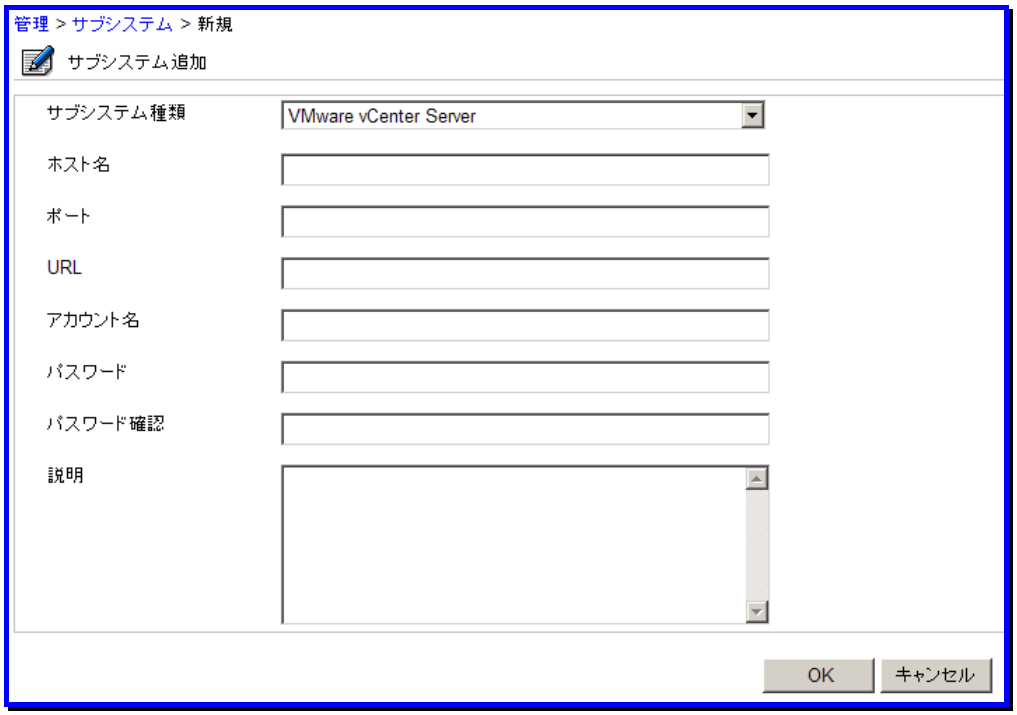
SigmaSystemCenter は、vCenter Server、XenServer Pool Master、または Hyper-V クラスタといった仮想環境管理ソフトウェア、DPM といった複数のサブシステムから管理対象マシンの情報を収集し利用します。同一のマシンが複数のサブシステムから管理されている場合、それぞれのサブシステムからマシンの情報を収集します。そのため、同一マシンが誤って別マシンとして SystemProvisioning に登録されることがないように注意が必要です。

- サブシステムの登録は、本節に記載されている順番に行います。
- 「サブシステム追加」ウィンドウでサブシステムを選択し、[OK] をクリックすると、追加したサブシステムに対して情報の収集を行います。情報収集が完了したことを確認してから、次のサブシステムの登録を行ってください。
- サブシステムから収集されたマシンの情報は、[リソース] ビューから確認できます。

注: 既に追加済みのサブシステムを別のホスト名や IP アドレス、URL を指定して二重に追加しないようにしてください。

2.10.1. サブシステム追加 (VMware vCenter Server)

VMware vCenter Server をサブシステムに追加します。VMware vCenter Server をサブシステムに追加すると、VMware vCenter Server に登録されている ESX が自動的にサブシステムに追加されます。

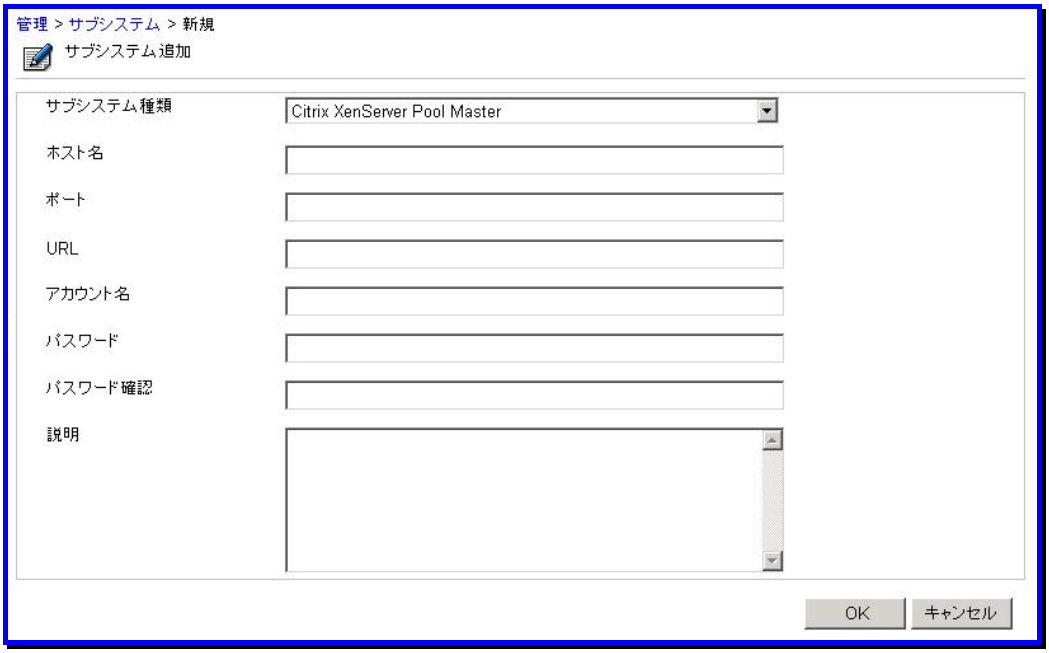


サブシステム追加	
サブシステム種類	VMware vCenter Serverを選択します。
ホスト名	VMware vCenter Serverをインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを入力します。URLを入力している場合、自動生成されるため入力を省略できます。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	VMware vCenter Serverとアクセスするポート番号を入力します。ポート番号の入力を省略した場合、既定値 (443) が登録されます。「1～65535」の範囲で設定できます。
URL	VMware vCenter ServerのURLを入力します。ホスト名を入力している場合、自動生成されるため入力を省略できます。
アカウント名	VMware vCenter Serverのアカウント名を入力します。
パスワード	VMware vCenter Serverのパスワードを入力します。
パスワード確認	確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。

[OK]	サブシステム追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.10.2. サブシステム追加 (Citrix XenServer Pool Master)

Citrix XenServer Pool Master をサブシステムに追加します。Citrix XenServer Pool Master をサブシステムに追加すると、Pool に登録されている Xen Server が自動的にサブシステムに追加されます。

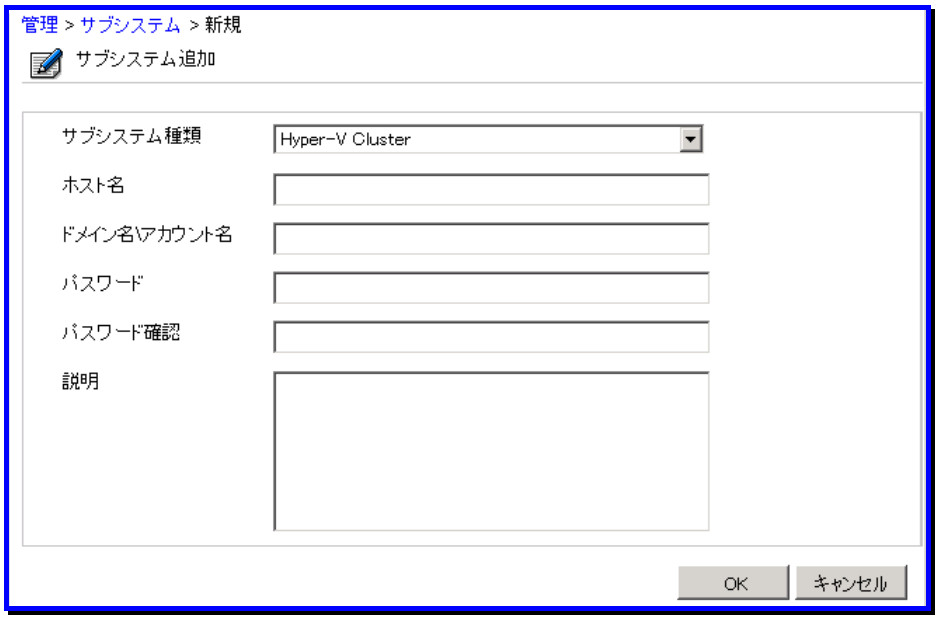


サブシステム追加	
サブシステム種類	XenServer Pool Masterを選択します。
ホスト名	XenServer Pool Masterとして構築したサーバのホスト名、またはIPアドレスを入力します。URLを入力している場合、自動生成されるため入力を省略できます。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	XenServer Pool Masterとアクセスするポート番号を入力します。ポート番号の入力を省略した場合、既定値 (443) が登録されます。「1～65535」の範囲で設定できます。
URL	XenServer Pool MasterのURLを入力します。ホスト名を入力している場合、自動生成されるため入力を省略できます。
アカウント名	XenServer Pool Masterのアカウント名を入力します。
パスワード	XenServer Pool Masterのパスワードを入力します。
パスワード確認	確認のため再度同じパスワードを入力します。

説明	サブシステムの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.10.3. サブシステム追加 (Hyper-V Cluster)

Hyper-V Clusterをサブシステムに追加します。Hyper-V Clusterをサブシステムに追加すると、Hyper-V Clusterに登録されているMicrosoft Hyper-Vのノードが自動的にサブシステムに追加されます。

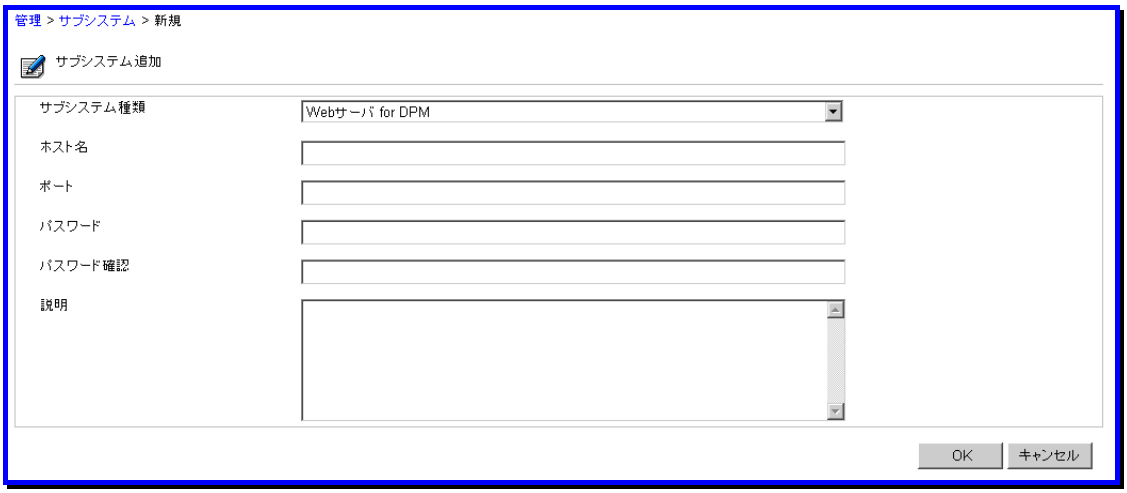


サブシステム追加	
サブシステム種類	Hyper-V Clusterを選択します。
ホスト名	Hyper-V ClusterのDNS名、またはIPアドレスを入力します。入力できる文字数は63文字以内です。
ドメイン名＼アカウント名	Hyper-V Clusterに接続するためのアカウントのドメイン名とアカウント名を入力します。
パスワード	[ドメイン名＼アカウント名] テキストボックスに入力したアカウントのパスワードを入力します。
パスワード確認	確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。

[キャンセル]	サブシステム追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.10.4. サブシステム追加 (Webサーバ for DPM)

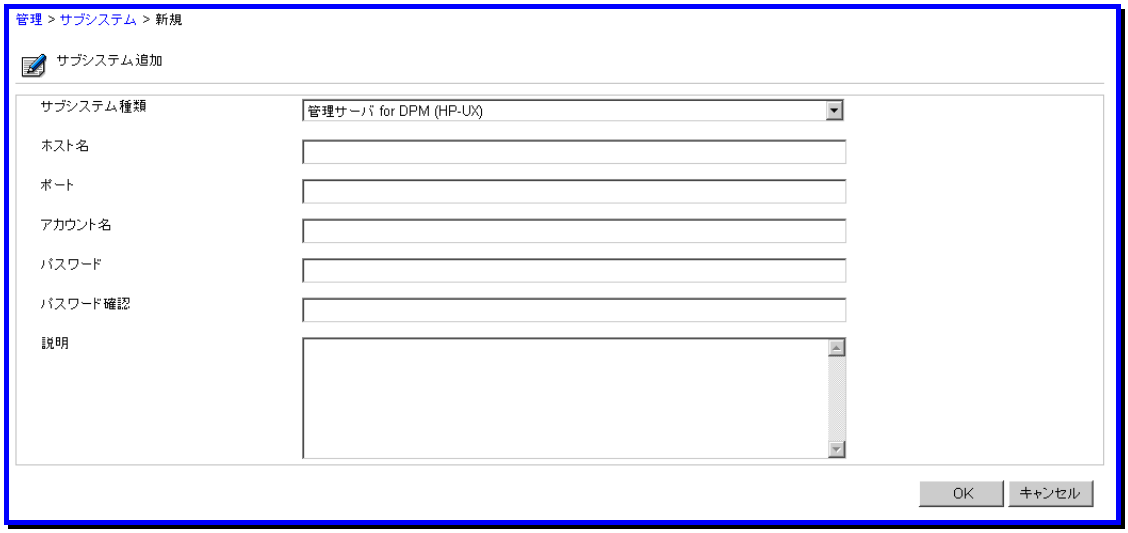
Web サーバ for DPM をサブシステムに追加します。Web サーバ for DPM をサブシステムに追加すると、Web サーバ for DPM に登録されている管理サーバ for DPM が自動的にサブシステムに追加されます。



サブシステム追加		
	サブシステム種類	Webサーバ for DPMを選択します。
	ホスト名	Webサーバ for DPMをインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを入力します。入力できる文字数は63文字以内です。
	ポート	Webサーバ for DPMとアクセスするポート番号を入力します。ポート番号の入力を省略した場合、既定値の (8080) が登録されます。「1～65535」の範囲で設定できます。
	パスワード	Webサーバ for DPMに登録されている管理サーバ for DPMのパスワードを入力します。
	パスワード確認	確認のため再度同じパスワードを入力します。
	説明	サブシステムの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]		サブシステム追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		サブシステム追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.10.5. サブシステム追加 (管理サーバ for DPM (HP-UX))

管理サーバ for DPM (HP-UX) をサブシステムに追加します。



サブシステム追加	
サブシステム種類	管理サーバ for DPM (HP-UX) を選択します。
ホスト名	管理サーバ for DPM (HP-UX) をインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを入力します。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	管理サーバ for DPM (HP-UX) とアクセスするポート番号を入力します。ポート番号の入力を省略した場合、既定値の(15416) が登録されます。「1～65535」の範囲で設定できます。
アカウント名	管理サーバ for DPM (HP-UX) のアカウント名を入力します。
パスワード	管理サーバ for DPM (HP-UX) のパスワードを入力します。
パスワード確認	確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

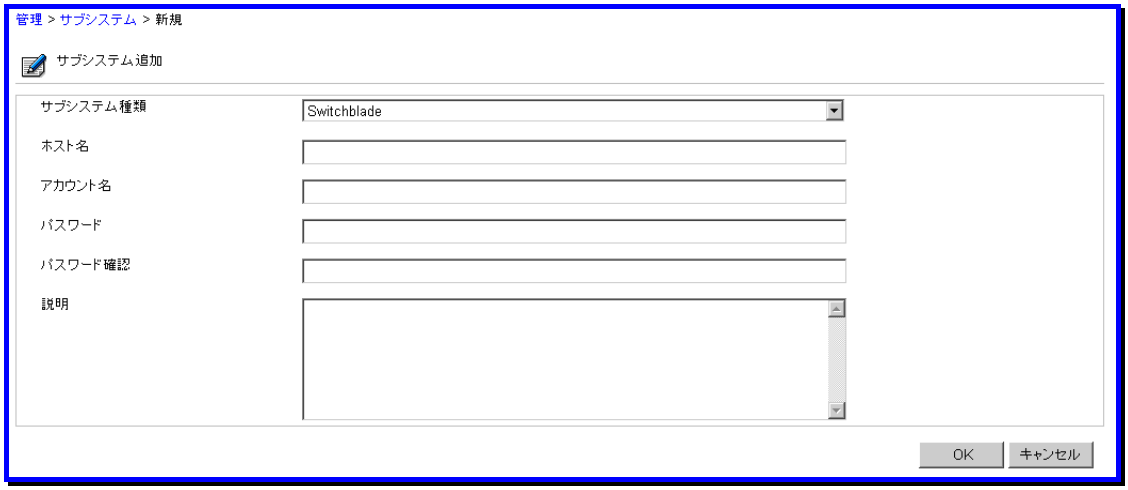
2.10.6. サブシステム追加 (WebSAM NetvisorPro)

WebSAM NetvisorPro をサブシステムに追加します。

サブシステム追加		
	サブシステム種類	WebSAM NetvisorProを選択します。
	ホスト名	NetvisorProをインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを入力します。入力できる文字数は63文字以内です。
	ポート	NetvisorProとアクセスするポートを入力します。既定値は(52727) です。「1～65535」の範囲で設定できます。
	説明	サブシステムの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]		サブシステム追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		サブシステム追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.10.7. サブシステム追加 (スイッチブレード)

120Ba-4 用インテリジェントスイッチ (L2)、および 110Ba-e3 用インテリジェントスイッチ (L2) をスイッチブレードとして登録します。スイッチブレードをサブシステムに追加します。



サブシステム追加		
	サブシステム種類	"Switchblade" を選択します。
	ホスト名	スイッチブレードのIPアドレスを入力します。入力できる文字数は63文字以内です。
	アカウント名	スイッチブレードのアカウント名を入力します。
	パスワード	スイッチブレードのパスワードを入力します。
	パスワード確認	確認のため再度同じパスワードを入力します。
	説明	サブシステムの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]		サブシステム追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		サブシステム追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.10.8. サブシステム追加 (ストレージ管理サーバ)

ストレージ管理サーバをサブシステムに追加します。

サブシステム追加		
	サブシステム種類	"iStorage Manager"、"EMC CLARiX"、もしくは "EMC Symmetrix" を選択します。
	説明	サブシステムの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]		サブシステム追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		サブシステム追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11. サブシステム編集

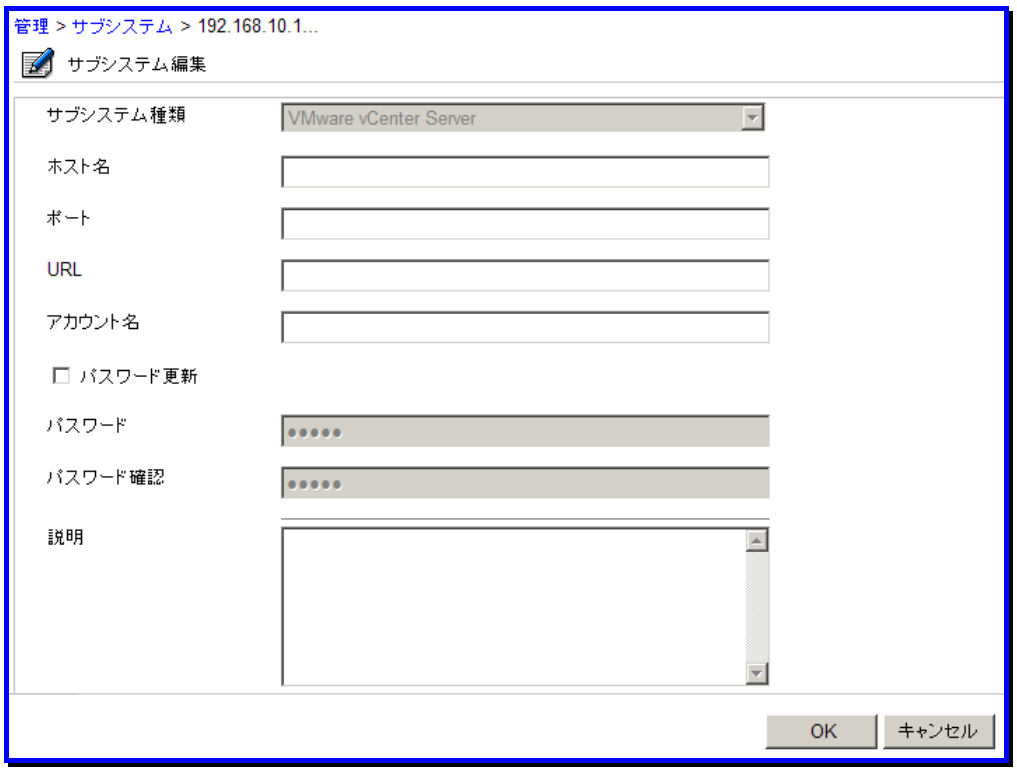
サブシステムの編集を行います。

サブシステムの詳細情報の [サブシステム一覧] グループボックスから編集するサブシステムの [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「サブシステム編集」が表示されます。サブシステム情報を編集し、[OK] をクリックするとサブシステム情報が変更されます。

サブシステムを編集すると、編集したサブシステムの情報が自動的に収集されます。

2.11.1. サブシステム編集 (VMware vCenter Server)

サブシステム (VMware vCenter Server) を編集します。

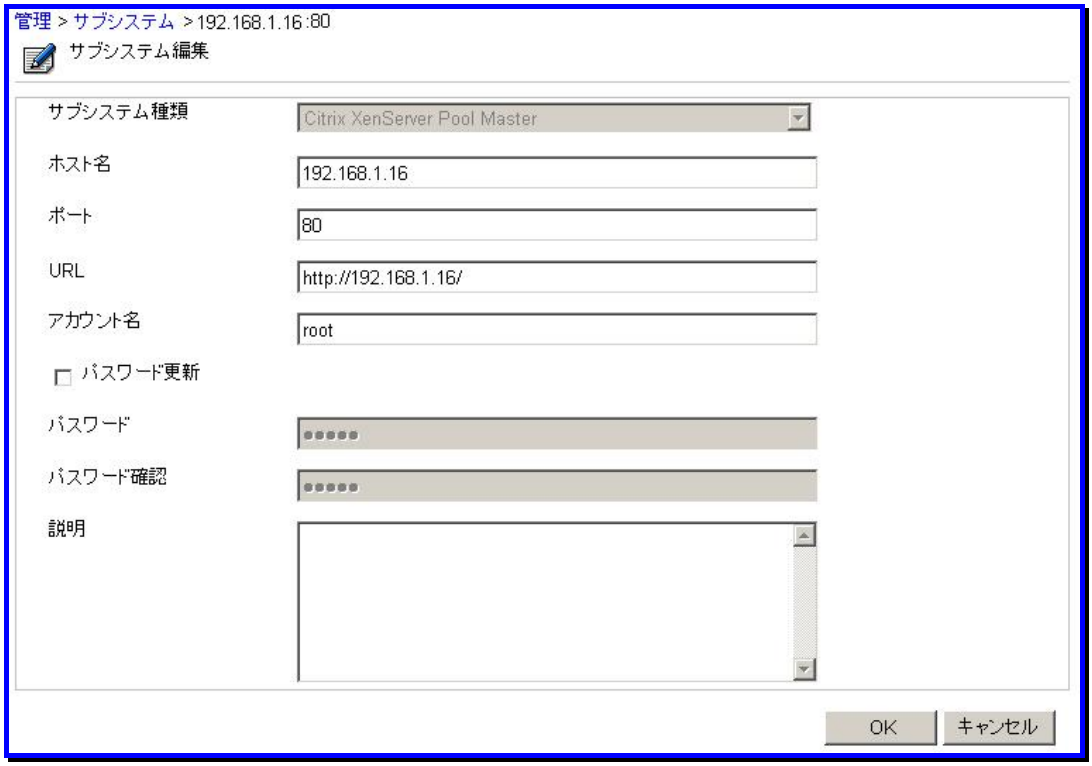


サブシステム編集	
サブシステム種類	サブシステムの種類が表示されます。編集はできません。
ホスト名	VMware vCenter Serverをインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを表示し、編集もできます。URLを入力している場合、自動生成されるため入力を省略できます。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	VMware vCenter Serverとアクセスするポート番号を表示し、編集もできます。省略した場合、既定値 (443) が登録されます。「1～65535」の範囲で設定できます。

URL	VMware vCenter ServerのURLを表示し、編集もできます。ホスト名を入力している場合、自動生成されるため入力を省略できます。
アカウント名	VMware vCenter Serverのアカウント名を表示し、編集もできます。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。VMware vCenter Serverに設定されているパスワードを入力します。
パスワード確認	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11.2. サブシステム編集 (Citrix XenServer Pool Master)

サブシステム (Citrix XenServer Pool Master) を編集します。

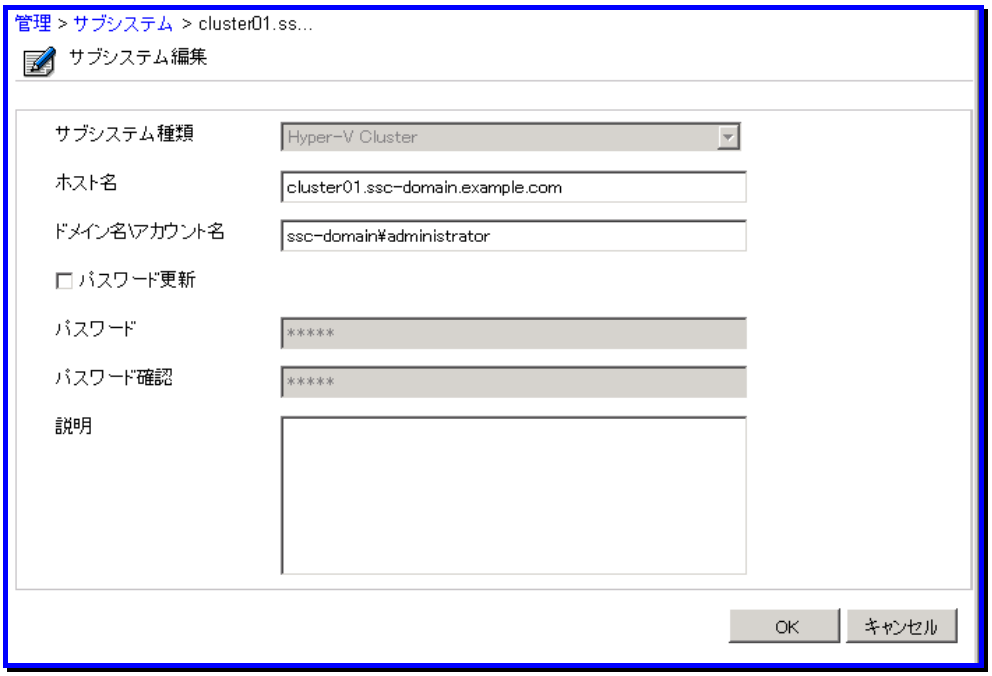


サブシステム編集	
サブシステム種類	サブシステムの種類が表示されます。編集はできません。
ホスト名	XenServer Pool Masterを構築したサーバのホスト名、またはIPアドレスを表示し、編集もできます。URLを入力している場合、自動生成されるため入力を省略できます。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	XenServer Pool Masterとアクセスするポート番号を表示し、編集もできます。省略した場合、既定値 (443) が登録されます。「1～65535」の範囲で設定できます。
URL	XenServer Pool MasterのURLを表示し、編集もできます。ホスト名を入力している場合、自動生成されるため入力を省略できます。
アカウント名	XenServer Pool Masterのアカウント名を表示し、編集もできます。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。XenServer Pool Masterに設定されているパスワードを入力します。

パスワード確認	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11.3. サブシステム編集 (Hyper-V Cluster)

サブシステム (Hyper-V Cluster) を編集します。サブシステムの編集は、Hyper-V クラスタが対象となります。Hyper-V クラスタのノードは編集できません。

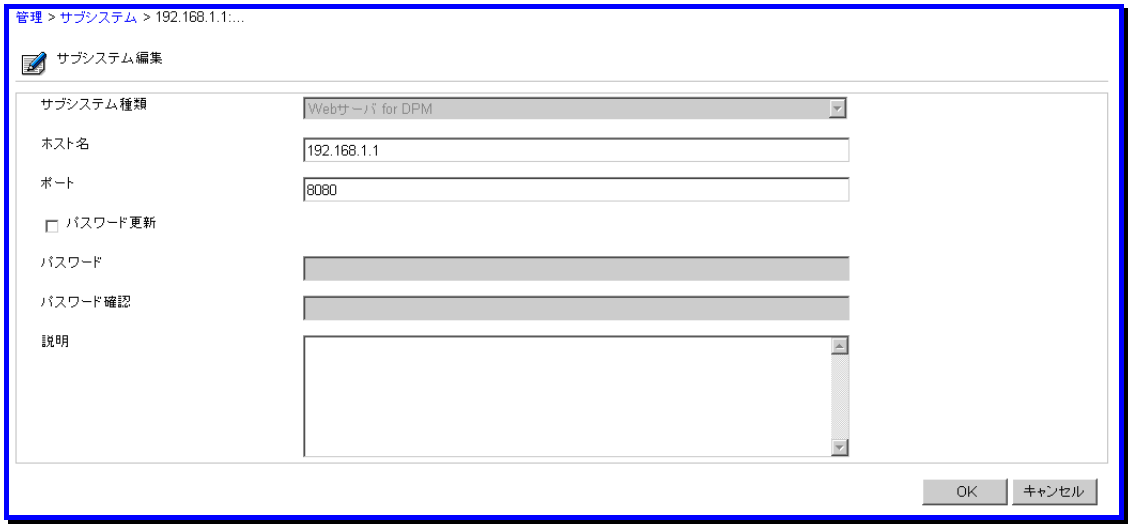


サブシステム編集	
サブシステム種類	Hyper-V Clusterが表示されます。編集はできません。
ホスト名	Hyper-V クラスタのDNS名、またはIPアドレスを表示し、編集もできます。入力できる文字数は63文字以内です。
ドメイン名＼アカウント名	Hyper-V クラスタに接続するためのアカウントのドメイン名とアカウント名を表示し、編集もできます。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。
パスワード確認	確認のため再度同じパスワードを入力します。

説明	サブシステムの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11.4. サブシステム編集 (Webサーバ for DPM)

サブシステム (Web サーバ for DPM) を編集します。

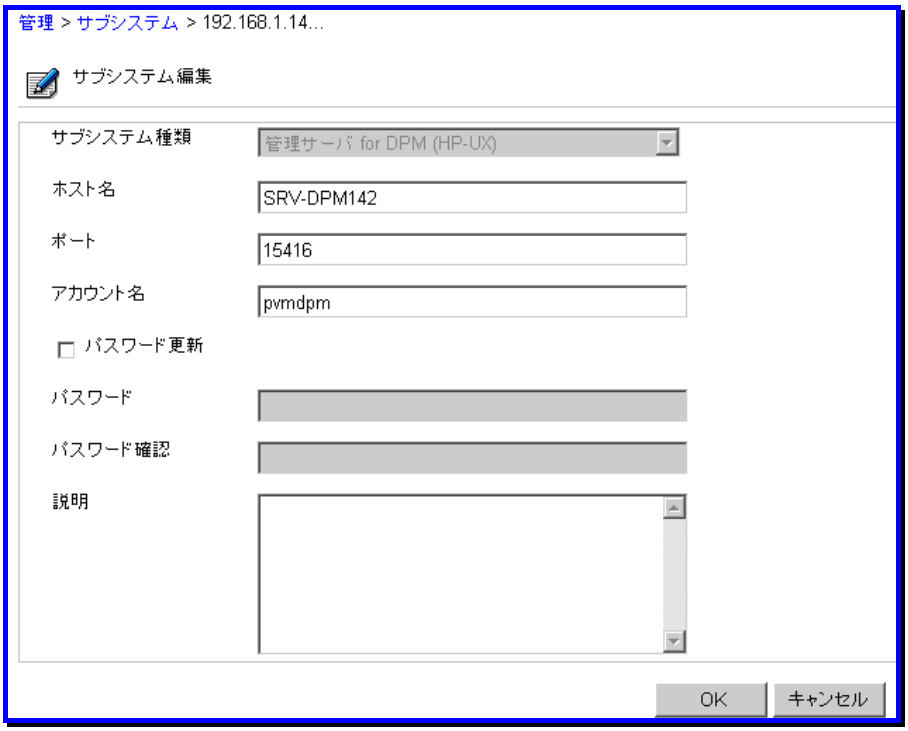


サブシステム編集	
サブシステム種類	サブシステムの種類が表示されます。編集はできません。
ホスト名	Webサーバ for DPMをインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを表示し、編集もできます。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	Webサーバ for DPMとアクセスするポート番号を表示し、編集もできます。ポート番号の入力を省略した場合、既定値の(8080) が登録されます。「1～65535」の範囲で設定できます。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。Webサーバ for DPMに登録されている管理サーバ for DPMのパスワードを入力します。
パスワード確認	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。

[キャンセル]	サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11.5. サブシステム編集 (管理サーバ for DPM (HP-UX))

サブシステム (管理サーバ for DPM (HP-UX)) を編集します。

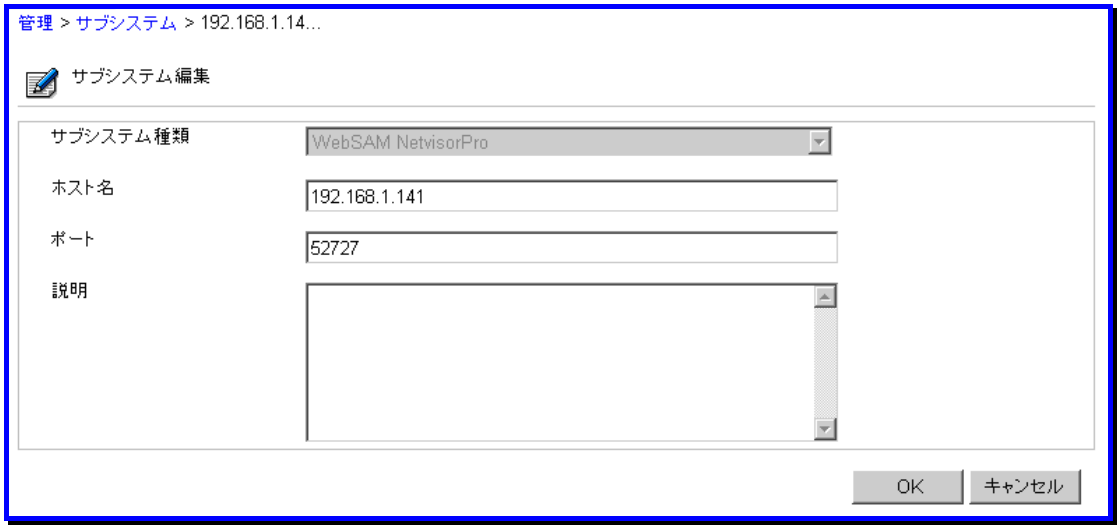


サブシステム編集	
サブシステム種類	サブシステムの種類が表示されます。編集はできません。
ホスト名	管理サーバ for DPM (HP-UX) のホスト名、またはIPアドレスを表示し、編集もできます。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	管理サーバ for DPM (HP-UX) のポート番号を表示し、編集もできます。ポート番号の入力を省略した場合、既定値の (15416) が登録されます。「1～65535」の範囲で設定できます。
アカウント名	管理サーバ for DPM (HP-UX) のアカウント名を表示し、編集もできます。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。管理サーバ for DPM (HP-UX) のパスワードを入力します。
パスワード確認	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。

説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11.6. サブシステム編集 (WebSAM NetvisorPro)

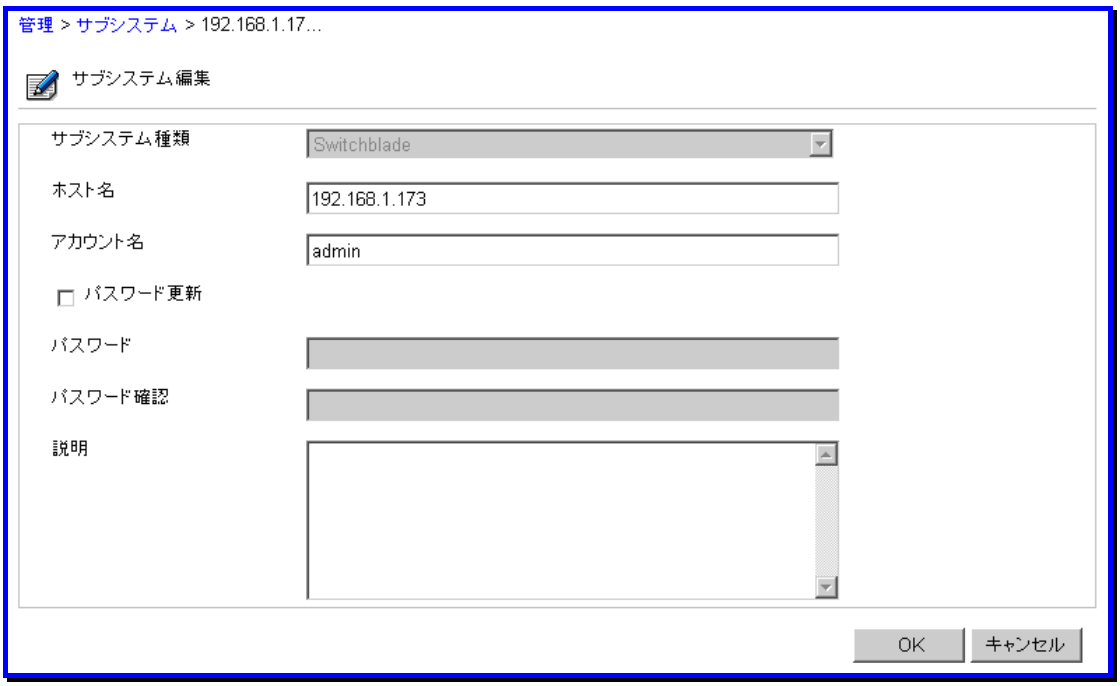
サブシステム (WebSAM NetvisorPro) を編集します。



サブシステム編集	
サブシステム種類	サブシステムの種類が表示されます。編集はできません。
ホスト名	NetvisorProをインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを表示し、編集もできます。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	NetvisorProとアクセスするポートを表示し、編集もできます。既定値は (52727) です。「1～65535」の範囲で設定できます。
説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11.7. サブシステム編集 (スイッチブレード)

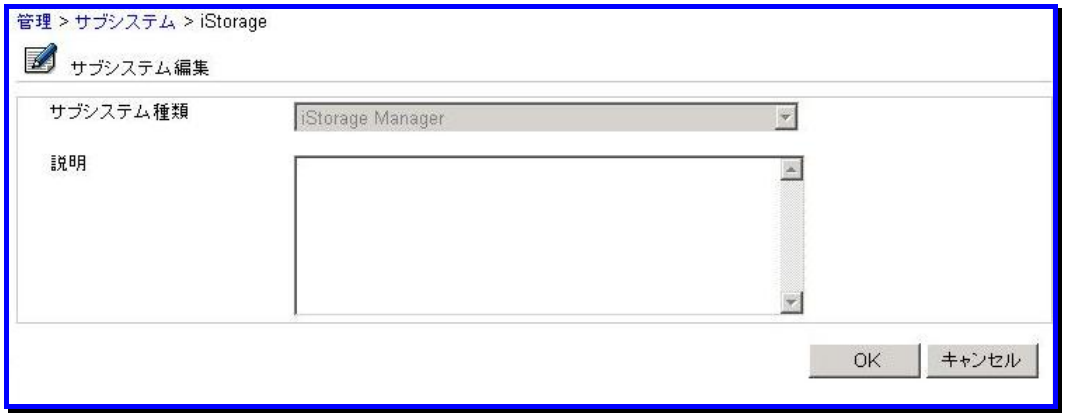
サブシステム (スイッチブレード) を編集します。



サブシステム編集		
	サブシステム種類	サブシステムの種類が表示されます。編集はできません。
	ホスト名	スイッチブレードのIPアドレスを表示し、編集もできます。入力できる文字数は63文字以内です。
	アカウント名	スイッチブレードのアカウント名を表示し、編集もできます。
	パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
	パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。スイッチブレードのパスワードを入力します。
	パスワード確認	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
	説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]		サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11.8. サブシステム編集 (ストレージ管理サーバ)

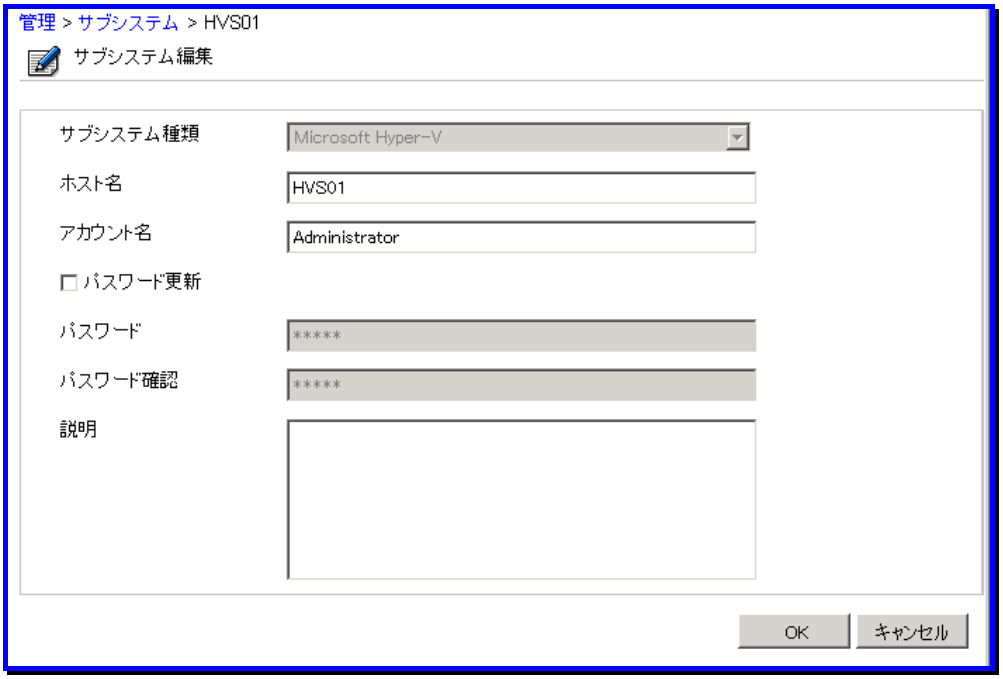
サブシステム (ストレージ管理サーバ) を編集します。



サブシステム編集		
	サブシステム種類	サブシステムの種類を表示します。編集はできません。
	説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]		サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11.9. サブシステム編集 (Hyper-V)

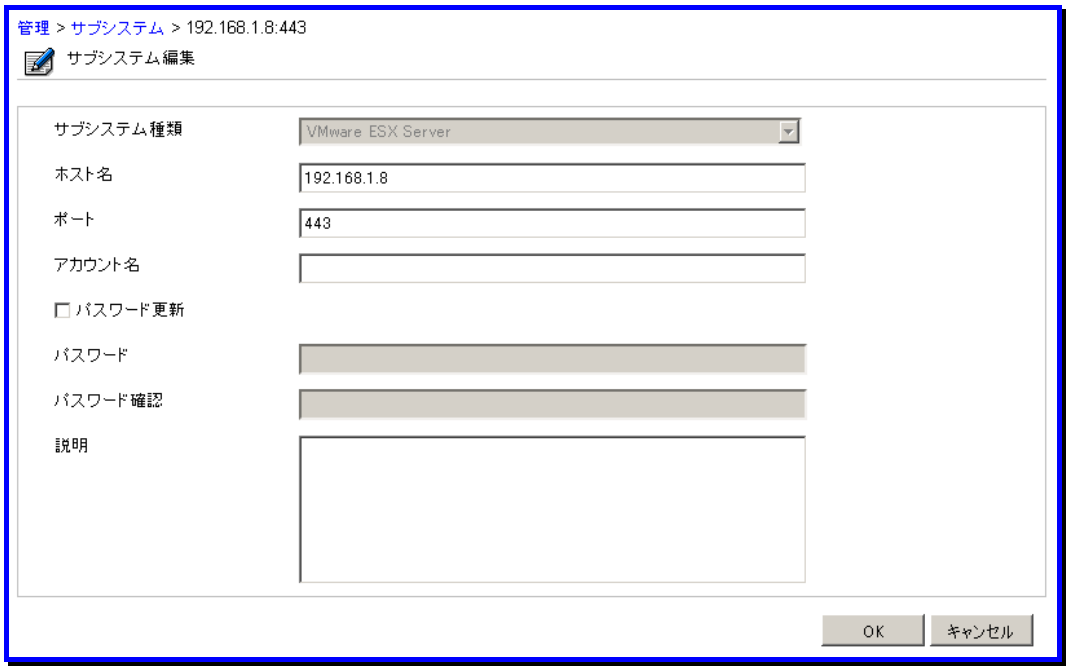
サブシステム (Hyper-V) を編集します。編集できるのは、Hyper-V 単体のものだけで、Hyper-V クラスタのノードは編集できません。



サブシステム編集		
	サブシステム種類	サブシステムの種類を表示します。編集はできません。
	ホスト名	Hyper-Vをインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを表示し、編集もできます。入力できる文字数は63文字以内です。
	アカウント名	Hyper-Vを管理するアカウント名を表示し、編集もできます。
	パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
	パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。Hyper-Vに設定されているパスワードを入力します。
	パスワード確認	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
	説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]		サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11.10. サブシステム編集 (VMware ESX / ESXi)

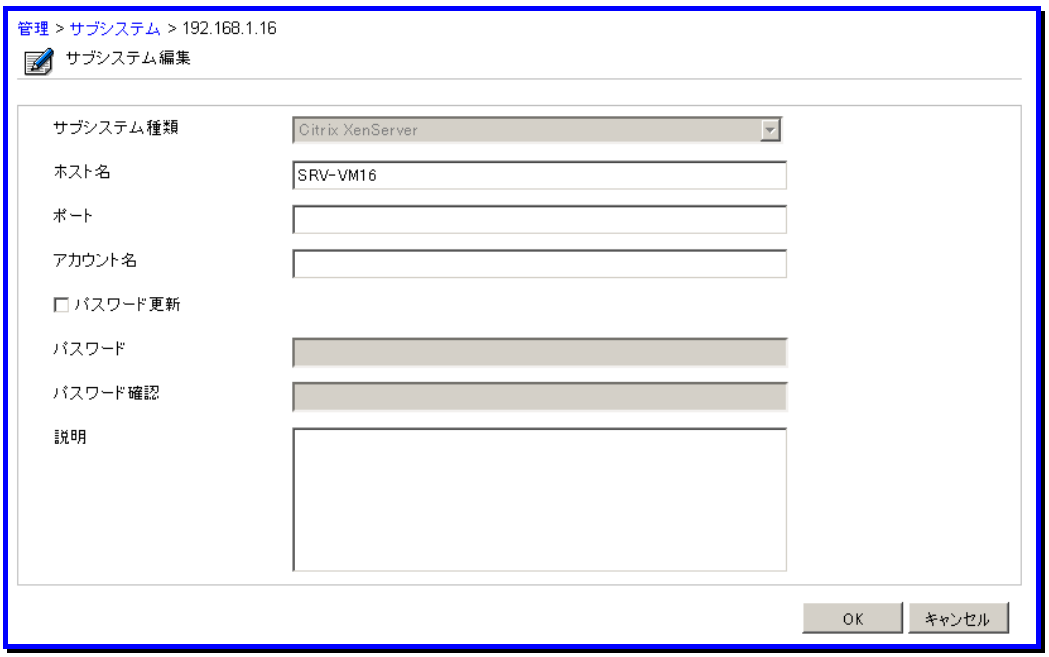
サブシステム (VMware ESX / ESXi) を編集します。



サブシステム編集	
サブシステム種類	サブシステムの種類を表示します。編集はできません。
ホスト名	VMware ESX / ESXiをインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを表示し、編集もできます。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	VMware ESX / ESXiとアクセスするポート番号を表示し、編集もできます。省略した場合、既定値 (443) が登録されます。「1～65535」の範囲で設定できます。
アカウント名	VMware ESX / ESXiのアカウント名を表示し、編集もできます。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。VMware ESX / ESXiに設定されているパスワードを入力します。
パスワード確認	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11.11. サブシステム編集 (Citrix XenServer)

サブシステム (Citrix XenServer) を編集します。



サブシステム編集	
サブシステム種類	サブシステムの種類を表示します。編集はできません。
ホスト名	Citrix XenServerをインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを表示し、編集もできます。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	Citrix XenServerとアクセスするポート番号を表示し、編集もできます。省略した場合、既定値 (443) が登録されます。「1～65535」の範囲で設定できます。
アカウント名	Citrix XenServerのアカウント名を表示し、編集もできます。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。Citrix XenServerに設定されているパスワードを入力します。
パスワード確認	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.12. サブシステム削除

サブシステムを削除します。

[サブシステム一覧] グループボックスから削除するサブシステムのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [削除] をクリックすると、削除されます。

注:

・ マシンを管理しているサブシステムがすべて SigmaSystemCenter から削除されると、マシンがすべて SigmaSystemCenter から削除され、ユーザが設定したネットワーク情報も削除されます。また、削除されるマシンが稼働中の場合、割り当てが解除された上で削除されます。

・ DeploymentManager (Windows / Linux) との連携は、Web サーバ for DPM とその配下の管理サーバ for DPM をまとめて管理しています。サブシステムから管理サーバ for DPM のみ単独で削除できません。削除する場合、"DeploymentManager (Windows / Linux)" を選択し、削除を行ってください。

・ ESXi、および Hyper-V 単体はサブシステムから削除はできません。[仮想] ビューから仮想マシンサーバの削除を行ってください。

・ Hyper-V Cluster の追加で登録された Microsoft Hyper-V のノードもサブシステムから削除はできません。Hyper-V Cluster を削除することにより、削除されます。

2.13. [環境設定] アイコン

SystemProvisioning の環境設定を行います。SystemProvisioning を使用する前に設定しておく必要があります。

[管理] ツリーから [環境設定] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに [全般] タブ、[通報] タブ、[ログ] タブ、[仮想リソース] タブ、[表示] タブ、および [その他] タブで構成された環境設定が表示されます。

2.13.1. [全般] タブ

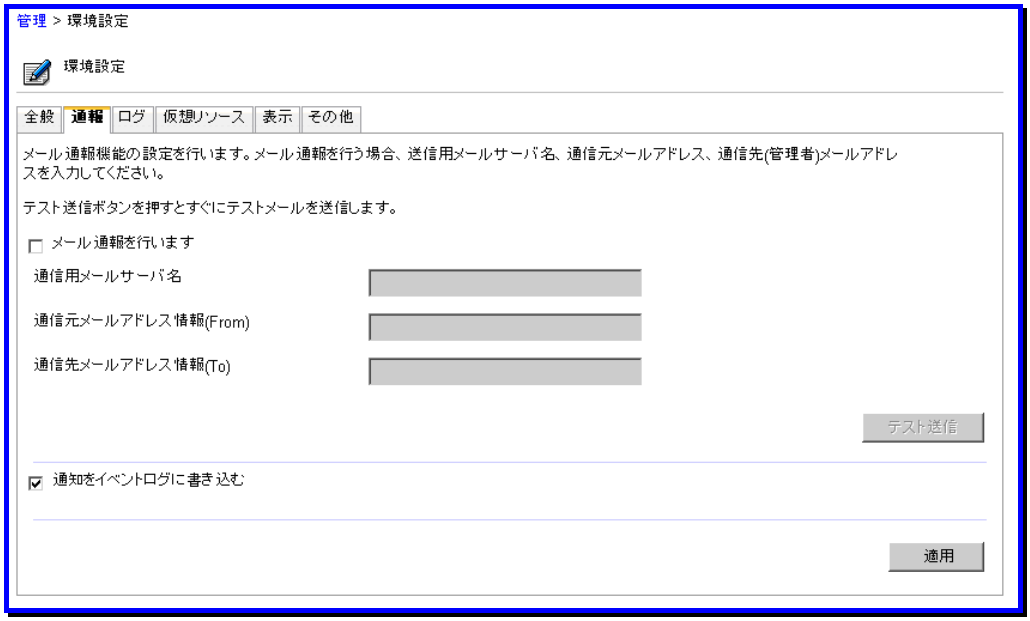
構成情報管理が情報を収集する時間の間隔の設定を行います。

全般		
	情報収集を行う	SystemProvisioningで管理するシステムリソースの構成変更情報の収集を定期的に行う場合、チェックボックスをオンにします。情報収集を行う場合、情報収集間隔を設定する必要があります。
	情報収集間隔 **(入力必須)**	SystemProvisioningで管理するシステムリソースの構成情報を収集する間隔を入力します。「1～3600」の範囲で設定できます。既定値は (30) 分です。
[適用]		環境設定情報を適用します。

2.13.2. [通報] タブ

障害時のメール通報設定を行います。また、SystemProvisioning が受信した通報、および通報によるポリシーの実行結果をイベントログに登録を行います。

メール通報は、ポリシーのアクションで「通報 / E-mail通報、イベントログ出力」が設定されている場合、イベント (障害検出など) の検出、アクションの起動、終了のタイミングでメールが送信されます。ポリシーのアクションの設定については、「2.7.1 対応処置詳細設定」を参照してください。

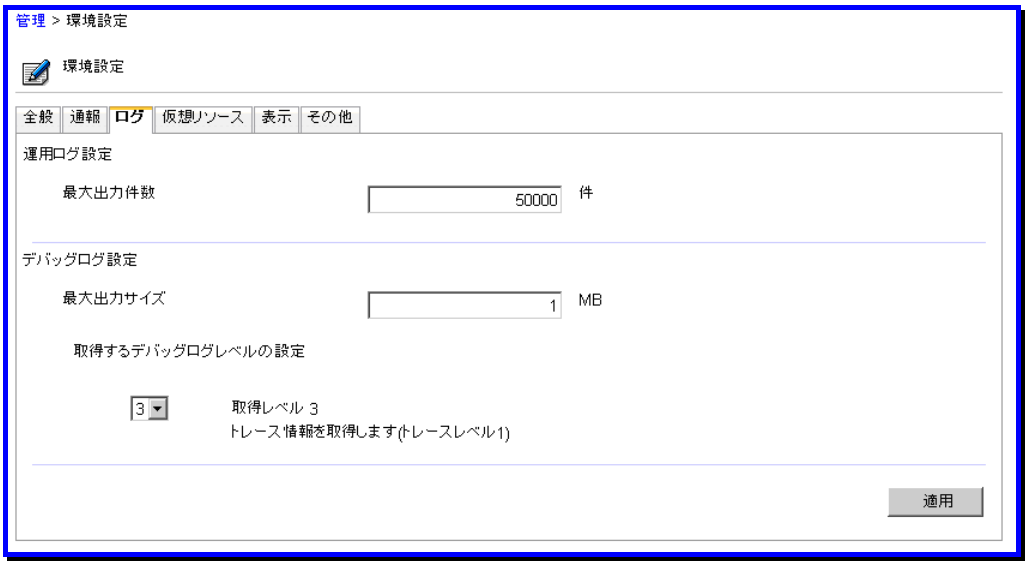


通報		
	メール通報を行います	メール通報機能を利用する場合、チェックボックスをオンにします。
	通信用メールサーバ名	送信用メールサーバ名 (IPアドレス、またはホスト名) を入力します。メールサーバの設定を完了している必要があります。入力できる文字数は63文字以内です。
	通信元メールアドレス情報 (From)	通信元メールアドレスを入力します。
	通信先メールアドレス情報 (To)	通知先メールアドレスを入力します。複数のアドレスを指定する場合、"," で区切って入力します。
	[テスト送信]	設定が正しくされているか確認をするため、設定した通知先メールアドレスにテストメールを送信します。通知先にメールが届かない場合、設定に誤りがないか再度確認して設定してください。

通知をイベントログに書き込む	SystemProvisioningが受信した通報、通報によるポリシー実行結果をイベントログに記録する場合、チェックボックスをオンにします。 また、SystemProvisioning管理サーバ上にESMPRO/ServerAgentをインストールすると、記録されたイベントログの情報をESMPRO/ServerManagerへ通知することができます。 [通知をイベントログに書き込む] チェックボックスをオフにする場合、通報の受信通知、また、それによるアクションの起動通知、結果通知はイベントログに記録されなくなります。
[適用]	環境設定情報を適用します。

2.13.3. [ログ] タブ

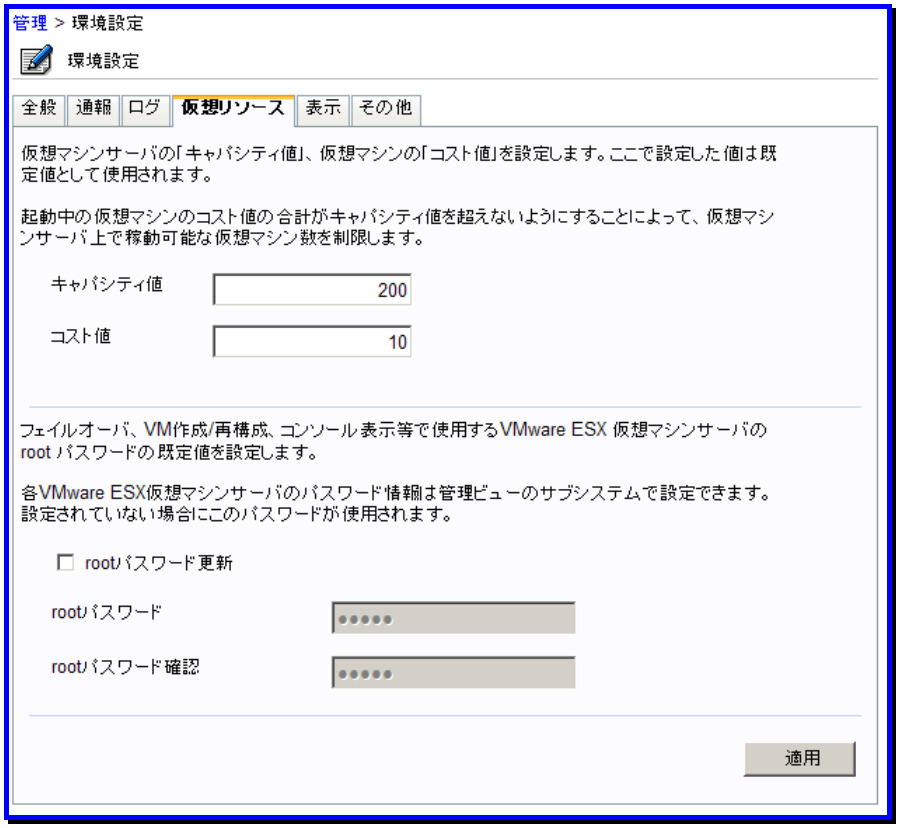
SystemProvisioning の運用ログ、デバッグログに関する設定を行います。



ログ		
	運用ログ設定	
		最大出力件数 運用ログの最大出力件数を入力します。「1000～100000」の範囲で設定できます。
	デバッグログ設定	
		最大出力サイズ デバッグログの最大出力サイズを入力します。「1～16」の範囲で設定できます。
		取得するデバッグログレベルの設定 取得するデバッグログの出力レベル (詳細度) を入力します。「0 (低) ～7 (高)」の範囲で設定できます。
[適用]		環境設定情報を適用します。

2.13.4. [仮想リソース] タブ

1 台の仮想マシンサーバ上で稼動可能な仮想マシンの数を設定するためのキャパシティ値、コスト値の設定を行います。また、ESX の障害復旧 (Failover) 時、仮想マシンの作成 (Disk Clone) 時、仮想マシンの再構成時、スクリーンショットの取得時、マシン診断時に使用される ESX の root パスワードを設定します。ここで指定されたパスワードは、すべての ESX に対する既定値として使用されます。

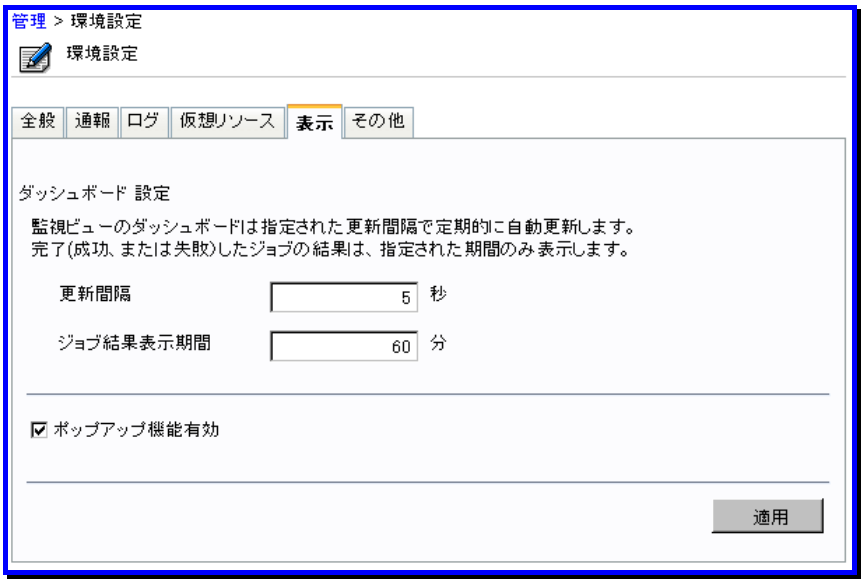


仮想リソース	
キャパシティ値	ポリシー動作にて仮想マシン移動を行う際に参照する仮想マシンサーバのキャパシティ値の初期値を設定します。「1～100000」の範囲で設定できます。既定値は (200) です。
コスト値	ポリシー動作にて仮想マシン移動を行う際に参照する仮想マシンのコスト値の初期値を入力します。「1～1000」の範囲で設定できます。既定値は (10) です。
root パスワード更新	rootパスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
root パスワード	[rootパスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。それぞれの仮想マシンサーバごとに個別にパスワードを設定しない場合は、ここで共通に利用可能なパスワードを設定します。

root パスワード確認	[rootパスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
[適用]	環境設定情報を適用します。

2.13.5. [表示] タブ

ダッシュボードの更新間隔、およびジョブ結果表示期間の設定を行います。



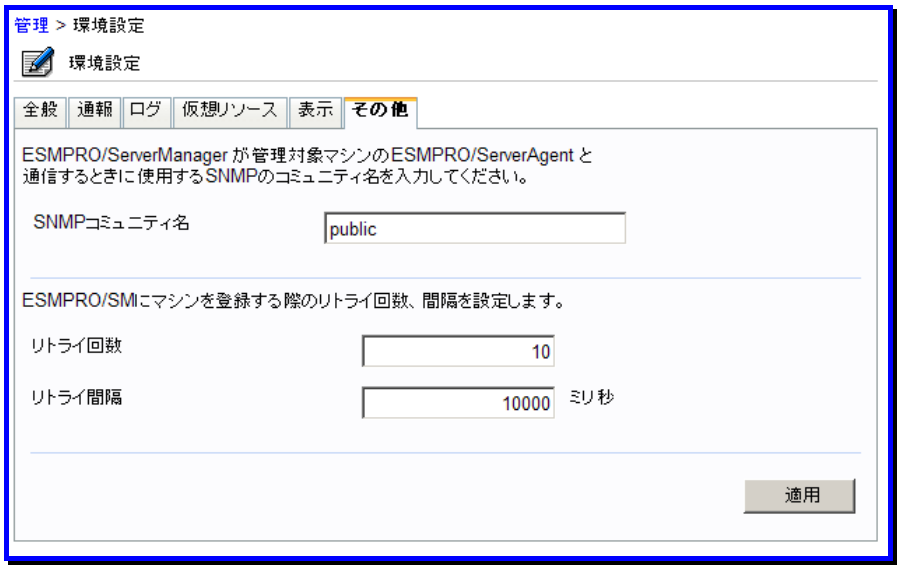
表示	
更新間隔	ダッシュボードの更新間隔を入力します。「5～36000」の範囲で設定できます。既定値は (5) 秒です。
ジョブ結果表示期間	ダッシュボードで表示されるジョブ一覧で、完了したジョブを表示する期間を入力します。既定値は (60) 分です。
ポップアップ機能有効	[ポップアップ機能有効] チェックボックスをオンにすると、ジョブの状態が変更となった際にツリー下部にポップアップメッセージが表示されます。
[適用]	環境設定情報を適用します。

2.13.6. [その他] タブ

ESMPRO/ServerManager と連携するための情報を登録します。

ESMPRO/ServerManager が ESMPRO/ServerAgent と通信するときに使用する SNMP コミュニティの設定を行います。

また、ESMPRO/ServerManager へのマシン登録時のリトライ回数、間隔を変更します。



その他		
	SNMP コミュニティ名	ESMPRO/ServerManagerが管理対象マシンのESMPRO/ServerAgentと通信するときに使用するSNMPコミュニティ名を入力します。既定値は (public) です。入力できる文字数は255文字以内です。
	リトライ回数	ESMPRO/ServerManagerへのマシン登録時のリトライ回数を変更する場合に入力します。既定値は (10) です。
	リトライ間隔	ESMPRO/ServerManagerへのマシン登録時のリトライの間隔を変更する場合に入力します。既定値は (10000) です。
[適用]		環境設定情報を適用します。

3. システムリソース

[リソース] ビューでは、SigmaSystemCenterのマシン、ストレージ、ネットワークデバイス、ソフトウェアの管理の説明をします。

本章で説明する項目は以下の通りです。

- 3.1 [リソース] ビュー 72
- 3.2 [マシン] アイコン 73
- 3.3 リソースグループ 77
- 3.4 リソースグループの詳細情報 77
- 3.5 ラック 82
- 3.6 ラックの詳細情報 82
- 3.7 スマートグループ 87
- 3.8 スマートグループの詳細情報 87
- 3.9 タグクラウド 102
- 3.10 マシンの詳細情報 107
- 3.11 マシンプロパティ設定 112
- 3.12 IPMI情報 127
- 3.13 [ストレージ] アイコン 133
- 3.14 ストレージの詳細情報 134
- 3.15 [ネットワークデバイス] アイコン 142
- 3.16 スイッチの詳細情報 143
- 3.17 ロードバランサの詳細情報 150
- 3.18 [ソフトウェア] アイコン 157
- 3.19 ソフトウェア一覧 158
- 3.20 ソフトウェアの基本情報 159
- 3.21 イメージの詳細情報 184
- 3.22 リソースグループへのメニュー操作 191

3.1. [リソース] ビュー

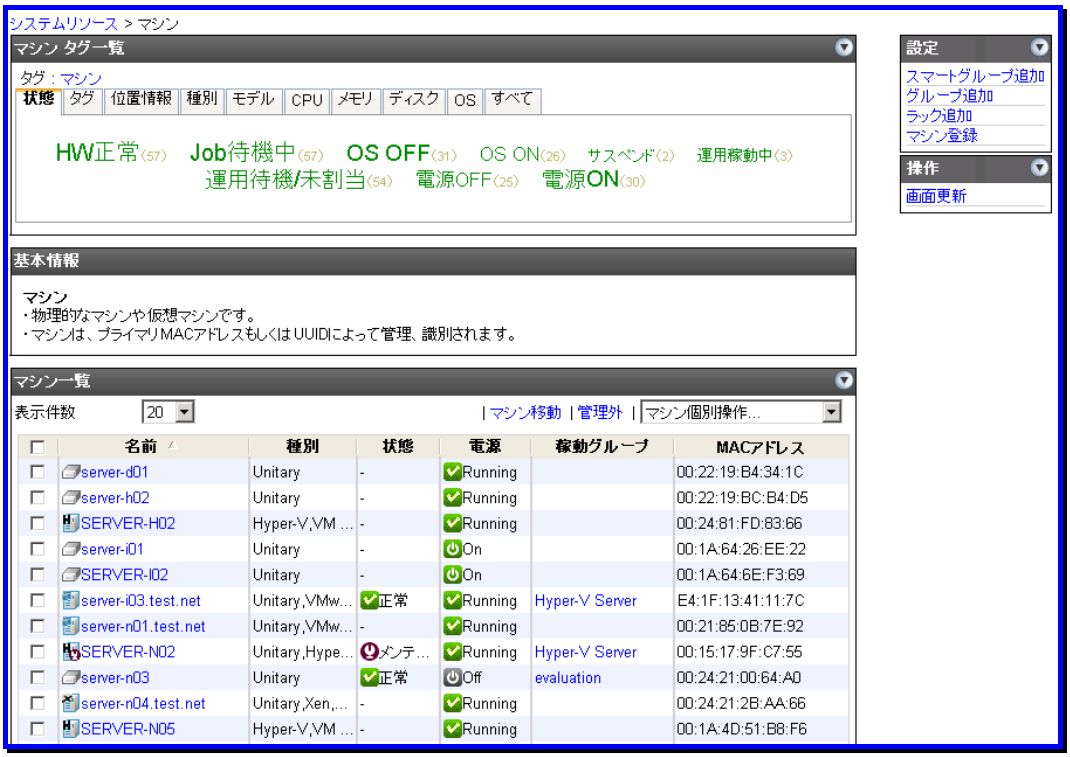
[リソース] ビューでは、マシン、ストレージ、ネットワークデバイス、ソフトウェアなどのリソースの登録、管理を行います。

タイトルバーの [リソース] をクリックすると、[リソース] ビューに切り替わります。

3.2. [マシン] アイコン

[マシン] アイコンは、グループ、ラック、およびマシンの管理を行います。

[システムリソース] ツリーから [マシン] アイコンをクリックすると、マシン タグ一覧、および管理対象マシンの一覧が表示されます。



マシン タグ一覧 (タグクラウド)	
タグ	選択したタグのパンくずリストを表示します。
[状態]	管理対象マシンのタグ情報としてマシンステータス情報を示すタグで分類したタブです。タグの表記は下記の表、マシンステータス情報の状態に対応しています。
[タグ]	管理対象マシンのタグ情報をユーザが設定したタグで分類したタブです。
[位置情報]	管理対象マシンのタグ情報をマシンの位置情報で分類したタブです。
[種別]	管理対象マシンのタグ情報をマシンの種別情報で分類したタブです。
[モデル]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのモデル情報で分類したタブです。
[CPU]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのCPU種別で分類したタブです。

	[メモリ]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのメモリサイズで分類したタブです。
	[ディスク]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのディスク使用量で分類したタブです。
	[OS]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのOS名で分類したタブです。
	[すべて]	管理対象マシンのタグ情報を分類せずに表示します。
マシン一覧		
	名前	管理対象マシンのマシン名を表示します。
	種別	管理対象マシンの種別を表示します。
	状態	管理対象マシンの状態を表示します。
	電源	管理対象マシンの電源状態を表示します。
	稼動グループ	管理対象マシンが稼動している運用グループを表示します。
	MAC アドレス	管理対象マシンのMACアドレスを表示します。
	マシン移動	マシンの移動を行います。「リソース移動」ウィンドウに遷移します。
	管理外	選択した管理対象マシンを管理外にします。
	(プルダウンボックス)	選択した管理対象マシンの個別操作を行います。 起動 / 再起動 / サスペンド / シャットダウン / マシン収集 / 再構成 / 指定ソフトウェア配布 / ジョブ実行結果のリセット / 故障状態の解除 / メンテナンスオン / メンテナンスオフの中から操作を選択できます。

◆ タグ表記

タグ名	**マシンステータス情報**	**状態**
電源状態不明	電源状態	ー
電源OFF		Off
電源ON		On
サスペンド		サスペンド
運用待機/未割当	稼動ステータス	Off
運用稼働中		On
OS状態不明	OSステータス	ー
OS OFF		Off
OS ON		On
HW 正常	ハードウェアステータス	ー、および正常
HW 故障		故障
HW 機能低下		一部故障

Job 待機中	実行ステータス	ー
Job 実行中		処理中
Job 異常終了		異常終了

3.2.1. マシン移動 (マシン一括移動)

マシンの移動を行います。

マシンをリソースグループ、またはラックの配下に移動します。

[システムリソース] ツリーから [マシン] アイコンをクリックし、メインウィンドウに基本情報、および管理対象マシンの一覧を表示します。[マシン一覧] グループボックスから移動する対象のマシンを選択し、[アクション] メニューから [マシン移動] をクリックすると、メインウィンドウに「リソース移動」が表示されます。マシンの移動先、および移動するマシンを選択し、[OK] をクリックするとマシンが移動します。

リソース移動		
	移動元	移動元のリソースグループ、またはラックを表示します。
	移動先	ツリーより移動先のリソースグループ、またはラックを選択します。
	移動マシン一覧	
	名前	マシン名を表示します。
	種別	マシンの種別を表示します。

状態	マシンの状態を表示します。
電源	マシンの電源状態を表示します。
稼動グループ	マシンの稼動しているグループを表示します。
MAC アドレス	マシンのMACアドレスを表示します。
[OK]	マシン移動情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	マシン移動情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

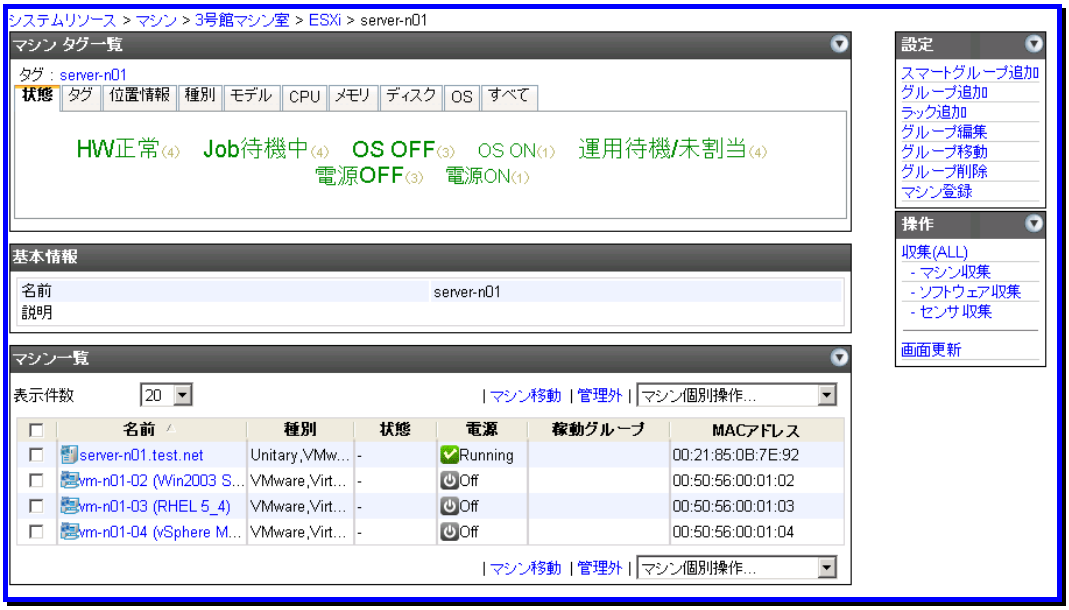
3.3. リソースグループ

システムリソースで管理するマシンをグループごとに分類、管理します。

3.4. リソースグループの詳細情報

リソースグループの詳細情報を表示します。

[システムリソース] ツリーからリソースグループのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにリソースグループの詳細情報が表示されます。



マシン タグ一覧 (タグクラウド)	
タグ	選択したタグのパンくずリストを表示します。
[状態]	管理対象マシンのタグ情報のマシンステータス情報を示すタグで分類したタブです。タグの表記は下記の表、マシンステータス情報の状態に対応しています。
[タグ]	管理対象マシンのタグ情報をユーザが設定したタグで分類したタブです。
[位置情報]	管理対象マシンのタグ情報をマシンの位置情報で分類したタブです。
[種別]	管理対象マシンのタグ情報をマシンの種別情報で分類したタブです。
[モデル]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのモデル情報で分類したタブです。
[CPU]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのCPU種別で分類したタブです。

	[メモリ]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのメモリサイズで分類したタブです。
	[ディスク]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのディスク使用量で分類したタブです。
	[OS]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのOS名で分類したタブです。
	[すべて]	管理対象マシンのタグ情報を分類せずに表示します。
基本情報		
	名前	リソースグループ名を表示します。
	説明	リソースグループの説明を表示します。
マシン一覧		
	名前	リソースグループに登録されている管理対象マシンのマシン名を表示します。
	種別	管理対象マシンの種別を表示します。
	状態	管理対象マシンの状態を表示します。
	電源	管理対象マシンの電源状態を表示します。
	稼動グループ	管理対象マシンが稼動している運用グループを表示します。
	MAC アドレス	管理対象マシンのMACアドレスを表示します。
	マシン移動	選択した管理対象マシンを移動します。「マシン移動」ウィンドウに遷移します。
	管理外	選択した管理対象マシンを管理外にします。
	(プルダウンボックス)	選択した管理対象マシンの個別操作を行います。 起動 / 再起動 / サスペンド / シャットダウン / マシン収集 / 再構成 / 指定ソフトウェア配布 / ジョブ実行結果のリセット / 故障状態の解除 / メンテナンスオン / メンテナンスオフの中から操作を選択できます。

◆ タグ表記

タグ名	**マシンステータス情報**	**状態**
電源状態不明	電源状態	ー
電源OFF		Off
電源ON		On
サスペンド		サスペンド
運用待機 / 未割当	稼動ステータス	Off
運用稼働中		On
OS状態不明	OSステータス	ー
OS OFF		Off
OS ON		On

HW 正常	ハードウェアステータス	ー、および正常
HW 故障		故障
HW 機能低下		一部故障
Job待機中	実行ステータス	ー
Job実行中		処理中
Job異常終了		異常終了

3.4.1. リソースグループ追加

マシン登録を行う前に管理対象マシンが所属するリソースグループの追加を行います。

[マシン] アイコンの直下、またはリソースグループの配下にリソースグループを追加できます。

[設定] メニューから [グループ追加] をクリックすると、メインウィンドウに「グループ追加」が表示されます。リソースグループ情報を入力し、[OK] をクリックするとリソースグループが追加されます。

注: 同一の階層では、グループ、およびラックの名前は重複できません。

グループ追加	
名前 **(入力必須)**	リソースグループ名を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。以下の記号は使用できません。 ¥ / : . ; * ? " < > |
説明	リソースグループの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	リソースグループ追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	リソースグループ追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.4.2. リソースグループ編集

リソースグループの編集を行います。

[システムリソース] ツリーから編集するリソースグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウにリソースグループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [グループ編集] をクリックすると、メインウィンドウに「グループ編集」が表示されます。リソースグループ情報を編集し、[OK] をクリックするとリソースグループ情報が変更されます。

注: 同一の階層では、グループ、およびラックの名前は重複できません。

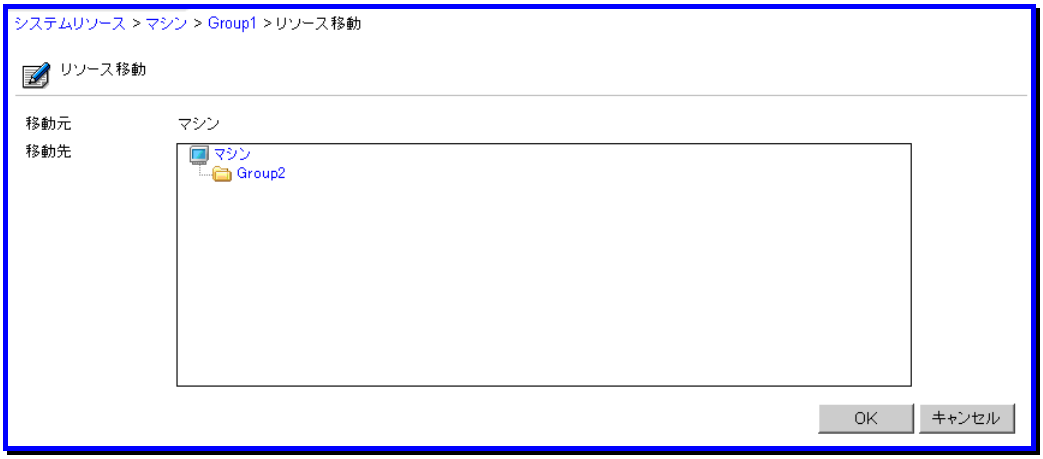
グループ編集	
名前 **(入力必須)**	リソースグループ名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。以下の記号は使用できません。 ¥ / : . ; * ? " < > |
説明	リソースグループの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	リソースグループ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	リソースグループ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.4.3. リソースグループ移動

リソースグループの移動を行います。

リソースグループを [マシン] アイコンの直下、または他のリソースグループの配下に移動します。

[システムリソース] ツリーから移動を行うリソースグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウにリソースグループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [グループ移動] をクリックすると、メインウィンドウに「リソース移動」が表示されます。リソースグループの移動先を選択し、[OK] をクリックするとリソースグループが移動します。



リソース移動		
	移動元	移動元の親リソースグループ名、または "マシン" を表示します。
	移動先	ツリーから移動先のリソースグループ、または [マシン] アイコンを選択します。
[OK]		リソースグループ移動情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		リソースグループ移動情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.4.4. リソースグループ削除

リソースグループを削除します。

[システムリソース] ツリーから削除を行うリソースグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウにリソースグループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [グループ削除] をクリックすると、削除されます。

3.5. ラック

システムリソースで管理するマシンをラックごとに分類、管理します。

3.6. ラックの詳細情報

ラックの詳細情報を表示します。

[システムリソース] ツリーからラックのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにラックの詳細情報が表示されます。

マシン タグ一覧 (タグクラウド)	
タグ	選択したタグのパンくずリストを表示します。
[状態]	管理対象マシンのタグ情報のマシンステータス情報を示すタグで分類したタブです。タグの表記は下記の表、マシンステータス情報の状態に対応しています。
[タグ]	管理対象マシンのタグ情報をユーザが設定したタグで分類したタブです
[位置情報]	管理対象マシンのタグ情報をマシンの位置情報で分類したタブです。
[種別]	管理対象マシンのタグ情報をマシンの種別情報で分類したタブです。
[モデル]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのモデル情報で分類したタブです。
[CPU]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのCPU種別で分類したタブです。
[メモリ]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのメモリサイズで分類したタブです。

	[ディスク]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのディスク使用量で分類したタブです。
	[OS]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのOS名で分類したタブです。
	[すべて]	管理対象マシンのタグ情報を分類せずに表示します。
基本情報		
	名前	ラック名を表示します。
	説明	ラックの説明を表示します。
マシン一覧		
	名前	ラックに登録されている管理対象マシンのマシン名を表示します。
	種別	管理対象マシンの種別を表示します。
	状態	管理対象マシンの状態を表示します。
	電源	管理対象マシンの電源状態を表示します。
	稼動グループ	管理対象マシンが稼動している運用グループを表示します。
	MAC アドレス	管理対象マシンのMACアドレスを表示します。
	マシン移動	選択した管理対象マシンを移動します。「マシン移動」ウィンドウに遷移します。
	管理外	選択した管理対象マシンを管理外にします。
	(プルダウンボックス)	選択した管理対象マシンの個別操作を行います。 起動 / 再起動 / サスペンド / シャットダウン / マシン収集 / 指定ソフトウェア配布 / ジョブ実行結果のリセット / 故障状態の解除 / メンテナンスオン / メンテナンスオフの中から操作を選択できます。

◆ タグ表記

タグ名	**マシンステータス情報**	**状態**
電源状態不明	電源状態	ー
電源OFF		Off
電源ON		On
サスペンド		サスペンド
運用待機 / 未割当	稼動ステータス	Off
運用稼働中		On
OS状態不明	OSステータス	ー
OS OFF		Off
OS ON		On
HW 正常	ハードウェアステータス	ー、および正常
HW 故障		故障

HW 機能低下		一部故障
Job待機中	実行ステータス	ー
Job実行中		処理中
Job異常終了		異常終了

3.6.1. ラック追加

マシン登録を行う前に管理対象マシンが所属するラックの追加を行います。

[マシン] アイコンの直下、またはリソースグループの配下にラックを追加できます。

[設定] メニューから [ラック追加] をクリックすると、メインウィンドウに「ラック追加」が表示されます。ラック情報を入力し、[OK] をクリックするとラックが追加されます。

注: 同一の階層では、グループ、およびラックの名前は重複できません。

ラック追加	
名前 **(入力必須)**	ラック名を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。以下の記号は使用できません。 ¥ / : . ; * ? " < > |
説明	ラックの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	ラック追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	ラック追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.6.2. ラック編集

ラックの編集を行います。

[システムリソース] ツリーから編集を行うラックのアイコンをクリックし、メインウィンドウにラックの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [ラック編集] をクリックすると、メインウィンドウに「ラック編集」が表示されます。ラック情報を編集し、[OK] をクリックするとラック情報が変更されます。

注: 同一の階層では、グループ、およびラックの名前は重複できません。

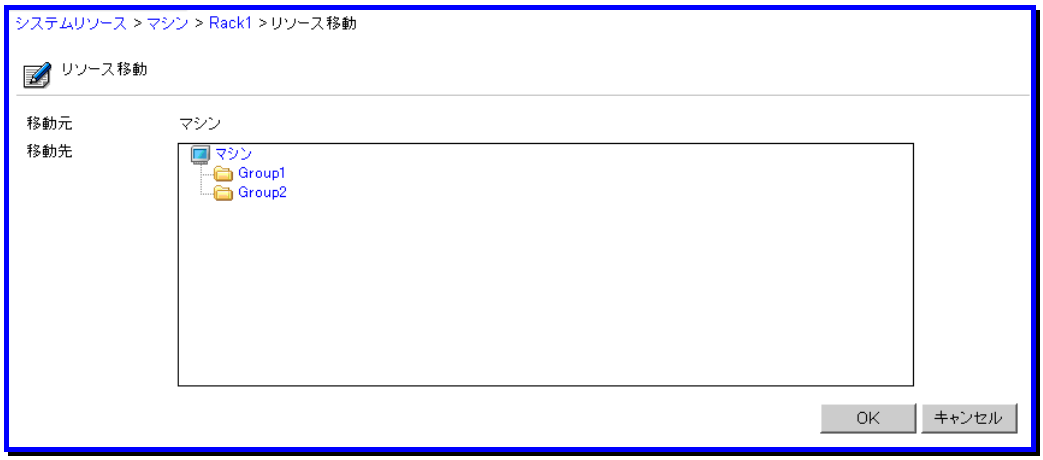
ラック編集		
	名前 **(入力必須)**	ラック名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。以下の記号は使用できません。 ¥ / : . ; * ? " < > |
	説明	ラックの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]		ラック編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		ラック編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.6.3. ラック移動

ラックの移動を行います。

ラックを他のリソースグループの配下、または [マシン] アイコンの直下に移動します。

[システムリソース] ツリーから移動を行うラックのアイコンをクリックし、メインウィンドウにラックの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [ラック移動] をクリックすると、メインウィンドウに「リソース移動」が表示されます。ラックの移動先を選択し、[OK] をクリックするとラックが移動します。



リソース移動		
	移動元	移動元の親リソースグループ名、または "マシン" を表示します。
	移動先	ツリーから移動先のリソースグループ、または [マシン] アイコンを選択します。
[OK]		ラック移動情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		ラック移動情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.6.4. ラック削除

ラックを削除します。

[システムリソース] ツリーから削除を行うラックのアイコンをクリックし、メインウィンドウにラックの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [ラック削除] をクリックすると、削除されます。

3.7. スマートグループ

システムリソースで管理するマシンを設定した条件で絞り込み、管理することができます。

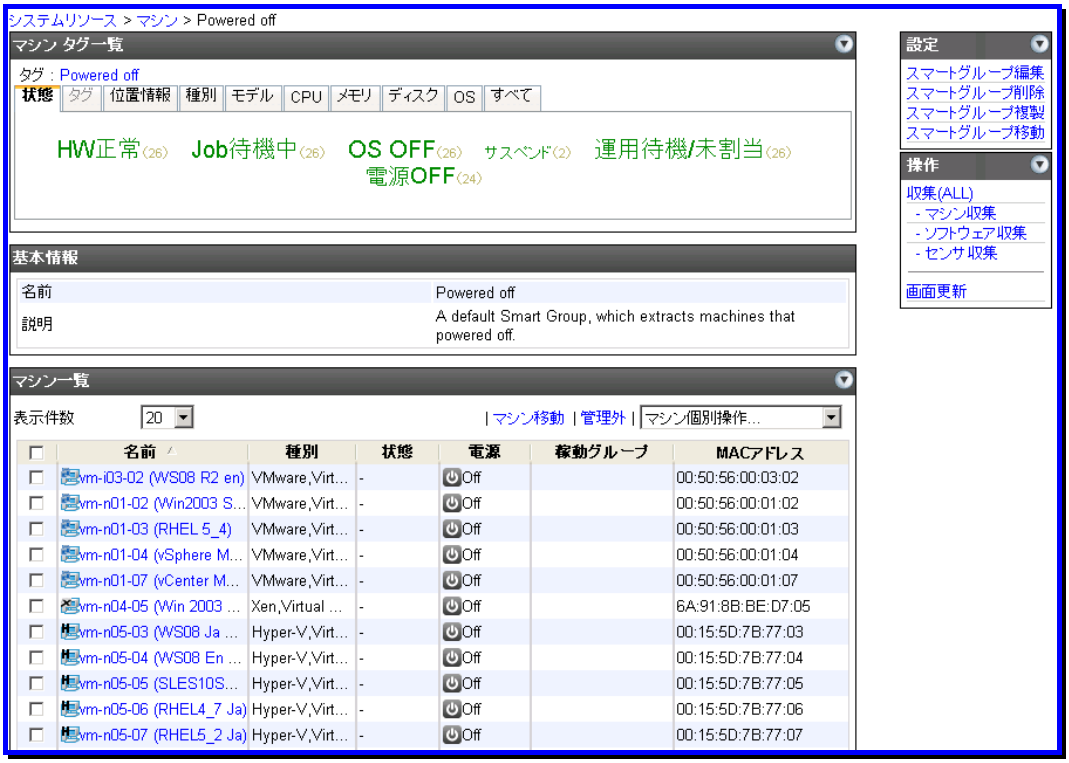
[システムリソース] ツリーから [スマートグループ] を選択すると、スマートグループに設定した条件に適合するマシンの情報がメインウィンドウに表示されます。

ツリービュー上の アイコンはスマートグループであることを示します。

3.8. スマートグループの詳細情報

スマートグループの詳細情報を表示します。

[システムリソース] ツリーから [スマートグループ] アイコンをクリックすると、メインウィンドウにスマートグループの詳細情報が表示されます。



マシン タグ一覧 (タグクラウド)	
タグ	選択したタグのパンくずリストを表示します。
[状態]	管理対象マシンのタグ情報のマシンステータス情報を示すタグで分類したタブです。タグの表記は下記の表、マシンステータス情報の状態に対応しています。
[タグ]	管理対象マシンのタグ情報をユーザが設定したタグで分類したタブです

	[位置情報]	管理対象マシンのタグ情報をマシンの位置情報で分類したタブです。
	[種別]	管理対象マシンのタグ情報をマシンの種別情報で分類したタブです。
	[モデル]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのモデル情報で分類したタブです。
	[CPU]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのCPU種別で分類したタブです。
	[メモリ]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのメモリサイズで分類したタブです。
	[ディスク]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのディスク使用量で分類したタブです。
	[OS]	管理対象マシンのタグ情報をマシンのOS名で分類したタブです。
	[すべて]	管理対象マシンのタグ情報を分類せずに表示します。
基本情報		
	名前	スマートグループ名を表示します。
	説明	スマートグループの説明を表示します。
マシン一覧		
	名前	管理対象マシンのマシン名を表示します。
	種別	管理対象マシンの種別を表示します。
	状態	管理対象マシンの状態を表示します。
	電源	管理対象マシンの電源状態を表示します。
	稼動グループ	管理対象マシンが稼動している運用グループを表示します。
	MAC アドレス	管理対象マシンのMACアドレスを表示します。
	マシン移動	マシンの移動を行います。「リソース移動」ウィンドウに遷移します。
	管理外	選択した管理対象マシンを管理外にします。
	(プルダウンボックス)	選択した管理対象マシンの個別操作を行います。 起動 / 再起動 / サスペンド / シャットダウン / マシン収集 / 指定ソフトウェア配布 / ジョブ実行結果のリセット / 故障状態の解除 / メンテナンスオン / メンテナンスオフの中から操作を選択できます。

◆ タグ表記

タグ名	マシンステータス情報	状態
電源状態不明	電源状態	－
電源OFF		Off
電源ON		On
サスペンド		サスペンド
運用待機 / 未割当	稼動ステータス	Off
運用稼働中		On
OS状態不明	OSステータス	－
OS OFF		Off
OS ON		On
HW 正常	ハードウェアステータス	－、および正常
HW 故障		故障
HW 機能低下		一部故障
Job待機中	実行ステータス	－
Job実行中		処理中
Job異常終了		異常終了

3.8.1. スマートグループ追加

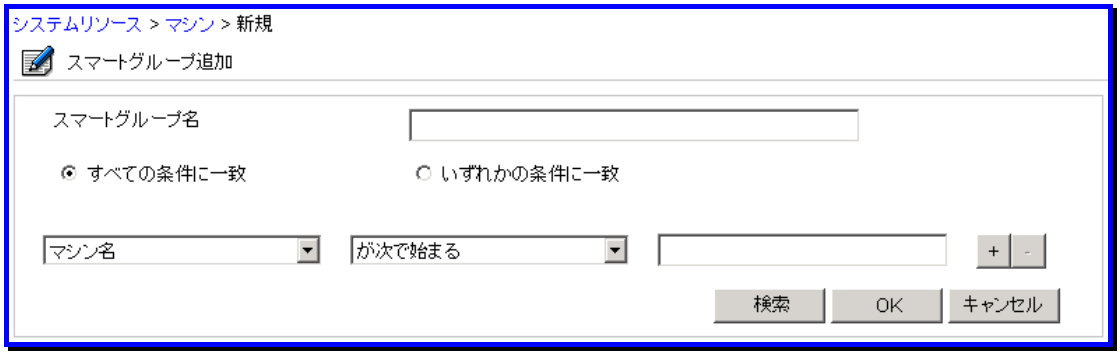
管理対象マシンを絞り込むための条件を設定して、スマートグループの追加を行います。

[マシン] アイコンの直下、またはリソースグループの配下にスマートグループを追加できます。

スマートグループを追加する場所を指定するために、[システムリソース] ツリーから [マシン] アイコン、またはリソースグループのアイコンを選択します。スマートグループを追加したアイコンの配下のマシンは、スマートグループによる絞り込みの対象となります。

[設定] メニューから [スマートグループ追加] をクリックすると、メインウィンドウに「スマートグループ追加」が表示されます。

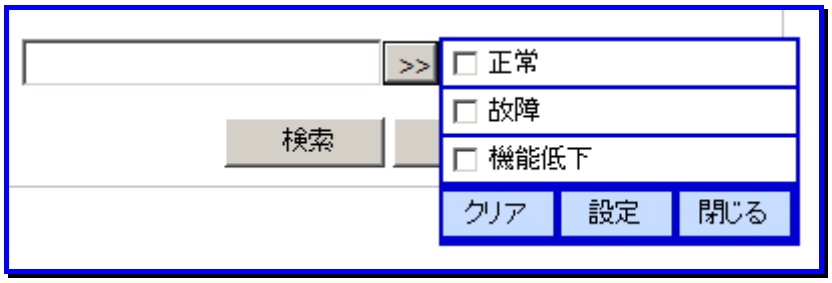
注: 同一の階層では、スマートグループ、リソースグループ、およびラックの名前は重複できません。また、スマートグループ配下に、リソースグループ、およびスマートグループを作成することはできません。



スマートグループ追加	
スマートグループ名 **(入力必須)**	作成するスマートグループ名を指定します。入力できる文字数は100文字以内です。また、以下の記号は使用できません。 ¥ / : . ; * ? " < > |
すべての条件に一致	複数の条件を設定し、すべての条件を満たすマシンを絞り込みたい場合に選択します。条件と条件はANDで結合されます。
いずれかの条件に一致	複数の条件を設定し、いずれかの条件を満たすマシンを絞り込みたい場合に選択します。条件と条件はORで結合されます。
検索条件 (左)	条件の対象を選択します。
検索条件 (真中)	条件を選択します。
検索条件 (右)	条件となる値を指定します。
[＋]	条件を追加します。
[－]	条件を削除します。ただし、条件が1つしかない場合には、削除できません。
[検索]	編集中の条件でマシンの検索を行います。
[OK]	スマートグループ追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	スマートグループ追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

◆ 検索条件 (右)

条件となる値を入力します。条件の対象によっては、下記のようにポップアップリストから選択する形式となります。



[>>]	ポップアップリストを展開します。
[クリア]	ポップアップリストでチェックした値をクリアします。
[設定]	ポップアップリストでチェックした値を適用します。
[閉じる]	ポップアップリストを閉じます。

◆ 選択できる条件の対象、条件、値の組み合わせ

選択できる条件の対象、条件、値の組み合わせは以下のようになっています。

対象	条件	値
マシン名	が次で始まる。	任意の値を入力します。
	が次で終わる。	
	が次を含む。	
	が次を含まない。	
	が次と一致する。	
	が次と一致しない。	
	が未設定。	入力できません。
	が設定済み。	
モデル名	が次で始まる。	任意の値を入力します。
	が次で終わる。	
	が次を含む。	
	が次を含まない。	
	が次と一致する。	
	が次と一致しない。	
	が未設定。	入力できません。
	が設定済み。	
マシンタグ	が次で始まる。	任意の値を入力します。

対象	条件	値
	が次で終わる。	
	が次を含む。	
	が次を含まない。	
	が次と一致する。	
	が次と一致しない。	
	が未設定。	入力できません。
	が設定済み。	
マシン種別	が次のいずれかに一致する。	Unitary
		Blade
		Virtual Machine
		VM Server
		Hyper-V
		Xen
		VMware
	が次のいずれとも一致しない。	Unitary
		Blade
		Virtual Machine
		VM Server
		Hyper-V
		Xen
		VMware
CPU種別	が次で始まる。	任意の値を入力します。
	が次で終わる。	
	が次を含む。	
	が次を含まない。	
	が次と一致する。	
	が次と一致しない。	
メモリサイズ (GByte)	が次と一致する。	整数値をGByte単位で 0-99999の値を指定します。 例) 0を指定したとき、0-999MBのメモリを搭載したマシンが検出されます。 1を指定したとき、1-1.99GBのメモリを搭載したマシンが検出されます。
	が次以上。	整数値をGByte単位で 0-99999の値を指定します。

対象	条件	値
	が次以下。	整数値をGByte単位で 0-99999の値を指定します。 ただし、境界となる値は含まれず、「未満」と同じ動作となります。
位置情報	が次で始まる。	任意の値を入力します。
	が次で終わる。	
	が次を含む。	
	が次を含まない。	
	が次と一致する。	
	が次と一致しない。	
	が未設定。	入力できません。
	が設定済み。	
電源状態	が次のいずれかに一致する。	不明
		Off
		On
		サスペンド
	が次のいずれとも一致しない。	不明
		Off
		On
		サスペンド
稼動ステータス	が次のいずれかに一致する。	運用待機 / 未割当
		運用稼働中
	が次のいずれとも一致しない。	運用待機 / 未割当
		運用稼働中
OSステータス	が次のいずれかに一致する。	不明
		Off
		On
	が次のいずれとも一致しない。	不明
		Off
		On
ハードウェアステータス	が次のいずれかに一致する。	正常
		故障
		機能低下
	が次のいずれとも一致しない。	正常
		故障
		機能低下

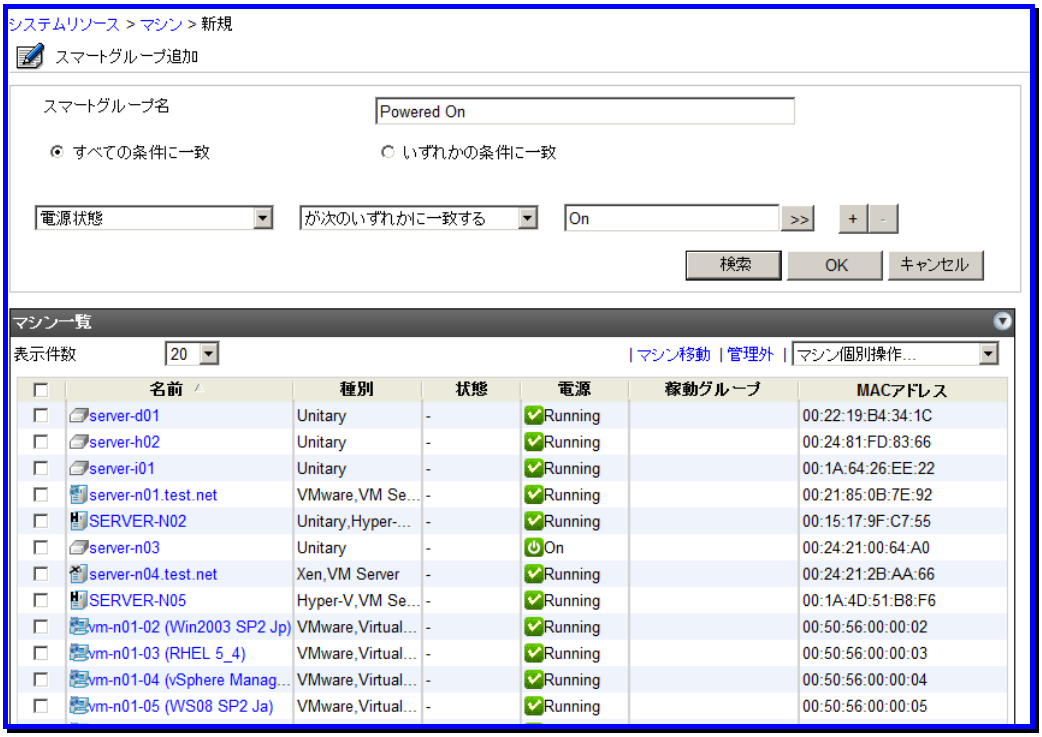
対象	条件	値
実行ステータス	が次のいずれかに一致する。	待機中
		処理中
		異常終了
	が次のいずれとも一致しない。	待機中
		処理中
		異常終了
ポリシー状態	が次のいずれかに一致する。	不明
		全て無効
		一部有効
		全て有効
	が次のいずれとも一致しない。	不明
		全て無効
		一部有効
		全て有効
メンテナンスステータス	が次のいずれかに一致する。	Off
		On
	が次のいずれとも一致しない。	Off
		On
センサー異常状態	が次のいずれかに一致する。	警告または異常 (警告、異常を報告しているセンサーが対象となります。)
		異常
IPMIの接続状態	が次のいずれかに一致する。	接続未確認
		接続可能
		接続不可
		認証失敗
		無効
	が次のいずれとも一致しない。	接続未確認
		接続可能
		接続不可
		認証失敗
		無効
ホストタグ	が次で始まる。	任意の値を入力します。
	が次で終わる。	
	が次を含む。	
	が次を含まない。	

対象	条件	値
	が次と一致する。	
	が次と一致しない。	
	が未設定。	入力できません。
	が設定済み。	
OS名	が次で始まる。	任意の値を入力します。
	が次で終わる。	
	が次を含む。	
	が次を含まない。	
	が次と一致する。	
	が次と一致しない。	
	が未設定。	入力できません。
	が設定済み。	
ディスクタイプ	が次のいずれかに一致する。	可変
		固定
		差分
	が次のいずれとも一致しない。	可変
		固定
		差分
VM作成方法	が次のいずれかに一致する。	Full Clone
		HW Profile Clone
		Differential Clone
		Disk Clone
	が次のいずれとも一致しない。	Full Clone
		HW Profile Clone
		Differential Clone
		Disk Clone
ディスク用途	が次のいずれかに一致する。	システムディスク
		Datastore
		拡張ディスク
	が次のいずれとも一致しない。	システムディスク
		Datastore
		拡張ディスク
システムディスク使用量 (GByte)	が次以上。	整数値をGByte単位で「0～2097152」の値を指定します。

対象	条件	値
	が次以下。	整数値をGByte単位で「0～2097152」の値を指定します。 ただし、境界となる値は含まれず、「未満」と同じ動作となります。
差分ディスク使用量(GByte)	が次以上。	整数値をGByte単位で「0～2097152」の値を指定します。 小数点第1位まで指定可能です。
	が次以下。	整数値をGByte単位で「0～2097152」の値を指定します。 小数点第1位まで指定可能です。 ただし、境界となる値は含まれず、「未満」と同じ動作となります。
データストア使用量(GByte)	が次以上。	整数値をGByte単位で「0～2097152」の値を指定します。
	が次以下。	整数値をGByte単位で「0～2097152」の値を指定します。 ただし、境界となる値は含まれず、「未満」と同じ動作となります。
拡張ディスク使用量(GByte)	が次以上。	整数値をGByte単位で「0～2097152」の値を指定します。
	が次以下。	整数値をGByte単位で「0～2097152」の値を指定します。 ただし、境界となる値は含まれず、「未満」と同じ動作となります。

[検索] をクリックすると、検索結果がマシン一覧で表示されます。

検索対象となるマシンは、[システムリソース] ツリーで選択されている [マシン] アイコン、またはそのスマートグループが属するリソースグループの配下にあるマシンになります。



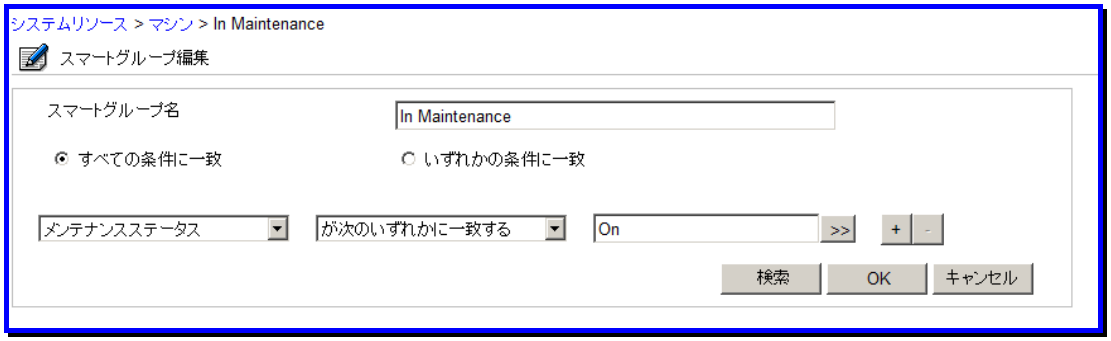
マシン一覧	
名前	管理対象マシンのマシン名を表示します。
種別	管理対象マシンの種別を表示します。
状態	管理対象マシンの状態を表示します。
電源	管理対象マシンの電源状態を表示します。
稼動グループ	管理対象マシンが稼動している運用グループを表示します。
MAC アドレス	管理対象マシンのMACアドレスを表示します。
マシン移動	マシンの移動を行います。「リソース移動」ウィンドウに遷移します。
管理外	選択した管理対象マシンを管理外にします。
(プルダウンボックス)	選択した管理対象マシンの個別操作を行います。 起動 / 再起動 / サスペンド / シャットダウン / マシン収集 / 指定ソフトウェア配布 / ジョブ実行結果のリセット / 故障状態の解除 / メンテナンスオン / メンテナンスオフの中から操作を選択できます。

3.8.2. スマートグループ編集

スマートグループの編集を行います。

[システムリソース] ツリーから編集を行うスマートグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウにスマートグループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [スマートグループ編集] をクリックすると、メインウィンドウに「スマートグループ編集」が表示されます。スマートグループ情報を編集し、[OK] をクリックするとスマートグループ情報が変更されます。

関連情報: スマートグループの条件、および検索については、「3.8.1 スマートグループ追加」を参照してください。



スマートグループ編集	
スマートグループ名 (入力必須)	スマートグループ名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。また、以下の記号は使用できません。 ¥ / : . ; * ? " < > |
すべての条件に一致	複数の条件を設定し、すべての条件を満たすマシンを絞り込みたい場合に選択します。条件と条件はANDで結合されます。
いずれかの条件に一致	複数の条件を設定し、いずれかの条件を満たすマシンを絞り込みたい場合に選択します。条件と条件はORで結合されます。
検索条件 (左)	条件の対象を表示し、選択もできます。
検索条件 (真中)	条件を表示し、選択もできます。
検索条件 (右)	条件となる値を表示し、編集もできます。
[+]	条件を追加します。
[−]	条件を削除します。ただし、条件が1つしかない場合には、削除できません。
[検索]	編集中の条件でマシンの検索を行います。
[OK]	スマートグループ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。

[キャンセル]	スマートグループ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

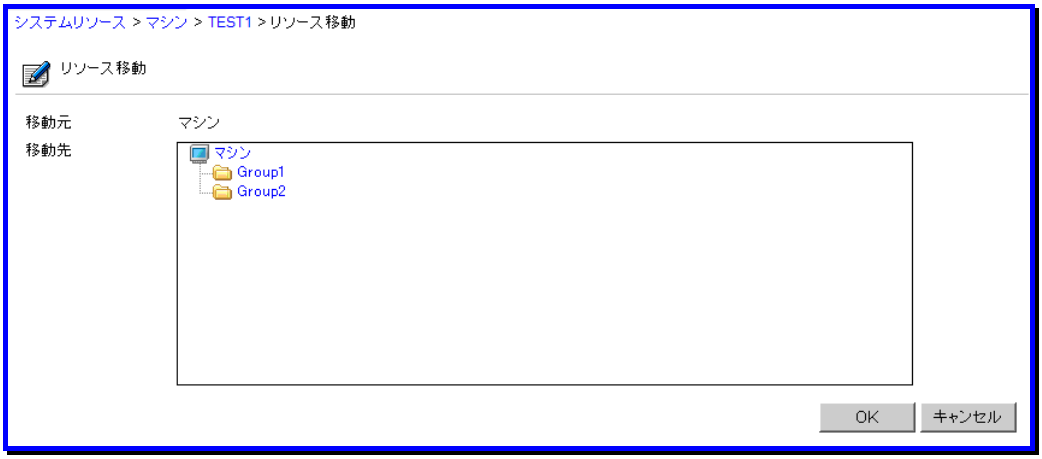
3.8.3. スマートグループ移動

スマートグループの移動を行います。

スマートグループを他のリソースグループ、または [マシン] アイコンの直下に移動します。

[システムリソース] ツリーから移動を行うスマートグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウにスマートグループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [スマートグループ移動] をクリックすると、メインウィンドウに「リソース移動」が表示されます。スマートグループの移動先を選択し、[OK] をクリックするとスマートグループが移動します。

移動先で選んだアイコンの配下のマシンは、移動したスマートグループによる絞り込みの対象となります。



リソース移動	
移動元	移動元の親リソースグループ名、または "マシン" を表示します。
移動先	ツリーから移動先のリソースグループ、または [マシン] アイコンを選択します。
[OK]	スマートグループ移動情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	スマートグループ移動情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.8.4. スマートグループ削除

スマートグループを削除します。

[システムリソース] ツリーから削除を行うスマートグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウにスマートグループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [スマートグループ削除] をクリックすると、削除されます。

3.8.5. スマートグループ複製

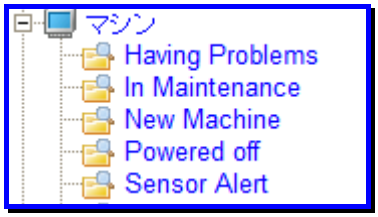
スマートグループを複製します。

[システムリソース] ツリーから複製を行うスマートグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウにスマートグループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [スマートグループ複製] をクリックすると、同じ階層に複製されたスマートグループが作成されます。

複製されたスマートグループの名前には、初期値として "<元となるスマートグループの名前>[n]" (n=2,3,4…)が設定されます。

3.8.6. 既定のスマートグループ

SigmaSystemCenter をインストールした初期の状態では、[マシン] 直下には以下の既定のスマートグループが用意されています。



既定のスマートグループも編集、削除、複製、移動の操作が可能ですが、New Machine と Sensor Alert はいずれの操作もできません。

各スマートグループの機能と絞り込み条件の設定は以下の通りです。

スマートグループ名	機能	絞込み条件の設定		
		対象	条件	値
Having Problems	問題を抱えているマシンを抽出します。	いずれかの条件に一致 (OR)		
		ハードウェアステータス	が次のいずれかに一致する	故障、 機能低下
		実行ステータス	が次のいずれかに一致する	異常終了
In Maintenance	メンテナンス状態のマシンを抽出します。	メンテナンスステータス	が次のいずれかの一致する	On
New Machine	新規に自動登録されたマシンを抽出します。	ー		
Powered off	電源OFF状態のマシンを抽出します。	電源状態	が次のいずれかに一致する	Off、 サスペンド
Sensor Alert	警告を発しているセンサーを持つマシンを抽出します。	ー		

3.9. タグクラウド

管理対象としているマシンの様々な情報を分類し、視覚的に表示します。

管理対象となるマシンが多数存在する場合、管理のために参照する情報も膨大になります。タグクラウドではユーザが設定したタグだけでなく、マシンの状態、ハードウェアや OS の情報などの管理に必要な情報も "タグ" として扱います。そして、これらの "タグ" をより探しやすく、より見つけやすく分類、表示します。

また、タグクラウドでは表示される "タグ" を持つマシンを容易に絞り込むこともできます。

[システムリソース] ツリーから [マシン] アイコンをクリックすると、メインウィンドウの[マシン タグ一覧] グループボックスにタグクラウドにはすべての管理対象マシンが持つタグが分類、表示されます。

[システムリソース] ツリーから リソースグループ、スマートグループ、およびラック アイコンをクリックすると、メインウィンドウの[マシン タグ一覧]にタグクラウドには選択したアイコンの直下にある管理対象マシンが持つタグが分類、表示されます。

3.9.1. タグの文字の色とサイズについて

タグの文字のサイズと、色については以下の意味を持っています。

◆ 文字のサイズ
タグを持つマシンの数が多いほど文字のサイズを大きく表示します。

◆ 文字の色

文字の色	意味	タグの元となる情報
青	資産に関連する情報を示します。	種別、モデル、CPU種別、メモリサイズ、ディスク使用量、OS名
青緑	位置情報、ユーザが設定したタグを示します。	位置情報、タグ
緑	正常状態であることを示します。	電源状態、稼働ステータス、OSステータス、ハードウェアステータス
紫	異常状態であることを示します。	電源状態、稼働ステータス、OSステータス、ハードウェアステータス

3.9.2. タブ

タグクラウドでは、すべてのタグを表示したり、タグを絞り込んで表示したりすることが可能です。

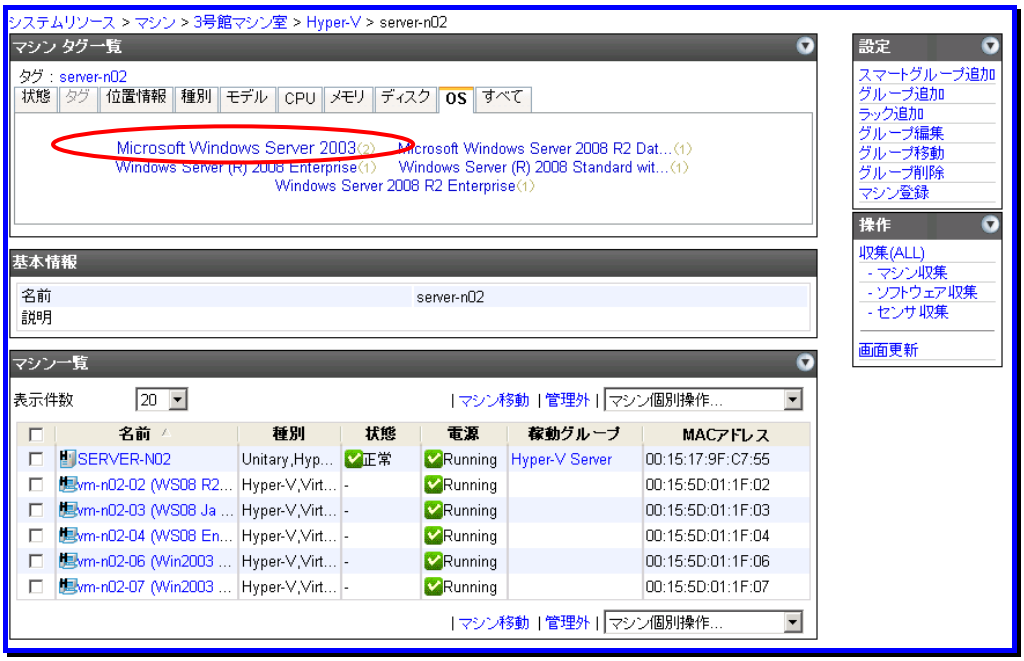
タグの表示を選択するには、タグクラウドの上側にあるタブをクリックして選択します。以下の表で各タブについて説明します。

タブ名	表示されるタグ	絞り込むタグの元となる情報
状態	マシンの状態を示すタグ	電源状態、稼働ステータス、 OSステータス、ハードウェアステータス
タグ	ユーザがマシンに設定したタグ	タグ
位置情報	マシンの位置情報を示すタグ	位置情報
種別	マシンの種別を示すタグ	種別
モデル	マシンのモデルを示すタグ	モデル
CPU	マシンのCPU種別を示すタグ	CPU種別
メモリ	マシンのメモリサイズを示すタグ	メモリサイズ
ディスク	マシンのディスク使用量を示すタグ	システムディスク使用量、差分ディスク使用量、データストア使用量、拡張ディスク使用量
OS	マシンのOSを示すタグ	OS名
すべて	すべて（絞り込みを行わない）	電源状態、稼働ステータス、 OSステータス、ハードウェアステータス、 タグ、位置情報、種別、モデル、 CPU種別、メモリサイズ、システムディスク使用量、差分ディスク使用量、データストア使用量、拡張ディスク使用量、OS名

3.9.3. タグクラウドによる絞込み

[システムリソース] ツリーからマシン、ラック、リソースグループ、もしくはスマートグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに [マシン タグ一覧] グループボックスを表示させます。

[マシン タグ一覧] グループボックスから、タブをクリックして表示するタグを選択します。



[マシン タグ一覧] グループボックスからタグをクリックすることで、そのタグを持つ管理対象マシンのみがマシン一覧に表示されます。

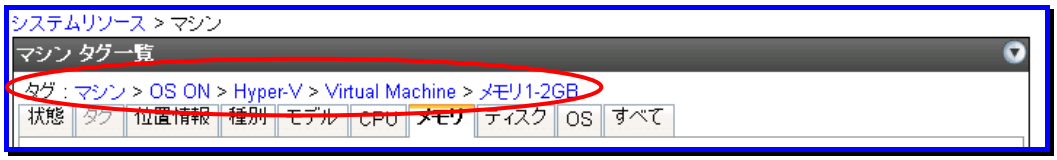
絞り込みを行った状態でタグをクリックしていくことで、さらに絞り込みを行うことが可能です。
絞り込んだ履歴は、タグクラウドの "タグ:" の右側にパンくずリストとして表示されます。

3.9.4. タグクラウドによる絞込みの解除

タグクラウドによる絞り込みは画面を遷移しても記憶されており、次の操作を行うことで解除されます。

- パンくずリストの一番左のマシン、リソースグループ名、スマートグループ名、ラック名をクリックする
- SigmaSystemCenter をログアウトする

また、パンくずリストの任意のタグ名をクリックした場合は、クリックしたタグで絞り込んだ時点まで戻ることができます。



3.10. マシンの詳細情報

マシンの詳細情報を表示します。

[システムリソース] ツリーから対象のマシンのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにマシンの詳細情報が表示されます。ただし、マシンの種別が仮想マシンの場合、[Out-of-Band Management 接続情報] グループボックスは表示されません。

基本情報	
名前	マシン名を表示します。
UUID	マシンのUUIDを表示します。
MAC アドレス	マシンのMACアドレスを表示します。
モデル名	マシンが所属しているモデル名を表示します。
種別	マシンの種別を表示します。
位置情報	マシンの位置情報を表示します。
説明	マシンの説明を表示します。

Out-of-Band Management 接続情報	
接続先	Out-of-Band Managementの接続先IPアドレスを表示します。
ユーザ名	Out-of-Band Managementで使用するユーザ (アカウント) 名を表示します。
接続状態	Out-of-Band Managementの接続状態を表示します。
更新日時	Out-of-Band Managementの接続状態の更新日時を表示します。
マシンステータス情報	
サマリステータス	マシンのサマリステータスを表示します。
電源状態	マシンの電源状態を表示します。
稼動ステータス	マシンの稼動ステータスを表示します。
OS ステータス	マシンのOSステータスを表示します。
ハードウェアステータス	マシンのハードウェアステータスを表示します。
実行ステータス	マシンの実行ステータスを表示します。
ポリシー状態	マシンのポリシー状態を表示します。
管理状態	マシンの管理状態を表示します。
メンテナンスステータス	マシンのメンテナンスステータスを表示します。
ハードウェア情報	
CPU 種別	マシンのCPU種別を表示します。
プロセッサ	マシンのプロセッサを表示します。
メモリサイズ	マシンのメモリサイズを表示します。
運用情報	
稼動グループ	マシンを運用している稼動グループを表示します。
ホスト名	マシンを運用しているホスト名を表示します。
OS 名	マシンを運用しているOS名を表示します。
リソースプール	マシンを運用しているリソースプールを表示します。
仮想パス	マシンの種別が仮想マシン、もしくは仮想マシンサーバの場合に仮想パスを表示します。

3.10.1. マシン登録 (マシン登録時にリソースグループ、もしくはラックを指定する場合)

管理外のマシンをリソースグループ、もしくはラックに登録します。また、マシン登録時にリソースグループ、もしくはラックを指定します。

[システムリソース] ツリーから [マシン] アイコンをクリックし、メインウィンドウに基本情報、および [マシン一覧] グループボックスを表示します。[設定] メニューから [マシン登録] をクリックし、メインウィンドウに「マシン登録」が表示されます。登録するマシン、および登録先を選択し、[OK] をクリックするとマシンが登録されます。

マシン登録		
	管理外のマシン一覧	
	名前	管理外のマシン名を表示します。
	種別	管理外のマシンの種別を表示します。
	状態	管理外のマシンの状態を表示します。
	電源	管理外のマシンの電源状態を表示します。
	MAC アドレス	管理外のマシンのMACアドレスを表示します。
	UUID	管理外のマシンのUUIDを表示します。
	親のリソース	親のリソースを選択します。
[OK]		マシン登録情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		マシン登録情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.10.2. マシン登録 (リソースグループ、もしくはラックを指定して登録する場合)

リソースグループ、もしくはラックにマシンを登録します。マシンを登録する際にリソースグループ、もしくはラックを指定します。

[システムリソース] ツリーからマシン登録を行うリソースグループ、もしくはラックのアイコンをクリックし、メインウィンドウにリソースグループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [マシン登録] をクリックすると、メインウィンドウに「マシン登録」が表示されます。登録するマシンを選択し、[OK] をクリックするとマシンが登録されます。

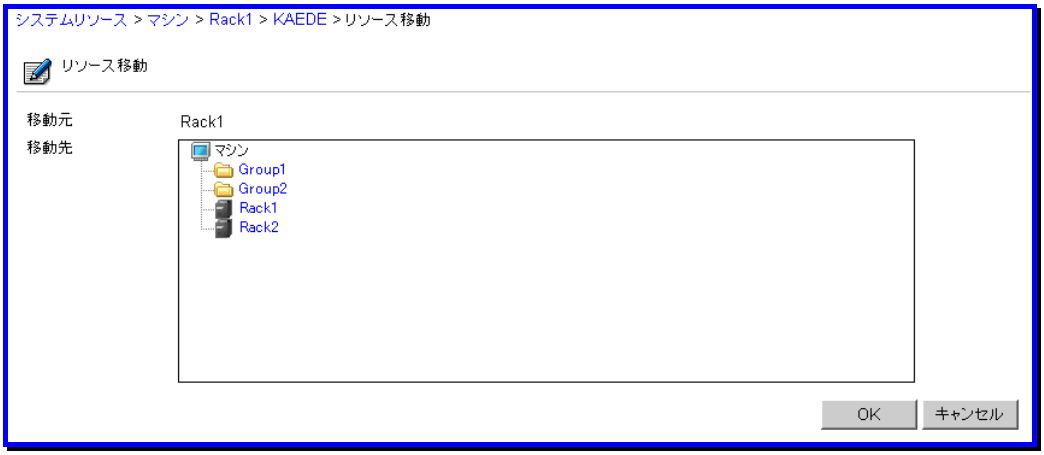
マシン登録		
	管理外のマシン一覧	
	名前	管理外のマシン名を表示します。
	種別	管理外のマシンの種別を表示します。
	状態	管理外のマシンの状態を表示します。
	電源	管理外のマシンの電源状態を表示します。
	MAC アドレス	管理外のマシンのMACアドレスを表示します。
	UUID	管理外のマシンのUUIDを表示します。
[OK]		マシン登録情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		マシン登録情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.10.3. マシン移動 (マシン単体移動)

マシン移動を行います。

マシンを他のリソースグループ、もしくはラックに移動します。

[システムリソース] ツリーから移動を行うマシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [マシン移動] をクリックすると、メインウィンドウに「リソース移動」が表示されます。マシンの移動先を選択し、[OK] をクリックするとマシンが移動します。



リソース移動		
	移動元	移動元のリソースグループ、またはラックを表示します。
	移動先	ツリーより移動先のリソースグループ、またはラックを選択します。
[OK]		マシン移動情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		マシン移動情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.10.4. マシン管理外

管理対象マシンを管理外にします。

[システムリソース] ツリーから管理外にするマシンが所属するリソースグループのアイコン、もしくは [マシン] アイコンをクリックし、メインウィンドウにリソースグループの詳細情報、基本情報、および [マシン一覧] グループボックスを表示します。[マシン一覧] グループボックスから管理外にするマシンを選択し、[アクション] メニューから [管理外] をクリックすると、管理外になります。

もしくは、[システムリソース] ツリーから管理外にするマシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [管理外] をクリックすると、管理外になります。

3.11. マシンプロパティ設定

登録したマシンのマシンプロパティの表示、設定を行います。

[システムリソース] ツリーからマシンプロパティの設定を行うマシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [プロパティ] をクリックすると、メインウィンドウに [全般] タブ、[ネットワーク] タブ、[ストレージ] タブ、[ソフトウェア] タブ、[ソフトウェア配布履歴] タブ、[アカウント情報] タブで構成されたマシンプロパティ設定が表示されます。ただし、マシンの種別が仮想マシンの場合、[ネットワーク] タブ、[ストレージ] タブは表示されません。

3.11.1. [全般] タブ

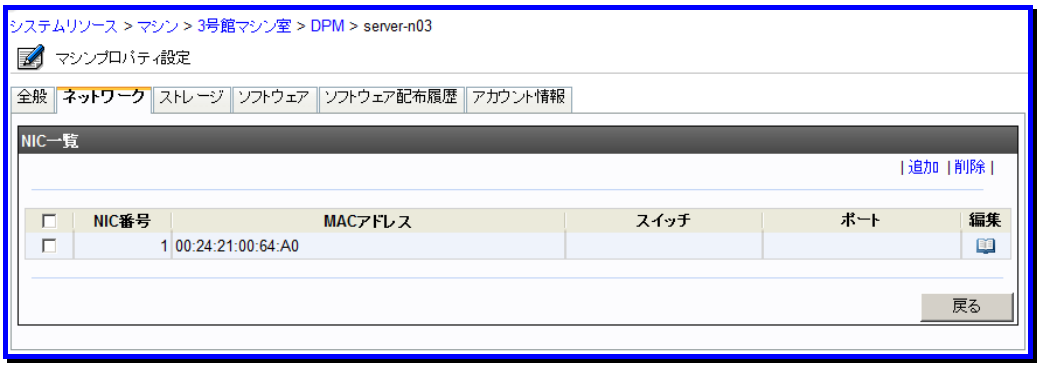
マシン全般に関する情報の表示、設定を行います。

全般	
マシン名	マシン名を表示します。編集はできません。
モデル名	モデル名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。
UUID	UUIDを表示します。編集はできません。
種別	マシンの種別を表示します。編集はできません。

スロット番号	スロット番号を表示します。編集はできません。
ロケーション	ロケーションを表示し、編集もできます。マシンの種別が仮想マシンの場合、編集はできません。入力できる文字数は100文字以内です。
タグ	タグ (キーワード) を表示し、編集もできます。
説明	マシンの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
モデル名の自動更新	モデル名の自動更新を禁止する場合、チェックボックスをオフにします。
[適用]	マシンプロパティ設定情報を適用します。
[戻る]	マシンプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.11.2. [ネットワーク] タブ

ネットワークに関する情報の表示、設定を行います。ただし、マシンの種別が仮想マシンの場合、[ネットワーク] タブは表示されません。



ネットワーク		
	NIC 一覧	
	NIC 番号	NIC番号を表示します。
	MAC アドレス	MACアドレスを表示します。
	スイッチ	スイッチを表示します。
	ポート	ポートを表示します。
	編集	NIC情報を編集します。[NIC一覧] グループボックスの下部に [NIC設定] グループボックスが表示されます。
	追加	NIC情報を追加します。[NIC一覧] グループボックスの下部に [NIC設定] グループボックスが表示されます。

削除	選択したNIC情報を [NIC一覧] グループボックスから削除します。NIC番号1のNICは削除できません。スイッチのポートを "設定なし" に変更した場合、またはスイッチのポートが設定されているNICを削除した場合、スイッチブレードに接続しているマシンの電源が入っている状態でマシンの収集とスイッチの収集が再度実行されるとNICとスイッチのポートの設定が再度関連付けされます。
[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

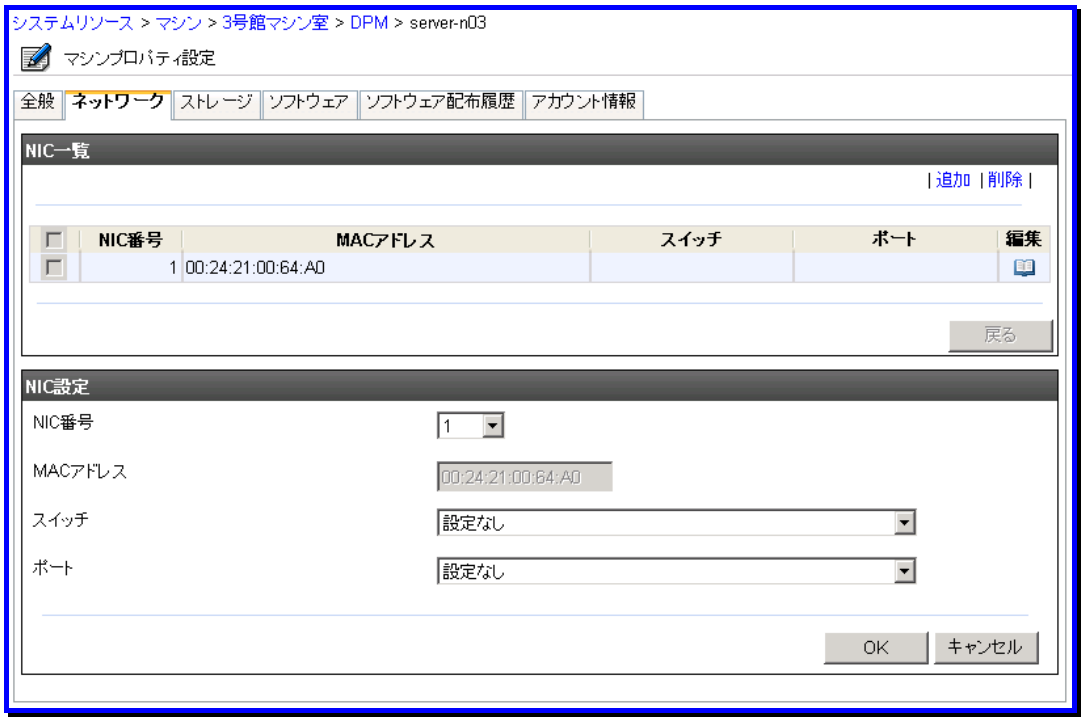
注:

・稼動しているマシンの NIC を削除する場合は、マシンのメンテナンスモードをオンにする必要があります。メンテナンスモードをオンにした場合は、NIC の削除後にオフに戻してください。

・APA がインストールされている HP-UX マシンの場合、MAC アドレス "00:00:00:00:00:00" の NIC が複数表示されることがありますが、正常な動作です。

・手動で NIC を追加する場合は、必ず NIC に一致した MAC アドレスの値を設定してください。MAC アドレスを誤って設定すると、マシンの操作が正常に動作しなくなる場合があります。

[追加]、もしくは対象の NIC の [編集] アイコンをクリックすると、[NIC 一覧] グループボックスの下部に [NIC 設定] グループボックスが表示されます。



NIC 設定	
NIC 番号	NIC番号を選択します。NIC番号1以外の変更を行うことができます。
MAC アドレス	MACアドレスを入力します。入力できる文字は半角英数字のみです。入力は (XX:XX:XX:XX:XX:XX) 形式で入力します。編集時は、MACアドレスの編集はできません。
スイッチ	スイッチを選択します。
ポート	ポートを選択します。
[OK]	NIC設定情報を保存し、[NIC一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	NIC設定情報を保存せずに、[NIC設定] グループボックスを閉じます。

3.11.3. [ストレージ] タブ

ストレージに関する情報の表示、設定を行います。ただし、マシンの種別が仮想マシンの場合、[ストレージ] タブは表示されません。

注:

・ マシンに HBA を追加するためにはストレージ管理ソフトウェアとの連携、および収集が必要です。

・ ストレージ管理ソフトウェアでディスクアレイ、ディスクボリューム、WWN (HBA) などのストレージの設定を変更したときは、必ず [システムリソース] ツリーから [ストレージ] アイコンをクリックし、[操作] メニューから [ストレージ収集] を行ってください。ただし、iStorage ではディスクアレイ名と iStorageManager 内の ID が同時に変更になる場合、LD セットに割り当て済みの LD 名を変更した場合は、ストレージ情報の更新が正しく行われません。

ストレージ		
	ストレージ情報	
	HBA 番号	HBA番号を表示します。

	アドレス	アドレスを表示します。
	接続先	接続先を表示します。
	編集	ストレージ情報を編集します。[ストレージ情報] グループボックスの下部に [HBA設定] グループボックスが表示されます。
	追加	ストレージ情報を追加します。[ストレージ情報] グループボックスの下部に [HBA設定] グループボックスが表示されます。
	削除	選択したHBA情報を [ストレージ情報] グループボックスから削除します。
[戻る]		元のウィンドウに戻ります。

[追加]、もしくは対象 HBA の [編集] アイコンをクリックすると、[ストレージ情報] グループボックスの下部に [HBA 設定] グループボックスが表示されます。

関連情報: CLARiX と Symmetrix の場合は、事前に ssc コマンドの set hba コマンドを使用して、HBA のアドレス (WWPN、WWNN) と HBA の接続先のディスクアレイのパスを SigmaSystemCenter に登録する必要があります。HBA とパス情報の登録については、「SigmaSystemCenter コンフィグレーションガイド」の「3.5.5. HBA、パス情報の登録 (CLARiX、Symmetrix の場合)」を参照してください。

HBA 設定	
HBA 番号 **(入力必須)**	HBA番号を入力します。リソースのプロパティでディスクボリュームの設定を行う場合に、ここで設定したHBA番号を指定します。「0～9999」の範囲で設定できます。
アドレス **(選択必須)**	FCインターフェースを利用している場合は、マシンに接続されているHBAのWWNを選択します。iSCSIインターフェースを利用している場合は、接続されているHBAのiSCSIイニシエータ名を選択します。編集時は、アドレスの編集はできません。
[OK]	HBA設定情報を保存し、[ストレージ情報] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	HBA設定情報を保存せずに、[HBA設定] グループボックスを閉じます。

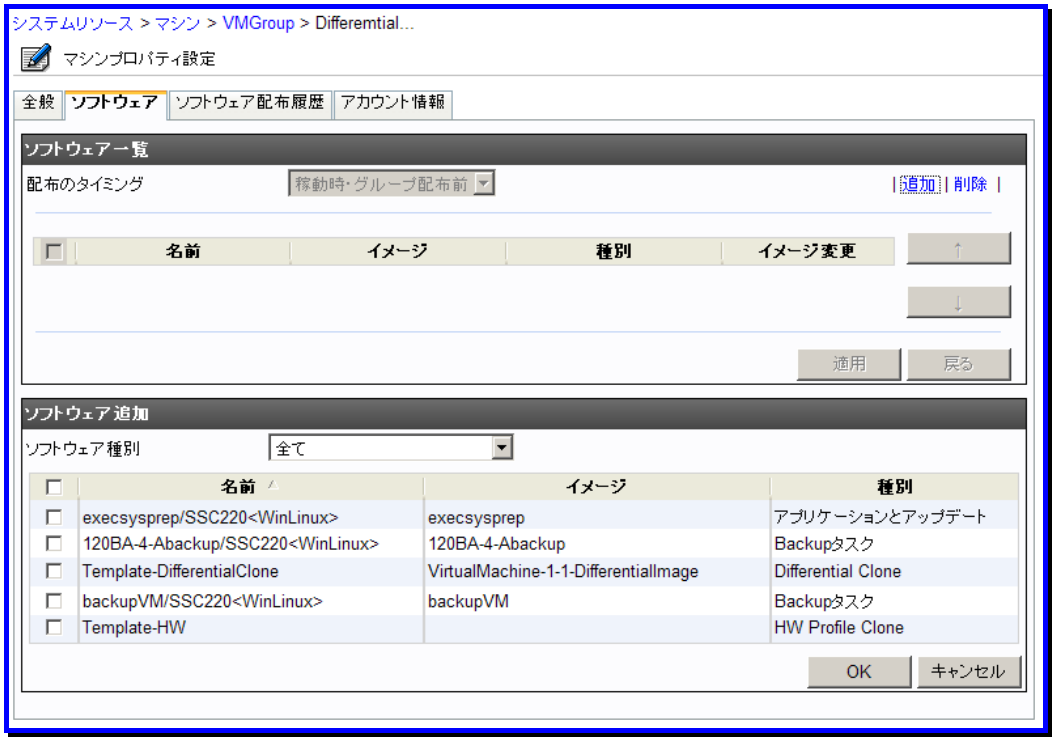
3.11.4. [ソフトウェア] タブ

ソフトウェアに関する情報の表示、設定を行います。

ソフトウェア		
ソフトウェア一覧		
	配布のタイミング	ソフトウェアの配布のタイミングを、稼動時･グループ配布前 / 稼動時･グループ配布後 / 待機時･グループ配布前 / 待機時･グループ配布後 / 待機時･シャットダウン後 / レプリカ作成時に配布から選択します。
	名前	ソフトウェア名を表示します。ソフトウェアは、表示されている順番で配布されます。順序を変更するには、変更するソフトウェアのチェックボックスを選択し、[↑] および [↓] で操作します。
	イメージ	ソフトウェアに設定されているイメージ名を表示します。
	種別	ソフトウェアの種別を表示します。

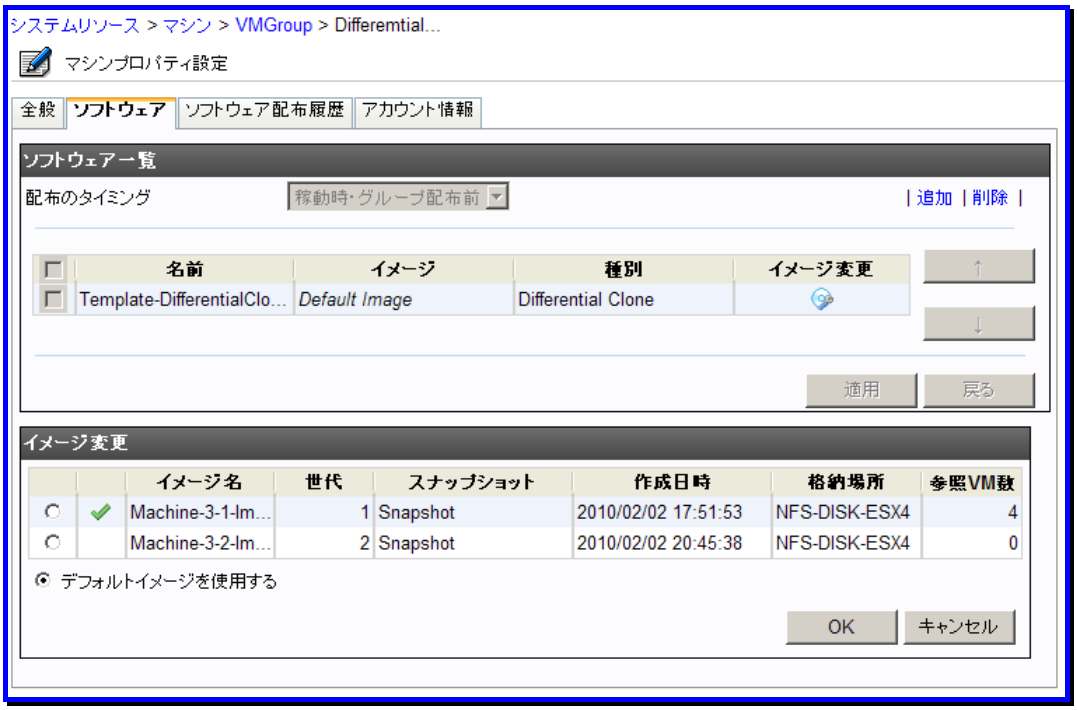
イメージ変更	ソフトウェアに設定するイメージを変更します。[ソフトウェアー覧] グループボックスの下部に、[イメージ変更] グループボックスが表示されます。 種別が、Differential Clone、またはDisk Clone の場合にイメージ変更が可能です。
[↑]	選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ前に移動します。
[↓]	選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ後に移動します。
追加	ソフトウェアを追加します。[ソフトウェアー覧] グループボックス下部に [ソフトウェア追加] グループボックスを表示します。
削除	選択したソフトウェアを [ソフトウェアー覧] グループボックスから削除します。
[適用]	マシンプロパティ設定情報を適用します。
[戻る]	マシンプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[ソフトウェアー覧] グループボックス下部に [ソフトウェア追加] グループボックスが表示されます。



ソフトウェア追加	
ソフトウェア種別	表示するソフトウェアを絞り込みます。 全て / OSイメージ / テンプレート / Backupタスク / アプリケーションとアップデート / スクリプトの中から選択できます。
名前	ソフトウェア名を表示します。
イメージ	ソフトウェアに設定されているイメージ名を表示します。
種別	ソフトウェアの種別を表示します。
[OK]	ソフトウェア追加情報を保存し、[ソフトウェアー覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	ソフトウェア追加情報を保存せずに、[ソフトウェア追加] グループボックスを閉じます。

[イメージ変更] をクリックすると、[ソフトウェアー覧] グループボックス下部に [イメージ] グループボックスが表示されます。



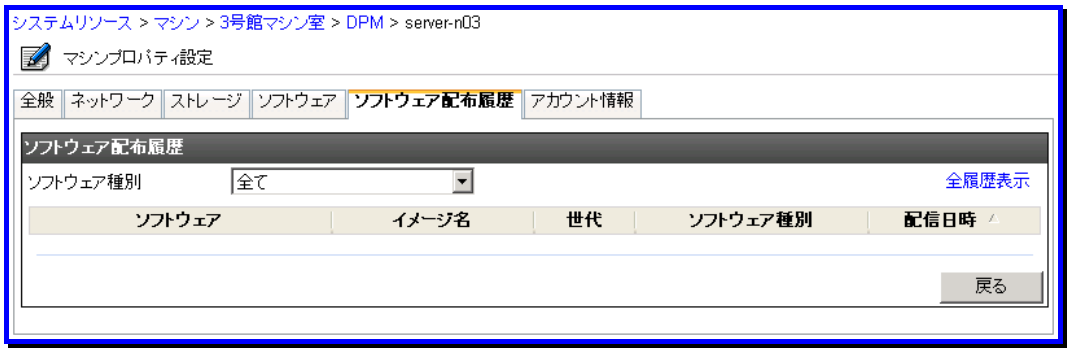
イメージ変更	
(ラジオボタン)	[ソフトウェアー覧] グループボックスに追加するイメージを選択します。
イメージ名	イメージ名を表示します。
世代	イメージの世代番号を表示します。

スナップショット	スナップショット名を表示します。
作成日時	イメージを作成した日時を表示します。
格納場所	イメージの保存先Datastore名を表示します。
参照 VM 数	参照している仮想マシンの数を表示します。
[デフォルトイメージを使用する]	イメージを固定せずにテンプレートのデフォルトイメージを使用する場合に選択します。
[OK]	選択したラジオボタンのイメージをソフトウェアに設定し、[ソフトウェア一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	イメージ変更情報を保存せずに、[ソフトウェア追加] グループボックスを閉じます。

3.11.5. [ソフトウェア配布履歴] タブ

マシンに配布したソフトウェアの履歴情報を表示します。デフォルトでは、マシンに最新の OS イメージを配布した以降のソフトウェア配布履歴が一覧表示されます。[全履歴表示] をクリックすると、最新の OS イメージを配布する以前の履歴も含めて一覧表示されます。

[全履歴表示] をクリックした後に、表示される [最新履歴表示] をクリックすると、最新の OS イメージを配布した以降のソフトウェア配布履歴の一覧表示に戻ります。



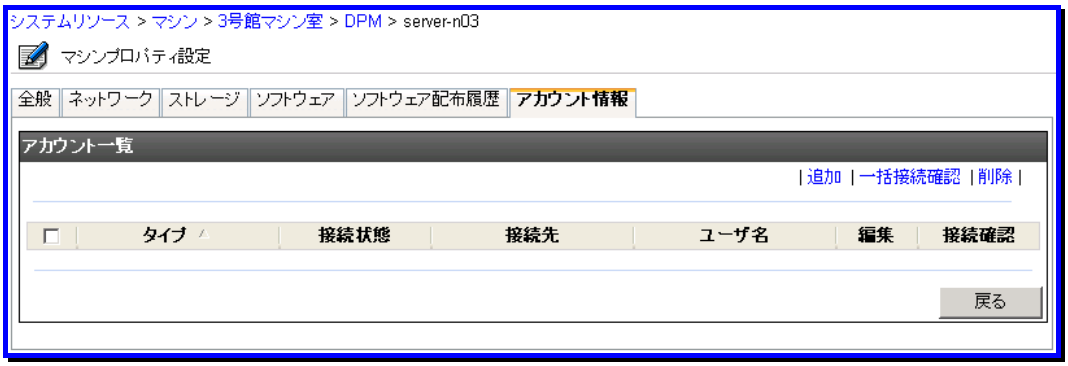
ソフトウェア配布履歴	
ソフトウェア種別	ソフトウェアの種類を、全て / OS イメージ / テンプレート / Backupタスク / アプリケーションとアップデート / スクリプトの中から選択します。
ソフトウェア	マシンに配布したソフトウェア名を表示します。
イメージ名	ソフトウェアのイメージ名を表示します。
世代	配布したソフトウェアのイメージの世代番号を表示します。
ソフトウェア種別	配布したソフトウェアの種別を表示します。
配信日時	ソフトウェアを配布した日時を表示します。
全履歴表示	最新のOSイメージを配布する以前の履歴も含めての一覧表示に切り替えます。

	最新履歴表示	最新のOSイメージを配布した以降のソフトウェア配布履歴の履歴欄表示に切り替えます。
	[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

関連情報: 最新の OS イメージを配布する以前の履歴を削除する場合は、ssc コマンドのソフトウェア配布履歴削除コマンド (ssc delete history) を使用して削除します。ソフトウェア配布履歴削除の詳細については、「ssc コマンドリファレンス」を参照して下さい。

3.11.6. [アカウント情報] タブ

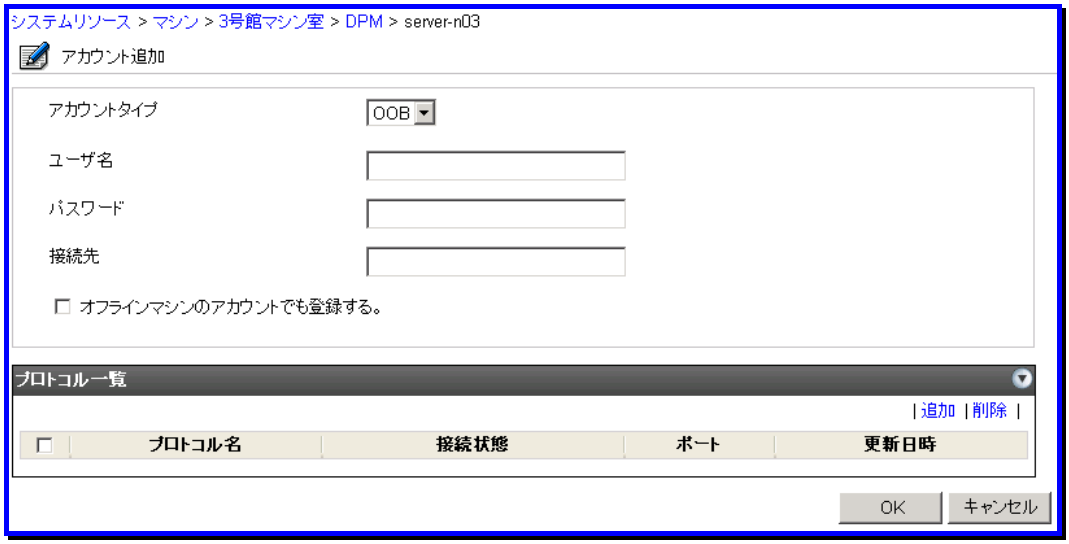
マシンを Out-of-Band Management で制御するためのアカウントの登録や削除、および登録したアカウントに関する情報の表示をします。



アカウント情報		
	アカウント一覧	
	タイプ	アカウントのタイプ名を表示します。
	接続状態	最後にアカウントを利用して接続を試みた際の接続状態を表示します。
	接続先	アカウントの接続先を表示します。
	ユーザ名	マシンに接続する際のユーザ名を表示します。
	編集	アカウント情報を編集します。「アカウント編集」ウィンドウに遷移します。
	接続確認	アカウントに対し、接続が可能か否かのテストを行います。「アカウント接続確認」ウィンドウに遷移します。
	追加	アカウントを新規に登録します。「アカウント追加」ウィンドウに遷移します。
	一括接続確認	選択したすべてのアカウントに対し、接続が可能か否かのテストを行います。接続確認では接続失敗も含めすべての接続結果が登録されます。
	削除	選択したすべてのアカウントの登録を削除します。

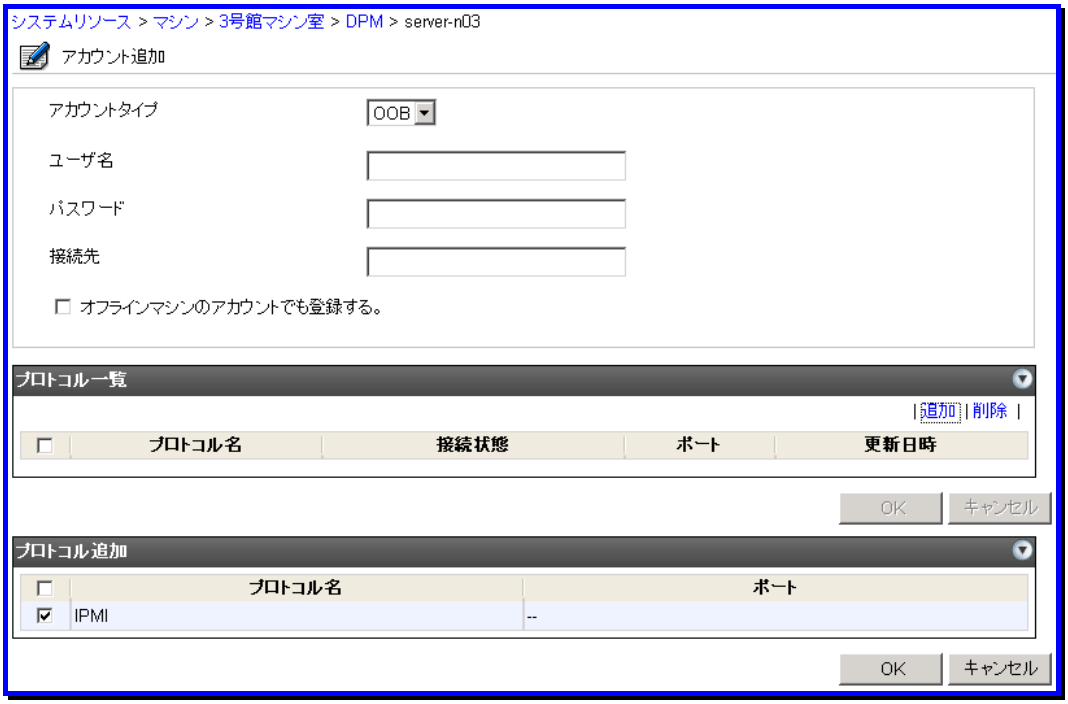
[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

追加をクリックすると、「アカウント追加」ウィンドウに遷移します。



アカウント追加		
	アカウントタイプ	登録するアカウントタイプを選択します。指定可能なタイプはOOB (Out-of-Band Management) のみです。
	ユーザ名	マシンに接続する際のユーザ名を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
	パスワード	マシンに接続する際のパスワードを入力します。
	接続先	アカウントの接続先となるマシンのホスト名、もしくはIPアドレスを入力します。
	オフラインマシンのアカウントでも登録する	アカウント登録時に接続先として指定したマシンとの接続が確立できなかった場合でも、アカウントを登録したい場合はチェックボックスをオンにします。
	プロトコル一覧	
	プロトコル名	アカウントで接続に利用しているプロトコル名を表示します。
	接続状態	最後にプロトコルを利用して接続を試みた際の接続状態を表示します。
	ポート	プロトコルで利用しているポート番号を表示します。
	更新日時	プロトコルの接続状態が変更された最終更新日時を表示します。
	追加	アカウントで利用するプロトコルを追加します。[プロトコル一覧] グループボックスの下部に [追加プロトコル一覧] グループボックスが表示されます。
	削除	選択したすべてのプロトコルをアカウントから削除します。

[OK]	アカウント情報、プロトコル情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。指定したアカウント情報でマシンに対し接続を試み、接続が成功した場合にのみ登録を行います。ただし、[オフラインのアカウントでも登録する] チェックボックスがオンの場合、マシンの応答がない場合も登録を行います。
[キャンセル]	アカウント登録情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。



プロトコル追加		
	プロトコル名	アカウントで接続に利用するプロトコル名を表示します。
	ポート	プロトコルで利用しているポート番号を表示します。
[OK]		プロトコル追加情報を保存し、[プロトコル一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]		プロトコル追加情報を保存せずに、[プロトコル追加] グループボックスを閉じます。

[アカウント一覧] グループボックスの [編集] をクリックすると、「アカウント編集」ウィンドウに遷移します。

アカウント編集		
	アカウントタイプ	アカウントタイプを表示します。変更はできません。
	ユーザ名	マシンに接続する際のユーザ名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
	パスワード変更	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
	パスワード	マシンに接続する際のパスワードを表示し、編集もできます。
	接続先	アカウントの接続先となるマシンのホスト名、もしくはIPアドレスを表示し、編集もできます。
	オフラインマシンのアカウントでも登録する	アカウント登録時に接続先として指定したマシンとの接続が確立できなかった場合でも、アカウントを登録したい場合はチェックボックスをオンにします。
	プロトコル一覧	
	プロトコル名	アカウントで接続に利用しているプロトコル名を表示します。
	接続状態	最後にプロトコルを利用して接続を試みた際の接続状態を表示します。
	ポート	プロトコルで利用しているポート番号を表示します。
	更新日時	プロトコルの接続状態が変更された最終更新日時を表示します。
	追加	アカウントで利用するプロトコルを追加します。[プロトコル一覧] グループボックスの下部に [追加プロトコル一覧] グループボックスが表示されます。

削除	選択したすべてのプロトコルをアカウントから削除します。
[OK]	アカウント、プロトコルの編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。指定したアカウント情報でマシンに対し接続を試み、接続が成功した場合にのみ登録を行います。ただし、[オフラインのアカウントでも登録する] チェックボックスがオンの場合、マシンの応答がない場合も登録を行います。
[キャンセル]	アカウントの編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

[接続確認] をクリックすると、「接続確認」ウィンドウに遷移します。

接続確認	
アカウントタイプ	アカウントタイプを表示します。変更はできません。
ユーザ名	マシンに接続する際のユーザ名を表示します。編集はできません。
パスワード	マシンに接続する際のパスワードを表示します。編集はできません。
接続先	アカウントの接続先となるマシンのホスト名、もしくはIPアドレスを表示します。編集はできません。
オフラインマシンのアカウントでも登録する	接続確認では、変更はできません。
アカウント編集画面へ遷移する	「アカウント編集」ウィンドウに遷移します。
プロトコル一覧	
プロトコル名	アカウントで接続に利用しているプロトコル名を表示します。
接続状態	最後にプロトコルを利用して接続を試みた際の接続状態を表示します。
ポート	プロトコルで利用しているポート番号を表示します。

更新日時	プロトコルの接続状態が変更された最終更新日時を表示します。
[OK]	指定したアカウントとプロトコル情報を利用して接続確認を行います。接続確認では接続失敗も含めすべての接続結果が登録されます。
[キャンセル]	接続確認を行わず、元のウィンドウに戻ります。

注: 使用するポートを変更することができないプロトコルについては、ポートを「--」で表示します。IPMI プロトコルは、ポートを「--」で表示していますが、実際には空いている UDP ポートを利用し、BMC が待ち受けている 623 / UDP と通信します。

3.12. IPMI 情報

管理対象マシンから IPMI 情報を取得して表示します。

[システムリソース] ツリーから IPMI 情報を参照するマシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [IPMI 情報] をクリックすると、メインウィンドウに [SEL] タブ、[センサー] タブで構成された「マシン IPMI 情報」ウィンドウが表示されます。

ただし、マシンの種別が仮想マシンの場合、[設定] メニューに [IPMI 情報] は表示されません。

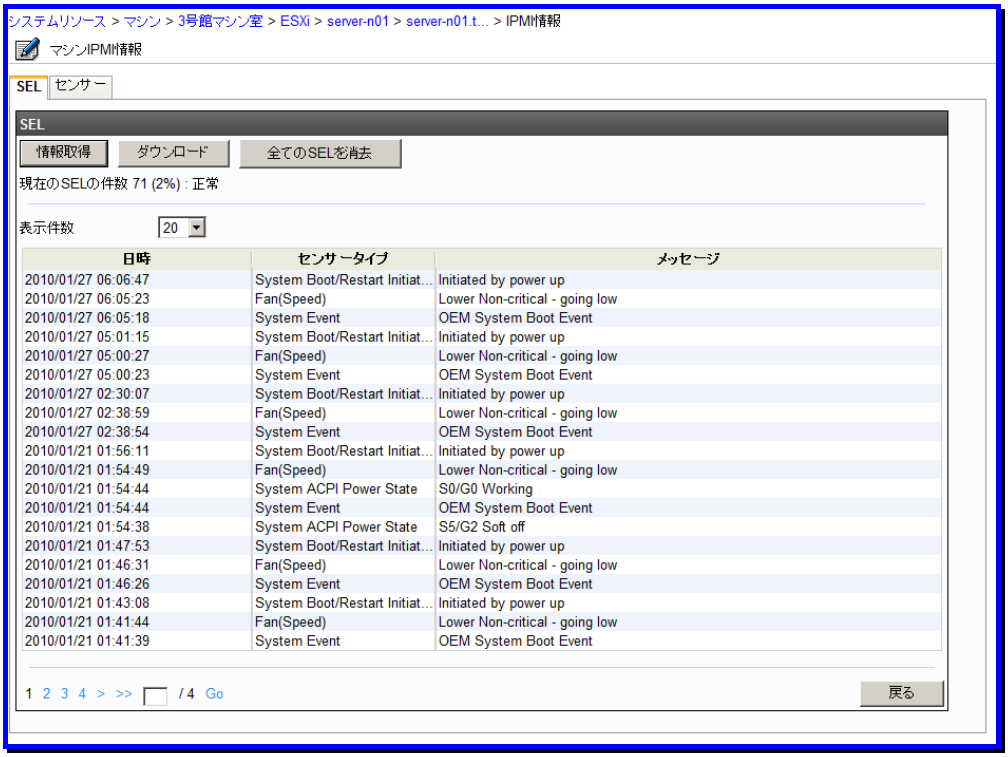
注: IPMI 情報を取得するためには、選択したマシンの詳細情報の Out-of-Band Management 接続情報の [接続状態] が "接続可能" と表示されるように環境を整えてください。

3.12.1. [SEL] タブ

管理対象マシンに記録されているハードウェアの System Event Log (SEL) を表示、取得、操作することができます。

◆ [情報取得]

管理対象マシンに記録されている SEL を全件取得して、ウィンドウに表示します。このボタンをクリックすると、以下のような SEL の一覧表が表示されます。



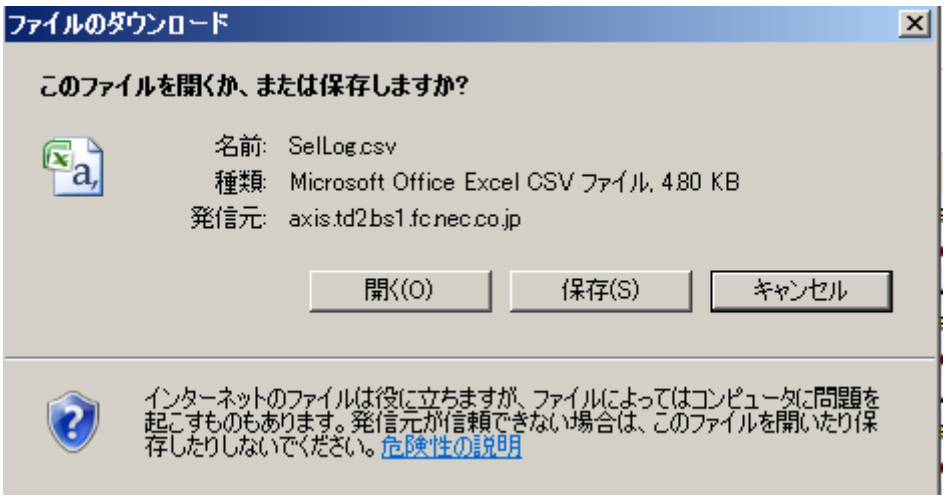
SEL

現在の SEL 件数	管理対象マシンに記録されているSELの件数と、SELを保存する領域の使用率を表示します。 使用率が100%に達するとマシン起動処理が一時中断される場合がありますので、100%になる前に消去することをお勧めします。
日時	イベントが記録された日時を表示します。
センサータイプ	イベントを記録したセンサーの種類を表示します。
メッセージ	イベントの内容を表示します。
[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

◆ [ダウンロード]

管理対象マシンから SEL を全件取得し、csv ファイルとしてダウンロードします。

このボタンをクリックすると下のウィンドウが表示されますので、csv ファイルを直接開いたり、保存したりすることができます。



◆ [全ての SEL を削除]

管理対象マシンに記録されている SEL を全件消去します。

消去された SEL は元に戻すことができませんので、注意してください。

注: [全ての SEL を削除] の操作結果は、[監視] ツリー [ジョブ] から確認することができます。

3.12.2. [センサー] タブ

管理対象マシンが実装しているハードウェアセンサーの情報を表示します。

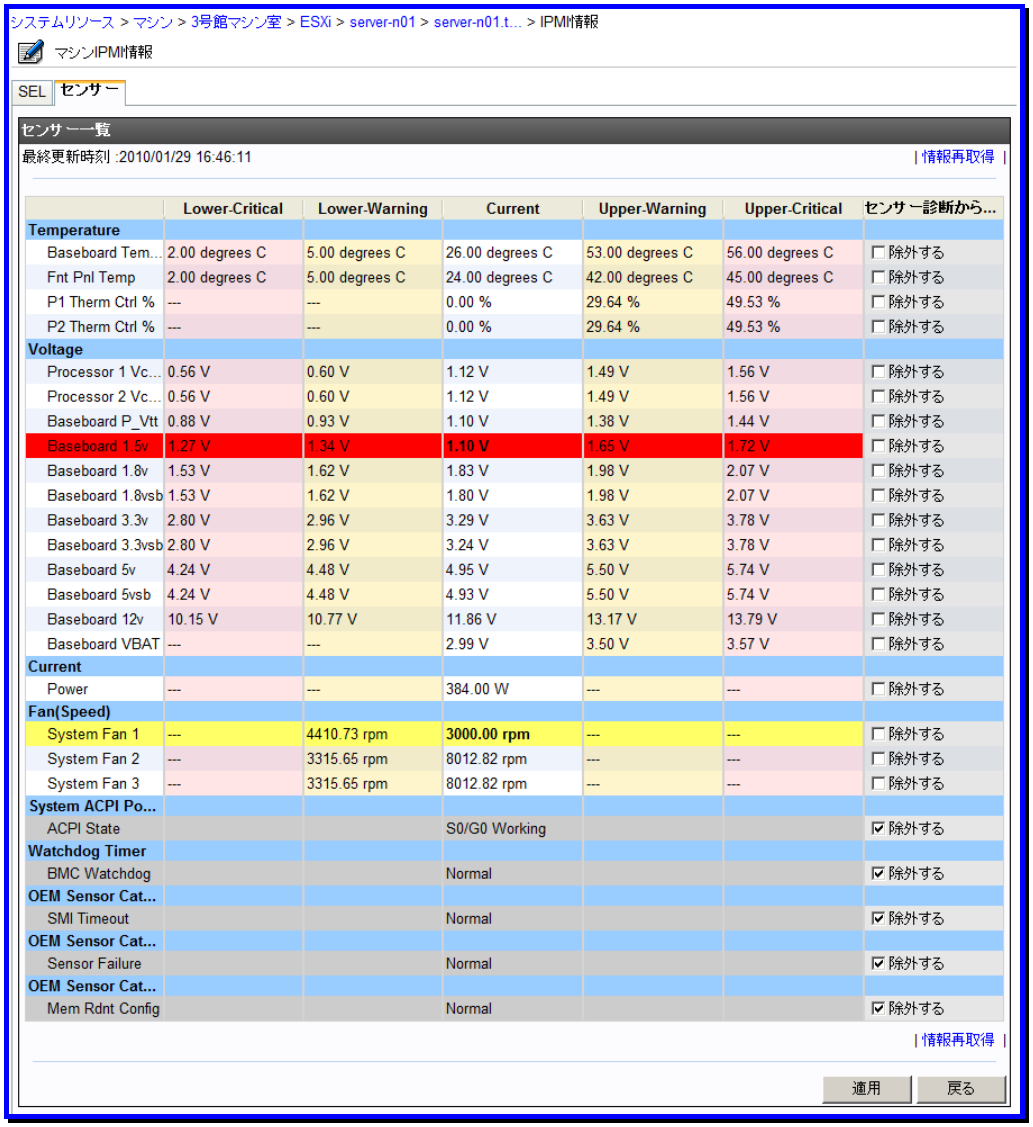
[センサー一覧] グループボックスでは、センサーから取得した値やセンサーの状態を見ることができます。また、各センサーをセンサー診断の対象とする / しないを設定することもできます。

センサー診断は、センサーから取得した値によってマシンが危険な状態にあるかを診断する機能です。

[センサー一覧] グループボックスでは、以下のウィンドウのように危険な状態にあるセンサーの行は赤色、注意が必要な状態にあるセンサーの行は黄色で表示されます。

また、このような赤色や黄色の行で表示されるセンサーを持つマシンは、[システムリソース] ツリーの Sensor Alert スマートグループを選択したときにマシン一覧に表示されます。

ポリシーアクションの "HW センサー状態解析、故障ステータス設定" では、センサー診断を行い、その結果から故障ステータスを設定するか判断します。



センサー一覧	
最終更新時刻:	最後にセンサー情報を取得した日時を表示します。 センサー一覧に表示される情報は、この時刻の情報になりますので、現在の情報と異なる可能性があります。 最新の情報を表示する場合には、[情報再取得] をクリックして情報の更新をしてください。
(センサー名)	センサーのカテゴリごとに、センサー名を列挙しています。
Lower-Critical	下限危険値の閾値です。 この値をCurrentの値が下回ると、管理対象マシンから、危険な状態であることを示すイベント (PET) が送信されます。また、この値に近づくと、その列全体が赤色になり、マシンが危険な状態であることを示します。 この状態が発生した場合、直ちに運用を停止し、サポート窓口に連絡してください。

Lower-Warning	下限警告値の閾値です。 この値をCurrentの値が下回ると、管理対象マシンから、警告状態であることを示すイベント (PET) が送信されます。また、その列全体が黄色になり、マシンに注意が必要な状態であることを示します。
Current	最終更新時刻にセンサーから取得した値です。 該当するマシンが電源オフ状態の場合、Currentの値を取得できないセンサーがあります。また、電源オン状態でも部品が実装されていないなどの理由で、Currentの値を取得できないセンサーがあります。この場合、「--」を表示します。
Upper-Warning	上限警告値の閾値です。 この値をCurrentの値が上回ると、管理対象マシンから警告状態であることを示すイベント (PET) が送信されます。また、その列全体が黄色になり、マシンに注意が必要な状態であることを示します。
Upper-Critical	上限危険値の閾値です。 この値をCurrentの値が上回ると、管理対象マシンから、危険な状態であることを示すイベント (PET) が送信されます。また、この値に近づくと、その列全体が赤色になり、マシンが危険な状態であることを示します。 この状態が発生した場合、直ちに運用を停止し、サポート窓口に連絡してください。
センサー診断から除外する	センサー診断から除外する / しないを設定することができます。センサー診断から除外する場合は、チェックボックスをオンにします。センサー診断から除外されたセンサーの行は濃い灰色で表示されます。センサー診断から除外されたセンサーで異常が発生した場合、既定のスマートグループの Sensor Alertに検出されなくなります。また、ポリシーアクションの "HWセンサー状態解析、故障ステータス設定" においても異常を検出しなくなります。 なお、不要な警告を避けるため、重要性の低いセンサーはセンサー診断から除外することを初期値としています。
情報再取得	管理対象マシンのセンサー情報を取得し、画面を更新します。管理対象マシンの負荷状況、およびネットワークの状況によっては時間がかかる可能性があります。
[適用]	センサー診断の設定変更情報を保存します。
[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

注:

・センサーの各種情報は構成情報データベースを保持しています。各センサーの Current の値は、情報際取得を実行すると更新されます。また、Current の値の更新を行うその他の操作として以下があります。

- ポリシーアクションの "HW センサー状態解析、故障ステータス設定" を実行したとき
- [システムリソース] ツリーのグループ選択時の収集 (ALL)、または、センサー収集を実行したとき
- ssc コマンド collect group、および collect machine を−target sensor オプションで実行したとき

・センサーに警告や異常があるマシンは、[システムリソース] ツリーの Sensor Alert スマートグループで検出することができます。しかし、Sensor Alert スマートグループに異常状態として検出されたマシンに対し、[情報再取得] を行うと、操作実行したときのセンサーの状態で情報を更新するため、マシンの状態 (電源オフ状態など) によっては、Sensor Alert スマートグループで検出できなくなることがあります。ただし、ポリシーアクションの "HW センサー状態解析、故障ステータス設定" を契機にセンサー異常を検出したマシンは、ハードウェアステータスが故障に設定されますので、前述の操作を行った場合でも、異常が発生したマシンであることを、[システムリソース] ツリーの Having Problems スマートグループで検出することができます。

・情報再取得を実行した結果、最終更新時刻が更新されない場合があります。

このとき以下のことを確認してください。

- 管理対象マシンの BMC に接続が失敗した可能性があります。
- Out-of-Band Management 接続情報の接続状態が接続可能になっているか確認してください。
- アカウント情報が登録されていない可能性があります。
- Out-of-Band Management 接続情報に情報が登録されているか確認し、登録されていない場合にはアカウントの登録を行ってください。

・アカウント情報を削除しても、センサー一覧には最後に取得した情報を保存しています。

3.13. [ストレージ] アイコン

[ストレージ] アイコンは、ストレージの管理を行います。

[システムリソース] ツリーから [ストレージ] アイコンをクリックすると、[ディスクボリューム一覧] グループボックスが表示されます。

ディスクボリューム一覧	
名前	ディスクボリューム名を表示します。
ディスクアレイ名	ディスクアレイ名を表示します。
番号	ディスクアレイの番号を表示します。
共有状態	共有 / 非共有状態を表示します。
使用状況	ディスクボリュームの使用状況を表示します。
共有	ディスクボリュームを共有にします。
非共有	ディスクボリュームを非共有にします。
解除	選択したディスクボリュームの登録を解除します。

3.14. ストレージの詳細情報

ストレージの詳細情報を表示します。

[システムリソース] ツリーから対象のストレージのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにストレージの詳細情報が表示されます。

◆ iStorage、Symmetrix の場合

◆ CLARiX の場合

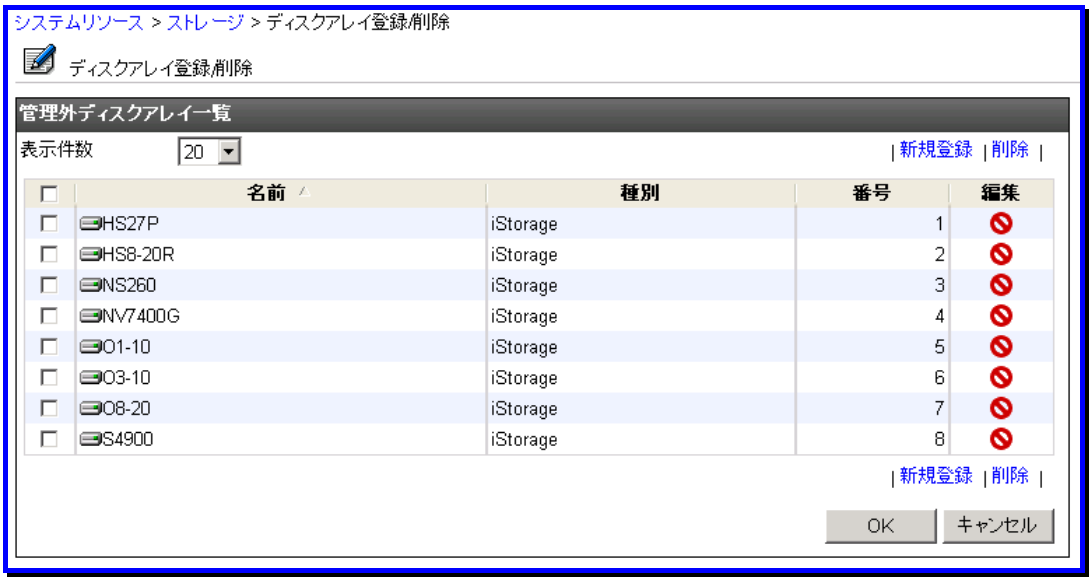
基本情報		
	名前	ストレージ名を表示します。
	識別子	ストレージの識別子を表示します。
	タイプ	ストレージの種類を表示します。
	番号	ストレージの番号を表示します。
ディスクボリューム一覧		

名前	ディスクボリューム名を表示します。
番号	ディスクボリュームの番号を表示します。
共有状態	ディスクボリュームの共有状態を表示します。
使用状況	ディスクボリュームの使用状況を表示します。
共有	ディスクボリュームを共有にします。
非共有	ディスクボリュームを非共有にします。
解除	選択したディスクボリュームの登録を解除します。

3.14.1. ディスクアレイ登録 (iStorage、Symmetrixの場合)

iStorage、および Symmetrix のディスクアレイの登録を行ないます。

[システムリソース] ツリーから [ストレージ] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [ディスクボリューム一覧] グループボックスを表示します。[設定] メニューから [ディスクアレイ登録 / 削除] をクリックすると、メインウィンドウに「ディスクアレイ登録 / 削除」が表示されます。[管理外ディスクアレイ一覧] グループボックスから登録するディスクアレイを選択し、[OK] をクリックするとディスクアレイが登録されます。



管理外ディスクアレイ一覧	
名前	ディスクアレイの名前を表示します。
種別	ストレージの種類を表示します。
番号	ディスクアレイの番号を表示します。
編集	iStorage、Symmetrixの場合は、ディスクアレイを編集することはできません。CLARiXの場合のみ「ディスクアレイ編集」ウィンドウへ移動します。

新規登録	「ディスクアレイ新規登録」ウィンドウに移動します。ただし、CLARiXの場合は、ディスクアレイを登録することはできません。
削除	選択したディスクアレイを削除します。
[OK]	ディスクアレイ登録情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	ディスクアレイ登録情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.14.2. ディスクアレイ登録 (CLARiXの場合)

CLARiX のディスクアレイの登録を行います。

[システムリソース] ツリーから [ストレージ] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [ディスクボリューム一覧] グループボックスを表示します。[設定] メニューから [ディスクアレイ登録 / 削除] をクリックすると、メインウィンドウに「ディスクアレイ登録 / 削除」が表示されます。[アクション] メニューから [新規登録] をクリックすると、メインウィンドウに「ディスクアレイ新規登録」が表示されます。ディスクアレイ情報を設定し、[OK] をクリックするとディスクアレイが登録されます。

管理外ディスクアレイ一覧	
名前	ディスクアレイの名前を表示します。
種別	ストレージの種類を表示します。
番号	ディスクアレイの番号を表示します。
編集	「ディスクアレイ編集」ウィンドウに移動します。iStorage、Symmetrixの場合、「ディスクアレイ編集」ウィンドウに移動できません。
新規登録	「ディスクアレイ新規登録」ウィンドウに移動します。ただし、iStorage、Symmetrixの場合は、ディスクアレイを登録することはできません。
削除	選択したディスクアレイを削除します。
[OK]	ディスクアレイ登録情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。

[キャンセル]	ディスクアレイ登録情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

[アクション] メニューから [新規登録] をクリックすると、「ディスクアレイ新規登録」ウィンドウが表示されます。

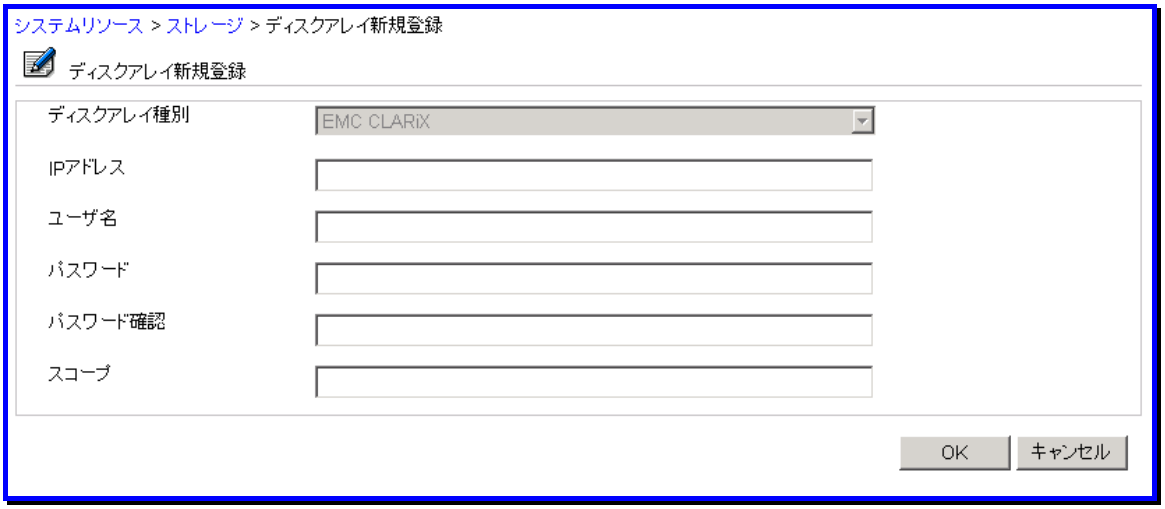
注:

・ IP アドレス / ユーザ名 / パスワード / スコープのすべての値を設定する必要があります。

・ Navicli の場合、IP アドレスの値のみ設定する必要があります。

・ ユーザ名 / パスワード / スコープをすべて省略した場合は、既存のコマンドである Navicli が呼び出されますが、互換のために残しているオプションのため、通常は使用しないでください。

・ ディスクアレイを解除したストレージは、[管理外ディスクアレイー覧] グループボックスに表示されます。この管理外ディスクアレイー覧から削除可能なストレージは CLARiX のみとなります。iStorage と Symmetrix については、チェックボックスをオンにすることはできますが、削除はできません。



ディスクアレイ新規登録	
ディスクアレイ種別	ディスクアレイ種別が表示されます。
IP アドレス **(入力必須)**	IPアドレスを入力します。
ユーザ名 **(入力必須)**	ユーザ名を入力します。
パスワード **(入力必須)**	パスワードを入力します。

パスワード確認 **(入力必須)**	確認のため、再度同じパスワードを入力します。
スコープ **(入力必須)**	スコープを入力します。入力を省略した場合、既定値が登録されます。 既定値は (0) です。「0～2」の範囲で設定できます。
[OK]	ディスクアレイ新規登録情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	ディスクアレイ新規登録情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.14.3. ディスクアレイ編集 (CLARiXの場合)

CLARiX のディスクアレイの編集を行います。

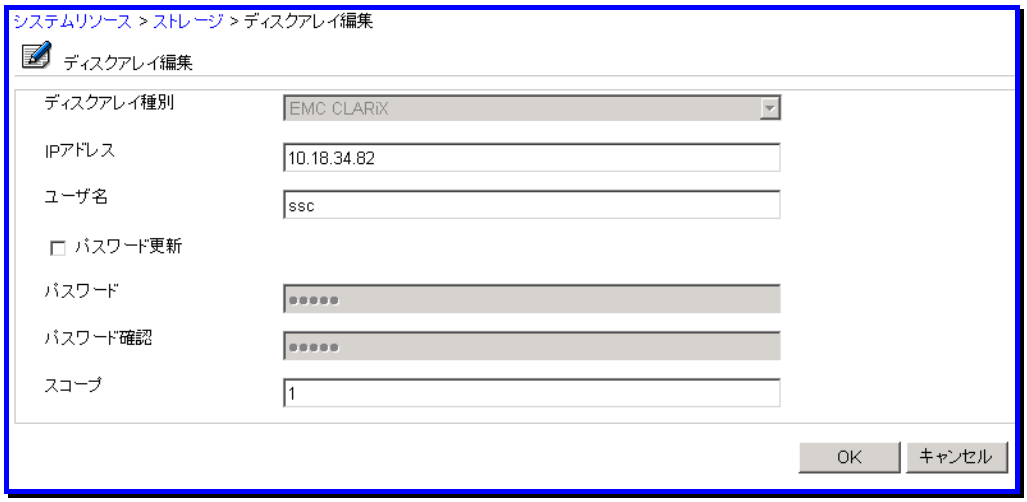
[システムリソース] ツリーから対象のストレージのアイコンをクリックし、メインウィンドウにストレージの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [ディスクアレイ編集] をクリックすると、メインウィンドウに「ディスクアレイ編集」が表示されます。ディスクアレイ情報を編集し、[OK] をクリックすると、ディスクアレイ情報が変更されます。

もしくは、[システムリソース] ツリーから [ストレージ] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [ディスクボリューム一覧] グループボックスを表示します。[設定] メニューから [ディスクアレイ登録 / 削除] をクリックすると、メインウィンドウに「ディスクアレイ登録 / 削除」が表示されます。[対象外ディスクアレイ一覧] グループボックスから編集するディスクアレイの [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「ディスクアレイ編集」が表示されます。ディスクアレイ情報を編集し、[OK] をクリックするとディスクアレイ情報が変更されます。

注:

・ IP アドレス / ユーザ名 / パスワード / スコープのすべての値を設定する必要があります。

・ ユーザ名 / パスワード / スコープをすべて省略した場合は、既存のコマンドである Navicli が呼び出されますが、互換のために残しているオプションのため、通常は使用しないでください。



ディスクアレイ編集	
ディスクアレイ種別	ディスクアレイ情報が表示されます。編集はできません。
IP アドレス **(入力必須)**	IPアドレスを表示し、編集もできます。
ユーザ名 **(入力必須)**	ユーザ名を表示し、編集もできます。
パスワード更新 **(入力必須)**	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
パスワード **(入力必須)**	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。
パスワード確認 **(入力必須)**	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため、再度同じパスワードを入力します。
スコープ **(入力必須)**	スコープを表示し、編集もできます。入力を省略した場合、既定値が登録されます。 既定値は (0) です。「0～2」の範囲で設定できます。
[OK]	ディスクアレイ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	ディスクアレイ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.14.4. ディスクアレイ解除

ディスクアレイを解除します。

[システムリソース] ツリーから対象のストレージのアイコンをクリックし、メインウィンドウにストレージの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [ディスクアレイ解除] をクリックすると、解除されます。

注: ディスクアレイを解除したストレージは、「ディスクアレイ登録」ウィンドウの[管理外ディスクアレイー覧] グループボックスに表示されます。[管理外ディスクアレイー覧] グループボックスから削除可能なストレージは、CLARiX のみとなります。iStorageとSymmetrixについては、チェックボックスをオンにすることができますが、削除はされません。

3.14.5. ディスクボリューム登録

ディスクボリュームの登録を行います。

[システムリソース] ツリーから対象のストレージのアイコンをクリックし、メインウィンドウにストレージの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [ディスクボリューム登録] をクリックすると、メインウィンドウに「ディスクボリューム登録」が表示されます。登録するディスクアレイを選択し、[OK] をクリックするとディスクボリュームが登録されます。

管理外ディスクボリューム一覧		
	名前	ディスクボリュームの名前を表示します。
	番号	ディスクボリュームの番号を表示します。
	共有状態	ディスクボリュームの共有状態を表示します。
	使用状況	ディスクボリュームの使用状況を表示します。
[OK]		ディスクボリューム登録情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		ディスクボリューム登録情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.14.6. ディスクボリューム共有

ディスクボリュームを共有にします。

[システムリソース] ツリーから対象のストレージのアイコンをクリックし、メインウィンドウにストレージの詳細情報を表示します。[ディスクボリューム一覧] グループボックスから共有にするディスクボリュームを選択し、[アクション] メニューから [共有] をクリックすると、ディスクボリュームが共有になります。

もしくは、[システムリソース] ツリーから [ストレージ] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [ディスクボリューム一覧] グループボックスを表示します。[ディスクボリューム一覧] グループボックスから共有にするディスクボリュームのチェックボックスをオンにします。[アクション] メニューから [共有] をクリックすると、ディスクボリュームが共有になります。

3.14.7. ディスクボリューム非共有

ディスクボリュームを非共有にします。

[システムリソース] ツリーから対象のストレージのアイコンをクリックし、メインウィンドウにストレージの詳細情報を表示します。[ディスクボリューム一覧] グループボックスから非共有にするディスクボリュームを選択し、[アクション] メニューから [非共有] をクリックすると、ディスクボリュームが非共有になります。

もしくは、[システムリソース] ツリーから [ストレージ] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [ディスクボリューム一覧] グループボックスを表示します。[ディスクボリューム一覧] グループボックスから非共有にするディスクボリュームのチェックボックスをオンにします。[アクション] メニューから [非共有] をクリックすると、ディスクボリュームが非共有になります。

3.14.8. ディスクボリューム解除

ディスクボリュームを解除します。

[システムリソース] ツリーから対象のストレージのアイコンをクリックし、メインウィンドウにストレージの詳細情報を表示します。[ディスクボリューム一覧] グループボックスから解除するディスクボリュームを選択し、[アクション] メニューから [解除] をクリックすると、解除されます。

3.15. [ネットワークデバイス] アイコン

[ネットワークデバイス] アイコンは、スイッチ、スイッチブレード、およびロードバランサの管理を行います。

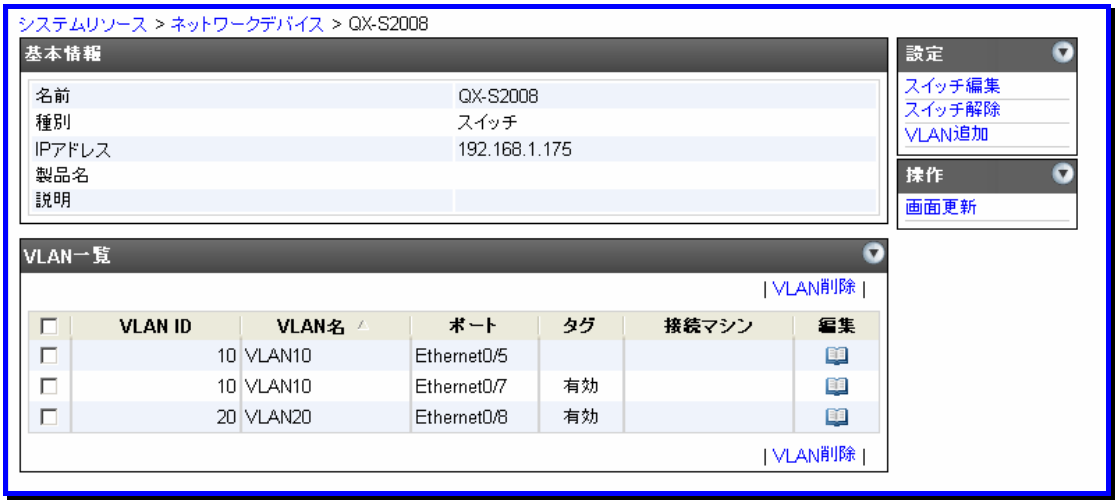
［システムリソース］ツリーから [ネットワークデバイス] アイコンをクリックすると、[ネットワークデバイス一覧] グループボックスが表示されます。

ネットワークデバイス一覧	
名前	ネットワークデバイス名、およびアイコンを表示します。
種別	ネットワークデバイスの種別を表示します。
IP アドレス	ネットワークデバイスのIPアドレスを表示します。
製品名	ネットワークデバイスの製品名を表示します。
編集	ネットワークデバイス情報の編集を行います。
解除	ネットワークデバイスを操作できないようにします。

3.16. スイッチの詳細情報

スイッチの詳細情報を表示します。

[システムリソース] ツリーから対象のスイッチのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにスイッチの詳細情報が表示されます。



基本情報		
	名前	スイッチ名を表示します。
	種別	スイッチの種別を表示します。
	IP アドレス	スイッチのIPアドレスを表示します。
	製品名	スイッチの製品名を表示します。
	説明	スイッチの説明を表示します。
VLAN 一覧		
	VLAN ID	VLAN IDを表示します。
	VLAN 名	VLAN名を表示します。
	ポート	VLANのポートを表示します。
	タグ	NetvisorProで管理、登録されているスイッチ、もしくはスイッチブレードで、タグが設定されている場合、"有効" と表示されます。
	接続マシン	VLANに接続するマシンを表示します。
	編集	VLAN情報の編集を行います。「VLAN編集」ウィンドウに遷移します。
	VLAN 削除	選択したVLANを削除します。

3.16.1. スイッチ登録

スイッチの登録を行います。

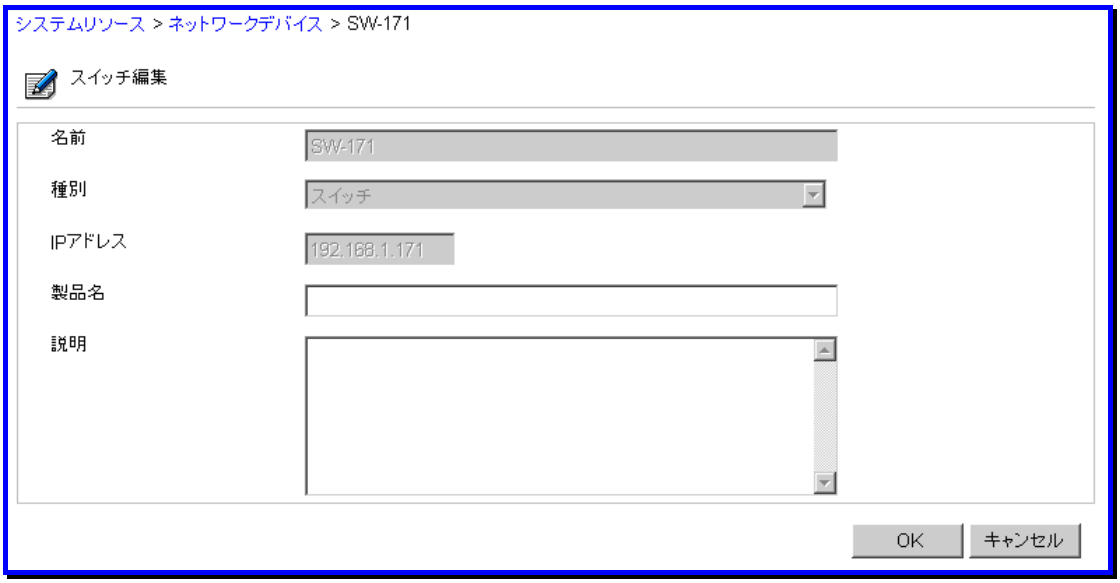
[システムリソース] ツリーから [ネットワークデバイス] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [ネットワークデバイス一覧] グループボックスを表示します。[設定] メニューから [スイッチ登録] をクリックすると、メインウィンドウに「スイッチ登録」が表示されます。登録するスイッチを選択し、[OK] をクリックするとスイッチが登録されます。

スイッチ登録		
	ネットワークデバイス一覧	
		名前	スイッチ名を表示します。
		IP アドレス	IPアドレスを表示します。
	[OK]	スイッチ登録情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
	[キャンセル]	スイッチ登録情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.16.2. スイッチ編集

スイッチの編集を行います。

[システムリソース] ツリーから編集を行うスイッチのアイコンをクリックし、メインウィンドウにスイッチの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [スイッチ編集] をクリックすると、メインウィンドウに「スイッチ編集」が表示されます。スイッチ情報を編集し、[OK] をクリックするとスイッチ情報が変更されます。



スイッチ編集		
	名前	スイッチ名を表示します。編集はできません。
	種別	スイッチの種別を表示します。編集はできません。
	IP アドレス	IPアドレスを表示します。編集はできません。
	製品名	製品名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。
	説明	スイッチの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]		スイッチ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		スイッチ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.16.3. スイッチ解除

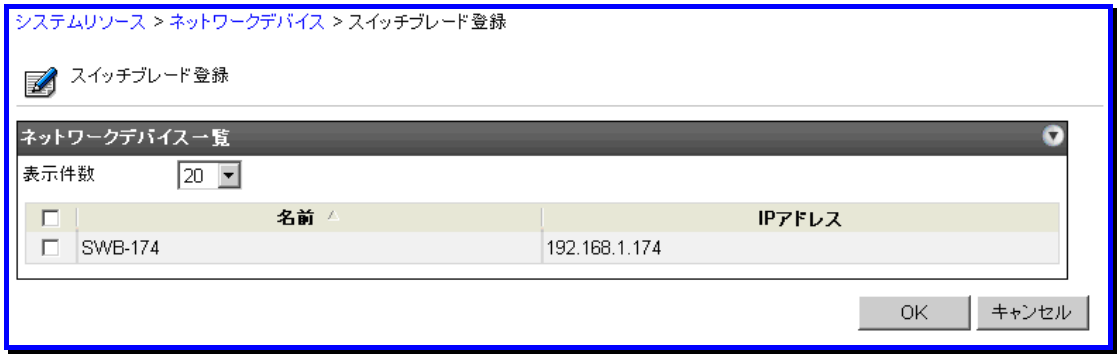
スイッチの解除を行います。

[システムリソース] ツリーから解除を行うスイッチのアイコンをクリックし、メインウィンドウにスイッチの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [スイッチ解除] をクリックすると、解除されます。

3.16.4. スイッチブレード登録

スイッチブレードの登録を行います。

[システムリソース] ツリーから [ネットワークデバイス] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [ネットワークデバイス一覧] グループボックスを表示します。[設定] メニューから [スイッチブレード登録] をクリックすると、メインウィンドウに「スイッチブレード登録」が表示されます。登録するスイッチブレードを選択し、[OK] をクリックするとスイッチブレードが登録されます。

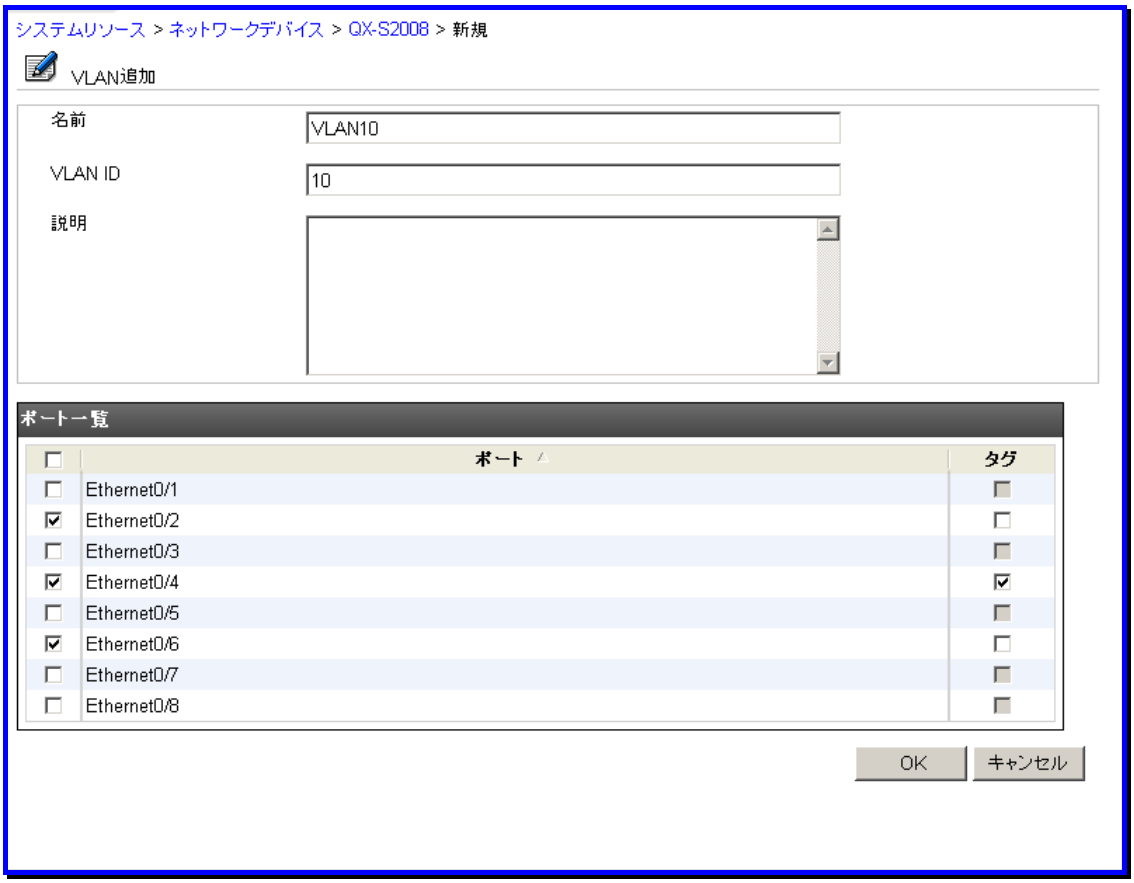


スイッチブレード登録		
	ネットワークデバイス一覧	
		名前	スイッチブレード名を表示します。
		IP アドレス	IPアドレスを表示します。
	[OK]	スイッチブレード登録情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
	[キャンセル]	スイッチブレード登録情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.16.5. VLAN追加

スイッチ、スイッチブレードに VLAN を追加します。同時に、VLAN にスイッチ間を接続するポート、および外部ネットワークに接続するポートを割り当てます。

[システムリソース] ツリーから VLAN の追加を行うスイッチ、およびスイッチブレードのアイコンをクリックし、メインウィンドウに詳細情報を表示します。[設定] メニューから [VLAN 追加] をクリックすると、メインウィンドウに「VLAN 追加」が表示されます。追加する VLAN 情報を入力、およびポートを選択し、[OK] をクリックすると VLAN が追加されます。



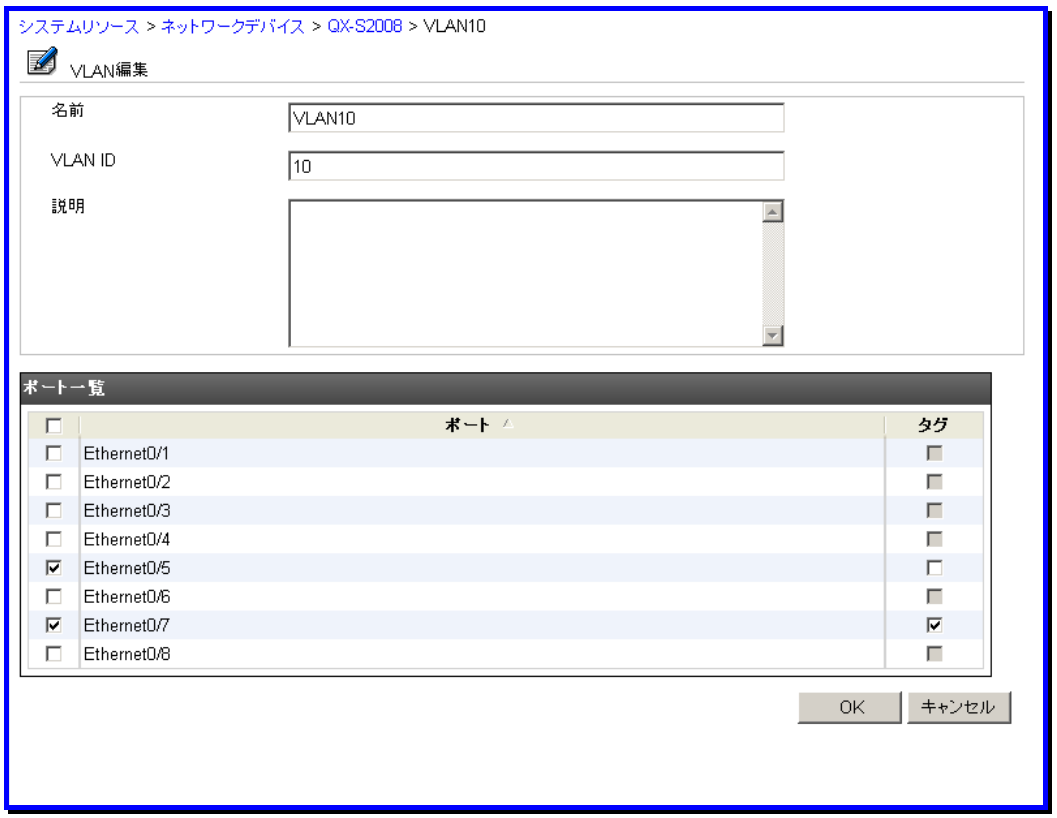
VLAN 追加	
名前	VLAN名を入力します。入力できる文字・文字数は、スイッチ、スイッチブレードで異なります。スイッチの場合、入力できる文字数は256文字以内です。使用できる文字は半角英数、および半角記号です。以下の半角記号は除きます。 ¥ / : * ? < > | ' " スイッチブレードの場合、入力できる文字数は半角40文字以内です。使用できる文字は半角英数、および半角記号 ("?"、スペースを除く) です。

VLAN ID	VLAN IDを入力します。スイッチの場合、VLAN IDに有効な数値は装置によって異なります。スイッチブレードの場合、「2～4094」の範囲で設定できます。
説明	VLANの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
ポート一覧	
ポート	ポートを表示します。
タグ	NetvisorProで管理、登録されているスイッチで、タグ情報を設定する場合、チェックボックスをオンにします。ポートのチェックボックスがオンの場合のみ選択することができます。
[OK]	VLAN追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	VLAN追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.16.6. VLAN編集

スイッチ、スイッチブレードに登録されているVLANを編集します。同時に、VLANに登録されているスイッチ間を接続するポート、外部ネットワークに接続するポートを編集します。

[システムリソース] ツリーから VLAN の編集を行うスイッチ、およびスイッチブレードのアイコンをクリックし、メインウィンドウに詳細情報を表示します。[VLAN 一覧] グループボックスから編集する VLAN の [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「VLAN 編集」が表示されます。VLAN 情報を編集し、[OK] をクリックすると VLAN 情報が変更されます。



VLAN 編集		
	名前	VLAN名を表示し、編集もできます。入力できる文字・文字数は、スイッチ、スイッチブレードで異なります。スイッチの場合、入力できる文字数は256文字以内です。使用できる文字は半角英数、および半角記号です。以下の半角記号は除きます。 ¥ / : * ? < > | ' " スイッチブレードの場合、入力できる文字数は半角40文字以内です。使用できる文字は半角英数、および半角記号 ("?"、スペースを除く) です。
	VLAN ID	VLAN IDを表示し、編集もできます。スイッチの場合、VLAN IDに有効な数値は装置によって異なります。スイッチブレードの場合、「2～4094」の範囲で設定できます。
	説明	VLANの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
	ポート一覧	
	ポート	ポートを表示します。
	タグ	NetvisorProで管理、登録されているスイッチで、タグ情報を設定する場合、チェックボックスをオンにします。ポートのチェックボックスがオンの場合のみ選択することができます。
[OK]		VLAN編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		VLAN編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.16.7. VLAN削除

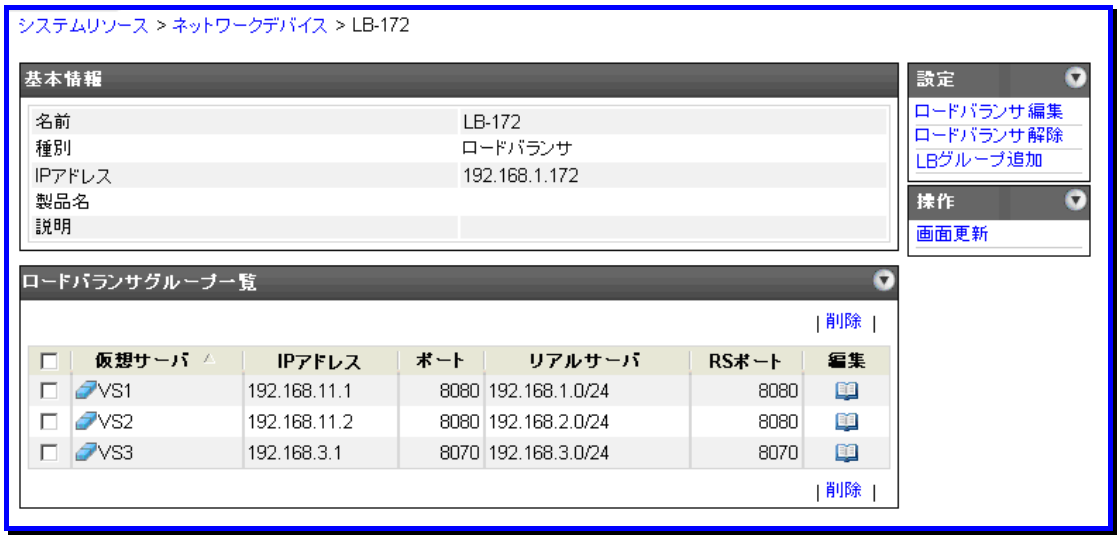
VLAN の削除を行います。

[システムリソース] ツリーから VLAN の削除を行うスイッチ、およびスイッチブレードのアイコンをクリックし、メインウィンドウに詳細情報を表示します。削除する VLAN のチェックボックスをオンにし、[VLAN 一覧] グループボックスの [アクション] メニューから [VLAN 削除] をクリックすると、削除されます。

3.17. ロードバランサの詳細情報

ロードバランサの詳細情報を表示します。

[システムリソース] ツリーから対象のロードバランサのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにロードバランサの詳細情報を表示します。



基本情報		
	名前	ロードバランサ名を表示します。
	種別	ロードバランサの種別を表示します。
	IP アドレス	ロードバランサのIPアドレスを表示します。
	製品名	ロードバランサの製品名を表示します。
	説明	ロードバランサの説明を表示します。
ロードバランサグループ一覧		
	仮想サーバ	ロードバランサ名を表示します。
	IP アドレス	ロードバランサのIPアドレスを表示します。
	ポート	ロードバランサのポートを表示します。
	リアルサーバ	リアルサーバのネットワークアドレスを表示します。
	RS ポート	リアルサーバのRSポートを表示します。
	編集	ロードバランサグループの編集を行います。「ロードバランサグループ編集」ウィンドウに遷移します。
	削除	チェックボックスを選択したロードバランサグループを削除します。

3.17.1. ロードバランサ登録

ロードバランサの登録を行います。

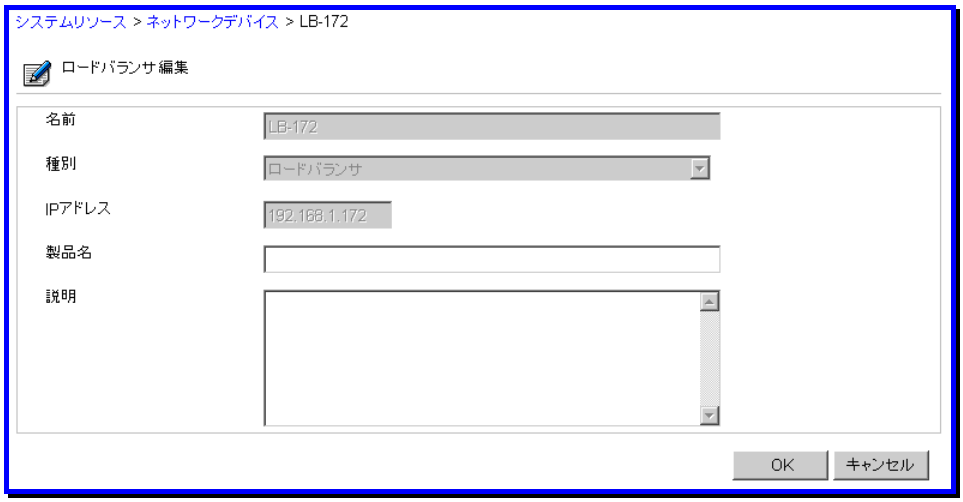
[システムリソース] ツリーから [ネットワークデバイス] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [ネットワークデバイス一覧] グループボックスを表示します。[設定] メニューから [ロードバランサ登録] をクリックすると、メインウィンドウに「ロードバランサ登録」が表示されます。登録するロードバランサを選択し、[OK] をクリックするとロードバランサが登録されます。

ロードバランサ登録		
	ネットワークデバイス一覧	
	名前	ロードバランサ名を表示します。
	IP アドレス	ロードバランサのIPアドレスを表示します。
	[OK]	ロードバランサ登録情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
	[キャンセル]	ロードバランサ登録情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.17.2. ロードバランサ編集

ロードバランサの編集を行います。

[システムリソース] ツリーから編集を行うロードバランサのアイコンをクリックし、メインウィンドウにロードバランサの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [ロードバランサ編集] をクリックすると、メインウィンドウに「ロードバランサ編集」が表示されます。ロードバランサ情報を編集し、[OK] をクリックするとロードバランサ情報が変更されます。



ロードバランサ編集		
	名前	ロードバランサ名を表示します。編集はできません。
	種別	ロードバランサの種別を表示します。編集はできません。
	IP アドレス	ロードバランサのIPアドレスを表示します。編集はできません。
	製品名	ロードバランサの製品名を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。
	説明	ロードバランサの説明を表示し、編集もできます。
[OK]		ロードバランサ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		ロードバランサ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.17.3. ロードバランサ解除

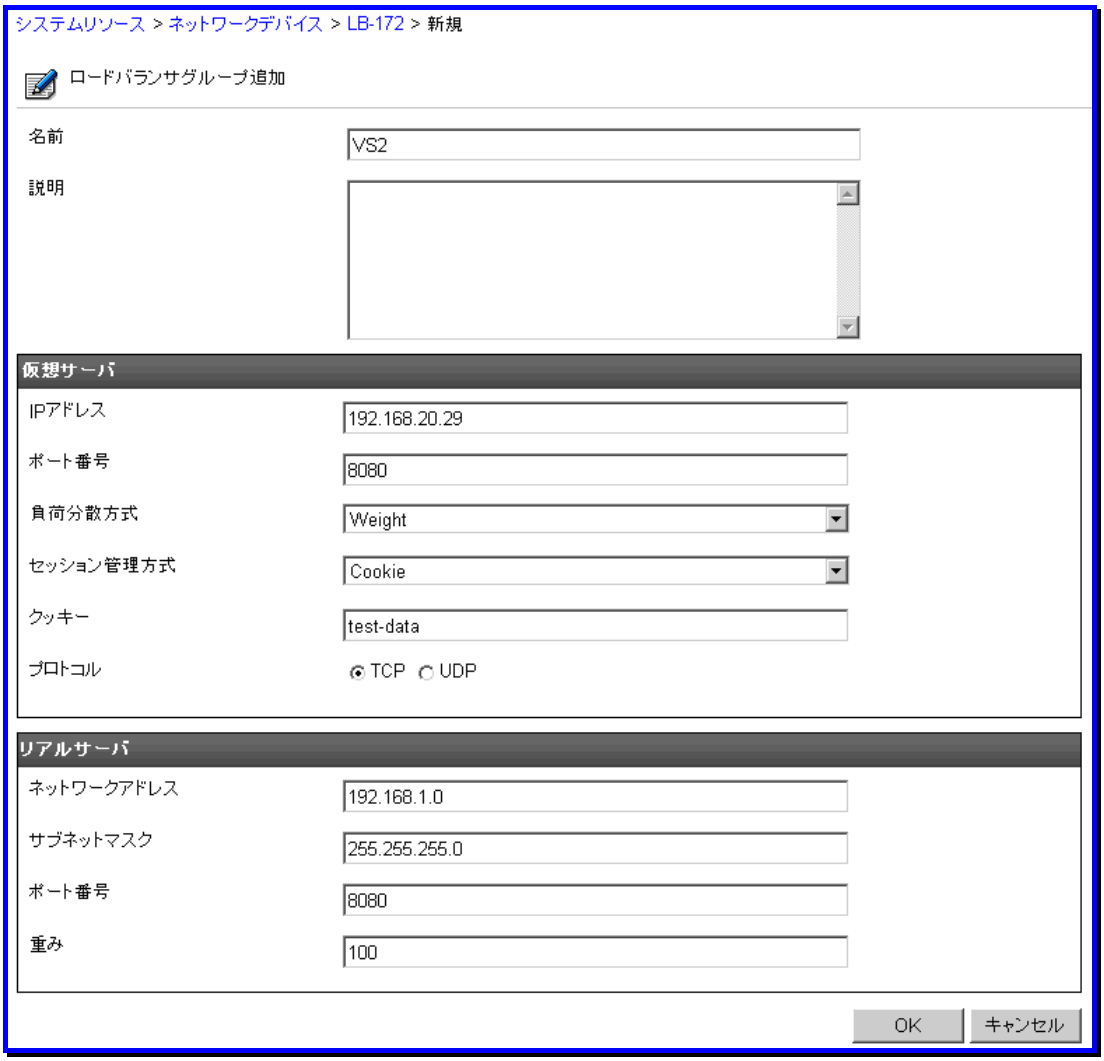
ロードバランサの解除を行います。

[システムリソース] ツリーから解除を行うロードバランサのアイコンをクリックし、メインウィンドウにロードバランサの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [ロードバランサ解除] をクリックすると、解除されます。

3.17.4. ロードバランサグループ追加

ロードバランサグループの追加を行います。

[システムリソース] ツリーからロードバランサグループを追加する対象のロードバランサのアイコンをクリックし、メインウィンドウにロードバランサの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [LB グループ追加] をクリックすると、メインウィンドウに「ロードバランサグループ追加」が表示されます。追加するロードバランサグループ情報を入力し、[OK] をクリックするとロードバランサグループが追加されます。



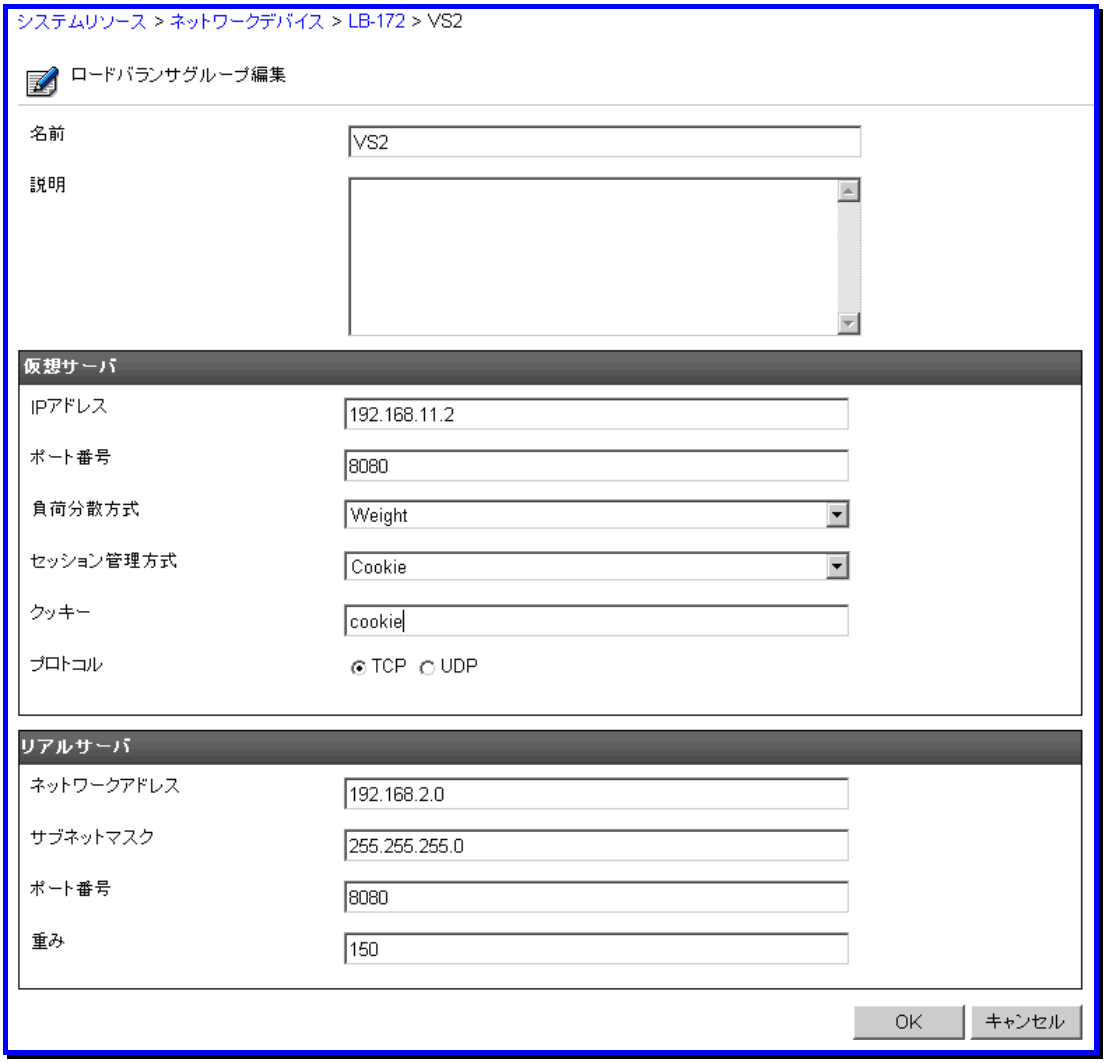
ロードバランサグループ追加	
名前 **(入力必須)**	ロードバランサグループ名を入力します。入力できる文字数は256文字以内です。使用できる文字は半角英数、および半角記号です。以下の半角記号は除きます。 ¥ / : * ? < > | ' "

	説明	ロードバランサグループの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
	仮想サーバ	
	IP アドレス **(入力必須)**	仮想サーバのIPアドレスを入力します。
	ポート番号 **(入力必須)**	仮想サーバのポート番号を入力します。「1～65535」の範囲で設定できます。
	負荷分散方式	仮想サーバの負荷分散方式を選択します。使用する装置により負荷分散方式で選択できる項目が変わります。
	セッション管理方式	仮想サーバのセッション管理方式を選択します。使用する装置によりセッション管理方式で選択できる項目が変わります。
	クッキー	仮想サーバのセッション管理方式が、"Cookie" の場合、クッキーを入力します。入力できる文字数は256文字以内です。使用できる文字はアルファベットで始まる英数字、および半角記号（"."、"-"、"_" ）です。
	プロトコル	仮想サーバのプロトコルを選択します。
	リアルサーバ	
	ネットワークアドレス **(入力必須)**	リアルサーバのネットワークアドレスを入力します。
	サブネットマスク **(入力必須)**	リアルサーバのサブネットマスクを入力します。
	ポート番号 **(入力必須)**	リアルサーバのポート番号を入力します。「1～65535」の範囲で設定できます。
	重み	リアルサーバの重みを入力します。[仮想サーバ] グループボックスの [負荷分散方式] プルダウンボックスが "Weight" の場合、重みを入力します。「0～65000」の範囲で設定できます。
[OK]		ロードバランサグループ追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		ロードバランサグループ追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.17.5. ロードバランサグループ編集

ロードバランサグループの編集を行います。

[システムリソース] ツリーからロードバランサグループを編集するロードバランサのアイコンをクリックし、メインウィンドウにロードバランサの詳細情報を表示します。[ロードバランサグループ一覧] グループボックスから編集するロードバランサグループの [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「ロードバランサグループ編集」が表示されます。ロードバランサグループ情報を編集し、[OK] をクリックするとロードバランサグループ情報が変更されます。



ロードバランサグループ編集	
名前	ロードバランサグループ名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は256文字以内です。使用できる文字は半角英数、および半角記号です。以下の半角記号は除きます。 ¥ / : * ? < > | ' "

	説明	ロードバランサグループの説明を表示し、編集もできます。
	仮想サーバ	
	IP アドレス	仮想サーバのIPアドレスを表示し、編集もできます。
	ポート番号	仮想サーバのポート番号を表示し、編集もできます。
	負荷分散方式	仮想サーバの負荷分散方式を表示し、変更もできます。使用する装置により負荷分散方式で選択できる項目が変わります。
	セッション管理方式	仮想サーバのセッション管理方式を表示し、変更もできます。使用する装置によりセッション管理方式で選択できる項目が変わります。
	クッキー	仮想サーバのセッション管理方式が、"Cookie" の場合、クッキーを表示し、編集もできます。入力できる文字数は256文字以内です。使用できる文字はアルファベットで始まる英数字、および半角記号（"."、"-"、"_" ）です。
	プロトコル	仮想サーバのプロトコルを表示し、変更もできます。
	リアルサーバ	
	ネットワークアドレス	リアルサーバのネットワークアドレスを表示し、編集もできます。
	サブネットマスク	リアルサーバのサブネットマスクを表示し、編集もできます。
	ポート番号	リアルサーバのポート番号を表示し、編集もできます。
	重み	リアルサーバの重みを表示し、編集もできます。
[OK]		ロードバランサグループ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		ロードバランサグループ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.17.6. ロードバランサグループ削除

ロードバランサグループの削除を行います。

[システムリソース] ツリーから削除を行うロードバランサのアイコンをクリックし、メインウィンドウにロードバランサの詳細情報を表示します。削除するロードバランサグループのチェックボックスをオンにし、[ロードバランサグループ一覧] グループボックスの [アクション] メニューから [削除] をクリックすると、削除されます。

3.18. [ソフトウェア] アイコン

[ソフトウェア] アイコンは、ソフトウェアの管理を行います。

[システムリソース] ツリーから [ソフトウェア] アイコンをクリックすると、基本情報、および [サマリー情報] グループボックスが表示されます。

表示されるソフトウェアは、DeploymentManager の OS イメージ、仮想マシンのテンプレート、Backup タスク、アプリケーションとアップデート、および管理サーバ上のスクリプトの 5 種類があります。

DeploymentManager のシナリオ情報を更新する場合、[操作] メニューから [DPM 収集] をクリックして更新します。または、[管理] ビューのサブシステムの詳細情報で対象のサブシステムを選択し、[アクション] メニューから [収集] をクリックすると更新されます。

仮想マシンのテンプレート情報は、[管理] ビューのサブシステムの詳細情報で対象のサブシステムを選択し、[アクション] メニューから [収集] をクリックすると更新されます。

スクリプトの情報を更新する場合、[操作] メニューから [スクリプト収集] をクリックして更新します。

すべてのソフトウェア情報を更新する場合、[管理] ビューの [操作] メニューから [収集] をクリックして更新します。

基本情報	ソフトウェアの定義、および説明を表示します。
サマリー情報	
ソフトウェア種類	ソフトウェアの種類を表示します。 表示されるソフトウェアの種類は、OSイメージ、テンプレート、Backupタスク、アプリケーションとアップデート、およびスクリプトの5種類です。
合計	ソフトウェアの種類ごとにソフトウェア数の合計値を表示します。

注: ソフトウェアの種類は、各種類のソフトウェアが登録されている場合に表示されます。各種類のソフトウェアの合計値が 0 (登録数が 0) の場合は、表示されません。

3.19. ソフトウェア一覧

ソフトウェア一覧では "OS イメージ"、"テンプレート"、"BackUp タスク"、"アプリケーションとアップデート"、"スクリプト" を分類したソフトウェアを表示します。

[システムリソース] ツリーから [ソフトウェア] アイコンをクリックし、[サマリー情報] グループボックスに表示されるソフトウェア種別欄から基本情報を表示するソフトウェアの種類をクリックします。もしくは [システムリソース] ツリーから「ソフトウェアの種別」のアイコンをクリックします。選択された種類に分類されるソフトウェアを表示します。

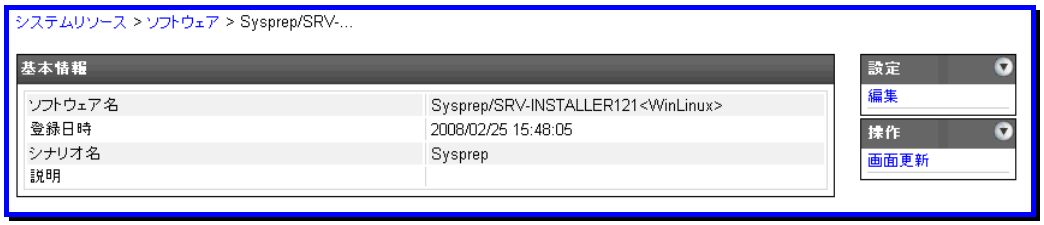
基本情報		
	種別	ソフトウェアの種別を表示します。
	説明	種別の説明を表示します。
OS イメージ一覧		
	ソフトウェア	ソフトウェアの名前を表示します。
	種別	種別名を表示します。

3.20. ソフトウェアの基本情報

ソフトウェアの基本情報を表示します。

[システムリソース] ツリーから [ソフトウェア] アイコンをクリックし、[サマリー情報] グループボックスに表示されるソフトウェア種別欄から基本情報を表示するソフトウェアの種類をクリックします。ソフトウェア一覧からソフトウェア名、もしくは [システムリソース] ツリーから対象のソフトウェアのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにソフトウェアの基本情報が表示されます。

◆ シナリオ、ローカルスクリプトの場合

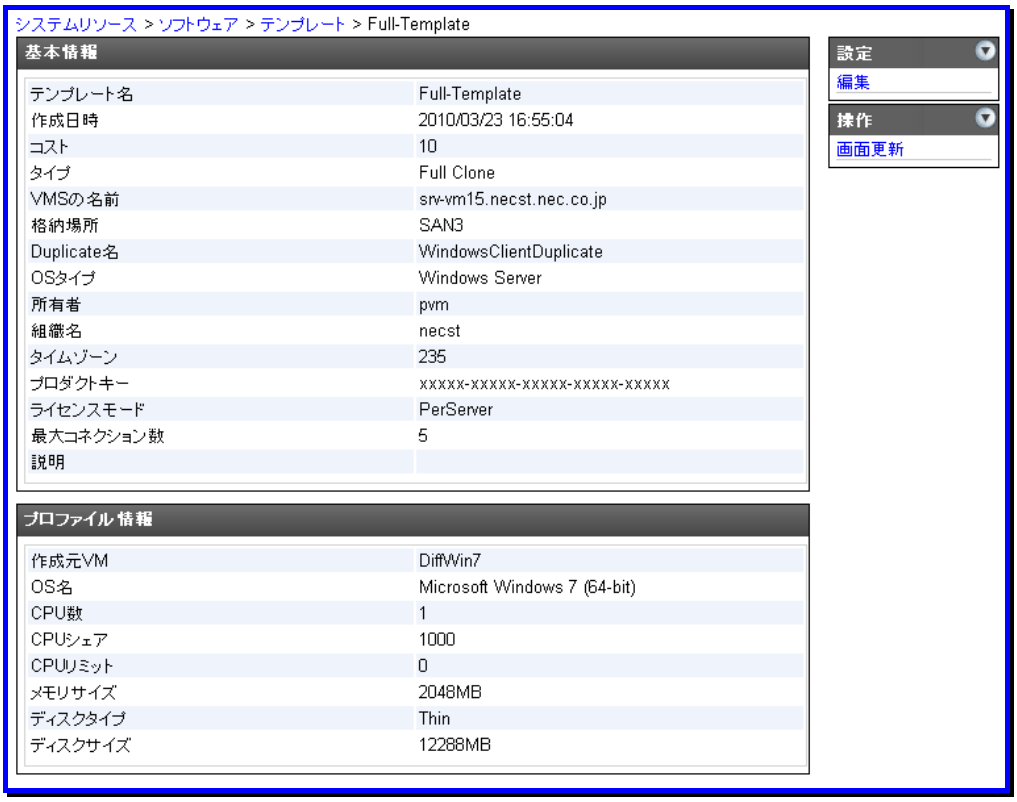


基本情報	
ソフトウェア名	ソフトウェア名を表示します。
登録日時	ソフトウェアの登録、もしくは更新日時を表示します。
シナリオ名	サブシステム内で管理されているシナリオ名、またはローカルスクリプト名を表示します。
説明	ソフトウェアの説明を表示します。

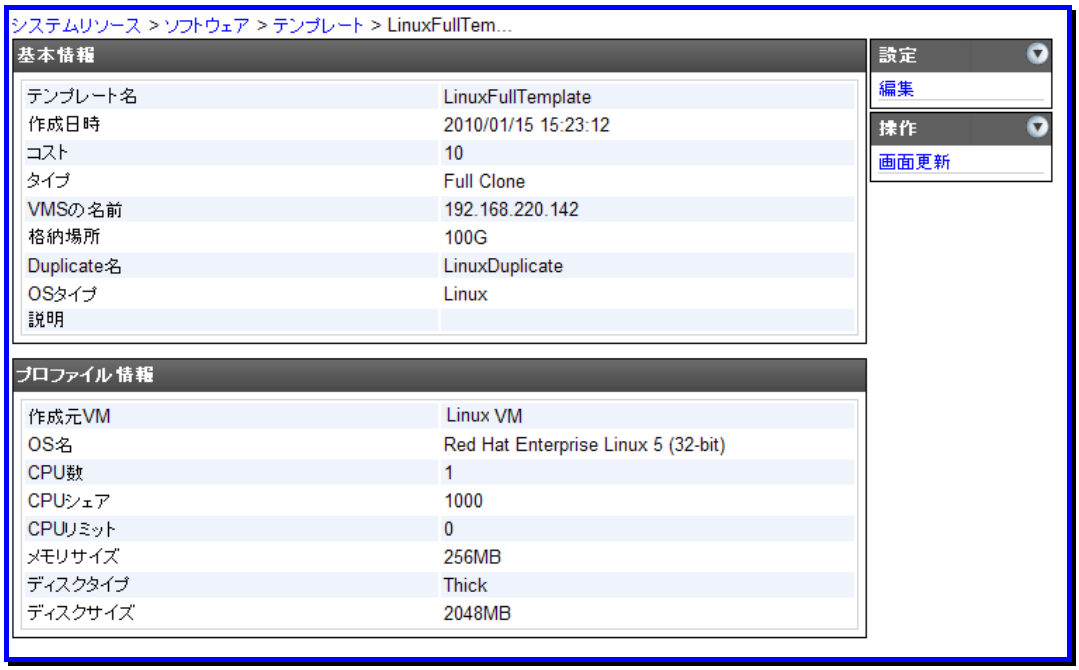
◆ Full Clone 用のテンプレート (VMware vCenter Server 環境) の場合

[所有者]、[組織名]、[タイムゾーン]、[プロダクトキー]、[ライセンスモード]、[最大コネクション数] は、Windows の場合のみ表示します。

＜Windows の場合＞



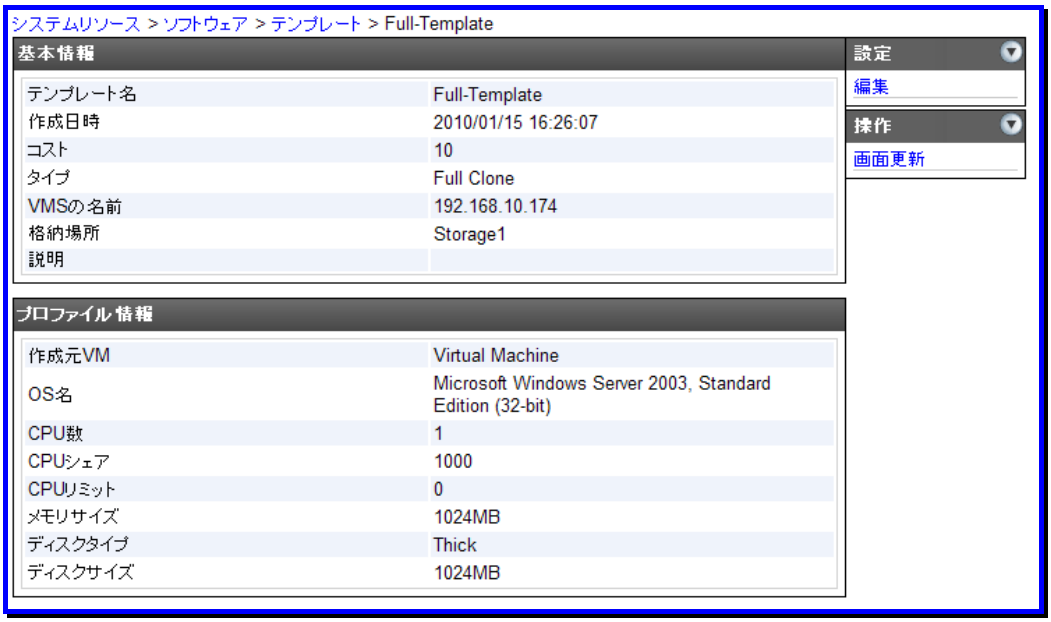
＜Windows 以外の場合＞



基本情報	
テンプレート名	テンプレート名を表示します。
作成日時	テンプレートの作成、もしくは編集日時を表示します。
コスト	テンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する仮想マシンのコスト値を表示します。
タイプ	テンプレートのタイプを表示します。
VMS の名前	テンプレートが登録されている仮想マシンサーバの名前を表示します。
格納場所	テンプレートが保存されているDatastoreを表示します。
Duplicate 名	テンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する情報（Duplicate）につける名称を表示します。
OS タイプ	テンプレートに登録されているOSの種類を表示します。
所有者	テンプレートに登録されているOSライセンスの所有者名を表示します（Windowsの場合のみ表示)。
組織名	テンプレートに登録されているOSライセンスの所有組織名を表示します（Windowsの場合のみ表示)。
タイムゾーン	テンプレートに登録されているタイムゾーンを表示します(Windowsの場合のみ表示)。
プロダクトキー	テンプレートに登録されているOSライセンスのプロダクトキーを表示します（Windowsの場合のみ表示)。
ライセンスモード	テンプレートに登録されているライセンスモードを表示します（Windowsの場合のみ表示)。

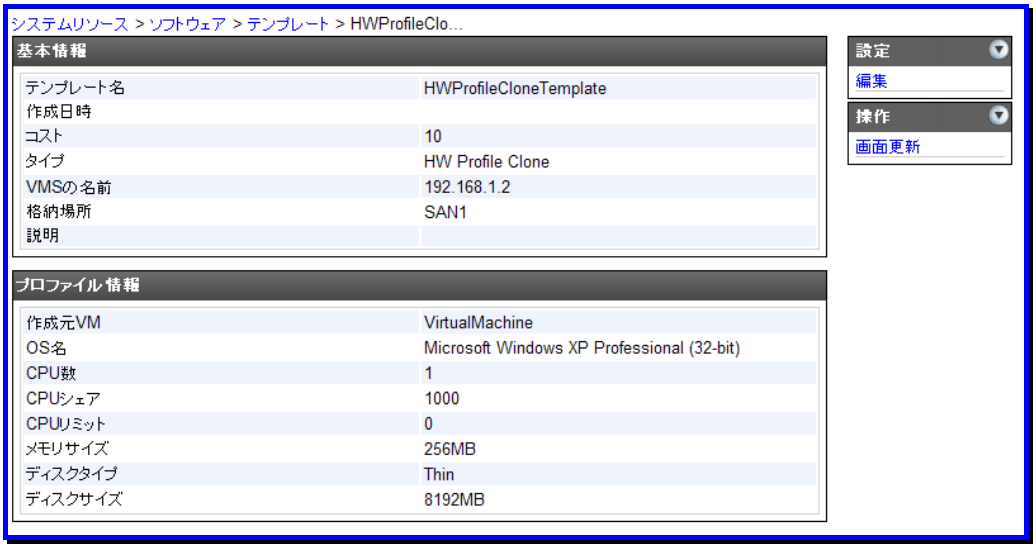
	最大コネクション数	テンプレートに登録されているライセンスモードで PerServerが表示されている場合、Windowsの PerServerMode (同時使用ユーザ数モード) に設定されるユーザ数を表示します (Windowsの場合のみ表示)。
	説明	テンプレートの説明を表示します。
プロファイル情報		
	作成元 VM	テンプレート作成時に指定した、マスタマシン名を表示します。
	OS 名	テンプレート作成時に指定したマスタマシンにインストールされていたOS名を表示します。
	CPU 数	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPU数を表示します。
	CPU シェア	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPUのシェア値を表示します。
	CPU リミット	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのリミットを表示します。
	メモリサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのメモリを表示します。
	ディスクタイプ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクタイプを表示します。
	ディスクサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクサイズを表示します。

◆ Full Clone 用のテンプレート (VMware vCenter Server 以外の環境) の場合



基本情報	
テンプレート名	テンプレート名を表示します。
作成日時	テンプレートの作成日時を表示します。
コスト	テンプレートのコストを表示します。
タイプ	テンプレートのタイプを表示します。
VMS の名前	テンプレートが登録されている仮想マシンサーバの名前を表示します。
格納場所	テンプレートの格納場所を表示します。
説明	テンプレートの説明を表示します。
プロファイル情報	
作成元 VM	テンプレート作成時に指定したマスタマシン名を表示します。
OS 名	テンプレート作成時に指定したマスタマシンにインストールされていたOS名を表示します。
CPU 数	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPU数を表示します。
CPU シェア	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPUのシェア値を表示します。
CPU リミット	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのリミットを表示します。
メモリサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのメモリを表示します。
ディスクタイプ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクタイプを表示します。
ディスクサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクサイズを表示します。

◆ HW Profile Clone 用のテンプレートの場合



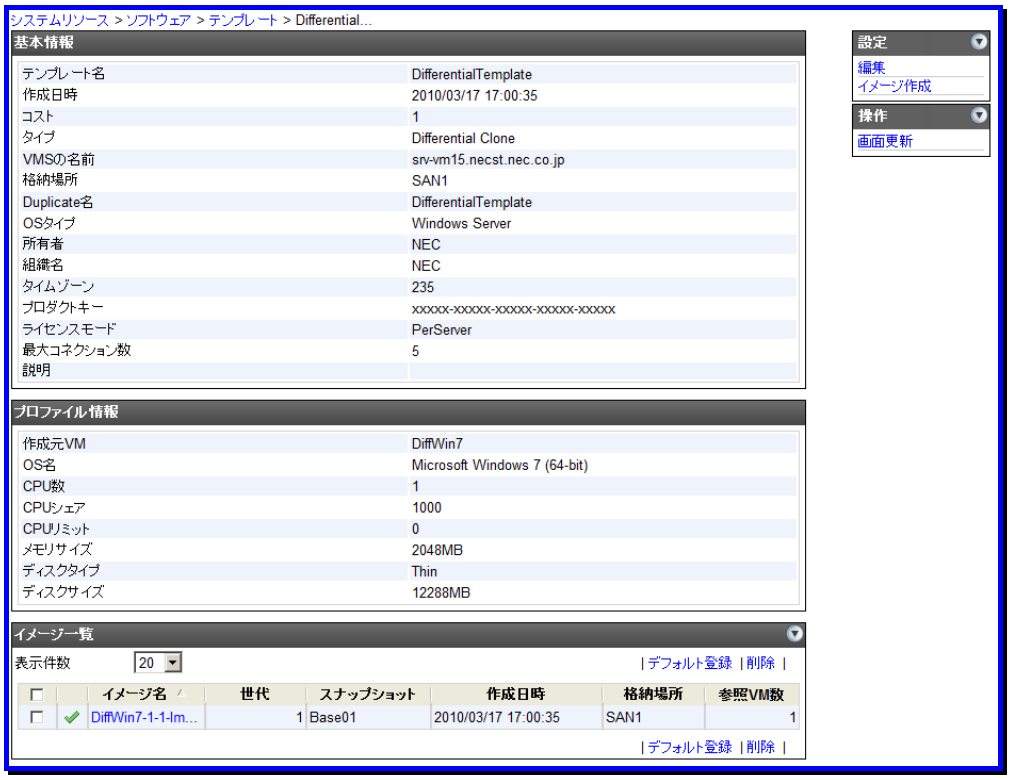
基本情報	
テンプレート名	テンプレート名を表示します。
作成日時	日時は表示されず、空白になります。
コスト	テンプレートのコストを表示します。
タイプ	テンプレートのタイプを表示します。
VMS の名前	テンプレートが登録されている仮想マシンサーバの名前を表示します。
格納場所	テンプレートの格納場所を表示します。
説明	テンプレートの説明を表示します。
プロファイル情報	
作成元 VM	テンプレート作成時に指定したマスタマシン名を表示します。
OS 名	テンプレート作成時に指定したマスタマシンにインストールされていたOS名を表示します。
CPU 数	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPU数を表示します。
CPU シェア	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPUのシェア値を表示します。
CPU リミット	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのリミットを表示します。
メモリサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのメモリを表示します。
ディスクタイプ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクタイプを表示します。

	ディスクサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクサイズを表示します。

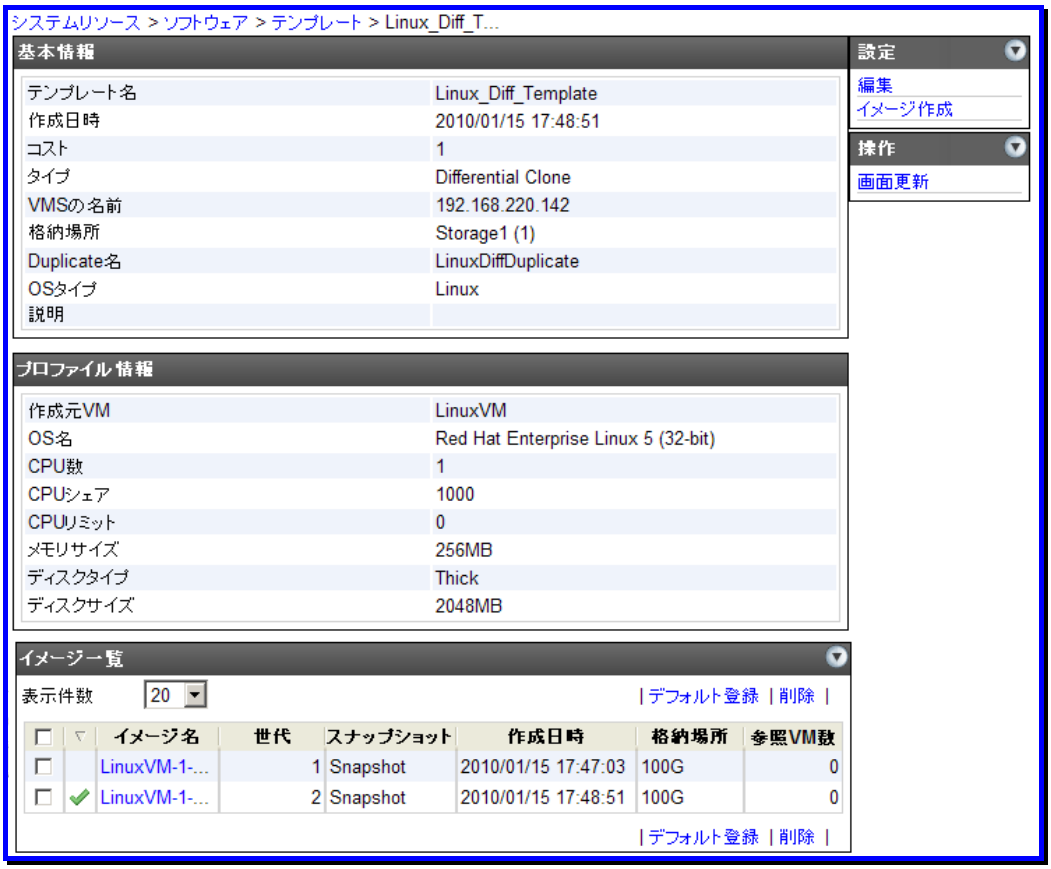
◆ Differential Clone 用のテンプレート (VMware vCenter Server 環境) の場合

[所有者]、[組織名]、[タイムゾーン]、[プロダクトキー]、[ライセンスモード]、[最大コネクション数] は、Windows の場合のみ表示します。

＜Windows の場合＞



＜Windows 以外の場合＞

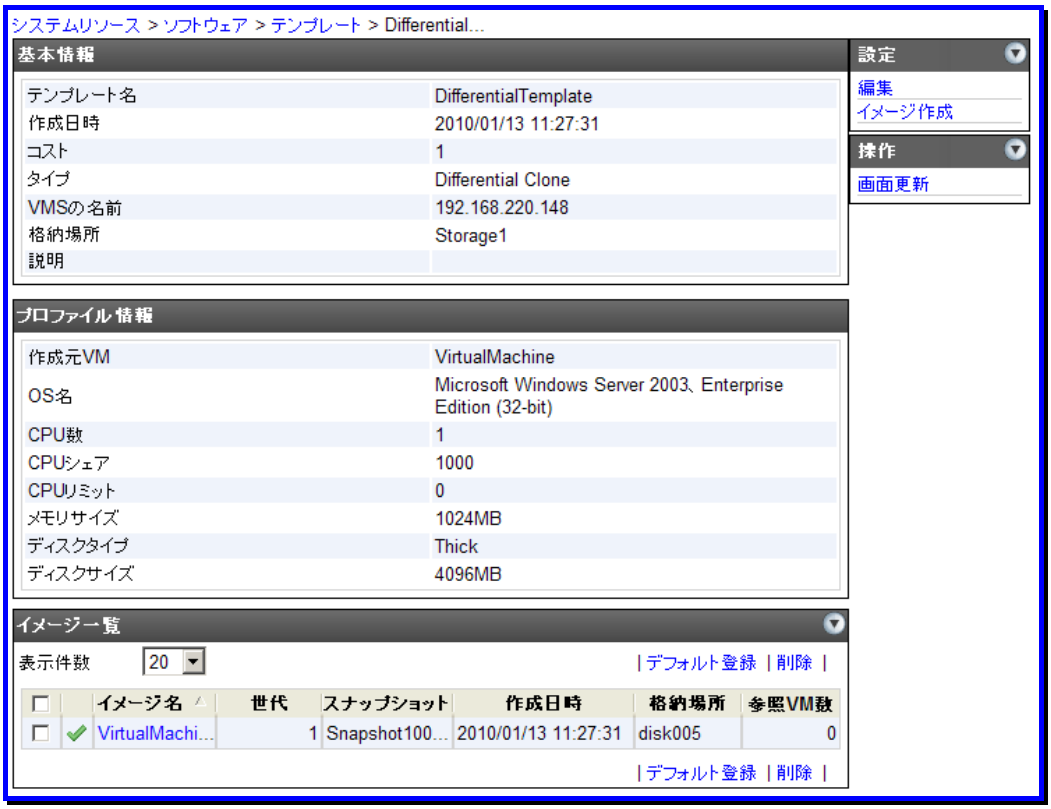


基本情報

テンプレート名	テンプレート名を表示します。
作成日時	テンプレートの作成日時を表示します。
コスト	テンプレートのコストを表示します。
タイプ	テンプレートのタイプを表示します。
VMS の名前	テンプレートが登録されている仮想マシンサーバの名前を表示します。
格納場所	テンプレートの格納場所を表示します。
Duplicate 名	テンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する情報（Duplicate）につける名称を表示します。
OS タイプ	テンプレートに登録されているOSの種類を表示します。
所有者	テンプレートに登録されているOSライセンスの所有者名を表示します（Windowsの場合のみ表示)。
組織名	テンプレートに登録されているOSライセンスの所有組織名を表示します（Windowsの場合のみ表示)。
タイムゾーン	テンプレートに登録されているタイムゾーンを表示します(Windowsの場合のみ表示)。

	プロダクトキー	テンプレートに登録されているOSライセンスのプロダクトキーを表示します (Windowsの場合のみ表示)。
	ライセンスモード	テンプレートに登録されているライセンスモードを表示します (Windowsの場合のみ表示)。
	最大コネクション数	テンプレートに登録されているライセンスモードでPerServerが表示されている場合、WindowsのPerServerMode (同時使用ユーザ数モード) に設定されるユーザ数を表示します (Windowsの場合のみ表示)。
	説明	テンプレートの説明を表示します。
プロファイル情報		
	作成元 VM	テンプレート作成時に指定したマスタマシン名を表示します。
	OS 名	テンプレート作成時に指定したマスタマシンにインストールされていたOS名を表示します。
	CPU 数	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPU数を表示します。
	CPU シェア	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPUのシェア値を表示します。
	CPU リミット	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのリミットを表示します。
	メモリサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのメモリを表示します。
	ディスクタイプ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクタイプを表示します。
	ディスクサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクサイズを表示します。
イメージ一覧		
	イメージ名	イメージ名を表示します。
	世代	イメージの世代番号を表示します。
	スナップショット	イメージの作成元となったスナップショット名を表示します。
	作成日時	イメージを作成した日時を表示します。
	格納場所	イメージが格納されているDataStore名を表示します。
	参照 VM 数	イメージを参照して作成された仮想マシン数を表示します。
	デフォルト登録	選択したイメージをテンプレートのデフォルトイメージに登録します。
	削除	選択したイメージを削除します。ただし、デフォルトイメージに登録されているイメージは削除できません。

◆ Differential Clone 用のテンプレート (VMware vCenter Server 以外の環境) の場合



基本情報		
	テンプレート名	テンプレート名を表示します。
	作成日時	デフォルトイメージの作成日時を表示します。
	コスト	テンプレートのコストを表示します。
	タイプ	テンプレートのタイプを表示します。
	VMS の名前	テンプレートが登録されている仮想マシンサーバの名前を表示します。
	格納場所	テンプレートの格納場所を表示します。
	説明	テンプレートの説明を表示します。
プロファイル情報		
	作成元 VM	テンプレート作成時に指定したマスタマシン名を表示します。
	OS 名	テンプレート作成時に指定したマスタマシンにインストールされていたOS名を表示します。
	CPU 数	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPU数を表示します。

	CPU シェア	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPUのシェア値を表示します。
	CPU リミット	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのリミットを表示します。
	メモリサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのメモリを表示します。
	ディスクタイプ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクタイプを表示します。
	ディスクサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクサイズを表示します。
イメージ一覧		
	イメージ名	イメージ名を表示します。
	世代	イメージの世代番号を表示します。
	スナップショット	イメージの作成元となったスナップショット名を表示します。
	作成日時	イメージを作成した日時を表示します。
	格納場所	イメージが格納されているDataStore名を表示します。
	参照 VM 数	イメージを参照して作成された仮想マシン数を表示します。
	デフォルト登録	選択したイメージをテンプレートのデフォルトイメージに登録します。
	削除	選択したイメージを削除します。ただし、デフォルトイメージに登録されているイメージは削除できません。

◆ Disk Clone 用のテンプレートの場合

基本情報		
	テンプレート名	テンプレート名を表示します。
	作成日時	デフォルトイメージの作成日時を表示します。
	コスト	テンプレートのコストを表示します。
	タイプ	テンプレートのタイプを表示します。
	VMS の名前	テンプレートが登録されている仮想マシンサーバを表示します。
	格納場所	テンプレートの格納場所を表示します。
	説明	テンプレートの説明を表示します。
プロファイル情報		
	作成元 VM	テンプレート作成時に指定したマスタマシン名を表示します。
	OS 名	テンプレート作成時に指定したマスタマシンにインストールされていたOS名を表示します。
	CPU 数	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPU数を表示します。

	CPU シェア	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPUのシェア値を表示します。
	CPU リミット	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのリミットを表示します。
	メモリサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのメモリを表示します。
	ディスクタイプ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクタイプを表示します。
	ディスクサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクサイズを表示します。
イメージ一覧		
	イメージ名	イメージ名を表示します。
	世代	イメージの世代番号を表示します。
	作成日時	イメージを作成した日時を表示します。
	格納場所	イメージが格納されているDataStore名を表示します。
	デフォルト登録	選択したイメージをテンプレートのデフォルトイメージに登録します。
	削除	選択したイメージを削除します。ただし、デフォルトイメージに登録されているイメージは削除できません。

3.20.1. ソフトウェア編集

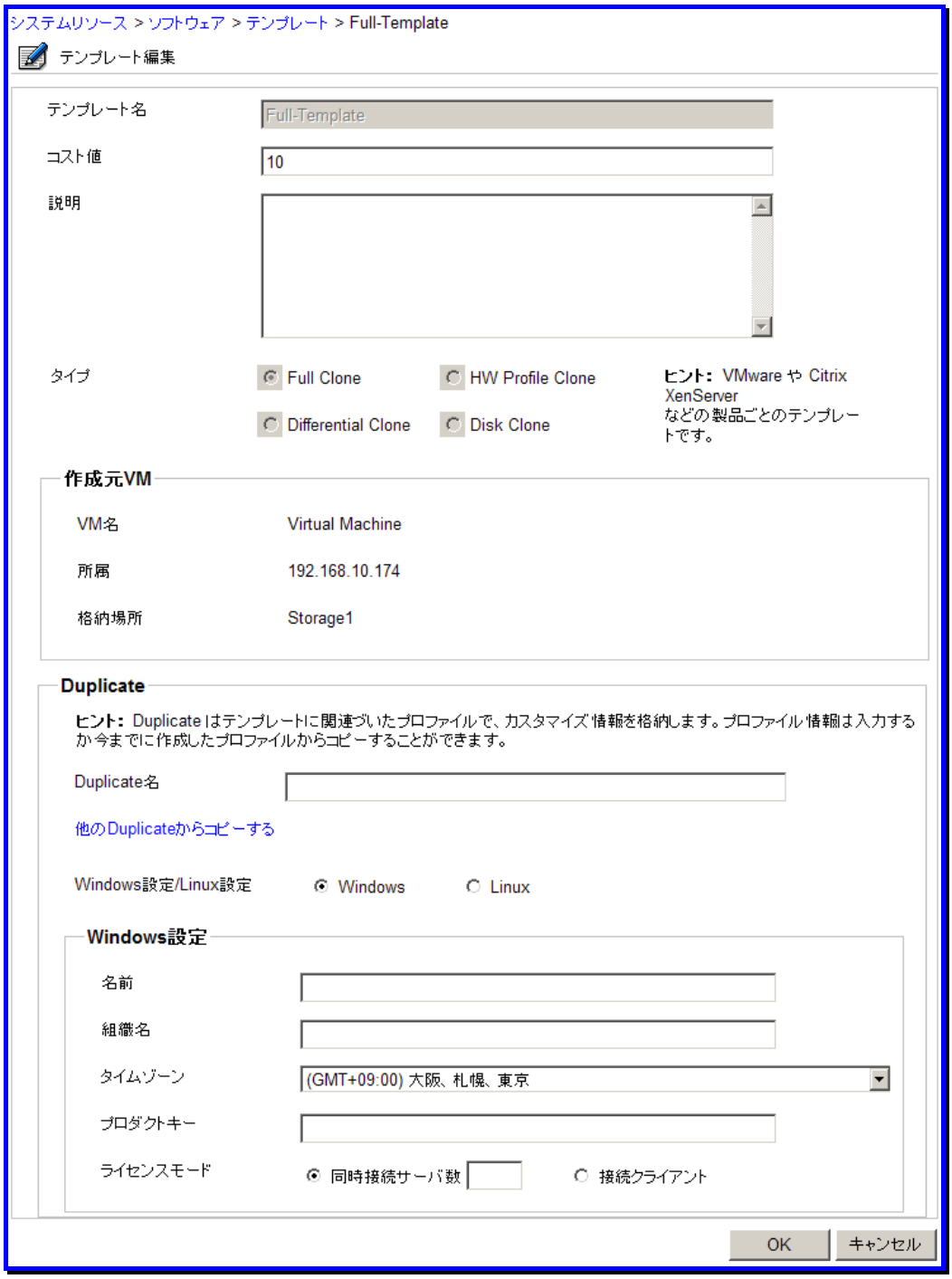
ソフトウェア名の編集を行います。

[システムリソース] ツリーから名前を変更するソフトウェアのアイコンをクリックし、メインウィンドウにソフトウェアの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [編集] をクリックすると、メインウィンドウにソフトウェアの編集ウィンドウが表示されます。ソフトウェア情報を編集し、[OK] をクリックするとソフトウェア情報が変更されます。

◆ シナリオ、ローカルスクリプトの場合

シナリオ編集		
	名前 **(入力必須)**	ソフトウェア名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。
	説明	ソフトウェアの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]		シナリオ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		シナリオ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

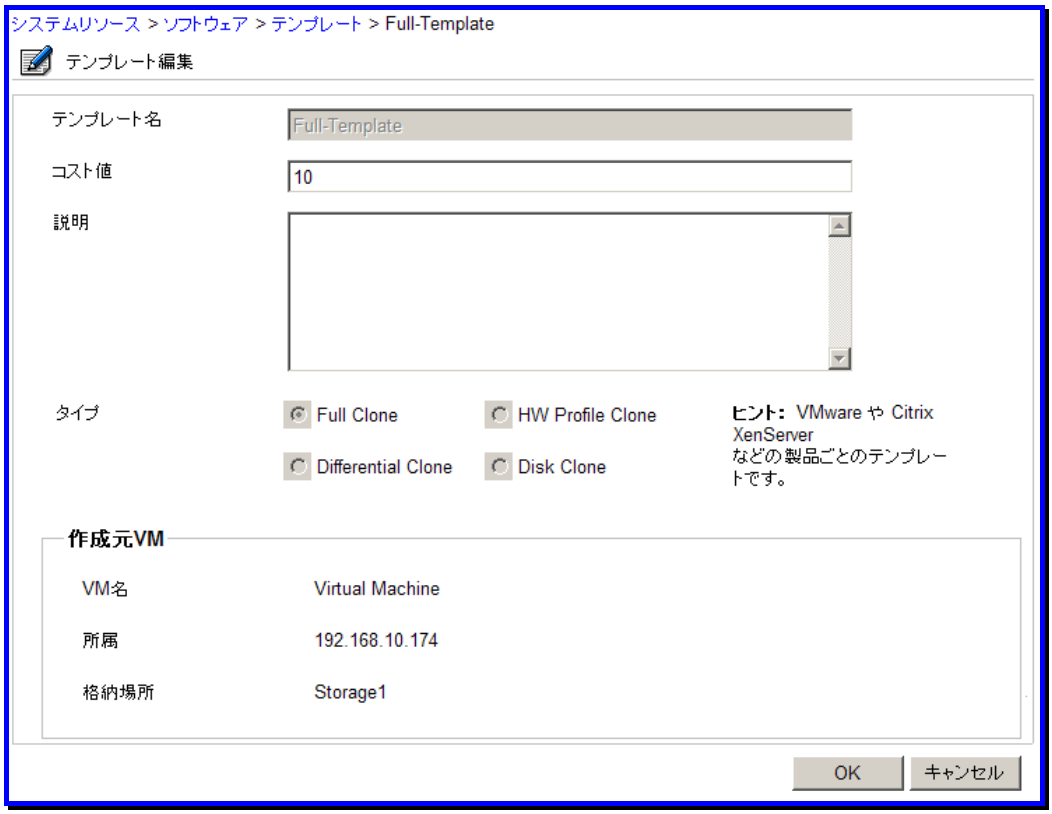
◆ Full Clone 用のテンプレート (VMware vCenter Server 環境) の場合



テンプレート編集	
テンプレート名	テンプレートの名称を表示します。編集はできません。
コスト値	テンプレートのコスト値を表示し、編集もできます。「1～1000」の範囲で設定できます。

説明	テンプレートの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
タイプ	"Full Clone" を表示します。変更はできません。
作成元 VM	
VM 名	テンプレート作成時に使用した仮想マシン名を表示します。変更はできません。
所属	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが所属する仮想マシンサーバ名を表示します。変更はできません。
格納場所	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが格納されているDatastoreを表示します。変更はできません。
Duplicate	
Duplicate 名	Duplicate名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' " ; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ = +
他の Duplicate からコピーする	既に別のテンプレートでDuplicate情報が登録されている場合、登録情報をDuplicate一覧として表示します。Duplicate一覧から選択した情報を選んで [OK] をクリックすると選択したDuplicateと同じ設定を反映します。
Windows 設定 / Linux 設定	テンプレートのOSの種類を表示し、変更もできます。
Windows 設定	
名前	OSライセンスの所有者名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' " ; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ =+
組織名	OSライセンスの所有組織名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' " ; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ = +
タイムゾーン	タイムゾーンを表示し、変更もできます。
プロダクトキー	OSライセンスのプロダクトキーを表示し、編集もできます。入力できる文字は半角英数字のみです。入力は (XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX) 形式で入力します。
ライセンスモード	ライセンスモードを表示し、変更もできます。[同時接続ユーザ数] を選択する場合、テキストボックスにユーザ数を入力します。「1～999999」の範囲で設定できます。
[OK]	テンプレート編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	テンプレート編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

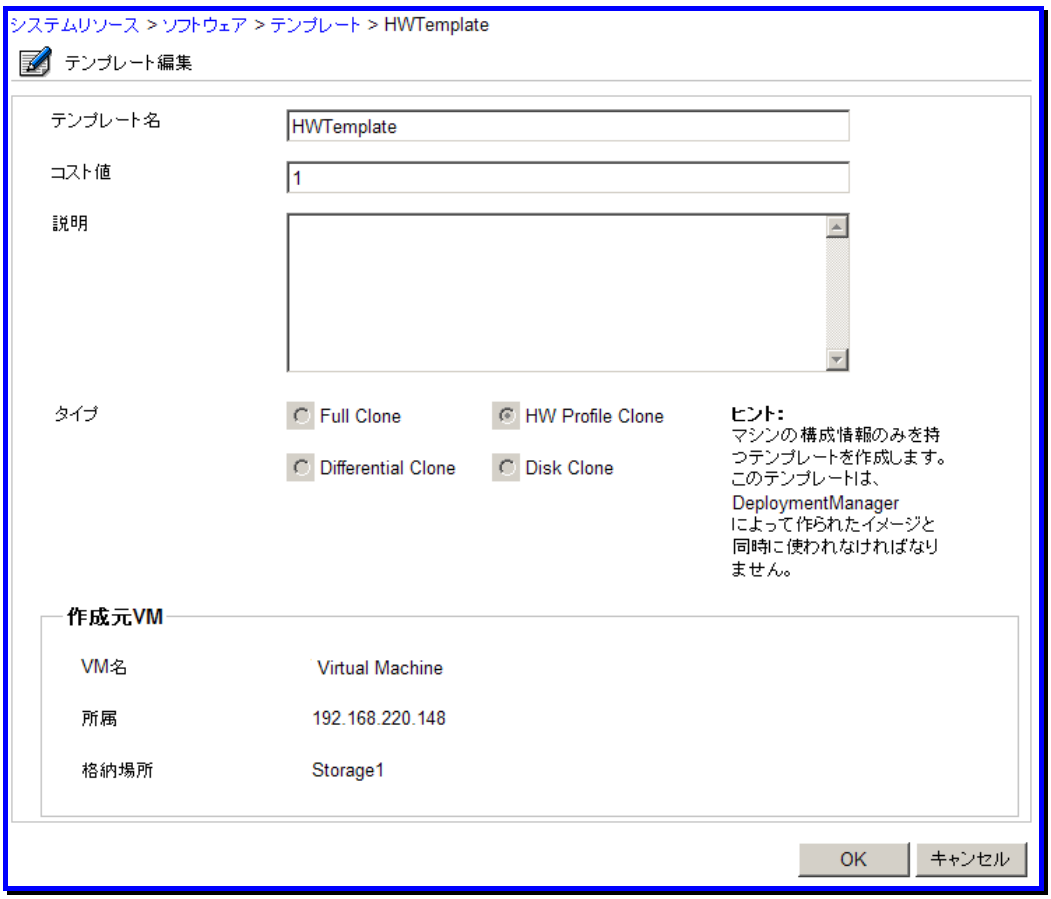
◆ Full Clone 用のテンプレート (VMware vCenter Server 環境以外) の場合



テンプレート編集		
	テンプレート名 **(入力必須)**	テンプレートの名称を表示します。編集はできません。
	コスト値	テンプレートのコスト値を表示し、編集もできます。「1～1000」の範囲で設定できます。
	説明	テンプレートの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
	タイプ	"Full Clone" を表示します。変更はできません。
	作成元 VM	
	VM 名	テンプレート作成時に使用した仮想マシン名を表示します。変更はできません。
	所属	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが所属する仮想マシンサーバ名を表示します。変更はできません。
	格納場所	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが格納されているDatastoreを表示します。変更はできません。
[OK]		テンプレート編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。

[キャンセル]	テンプレート編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

◆ HW Profile Clone 用のテンプレートの場合



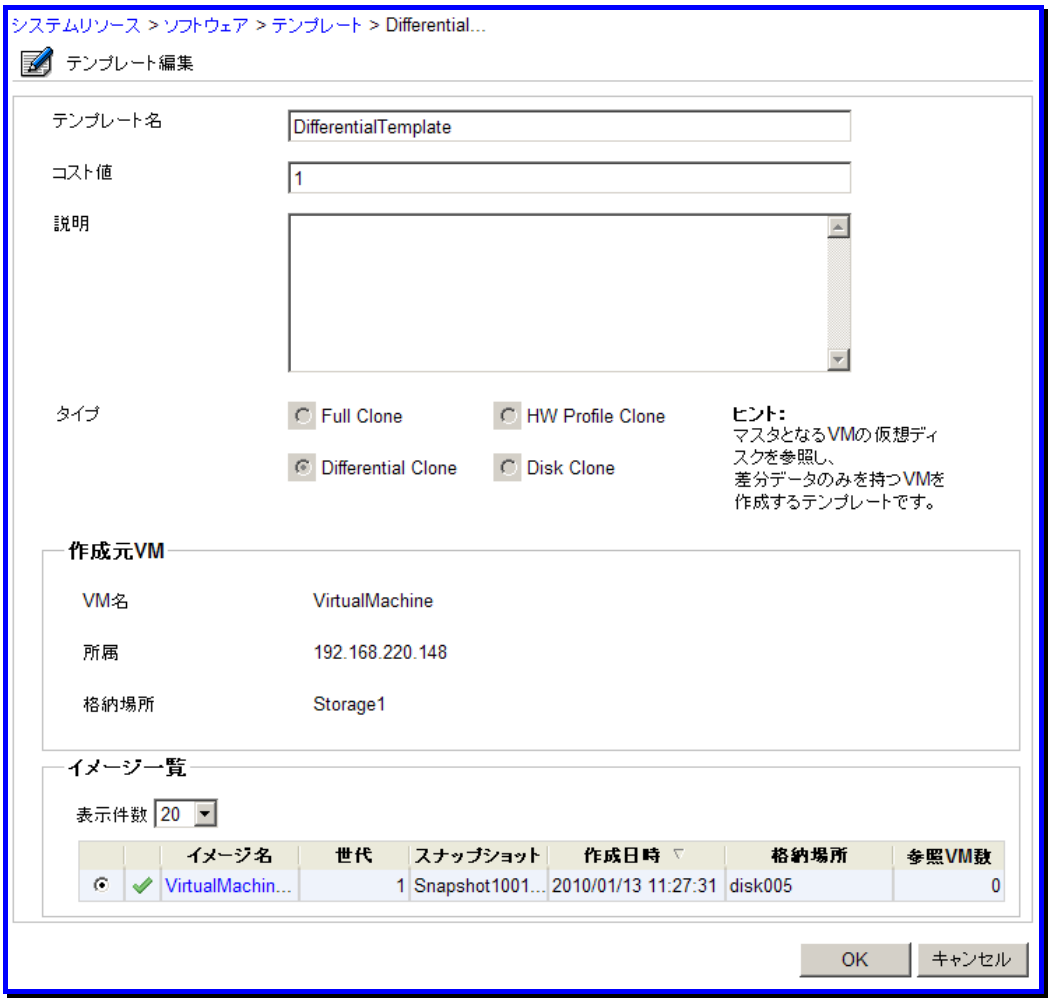
テンプレート編集	
テンプレート名 **(入力必須)**	テンプレート名を表示し、入力もできます。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および半角記号（"("、")"、"-"、"_"）です。
コスト値 **(入力必須)**	テンプレートのコスト値を表示し、入力もできます。「1～1000」の範囲で設定できます。
説明	テンプレートの説明を表示し、入力もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
タイプ	"HW Profile Clone" を表示します。変更はできません。
作成元 VM	
VM 名	テンプレート作成時に使用した仮想マシン名を表示します。変更はできません。
所属	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが所属する仮想マシンサーバ名を表示します。変更はできません。
格納場所	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが格納されているDatastoreを表示します。変更はできません。
[OK]	テンプレート編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	テンプレート編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

◆ Differential Clone 用のテンプレート (VMware vCenter Server 環境) の場合

テンプレート編集	
テンプレート名	テンプレートの名称を表示し、編集もできます。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および記号 ("_"、"-"、"("、")") です。
コスト値	テンプレートのコスト値を表示し、編集もできます。「1～1000」の範囲で設定できます。
説明	テンプレートの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
タイプ	"Differential Clone" を表示します。変更はできません。
作成元 VM	
VM 名	テンプレート作成時に使用した仮想マシン名を表示します。変更はできません。
所属	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが所属する仮想マシンサーバ名を表示します。変更はできません。
格納場所	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが格納されているDatastoreを表示します。変更はできません。
イメージ一覧	
イメージ名	イメージ名を表示します。
世代	イメージの世代番号を表示します。
スナップショット	イメージの作成元となったスナップショット名を表示します。
作成日時	イメージを作成した日時を表示します。
格納場所	イメージが格納されているDataStore名を表示します。
参照 VM 数	イメージを参照して作成された仮想マシン数を表示します。
Duplicate	
Duplicate 名	Duplicate名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' " ; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ = +
他の Duplicate からコピーする	既に別のテンプレートでDuplicate情報が登録されている場合、登録情報をDuplicate一覧として表示します。Duplicate一覧から選択した情報を選んで [OK] をクリックすると選択したDuplicateと同じ設定を反映します。
Windows 設定 / Linux 設定	テンプレートのOSの種類を表示し、変更もできます。
Windows 設定	
名前	OSライセンスの所有者名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' " ; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ = +

組織名	OSライセンスの所有組織名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' "　; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ = +
タイムゾーン	タイムゾーンを表示し、変更もできます。
プロダクトキー	OSライセンスのプロダクトキーを表示し、編集もできます。入力できる文字は半角英数字のみです。入力は (XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX) 形式で入力します。
ライセンスモード	ライセンスモードを表示し、変更もできます。[同時接続ユーザ数] を選択する場合、テキストボックスにユーザ数を入力します。「1～999999」の範囲で設定できます。
[OK]	テンプレート編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	テンプレート編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

◆ Differential Clone 用のテンプレート (VMware vCenter Server 環境以外) の場合



テンプレート編集		
	テンプレート名 **(入力必須)**	テンプレートの名称を表示し、編集もできます。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および記号（"_"、"-"、"("、")"）です。
	コスト値	テンプレートのコスト値を表示し、編集もできます。「1～1000」の範囲で設定できます。
	説明	テンプレートの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
	タイプ	"Differential Clone" を表示します。変更はできません。
	作成元 VM	
		VM 名 テンプレート作成時に使用した仮想マシン名を表示します。変更はできません。
		所属 テンプレート作成時に使用した仮想マシンが所属する仮想マシンサーバ名を表示します。変更はできません。
		格納場所 テンプレート作成時に使用した仮想マシンが格納されているDatastoreを表示します。変更はできません。
	イメージ一覧	
		イメージ名 イメージ名を表示します。
		世代 イメージの世代番号を表示します。
		スナップショット イメージの作成元となったスナップショット名を表示します。
		作成日時 イメージを作成した日時を表示します。
		格納場所 イメージが格納されているDataStore名を表示します。
		参照 VM 数 イメージを参照して作成された仮想マシン数を表示します。
[OK]		テンプレート編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		テンプレート編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

◆ Disk Clone 用のテンプレートの場合

テンプレート編集	
テンプレート名 **(入力必須)**	テンプレート名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および半角記号（"("、")"、"-"、"_"）です。
コスト値 **(入力必須)**	テンプレートのコスト値を表示し、編集もできます。「1～1000」の範囲で設定できます。
説明	テンプレートの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
タイプ	"Disk Clone" を表示します。変更はできません。
作成元 VM	
VM 名	テンプレート作成時に使用した仮想マシン名を表示します。変更はできません。

		所属	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが所属する仮想マシンサーバ名を表示します。変更はできません。
		格納場所	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが格納されているDatastoreを表示します。変更はできません。
	イメージ一覧		
		イメージ名	イメージ名を表示します。
		世代	イメージの世代番号を表示します。
		作成日時	イメージを作成した日時を表示します。
		格納場所	イメージが格納されているDataStore名を表示します。
[OK]			テンプレート編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]			テンプレート編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.20.2. ローカルスクリプト追加

ローカルスクリプトを追加します。

ローカルスクリプトファイルを SystemProvisioning インストールフォルダ￥Script に格納し、[システムリソース] ツリーから [ソフトウェア] アイコンをクリックし、[操作] メニューから [スクリプト収集] をクリックして更新します。[システムリソース] ツリーから [ソフトウェア] アイコンをクリックし、追加したローカルスクリプトが表示されることを確認します。

注: 既定値は (C:¥Program Files¥NEC¥PVM¥Script) です。

3.20.3. ローカルスクリプト削除

ローカルスクリプトを削除します。

ローカルスクリプトファイルを SystemProvisioning インストールフォルダ￥Script から削除し、[システムリソース] ツリーから [ソフトウェア] アイコンをクリックし、[操作] メニューから [スクリプト収集] をクリックして更新します。[システムリソース] ツリーから [ソフトウェア] アイコンをクリックし、削除したローカルスクリプトが表示されないことを確認します。

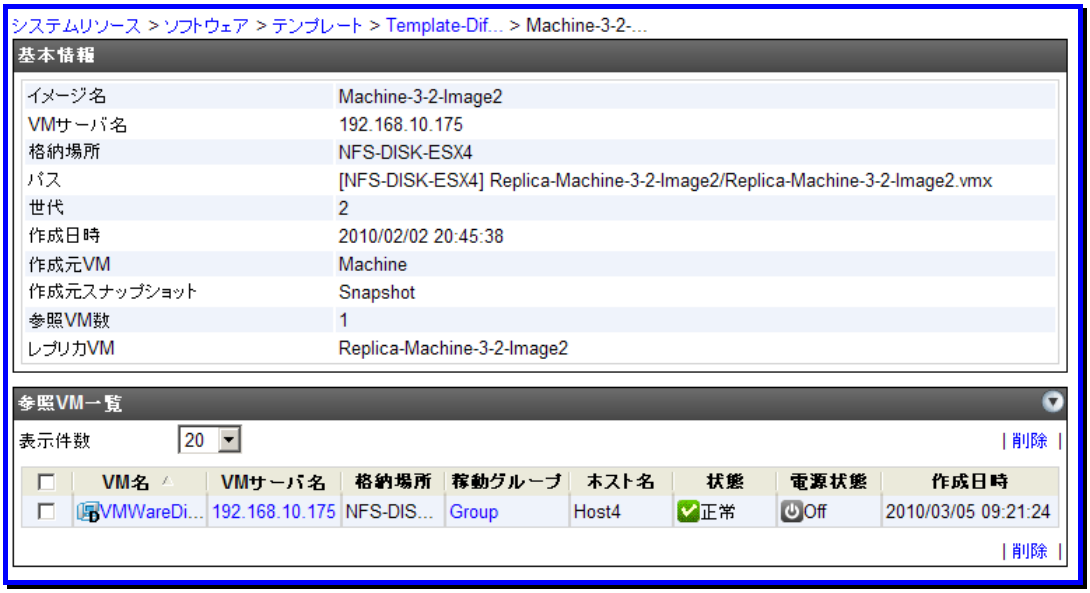
注: 既定値は (C:¥Program Files¥NEC¥PVM¥Script) です。

3.21. イメージの詳細情報

イメージの基本情報を表示します。

[システムリソース] ツリーから [ソフトウェア] アイコンをクリックし、[サマリー情報] グループボックスに表示されるソフトウェア種類欄から「テンプレート」をクリックします。テンプレート一覧から種別が "Differential Clone" か、"Disk Clone" のテンプレートをクリックします。イメージ一覧からイメージ名、もしくは [システムリソース] ツリーから対象のイメージのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにイメージの基本情報が表示されます。

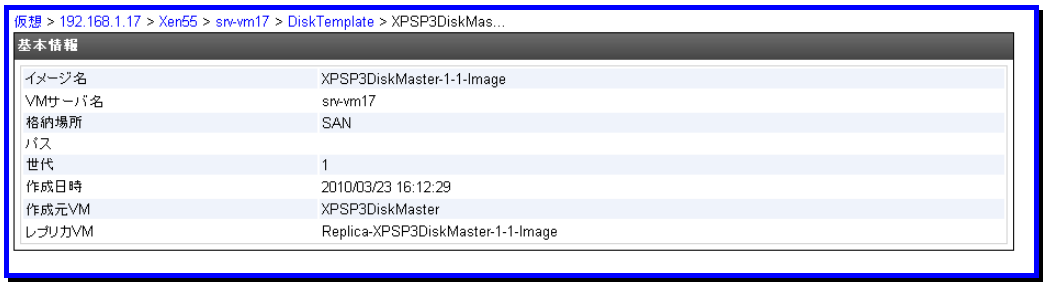
◆ Differential Clone 用のテンプレートに表示されるイメージの場合



基本情報	
イメージ名	イメージ名を表示します。
VM サーバ名	仮想マシンサーバ名を表示します。
格納場所	保存先Datastore名を表示します。
パス	仮想マシン構成ファイル名のパス情報を表示します。
世代	イメージの世代番号を表示します。
作成日時	イメージの作成日時を表示します。
作成元 VM	作成元の仮想マシン名を表示します。
作成元スナップショット	作成元のスナップショットを表示します。
参照 VM 数	イメージを参照している仮想マシン数を表示します。
レプリカ VM	イメージに対応する実仮想マシン名を表示します。

参照 VM 一覧	
VM 名	仮想マシン名を表示します。
VM サーバ名	仮想マシンサーバ名を表示します。
格納場所	保存先Datastore名を表示します。
稼動グループ	仮想マシンが稼動しているグループ名を表示します。
ホスト名	仮想マシンが稼動しているホスト名を表示します。
状態	仮想マシンの状態を表示します。
電源状態	仮想マシンの電源状態を表示します。
作成日時	仮想マシンを作成した日時を表示します。
削除	選択した仮想マシンを削除します。

◆ Disk Clone 用のテンプレートに表示されるイメージの場合



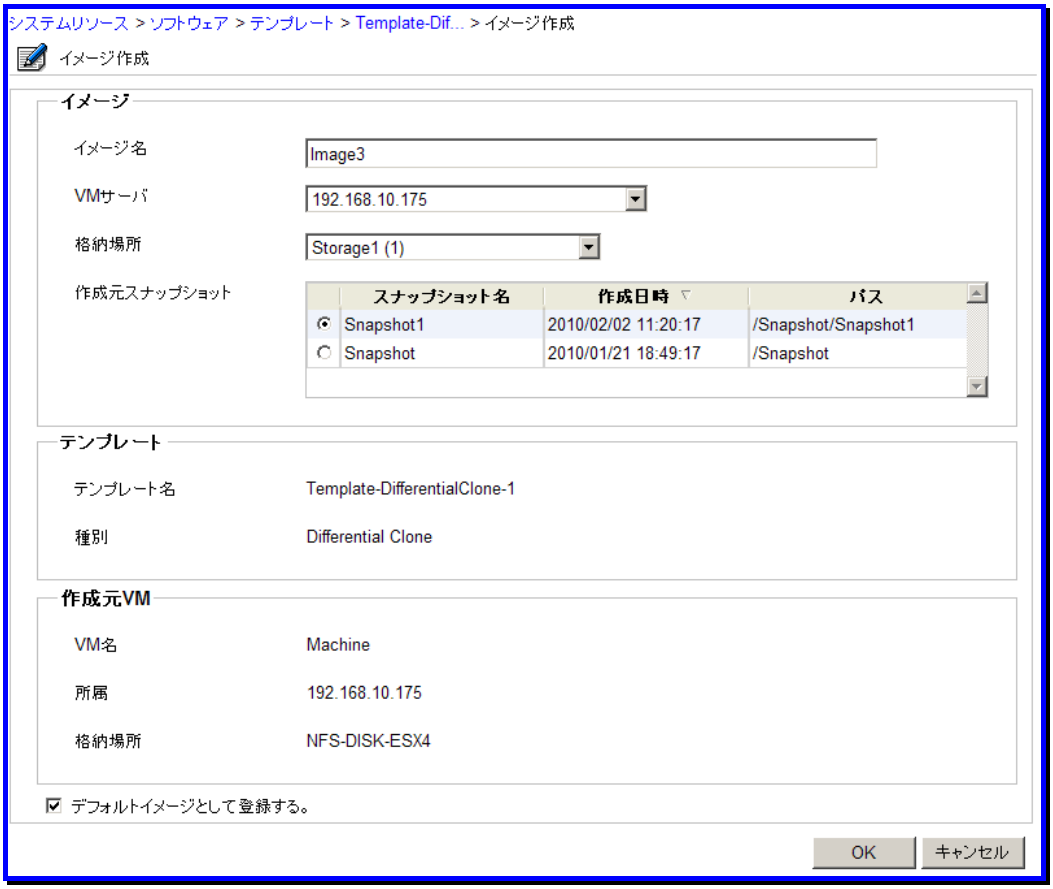
基本情報	
イメージ名	イメージ名を表示します。
VM サーバ名	仮想マシンサーバ名を表示します。
格納場所	保存先Datastore名を表示します。
パス	仮想マシン構成ファイル名のパス情報を表示します。
世代	イメージの世代番号を表示します。
作成日時	イメージの作成日時を表示します。
作成元 VM	作成元の仮想マシン名を表示します。
レプリカ VM	イメージに対応する実仮想マシン名を表示します。

3.21.1. イメージ作成

イメージの作成を行います。

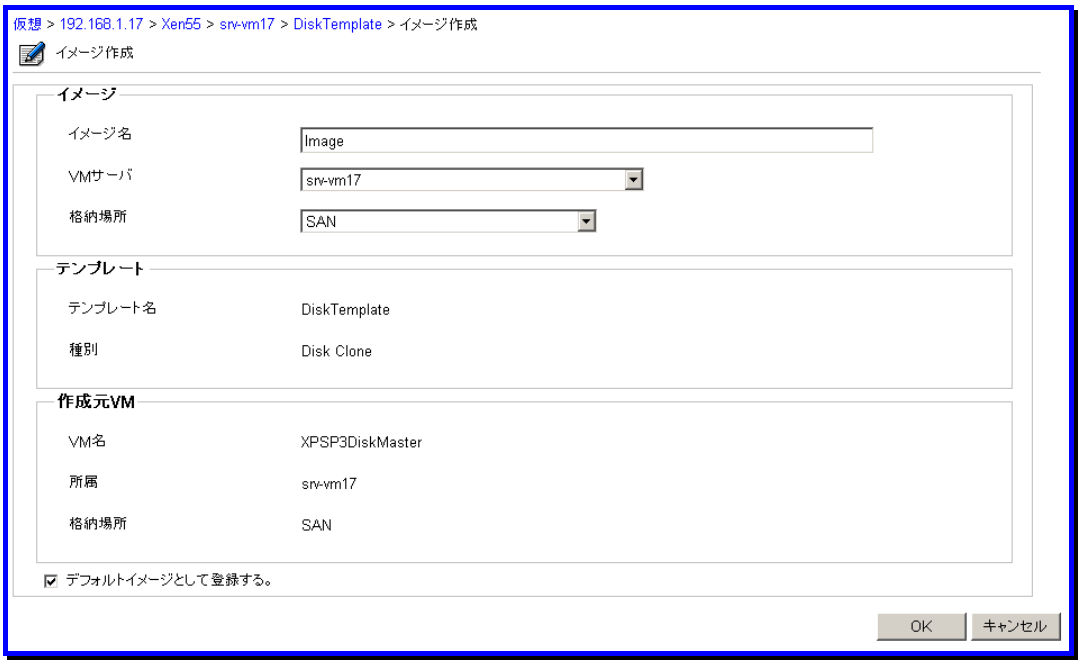
[システムリソース] ツリーから [ソフトウェア] アイコンをクリックし、[サマリー情報] グループボックスに表示されるソフトウェア種類列から "テンプレート" をクリックします。テンプレート一覧から種別が "Differential Clone" か "Disk Clone" のテンプレートをクリックし、メインウィンドウにソフトウェアの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [イメージ作成] をクリックすると、メインウィンドウにイメージの作成ウィンドウが表示されます。イメージ情報を入力し、[OK] をクリックするとイメージが作成されます。

◆ Differential Clone 用のテンプレートの場合



イメージ作成	
イメージ	
イメージ名 **(入力必須)**	イメージ名を入力します。入力できる文字数は53文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および半角記号（"("、")"、"-"、"_"）です。既定値は、"Image" が入力されています。
VM サーバ	格納先の仮想マシンサーバを選択します。
格納場所	イメージの格納場所を選択します。
作成元スナップショット	
スナップショット名	スナップショット名を表示します。テンプレートの種別が "Differential Clone" の場合のみ表示されます。
作成日時	スナップショットの作成日時を表示します。テンプレートの種別が "Differential Clone" の場合のみ表示されます。
パス	スナップショットのパスを表示します。テンプレートの種別が "Differential Clone" の場合のみ表示されます。
テンプレート	
テンプレート名	テンプレート名を表示します。
種別	テンプレートの種別を表示します。
作成元 VM	
VM 名	仮想マシン名を表示します。
所属	格納先の仮想マシンサーバ名を表示します。
格納場所	仮想マシンの格納場所を表示します。
デフォルトイメージとして登録する	イメージ作成後にテンプレートが使用するイメージとしてすぐに登録する場合、チェックボックスをオンにします。
[OK]	イメージ作成情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	イメージ作成情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

◆ Disk Clone 用のテンプレートの場合



イメージ作成		
	イメージ	
		イメージ名 **(入力必須)**	イメージ名を入力します。入力できる文字数は53文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および半角記号（"("、")"、"-"、"_"）です。既定値は、"Image" が入力されています。
		VM サーバ	格納先の仮想マシンサーバを選択します。
		格納場所	イメージの格納場所を選択します。
	テンプレート	
		テンプレート名	テンプレート名を表示します。
		種別	テンプレートの種別を表示します。
	作成元 VM	
		VM 名	仮想マシン名を表示します。
		所属	格納先の仮想マシンサーバ名を表示します。
		格納場所	仮想マシンの格納場所を表示します。
	デフォルトイメージとして登録する		イメージ作成後にテンプレートが使用するイメージとしてすぐに登録する場合、チェックボックスをオンにします。
[OK]			イメージ作成情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。

[キャンセル]	イメージ作成情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.21.2. イメージ削除

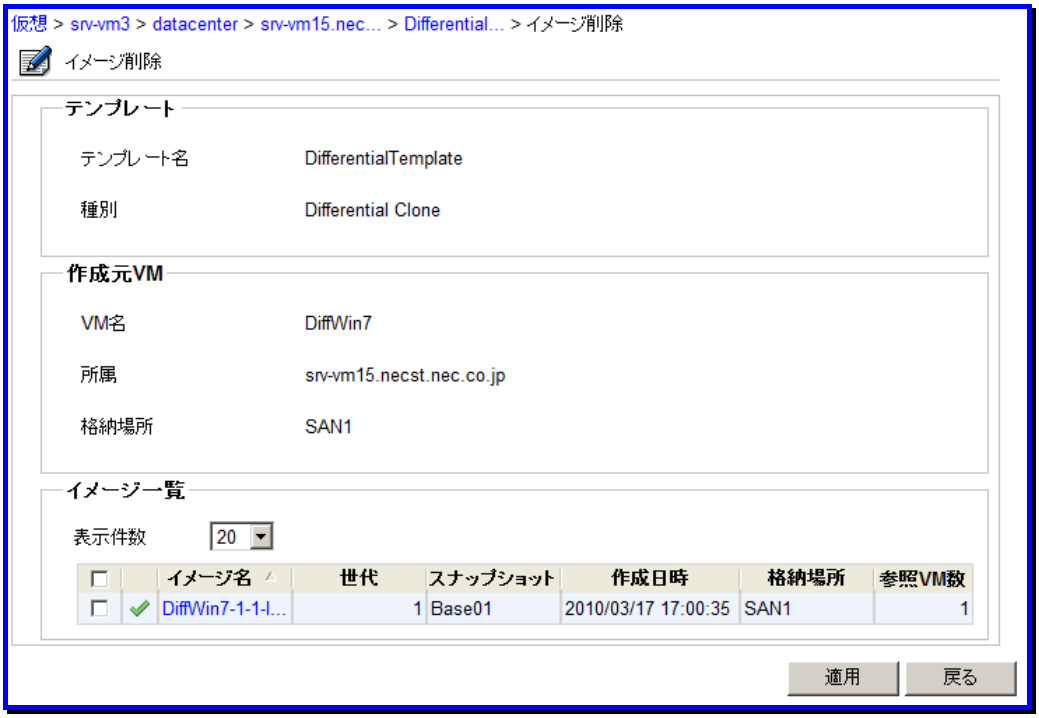
イメージの削除を行います。

[システムリソース] ツリーから [ソフトウェア] アイコンをクリックし、[サマリー情報] グループボックスに表示されるソフトウェア種別欄から基本情報を表示するソフトウェアの種類をクリックします。ソフトウェア一覧からソフトウェア名、もしくは [システムリソース] ツリーから対象のソフトウェアのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにソフトウェアの基本情報が表示されます。[イメージ一覧] グループボックスの [アクション] メニューから [削除] をクリックします。

また、[仮想] ツリーからも以下の各操作でイメージの削除を行うことができます。

- [仮想] ツリーから対象の仮想マネージャのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに仮想マネージャの詳細情報が表示されます。[テンプレート一覧] グループボックスの [アクション] メニューから [イメージ削除] をクリックします。
- [仮想] ツリーから対象の DataCenter のアイコンをクリックすると、メインウィンドウにデータセンターの詳細情報が表示されます。[テンプレート一覧] グループボックスの [アクション] メニューから [イメージ削除] をクリックします。
- [仮想] ツリーから対象の仮想マシンサーバのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報が表示されます。[テンプレート一覧] グループボックスの [アクション] メニューから [イメージ削除] をクリックします。

[仮想] ビューからイメージを削除する場合、以下のウィンドウが表示されます。



イメージ削除	
テンプレート	
テンプレート名	テンプレート名を表示します。
種別	テンプレートの種別を表示します。
作成元 VM	
VM 名	仮想マシン名を表示します。
所属	格納先の仮想マシンサーバ名を表示します。
格納場所	仮想マシンの格納場所を表示します。
イメージ一覧	
イメージ名	イメージ名を表示します。
世代	イメージの世代番号を表示します。
スナップショット	イメージの作成元となったスナップショット名を表示します。
作成日時	イメージを作成した日時を表示します。
格納場所	イメージが格納されているDatastore名を表示します。
参照 VM 数	イメージを参照して作成された仮想マシン数を表示します。
[適用]	イメージ削除情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[戻る]	イメージ削除情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.22. リソースグループへのメニュー操作

リソースグループで使用する操作に関するメニューについて説明します。

3.22.1. 起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンド

マシンの起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンドを行います。

[システムリソース] ツリーから対象のマシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [起動]、[再起動]、[シャットダウン]、もしくは [サスペンド] をクリックすると、マシンの電源を操作することができます。または、[システムリソース] ツリーからリソースグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウにリソースグループの詳細情報を表示します。[マシン一覧] グループボックスからマシンのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [起動]、[再起動]、[シャットダウン]、もしくは [サスペンド] をクリックします。

3.22.2. 収集 (ALL) / マシン収集 / ソフトウェア収集 / センサー収集

マシン収集は、マシンの基本的な情報の収集です。UUID や NIC、電源状態などのマシンを構成する一般的な情報が収集されます。

ソフトウェア収集は、マシンに対し適用されているパッチ情報の収集です。

センサー収集は、マシンの IPMI 情報として管理されるセンサー情報の収集です。

収集 (ALL) は、マシン収集とソフトウェア収集、センサー収集、すべてを一度に実行します。

グループに対しては、「収集 (ALL) / マシン収集 / ソフトウェア収集 / センサー収集」を実行することができます。各収集操作を行う場合は、[システムリソース] ツリーからスマートグループ / グループ / ラックを選択し、[操作] メニューから実行します。

マシン単位に収集を行う場合は、「マシン収集」のみが実行可能となります。実行するには、以下の 2 つの方法があります。

- [システムリソース] ツリーから対象のマシンを選択し、[操作] メニューから [マシン収集] をクリックする。
- [システムリソース] ツリーから [マシン] アイコンを選択、あるいは対象のマシンが所属するスマートグループ / グループ / ラックを選択し、[マシン一覧] グループボックスから対象のマシンのチェックボックスをオンにした上で、[マシン個別操作] プルダウンボックスから [マシン収集] をクリックする。

3.22.3. 再構成

マシンを再構成します。

[システムリソース] ツリーから対象のマシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。

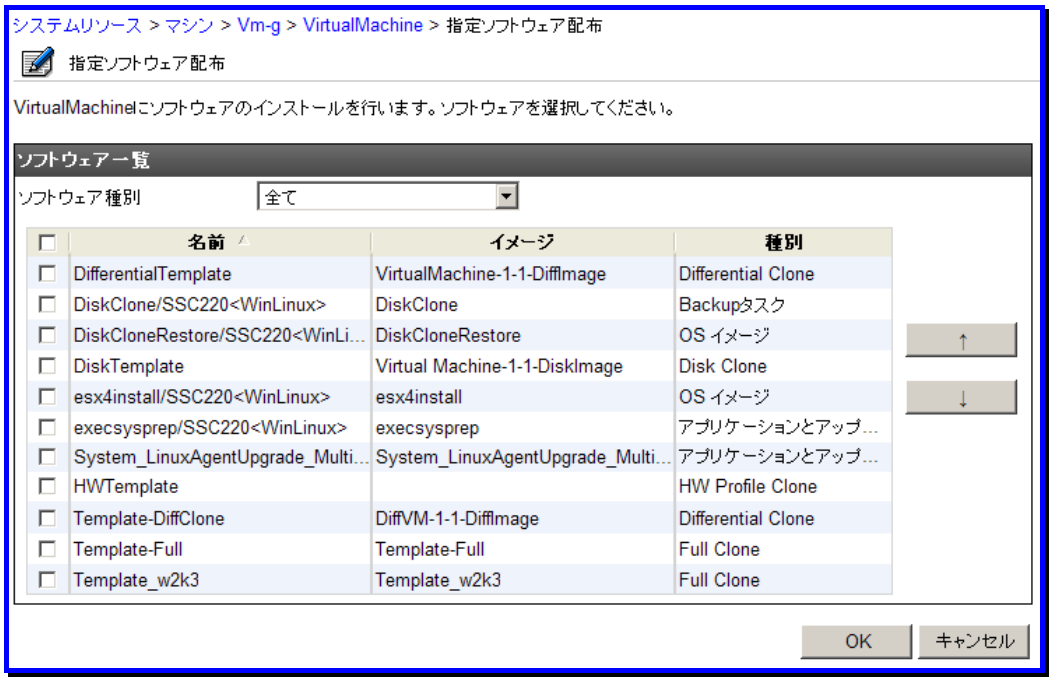
または、[システムリソース] ツリーからリソースグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウにリソースグループの詳細情報を表示します。[マシン一覧] グループボックスの [アクション] メニューから [再構成] をクリックします。

再構成については、「4.10.13 再構成」を参照してください。

3.22.4. 指定ソフトウェア配布

対象のマシンに指定ソフトウェアの配布を行います。

[システムリソース] ツリーから対象のマシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [指定ソフトウェア配布] をクリックすると、メインウィンドウに「指定ソフトウェア配布」が表示されます。または、[システムリソース] ツリーからソフトウェアを配布するマシンが所属するリソースグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウにリソースグループの詳細情報を表示します。[マシン一覧] グループボックスの [アクション] メニューから [指定ソフトウェア配布] をクリックすると、メインウィンドウに「指定ソフトウェア配布」が表示されます。指定するソフトウェアを選択し、[OK] をクリックするとソフトウェアが指定されます。



指定ソフトウェア配布
ソフトウェア一覧

	ソフトウェア種別	表示するソフトウェアを絞り込みます。 全て / OSイメージ / テンプレート / Backupタスク / アプリケーションとアップデート / スクリプトの中から選択できます。
	名前	ソフトウェア名を表示します。ソフトウェアは、表示されている順番で配布されます。順序を変更するには、変更するソフトウェアのチェックボックスを選択し、[↑] および [↓] で操作します。
	イメージ	イメージ名を表示します。
	種別	ソフトウェアの種別を表示します。
	[↑]	チェックボックスを選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ前に移動します。
	[↓]	チェックボックスを選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ後に移動します。
[OK]		指定したソフトウェアの配布を行います。
[キャンセル]		指定したソフトウェアの配布を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

3.22.5. ジョブ実行結果のリセット

SystemProvisioning は、何らかの理由によりポリシーによるアクションや Web コンソールの操作などからマシンの起動・停止など、アクションの実行に失敗するとリソースの状態を「異常終了」に設定します。「異常」となっているマシンに関してログの採取や障害原因を取り除いた後、ジョブ実行結果をリセットします。

[システムリソース] ツリーから対象マシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [ジョブ実行結果のリセット] をクリックすると、マシンのジョブ実行結果をリセットすることができます。

もしくは、[システムリソース] ツリーから [マシン] アイコン、または対象のマシンが所属するリソースグループのアイコンをクリックし、[マシン一覧] グループボックスから対象のマシンのチェックボックスをオンにします。[アクション] メニューから [ジョブ実行結果のリセット] をクリックします。

3.22.6. 故障状態の解除

マシンのハードウェア状態を故障から正常に解除します。

[システムリソース] ツリーから対象のマシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [故障状態の解除] をクリックすると、マシンの故障状態を解除することができます。

もしくは、[システムリソース] ツリーから [マシン] アイコン、または対象のマシンが所属するリソースグループのアイコンをクリックし、[マシン一覧] グループボックスから対象のマシンのチェックボックスをオンにします。[アクション] メニューから [故障状態の解除] をクリックします。

3.22.7. メンテナンスモードオン / メンテナンスモードオフ

メンテナンスモードをオン、もしくはオフにします。

[システムリソース] ツリーから対象のマシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [メンテナンスオン]、もしくは [メンテナンスオフ] をクリックすると、メンテナンスモードがオン / オフになります。

もしくは、[システムリソース] ツリーから [マシン] アイコン、または対象のマシンが所属するリソースグループのアイコンをクリックし、[マシン一覧] グループボックスから対象のマシンのチェックボックスをオンにします。[アクション] メニューから [メンテナンスオン]、もしくは [メンテナンスオフ] をクリックします。

3.22.8. 収集

SigmaSystemCenter の情報を最新にするため、マシンなどの情報収集を行います。

[管理] ビューのサブシステムの詳細情報、[システムリソース] ツリーの [操作] メニュー、もしくは [仮想] ツリーの [操作] メニューから [収集] をクリックすると、各サブシステムからの情報収集が行われます。

注:

・ 関連製品の構成変更 / 操作を行った場合は、収集を実行して必ず SigmaSystemCenter の情報を最新の状態にしてください。

・ 管理対象マシンの台数が多くなると、収集に時間がかかることがあります。

3.22.9. DPM収集

SigmaSystemCenter で管理するシナリオの情報を収集します。[システムリソース] ツリーから [ソフトウェア] アイコンをクリックすると、基本情報、および [サマリー情報] グループボックスが表示されます。[操作] メニューから [DPM 収集] をクリックすると、DeploymentManager のシナリオ収集が実行されます。

3.22.10. スクリプト収集

SigmaSystemCenter で管理するスクリプトの情報を収集します。[システムリソース] ツリーから [ソフトウェア] アイコンをクリックすると、基本情報、および [サマリー情報] グループボックスが表示されます。[操作] メニューから [スクリプト収集] をクリックすると、スクリプト収集が実行されます。

3.22.11. マシンの保守操作

マシンの電源 ON / 強制 OFF / リセット / パワーサイクル / ダンプ / LED 点灯 / LED 消灯 / ACPI シャットダウンを行います。

この操作は、マシンの保守操作が可能になっている場合、[操作] メニューに表示されます。保守操作については、「1.1.3 保守操作」を参照してください。

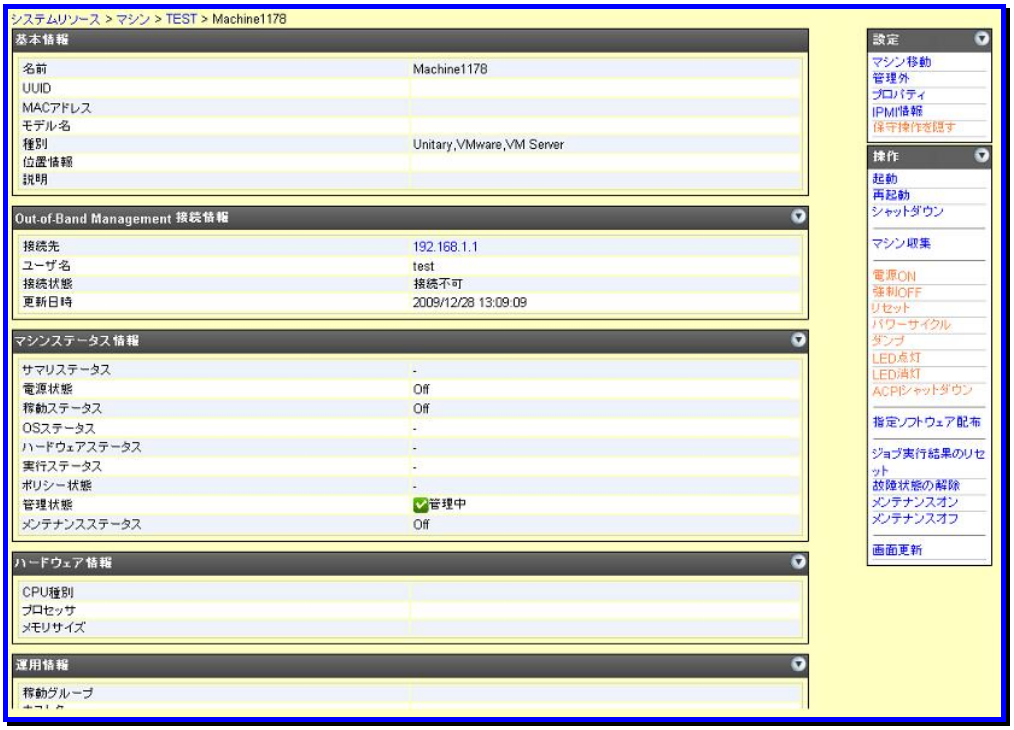
[システムリソース] ツリーから対象のマシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [電源 ON]、[強制 OFF]、[リセット]、[パワーサイクル]、[ダンプ]、[LED 点灯]、[LED 消灯]、[ACPI シャットダウン] のいずれかをクリックすると、マシンを操作することができます。

注:

・ 強制 OFF、リセット、パワーサイクル、およびダンプは、マシン上の処理状態に関係なく、強制的にマシンを終了させます。データ破壊などのシステムへの影響が発生する可能性があることを認識したうえで使用してください。

・ この操作を実行するためには、あらかじめマシンの Out-of-Band Management を有効にしておく必要があります。

・ この操作を実行する前に対象のマシンをメンテナンスモードに切り替える必要があります。メンテナンスモードを切り替えずに操作を行った場合、ポリシー動作との競合を防ぐために対象のマシンへの制御は行われずに操作失敗となります。



4. 運用

[運用] ビューでは、SigmaSystemCenterの運用について説明をします。

本章で説明する項目は以下の通りです。

- 4.1 [運用] ビュー 198
- 4.2 カテゴリ 199
- 4.3 カテゴリの詳細情報 199
- 4.4 運用グループ 203
- 4.5 運用グループの詳細情報 203
- 4.6 グループプロパティ設定 211
- 4.7 モデルプロパティ設定 234
- 4.8 ホストの詳細情報 247
- 4.9 ホスト設定 249
- 4.10 運用グループへのメニュー操作 262

4.1. [運用] ビュー

[運用] ビューでは、SigmaSystemCenter での運用の中心となるビューです。

タイトルバーの [運用] をクリックすると、[運用] ビューに切り替わります。

注: カテゴリにロールが割り当てられている場合、そのロールを割り当てられていないユーザがログインすると、カテゴリ / グループ一覧にそのカテゴリが表示されません。

カテゴリ、ユーザに対してロールを割り当てるには、「SigmaSystemCenter コンフィグレーションガイド」の「4.2 アクセス権限を設定する」を参照してください。

カテゴリ / グループ一覧	
名前	カテゴリ名、および運用グループ名を表示します。
種別	カテゴリ、もしくは運用グループの種別を表示します。
異常マシン	各マシンで稼動しているマシン状態が、異常のマシン数を表示します。
警告マシン	各グループで稼動しているマシン状態が警告のマシン数を表示します。
削除	選択したカテゴリ、もしくは運用グループを削除します。

注: 各グループのリソースプールで稼動しているマシンの数は、異常マシン、警告マシンの合計値に含まれません。

4.2. カテゴリ

運用するマシンをカテゴリごとに管理します。

4.3. カテゴリの詳細情報

カテゴリの詳細情報を表示します。

[運用] ツリーから対象のカテゴリのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにカテゴリの詳細情報が表示されます。

基本情報		
	名前	カテゴリ名を表示します。
	説明	カテゴリの説明を表示します。
カテゴリ / グループ一覧		
	名前	カテゴリに登録されているカテゴリ名、および運用グループ名を表示します。
	種別	カテゴリ、もしくは運用グループの種別を表示します。
	異常マシン	カテゴリに所属するグループで稼動しているマシンの状態が異常のマシン数の合計値を表示します。
	警告マシン	カテゴリに所属するグループで稼動しているマシンの状態が警告のマシン数の合計値を表示します。
	削除	チェックボックスを選択したカテゴリ、もしくは運用グループを削除します。

注: 各グループのリソースプールで稼動しているマシンの数は、異常マシン、警告マシンの合計値に含まれません。

4.3.1. カテゴリ追加

カテゴリの追加を行います。

[運用] ツリー直下、カテゴリの配下にカテゴリを追加できます。

[運用] ツリーから対象のカテゴリのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにカテゴリの詳細情報が表示されます。[設定] メニューから [カテゴリ追加] をクリックすると、メインウィンドウに「カテゴリ追加」が表示されます。カテゴリ情報を入力し、[OK] をクリックするとカテゴリが追加されます。

注: 同一の階層ではカテゴリ、および運用グループの名前は重複できません。

カテゴリ追加		
	名前 **(入力必須)**	カテゴリ名を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。以下の記号は使用できません。 ¥ / : . ; * ? " < > |
	説明	カテゴリの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]		カテゴリ追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		カテゴリ追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.3.2. カテゴリ編集

カテゴリの編集を行います。

[運用] ツリーから編集を行うカテゴリのアイコンをクリックし、メインウィンドウにカテゴリの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [カテゴリ編集] をクリックすると、メインウィンドウに「カテゴリ編集」が表示されます。カテゴリ情報を編集し、[OK] をクリックするとカテゴリ情報が変更されます。

注: 同一の階層ではカテゴリ、および運用グループの名前は重複できません。

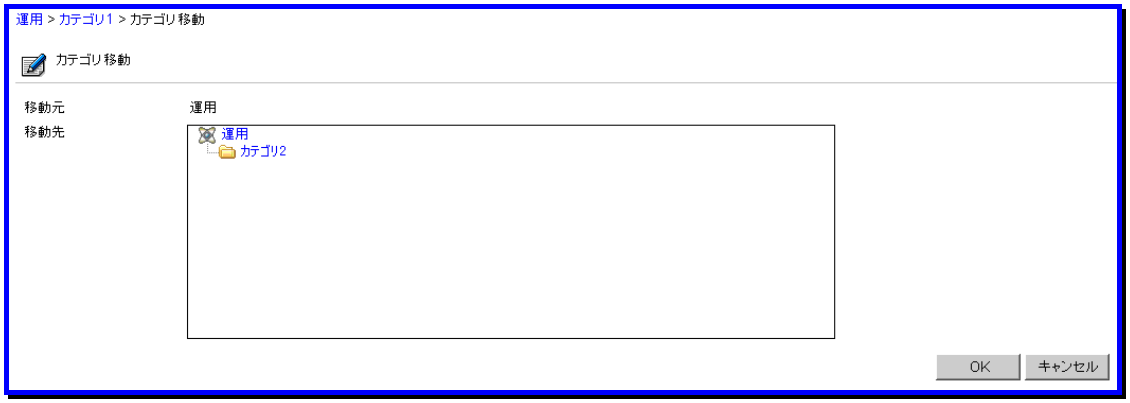
カテゴリ編集		
	名前 **(入力必須)**	カテゴリ名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。以下の記号は使用できません。 ¥ / : . ; * ? " < > |
	説明	カテゴリの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]		カテゴリ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		カテゴリ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.3.3. カテゴリ移動

カテゴリの移動を行います。

カテゴリを [運用] アイコンの直下、または他のカテゴリの配下に移動します。

[運用] ツリーから移動を行うカテゴリのアイコンをクリックし、メインウィンドウにカテゴリの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [カテゴリ移動] をクリックすると、メインウィンドウに「カテゴリ移動」が表示されます。カテゴリの移動先を選択し、[OK] をクリックするとカテゴリが移動します。



カテゴリ移動		
	移動元	移動元の親カテゴリ名、または "運用" を表示します。
	移動先	ツリーより移動先のカテゴリを選択します。
[OK]		カテゴリ移動情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		カテゴリ移動情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.3.4. カテゴリ削除

カテゴリを削除します。

[運用] ツリーから削除を行うカテゴリのアイコンをクリックし、メインウィンドウにカテゴリの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [カテゴリ削除] をクリックすると、削除されます。

4.4. 運用グループ

運用するマシンをグループごとに管理します。

4.5. 運用グループの詳細情報

運用グループの詳細情報を表示します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに運用グループの詳細情報が表示されます。

基本情報		
	名前	グループ名を表示します。
	プライオリティ	グループのプライオリティを表示します。
	OS 種別	OSの種類を表示します。
	ポリシー名	ポリシー名を表示します。
	リソースプール利用方式	リソースプール利用方式を表示します。
	説明	グループの説明を表示します。
ホスト一覧		
	ホスト名	ホスト名を表示します。ホスト名をクリックすると、「ホストの詳細情報」ウィンドウに遷移します。

状態	ホストの状態を表示します。
電源	ホストの電源状態を表示します。
IP アドレス	ホストのIPアドレスを表示します。
リソース	マシンの詳細情報に遷移します。
モデル	ホストが所属しているモデルを表示します。
プロパティ	ホストプロパティ設定を行います。「ホスト設定」ウィンドウに遷移します。
割当	チェックボックスを選択したホストのマシンのリソース割り当てを実行します。
マスタ登録	チェックボックスを選択したホストのマシンをマスタマシンに登録します。
起動	チェックボックスを選択したホストのマシンを起動します。
シャットダウン	チェックボックスを選択したホストのマシンをシャットダウンします。
(プルダウンボックス)	チェックボックスを選択したホストの個別操作を行います。 [ホスト一覧] グループボックスから操作するマシンのチェックボックスをオンにし、起動 / 再起動 / シャットダウン / マシン収集 / サスペンド / リソース割り当て / マスタマシン登録 / マシンの置換 / マシンの用途変更 / 再構成 / ソフトウェア配布 / ジョブ実行結果のリセット / 故障状態の解除 / メンテナンスオン / メンテナンスオフの中から操作を選択できます。

リソースプール

リソース名	マシン名を表示します。
状態	マシンの状態を表示します。
電源	マシンの電源状態を表示します。
種別	マシンの種別を表示します。
MAC アドレス	マシンのMACアドレスを表示します。
共有	マシンの共有状態を表示します。
モデル	マシンが所属しているモデルを表示します。
プールから削除	チェックボックスを選択したマシンをプールから削除します。
(プルダウンボックス)	チェックボックスを選択したリソースプールの個別操作を行います。 起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンド / 指定ソフトウェア配布 / ジョブ実行結果のリセット / 故障状態の解除 / メンテナンスオン / メンテナンスオフの中から操作を選択できます。

4.5.1. 運用グループ追加

運用グループの追加を行います。

[運用] ツリー直下、カテゴリの配下に運用グループを追加できます。

[運用] ツリー直下に運用グループを追加する場合、[運用] ツリーをクリックし、[設定] メニューから [グループ追加] をクリックすると、メインウィンドウに「グループ追加」が表示されます。カテゴリ配下に運用グループを追加する場合、対象のカテゴリのアイコンをクリックし、メインウィンドウにカテゴリの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [グループ追加] をクリックすると、メインウィンドウに「グループ追加」が表示されます。運用グループ情報を入力し、[OK] をクリックすると運用グループが追加されます。

注: 同一の階層ではカテゴリ、およびグループの名前は重複できません。

グループ追加		
	名前 **(入力必須)**	グループ名を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。以下の記号は使用できません。 ¥ / : . ; * ? " < > |
	OS 種別 **(選択必須)**	OSの種類を選択します。
	説明	グループの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]		グループ追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		グループ追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.5.2. 運用グループ編集

運用グループの編集を行います。

[運用] ツリーから編集を行う運用グループのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [グループ編集] をクリックすると、メインウィンドウに「グループ編集」が表示されます。運用グループ情報を編集し、[OK] をクリックすると運用グループ情報が変更されます。

注: 同一の階層ではカテゴリ、およびグループの名前は重複できません。

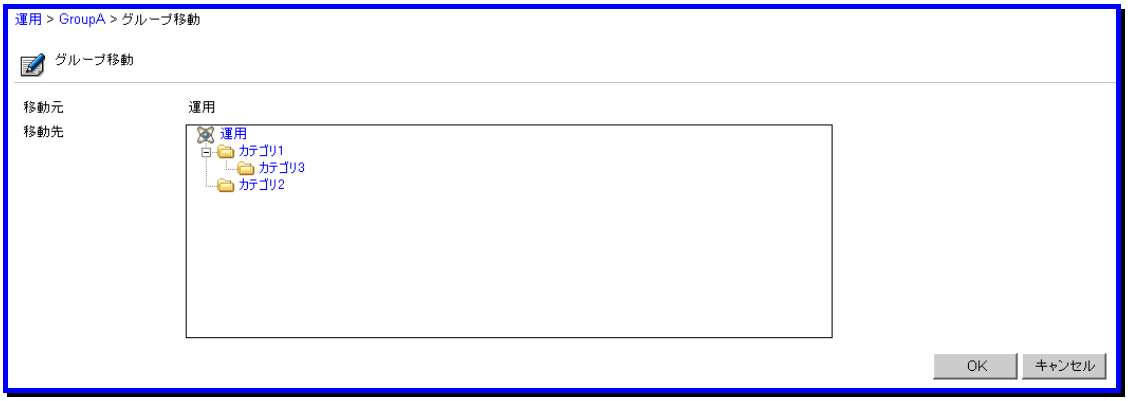
グループ編集		
	名前 **(入力必須)**	グループ名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。以下の記号は使用できません。 ¥ / : . ; * ? " < > |
	OS 種別	OSの種類を選択します。
	説明	グループの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]		グループ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		グループ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.5.3. 運用グループ移動

運用グループの移動を行います。

運用グループを [運用] アイコンの直下、または他のカテゴリの配下に移動します。

[運用] ツリーから移動を行う運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [グループ移動] をクリックすると、メインウィンドウに「グループ移動」が表示されます。運用グループの移動先を選択し、[OK] をクリックすると運用グループが移動します。



グループ移動		
	移動元	移動元の親カテゴリ名、または "運用" を表示します。
	移動先	ツリーより移動先のカテゴリ名、または [運用] アイコンを選択します。
[OK]		グループ移動情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		グループ移動情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.5.4. 運用グループ削除

運用グループを削除します。

[運用] ツリーから削除を行う運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [グループ削除] をクリックすると、削除されます。

もしくは、[運用] ツリーから削除を行う運用グループが所属するカテゴリのアイコンをクリックし、カテゴリの詳細情報を表示します。[カテゴリ / グループ一覧] グループボックスから、対象の運用グループのチェックボックスをオンにします。[アクション] メニューから [削除] をクリックします。

4.5.5. 設定一覧

運用グループの設定情報の一覧を表示します。

[運用] ツリーから設定一覧を表示する運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [設定一覧] をクリックすると、メインウィンドウに運用グループの設定情報一覧が表示されます。

グループ設定情報	
名前	グループ名を表示します。
モデル種別	モデルの種別を表示します。
パスワード	[OS設定] タブにて設定されているパスワードの有無を表示します。設定されている場合は、"******" が表示されます。
ポリシー名	グループに設定されているポリシー名を表示します。
ソフトウェア (稼動時)	グループに設定されているソフトウェアの種類が「マシン稼動時に配布」のソフトウェア名を表示します。
VLAN	グループに設定されているVLAN名を表示します。
ロードバランサ	グループに設定されているロードバランサグループ名を表示します。
説明	グループの説明を表示します。
モデル設定情報	
モデル	モデル名を表示します。
ポリシー	モデルに設定されているポリシー名を表示します。
VM サーバモデル	モデルに設定されているモデル名を表示します。モデルの種別が [VM] の場合に表示されます。
最適起動	モデルプロパティ設定の [全般] タブの [最適起動を有効にする] の設定の有無を表示します。設定されている場合は "ON"、設定されていない場合は "OFF" が表示されます。モデルの種別が [VM] の場合に表示されます。
DPM 登録	モデルプロパティ設定の [全般] タブの [VMを作成した時、DPMに登録する] の設定の有無を表示します。DPM Web サーバ / DPM 管理サーバが設定されている場合は "ON"、設定されていない場合は "OFF" が設定されます。モデルの種別が [VM] の場合に表示されます。
データセンター	モデルプロパティ設定の [全般] タブの [データセンタ] プルダウンボックスに設定されているDataCenter名を表示します。設定されていない場合は空欄となります。モデルの種別が [VMサーバ] の場合に表示されます。
VM 最適配置	モデルプロパティ設定の [VM最適配置] タブの [VM最適配置を有効にする] の設定の有無を表示します。設定されている場合は "ON"、設定されていない場合は "OFF" が設定されます。モデルの種別が [VMサーバ] の場合に表示されます。
ソフトウェア	モデルプロパティ設定の [ソフトウェア] タブで [ソフトウェアの種類] プルダウンボックスが "マシン稼動時に配布" のソフトウェアが設定されているかの有無を表示します。設定されている場合は "設定済"、設定されていない場合は空欄となります。
ホスト設定情報	
ホスト	ホスト名を表示します。

リソース	ホストで稼働しているマシン名を表示します。ホスト定義のみの場合は空欄となります。
IP アドレス	ホストのIPアドレスを表示します。
パスワード	ホスト設定に設定されているパスワード設定情報を表示します。[全般] タブの [グループに設定されている管理者パスワードを使用する] が設定されているおり、グループにパスワードが設定されている場合は "Group"、設定されていない場合は空欄となります。[ホストに設定されている管理者パスワードを使用する] が設定されている場合は、"Host" が表示されます。
プロダクトキー	ホスト設定に設定されているプロダクトキーの設定の有無を表示します。設定されている場合は "設定済"、設定されていない場合は空欄となります。
ソフトウェア	ホスト設定の [ソフトウェア] タブで [ソフトウェア種類] プルダウンボックスに "稼動時・グループ配布前"、"稼動時・配布"、"稼動時・グループ配布後" にソフトウェアが設定されているかの有無を表示します。設定されている場合は "設定済"、設定されていない場合は空欄となります。
ストレージ	ホスト設定の [ストレージ] タブが設定されているかの有無を表示します。設定されている場合は "設定済"、設定されていない場合、またはモデルの種別が [VM] の場合は空欄となります。

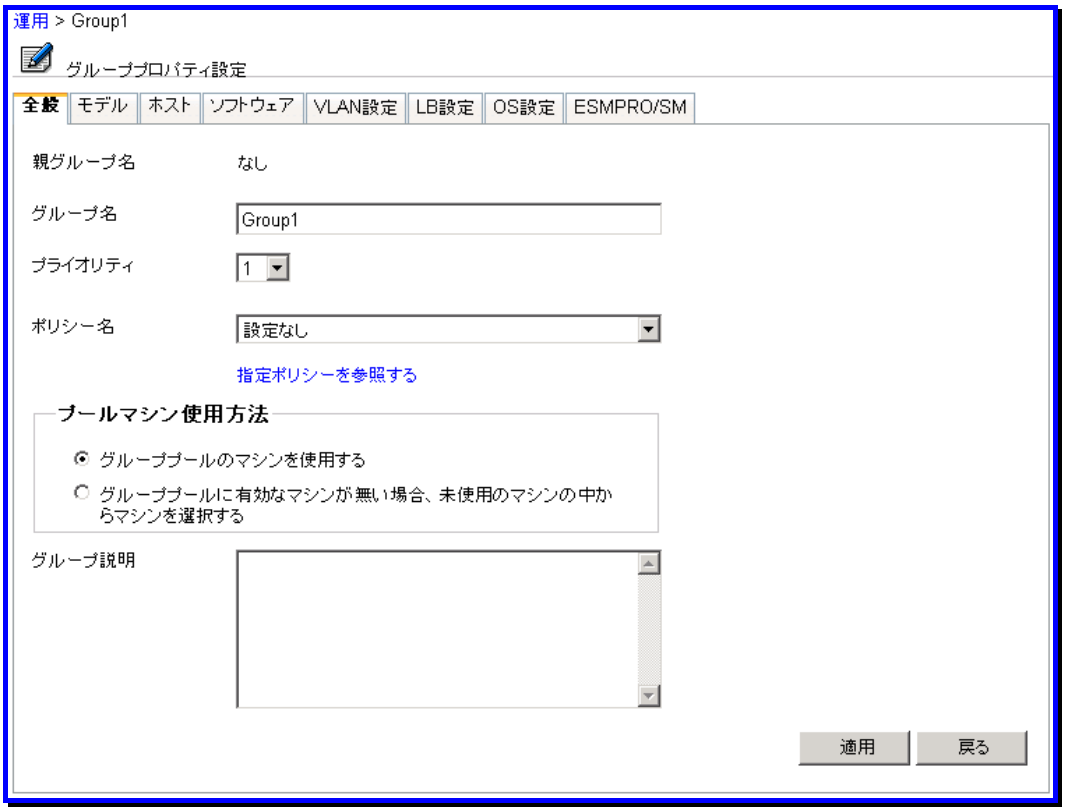
4.6. グループプロパティ設定

グループプロパティの表示、設定を行います。

[運用] ツリーからグループプロパティ設定を行うグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [プロパティ] をクリックすると、メインウィンドウに [全般] タブ、[モデル] タブ、[ホスト] タブ、[ソフトウェア] タブ、[VLAN 設定] タブ、[LB 設定] タブ、[OS 設定] タブで構成された「グループプロパティ設定」が表示されます。また、モデル種別が [VM] のモデルが設定された場合に、[マシンプロファイル] タブも表示されます。

4.6.1. [全般] タブ

グループ全般に関する情報の表示、設定を行います。



全般		
	親グループ名	親グループ名を表示します。
	グループ名 **(入力必須)**	グループ名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。以下の記号は使用できません。 ¥ / : . ; * ? " < > |

プライオリティ	プライオリティを表示し、変更もできます。「1～10」の範囲で選択できます。
ポリシー名	ポリシー名を表示し、変更もできます。
プールマシン使用方法	
グループプールのマシンを使用する	グループプールのマシンを使用する場合に選択します。
グループプールに有効なマシンが無い場合、未使用のマシンの中からマシンを選択する	グループプールに有効なマシンがなく、未使用のマシンの中から選択する場合に選択します。
グループ説明	グループの説明を表示し、編集もできます。
[適用]	グループプロパティ設定情報を適用します。
[戻る]	グループプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.6.2. [モデル] タブ

モデルに関する情報を表示、設定を行います。

注: モデルを追加する場合、異なる種別のモデルは追加できません。

モデル		
	モデル一覧	
	名前	グループに設定されているモデル名の一覧を表示します。
	種別	モデルの種別を表示します。
	プライオリティ	プライオリティを表示します。
	プロパティ	選択したモデルの編集を行います。「モデルプロパティ設定」ウィンドウに遷移します。

追加	モデルを追加します。[モデル一覧] グループボックスの下部に [モデル追加] グループボックスが表示されます。
削除	チェックボックスを選択したモデルを削除します。
[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[モデル一覧] グループボックス下部に [モデル追加] グループボックスが表示されます。

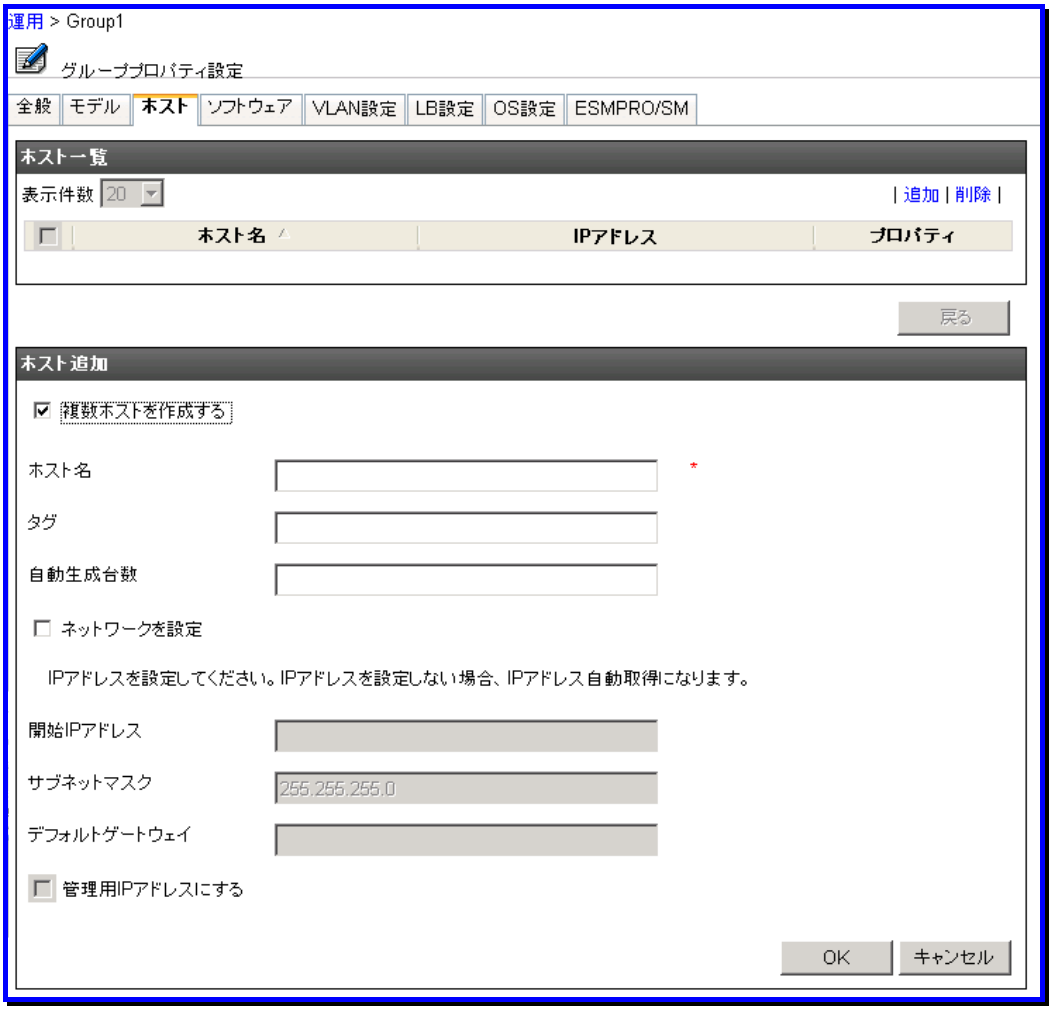
モデル追加	
名前 **(入力必須)**	モデル名を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。以下の記号は使用できません。 ¥ / : . ; * ? " < > |
種別	モデルの種別を選択します。
説明	モデルの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	モデル追加情報を保存し、[モデル一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	モデル追加情報を保存せずに、[モデル追加] グループボックスを閉じます。

4.6.3. [ホスト] タブ

ホストに関する情報の表示、設定を行います。

ホスト		
	ホスト一覧	
		ホスト名	グループに設定されているホスト名の一覧を表示します。
		IP アドレス	IPアドレスを表示します。
		プロパティ	ホストの編集を行います。「ホスト設定」ウィンドウに遷移します。
		追加	ホストを追加します。[ホスト一覧] グループボックスの下部に、[ホスト追加] グループボックスが表示されます。
		削除	チェックボックスを選択したホストを削除します。
	[戻る]		元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[ホスト一覧] グループボックス下部に [ホスト追加] グループボックスが表示されます。



ホスト追加	
複数ホストを作成する	複数ホストを一括作成する場合に選択します。
ホスト名 **(入力必須)**	追加するホスト名を入力します。入力できる文字数は63文字以内です。ただし、数字のみで構成されたホスト名、あるいはホスト名の語尾に入力できる数字の文字数は、9文字 (9桁) 以内です。
タグ	タグ (キーワード) を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。
自動生成台数 **(入力必須)**	[複数ホストを生成する] をオンにした場合、作成するホストの台数を入力します。「1～1000」の範囲で設定できます。
ネットワークを設定	ホストにネットワークを設定する場合はオンにします。

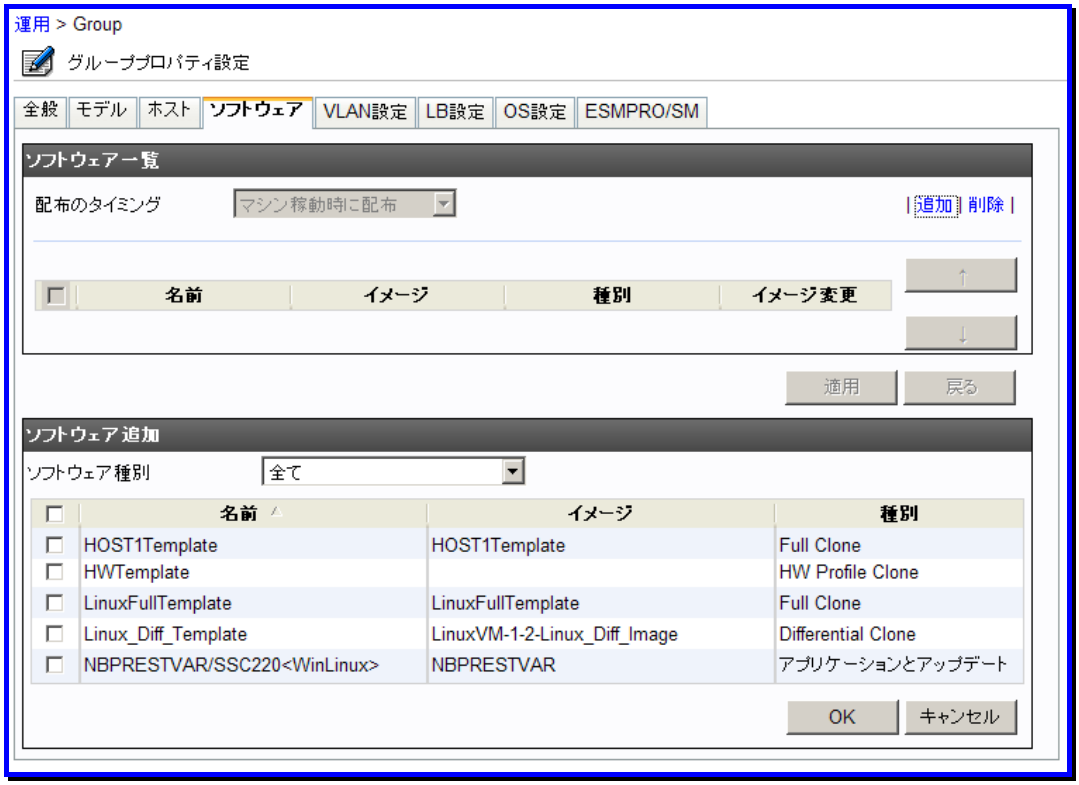
開始 IP アドレス	IPアドレスを入力します。モデルの種別が [VMサーバ] の場合、NIC#1の1番目に登録されたIPアドレスが仮想マシンサーバのIPアドレスになります。NIC#1の2番目に登録されたIPアドレスは、VMotion用のIPアドレスとして設定されます。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。
管理用 IP アドレスにする	管理用IPアドレスに設定します。設定されたIPアドレスは、ホスト設定の [ネットワーク] タブに管理用IPアドレスとして反映されます。管理用IPアドレスが [なし] に設定されているホストは、ESMPRO/ServerManagerに自動登録されません。そのため、ESMPRO/ServerManagerによる障害の検出を契機とした障害復旧処理を行うことができません。 SystemProvisioningは、本管理用IPアドレスを指定して管理対象マシンを自動的にESMPRO/ServerManagerに登録します。 SystemMonitor性能監視は、指定する管理用IPアドレスを取得し、SystemMonitor性能監視が監視対象マシンへ接続する際のアドレスとして使用することができます。設定方法については、「SystemMonitor性能監視ユーザーズガイド」の「4.1 監視対象マシンの指定」を参照してください。
[OK]	設定したホストを追加し、[ホスト一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	ホスト追加情報を保存せずに、[ホスト追加] グループボックスを閉じます。

4.6.4. [ソフトウェア] タブ

ソフトウェアに関する情報の表示、設定を行います。

ソフトウェア	
ソフトウェアー覧	
配布のタイミング	ソフトウェアの配布のタイミングを、マシン稼動時に配布 / マシン待機時に配布 / 待機時・シャットダウン後から選択します。
名前	グループに設定されている、[配布のタイミング] で選択した種類のソフトウェア名の一覧を表示します。 ソフトウェアは、表示されている順番で配布されます。順序を変更するには、変更するソフトウェアのチェックボックスを選択し、[↑] および [↓] で操作します。
イメージ	ソフトウェアに設定されているイメージ名を表示します。
種別	ソフトウェアの種別を表示します。
イメージ変更	ソフトウェアに設定するイメージを変更します。[ソフトウェアー覧] グループボックスの下部に、[イメージ変更] グループボックスが表示されます。 種別が、Differential Clone、またはDisk Clone の場合にイメージ変更が可能です。
[↑]	チェックボックスを選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ前に移動します。
[↓]	チェックボックスを選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ後に移動します。
追加	ソフトウェアを追加します。[ソフトウェアー覧] グループボックスの下部に、[ソフトウェア追加] グループボックスが表示されます。
削除	チェックボックスを選択したソフトウェアを削除します。
[適用]	ソフトウェアー覧情報を適用します。
[戻る]	ソフトウェアー覧情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[ソフトウェアー覧] グループボックス下部に [ソフトウェア追加] グループボックスが表示されます。



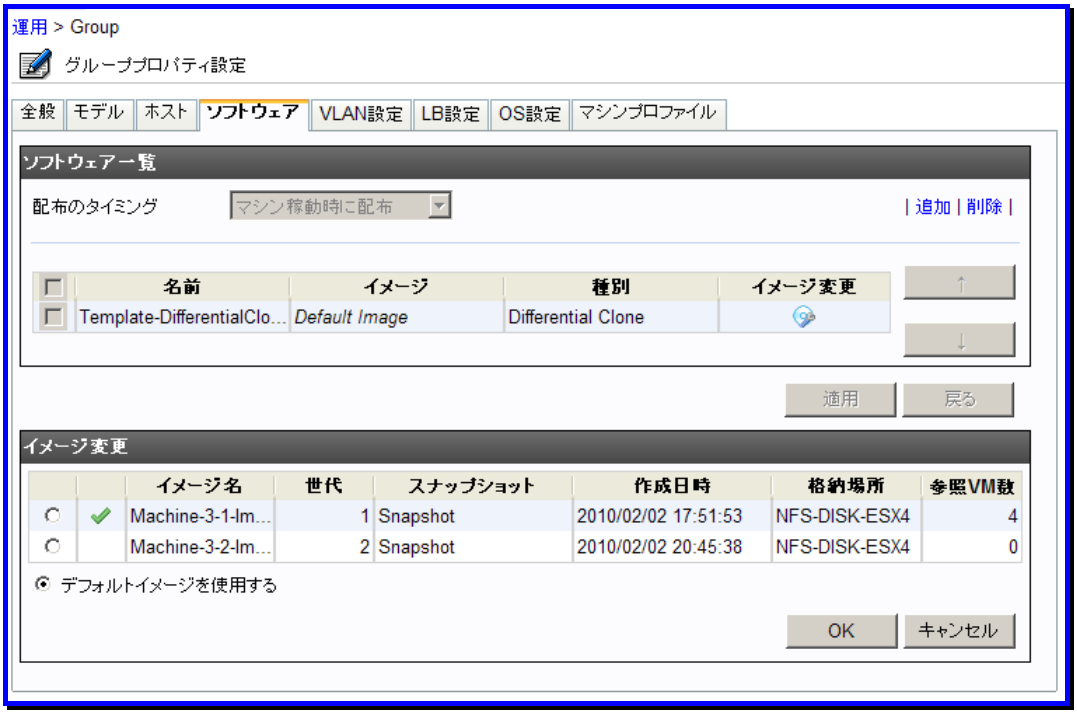
ソフトウェア追加	
ソフトウェア種別	表示するソフトウェアを絞り込みます。 全て / OSイメージ / テンプレート / Backupタスク / アプリケーションとアップデート / スクリプトの中から選択できます。
名前	SigmaSystemCenterに登録されているソフトウェアー覧を表示します。
イメージ	ソフトウェアに設定されているイメージ名を表示します。
種別	ソフトウェアの種別を表示します。
[OK]	チェックボックスを選択したソフトウェアを追加し、[ソフトウェアー覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	ソフトウェア追加情報を保存せずに、[ソフトウェア追加] グループボックスを閉じます。

注:

・仮想マシンのテンプレートは、ある仮想マシンサーバに登録されているテンプレートが利用できない場合に、別の仮想マシンサーバに登録されているテンプレートを利用するように複数のテンプレートを設定しておくことができます。設定するテンプレートは同じイメージのテンプレートを設定してください。

・DPM 配信を利用して仮想マシンを作成する場合は、HW Profile Clone 用のテンプレートを登録してください。また、タイプが異なる仮想マシンのテンプレートを混在して登録はできません。Differential Clone 用のテンプレートの場合は、スタンドアロン ESXi 環境と VMware vCenter Server 環境で作成したテンプレートも混在して登録できません。

[イメージ変更] をクリックすると、[ソフトウェアー覧] グループボックス下部に [イメージ] グループボックスが表示されます。

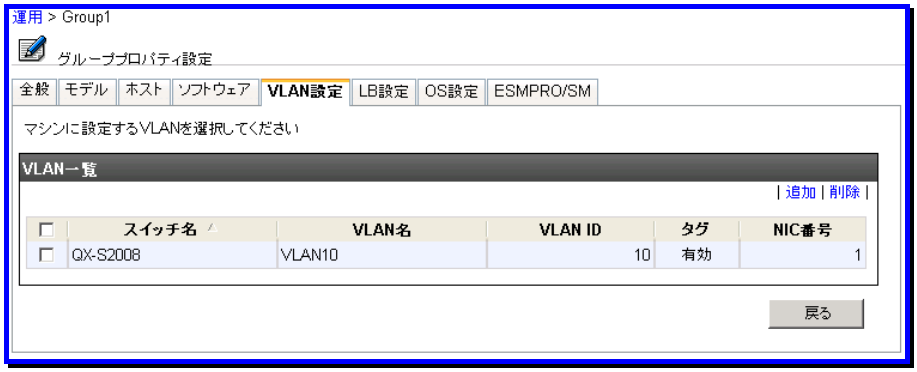


イメージ変更	
(ラジオボタン)	[ソフトウェアー覧] グループボックスに追加するイメージを選択します。
イメージ名	イメージ名を表示します。
世代	イメージの世代番号を表示します。
スナップショット	スナップショット名を表示します。
作成日時	イメージを作成した日時を表示します。
格納場所	イメージの保存先Datastore名を表示します。

	参照 VM 数	参照している仮想マシンの数を表示します。
	[デフォルトイメージを使用する]	イメージを固定せずにテンプレートのデフォルトイメージを使用する場合に選択します。
	[OK]	選択したラジオボタンのイメージをソフトウェアに設定し、[ソフトウェア一覧] グループボックスに表示します。
	[キャンセル]	イメージ変更情報を保存せずに、[ソフトウェア追加] グループボックスを閉じます。

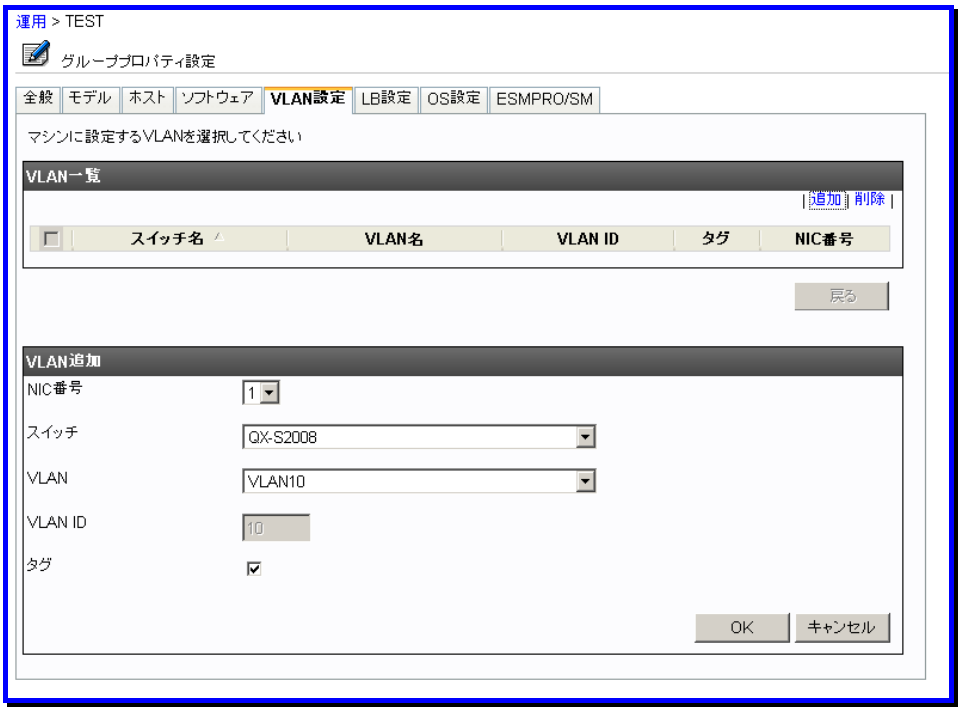
4.6.5. [VLAN設定] タブ

VLAN に関する情報の表示、設定を行います。



VLAN 設定		
	VLAN 一覧	
	スイッチ名	NetvisorProから収集されたスイッチ名を表示します。
	VLAN 名	VLAN名を表示します。
	VLAN ID	VLAN IDを表示します。
	タグ	NetvisorProで管理、登録されているスイッチで、タグ情報が設定されている場合、"有効" と表示されます。
	NIC 番号	NIC番号を表示します。
	追加	VLANを追加します。[VLAN一覧] グループボックスの下部に、[VLAN追加] グループボックスが表示されます。
	削除	チェックボックスを選択したVLANを削除します。チェックボックスを選択した設定と同一のVLAN名とVLAN IDの設定が他にある場合は、その設定も同時に削除されます。
	[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

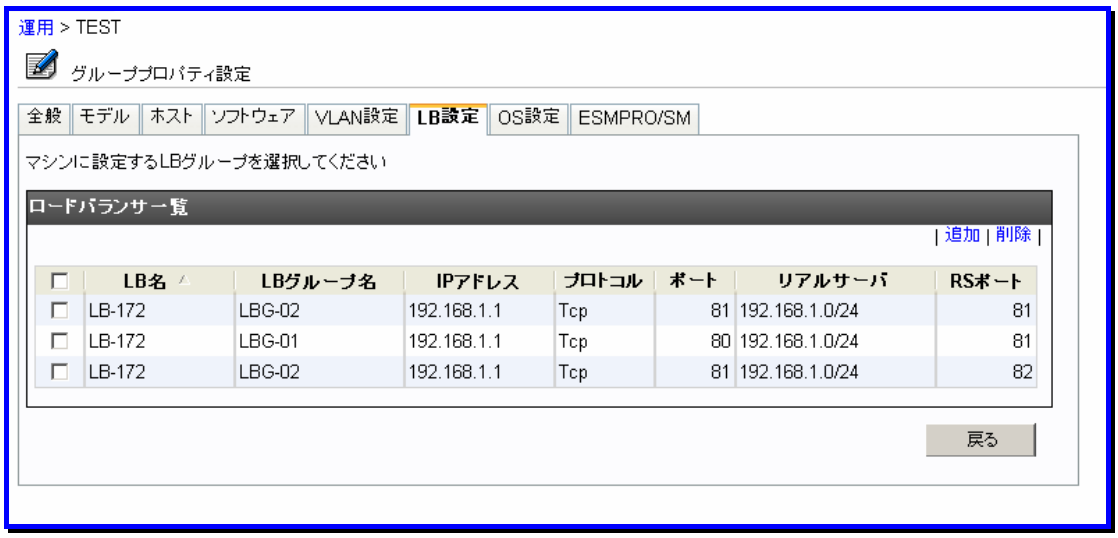
[追加] をクリックすると、[VLAN 一覧] グループボックス下部に [VLAN 追加] グループボックスが表示されます。



VLAN 追加	
NIC 番号	NIC番号を選択します。「1～7」の範囲で選択できます。
スイッチ	スイッチを選択します。
VLAN	VLANを選択します。
VLAN ID	VLAN IDを表示します。編集を行うことはできません。
タグ	NetvisorProで管理、登録されているスイッチで、タグVLANを設定する場合、チェックボックスをオンにします。
[OK]	設定したVLANを追加し、[VLAN一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	VLAN追加情報を保存せずに、[VLAN追加] グループボックスを閉じます。

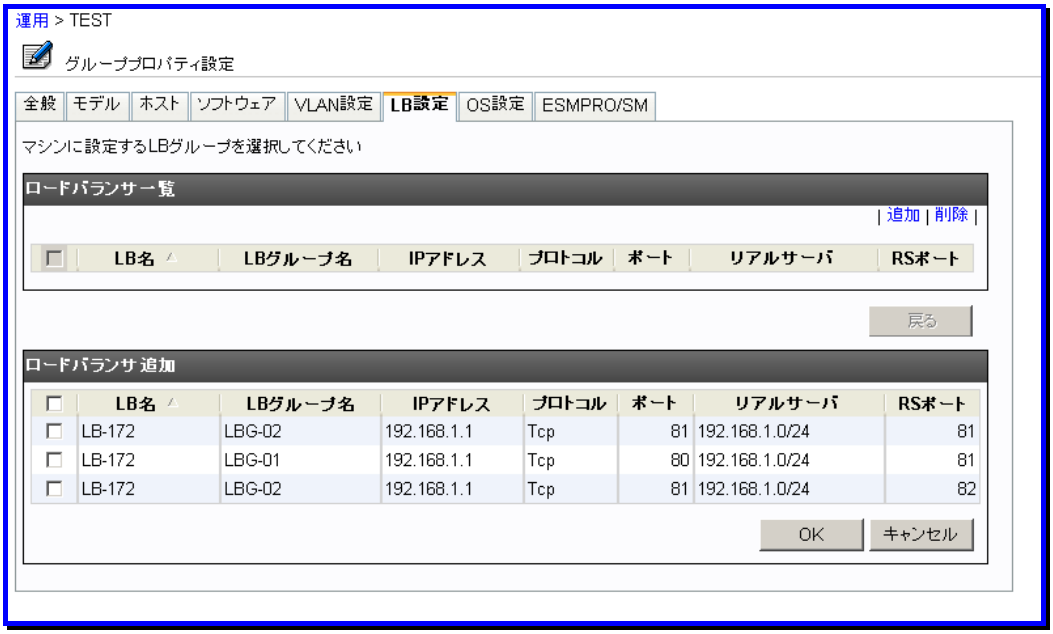
4.6.6. [LB設定] タブ

ロードバランサに関する情報の表示、設定を行います。



LB 設定		
	ロードバランサー覧	
	LB 名	NetvisorProから収集されたロードバランサ名を表示します。
	LB グループ名	ロードバランサグループを表示します。
	IP アドレス	ロードバランサのIPアドレスを表示します。
	プロトコル	ロードバランサが使用するプロトコルを表示します。
	ポート	ロードバランサのポート番号を表示します。
	リアルサーバ	リアルサーバのネットワークアドレスを表示します。
	RS ポート	リアルサーバのポート番号を表示します。
	追加	ロードバランサを追加します。[ロードバランサー覧] グループボックスの下部に、[ロードバランサ追加] グループボックスが表示されます。
	削除	チェックボックスを選択したロードバランサを削除します。
	[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

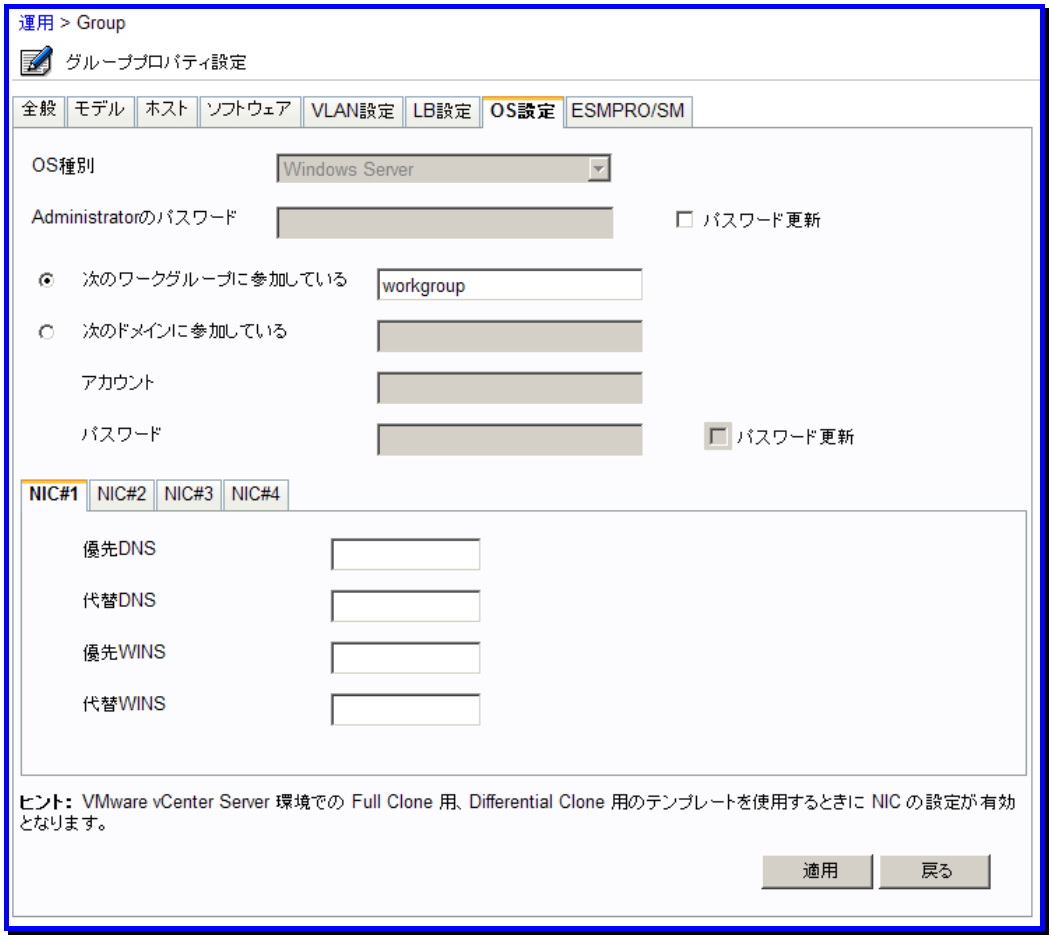
[追加] をクリックすると、[ロードバランサー覧] グループボックス下部に [ロードバランサ追加]グループボックスが表示されます。



ロードバランサ追加	
LB 名	NetvisorProから収集されたロードバランサ名を表示します。
LB グループ名	ロードバランサグループを表示します。
IP アドレス	ロードバランサのIPアドレスを表示します。
プロトコル	ロードバランサが使用するプロトコルを表示します。
ポート	ロードバランサのポート番号を表示します。
リアルサーバ	リアルサーバのネットワークアドレスを表示します。
RS ポート	リアルサーバのポート番号を表示します。
[OK]	チェックボックスを選択したロードバランサを追加し、[ロードバランサー覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	ロードバランサ追加情報を保存せずに、[ロードバランサ追加] グループボックスを閉じます。

4.6.7. [OS設定] タブ (Windowsの場合)

OS (Windows の場合) に関する情報の表示、設定を行います。



OS 設定		
	OS 種別	OSの種類を表示します。編集はできません。
	Administrator のパスワード ※1	Administratorのパスワードを入力します。[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードを入力できます。
	パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、[Administratorのパスワード] テキストボックスが入力できます。
	Windows 設定	
	次のワークグループに参加している	ワークグループを使用する場合に選択します。

(テキストボックス) ※1 **(入力必須)**	[次のワークグループに参加している] を選択している場合に限り、ワークグループ名を入力します。入力できる文字数は15文字以内です。
次のドメインに参加している	ドメインを使用する場合に選択します。
(テキストボックス) ※1 **(入力必須)**	[次のドメインに参加している] が選択している場合に限り、ドメイン名を入力します。入力できる文字数は155文字以内です。
アカウント ※1 **(入力必須)**	[次のドメインに参加している] が選択している場合に限り、アカウント名を入力します。入力できる文字数は32文字以内です。
パスワード ※1 **(入力必須)**	[次のドメインに参加している] が選択している場合、および [パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードを入力できます。入力できる文字数は6～256文字以内です。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。[次のドメインに参加している] がオンの場合に限り、選択できます。チェックボックスをオンにすると、[パスワード] テキストボックスが入力できます。
NIC	
優先 DNS	優先DNSのIPアドレスを入力します。OS配布後、ドメインに参加する場合は入力必須です。
代替 DNS	代替DNSのIPアドレスを入力します。OS配布後、ドメインに参加する場合は入力必須です。
優先 WINS	優先WINSのIPアドレスを入力します。
代替 WINS	代替WINSのIPアドレスを入力します。
[適用]	グループプロパティ設定情報を適用します。
[戻る]	グループプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

※1 「DeploymentManagerユーザーズガイド基本操作編」の「1.1.3 マスタコンピュータ用ディスク複製用情報ファイルの準備」、または「2.2.4 Linuxインストールパラメータファイルの作成」も参照してください。

注:

・ NIC の DNS 設定、および WINS 設定は、VMware vCenter Server 環境での Full Clone 用、Differential Clone 用のテンプレートを使用するときに反映されます。

・ 上記以外の場合は、マスタマシンに DNS、および WINS の IP アドレスをあらかじめ設定し、マスタマシンの展開型ディスクイメージファイルを作成することで管理対象マシンに DNS、および WINS の IP アドレスを登録することができます。

・ DNS の設定を行わない場合、ドメイン参加することはできません。

4.6.8. [OS設定] タブ (Linuxの場合)

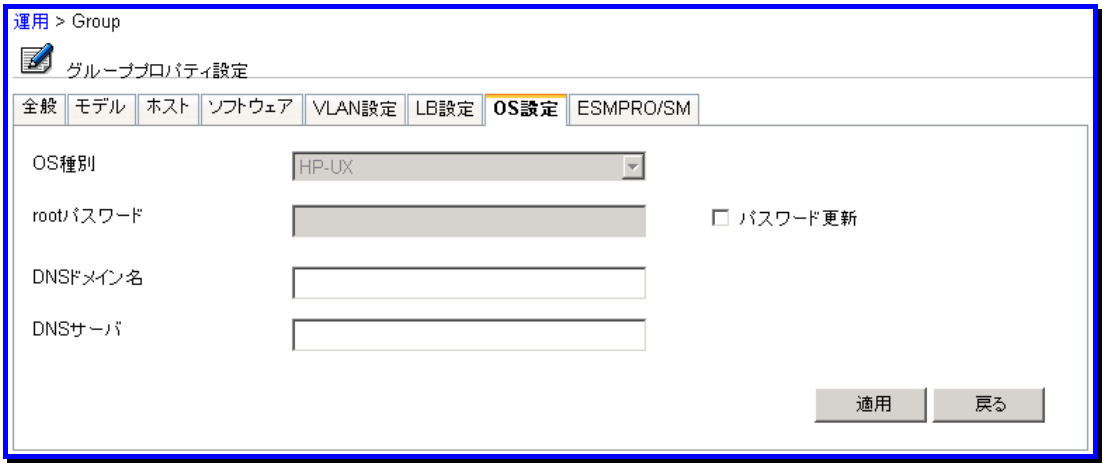
OS (Linux の場合) に関する情報の表示、設定を行います。

OS 設定	
OS 種別	OSの種類を選択します。編集はできません。
root パスワード ※1 (入力必須)	rootのパスワードを入力します。[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードを入力できます。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、[rootパスワード] テキストボックスが入力できます。
ドメインサフィックス ※1	ドメインサフィックスを入力します。入力できる文字数は63文字以内です。
プライマリ DNS	プライマリDNSのIPアドレスを入力します。
セカンダリ DNS	セカンダリDNSのIPアドレスを入力します。
ターシャリ DNS	ターシャリDNSのIPアドレスを入力します。
[適用]	グループプロパティ設定を適用します。
[戻る]	グループプロパティ設定を適用せず、元のウィンドウに戻ります。

※1 「DeploymentManagerユーザーズガイド基本操作編」の「1.1.3 マスタコンピュータ用ディスク複製用情報ファイルの準備」、または「2.2.4 Linuxインストールパラメータファイルの作成」も参照してください。

4.6.9. [OS設定] タブ (HP-UXの場合)

OS (HP-UX の場合) に関する情報の表示、設定を行います。

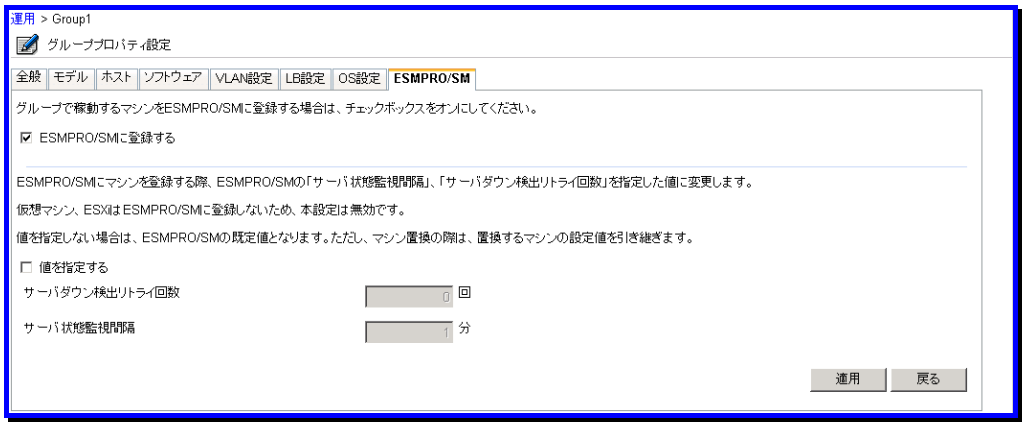


OS 設定	
OS 種別	OSの種類を選択します。編集はできません。
root パスワード	rootのパスワードを入力します。[パスワード作成] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードを入力できます。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、[rootパスワード] テキストボックスが入力できます。
DNS ドメイン名	DNSドメイン名を入力します。入力できる文字数は64文字以内です。
DNS サーバ	DNSサーバのIPアドレスを入力します。
[適用]	グループプロパティ設定を適用します。
[戻る]	グループプロパティ設定を適用せず、元のウィンドウに戻ります。

4.6.10. [ESMPRO / SM] タブ

SystemProvisioning から ESMPRO/ServerManager に登録されるマシンのサーバ状態監視間隔、サーバダウン検出リトライ回数を既定値から変更する場合、本設定を行います。

注: 設定を既定値に戻す場合は、[サーバ状態監視間隔] テキストボックス、および [サーバダウン検出リトライ回数] テキストボックスを空白にし、[適用] をクリックしてください。



ESMPRO / SM	
ESMPRO/SM に登録する	グループで稼動するマシンをESMPRO/ServerManagerに登録する場合、チェックボックスをオンにします。
値を指定する	ESMPRO/ServerManagerに登録されるマシンのサーバ状態監視間隔、サーバダウン検出リトライ回数の設定を行う場合、チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオフにしている場合は、設定は無効となります。
サーバダウン検出リトライ回数	サーバダウン検出リトライ回数を入力します。既定値は (0) 回です。「0～100」の範囲で設定できます。
サーバ状態監視間隔	サーバ状態監視間隔を入力します。既定値は (1) 分です。「1～1440」の範囲で設定できます。
[適用]	グループプロパティ設定を適用します。
[戻る]	グループプロパティ設定を適用せず、元のウィンドウに戻ります。

4.6.11. [マシンプロファイル] タブ

グループのマシンプロファイルを設定します。

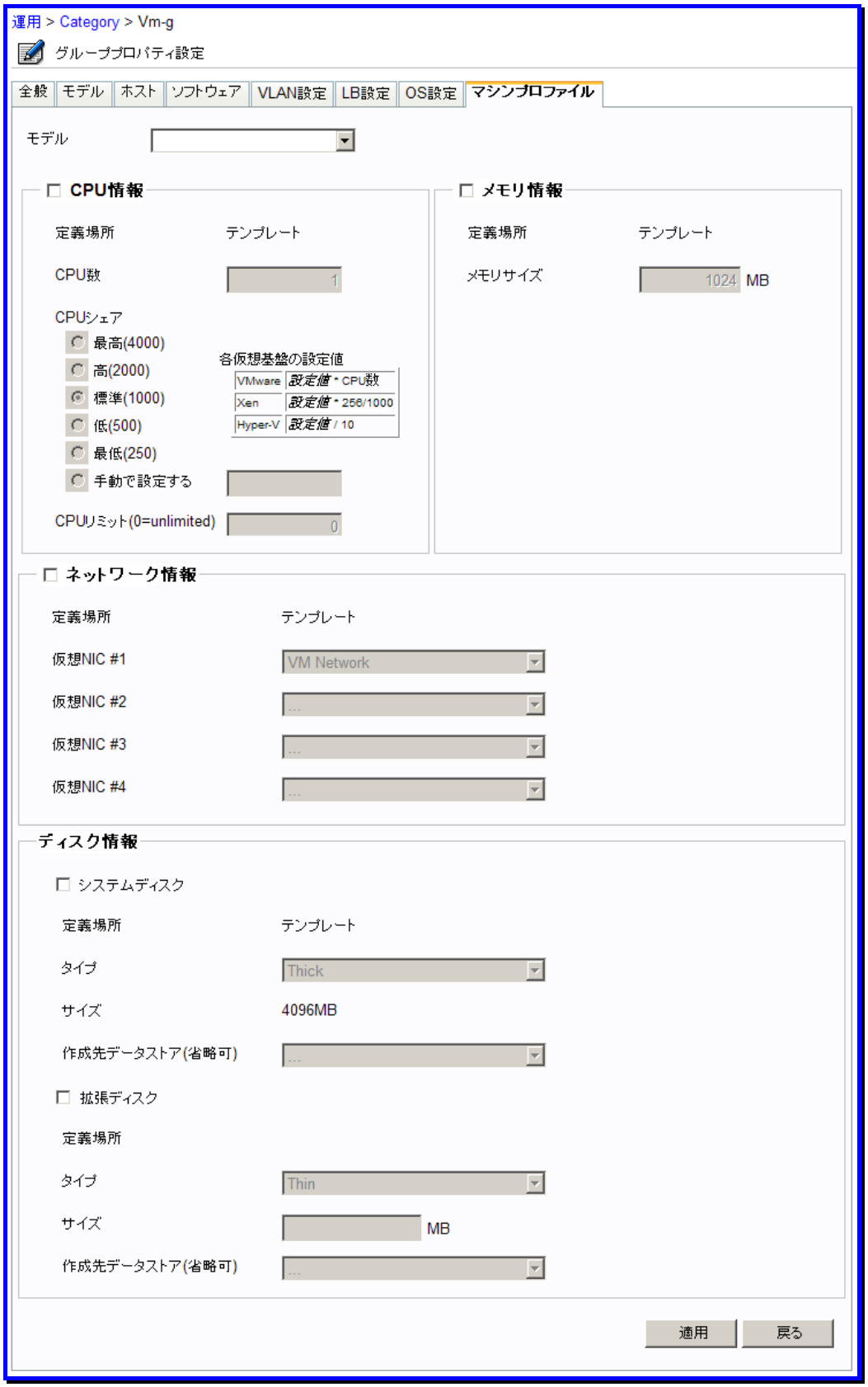
マシンプロファイルとは、新規に作成する仮想マシンや再構成する仮想マシンのハードウェアスペックを指定する設定です。新規リソース割り当て、または再構成の操作を実行したとき、マシンプロファイルで設定したハードウェアスペックを持つ仮想マシンが作成されます。

管理対象マシンが、仮想マシン以外の場合、マシンプロファイルの設定は必要ありません。

モデル種別が [VM] のモデルがグループの配下に設定された場合に、[マシンプロファイル] タブが表示されます。

マシンプロファイルの設定は、グループプロパティ設定、モデルプロパティ設定、ホスト設定の [マシンプロファイル] タブで行うことができます。各階層間の関係は、グループ < モデル < ホストの定義で優先されるようになっています。グループ配下のモデルやホストで個別に設定していない場合は、グループプロパティ設定のマシンプロファイルの設定が使用されます。

グループプロパティ設定のマシンプロファイルの既定値は、テンプレートの設定値となります。また、[モデル] プルダウンボックスを設定すると、指定モデルの設定を既定値として引用することができます。


運用 > Category > Vm-g
グループプロパティ設定
全般
モデル
ホスト
ソフトウェア
VLAN設定
LB設定
OS設定
マシンプロファイル
モデル
CPU情報
定義場所
テンプレート
CPU数
1
CPUシェア
最高(4000)
高(2000)
標準(1000)
低(500)
最低(250)
手動で設定する
各仮想基盤の設定値
VMware 設定値 * CPU数
Xen 設定値 * 256/1000
Hyper-V 設定値 / 10
CPUリミット(0=unlimited)
0
メモリ情報
定義場所
テンプレート
メモリサイズ
1024 MB
ネットワーク情報
定義場所
テンプレート
仮想NIC #1
VM Network
仮想NIC #2
仮想NIC #3
仮想NIC #4
ディスク情報
システムディスク
定義場所
テンプレート
タイプ
Thick
サイズ
4096MB
作成先データストア(省略可)
拡張ディスク
定義場所
タイプ
Thin
サイズ
MB
作成先データストア(省略可)
適用
戻る

マシンプロファイル		
	モデル	モデルを選択します。 モデルを選択した場合、選択したモデルに設定されているマシンプロファイル情報と組み合わせた情報が表示されます。 仮想マシンが選択したモデルで稼動する場合に利用される情報を参照したい場合や、モデルに設定した情報をグループ共通情報に設定する場合に使用します。
	CPU 情報	仮想マシンに割り当てるCPU数やCPUの能力を設定します。設定を変更する場合、チェックボックスをオンにします。グループで設定が行われている場合、チェックボックスはオンで表示されます。
	定義場所	CPU情報の設定がある定義場所を表示します (テンプレート、グループ、モデル)。
	CPU 数	CPU数を入力します。「1～9999」の範囲で設定できます。
	CPU シェア	
	最高 (4000)	CPUリソースの割当量を設定します。 各仮想基盤製品に制御を行う際、設定値を使用して以下の計算を行った結果を使用します。 VMware : 設定値 * CPU数 Hyper-V : 設定値 / 10 XenServer : 設定値 * 256 / 1000
	高 (2000)	
	標準 (1000)	
	低 (500)	
	最低 (250)	
	手動で設定する	CPUリソースの割当量を入力します。「0～99999」の範囲で設定できます。
	CPU リミット (0=unlimited)	CPUリミットを入力します。「0～9999999」の範囲で設定できます。
	メモリ情報	仮想マシンに割り当てるメモリの設定を行います。設定を変更する場合、チェックボックスをオンにします。グループで設定が行われている場合、チェックボックスはオンで表示されます。
	定義場所	メモリ情報の設定がある定義場所を表示します (テンプレート、グループ、モデル)。
	メモリサイズ	メモリサイズを入力します。「1～9999999」の範囲で設定できます。
	ネットワーク情報	仮想マシンに割り当てる仮想NICと仮想NICの接続先の名称を設定します。設定を変更する場合、チェックボックスをオンにします。グループで設定が行われている場合、チェックボックスはオンで表示されます。
	定義場所	ネットワーク情報の設定がある定義場所を表示します (テンプレート、グループ、モデル)。
	仮想 NIC #1	仮想マシンに割り当てる仮想NICと仮想NICの接続先の名称を設定します。仮想NICは#1～#4まで設定することができます。仮想NICの接続先は、仮想基盤製品を使用して仮想マシンサーバ上に作成する必要があります。仮想NICの接
	仮想 NIC #2	
	仮想 NIC #3	

仮想 NIC #4	続先の用語や指定形式は、仮想基盤製品別に異なります。 「VMware」： 接続先のポート・グループの名前を設定します。 「Hyper-V」： 接続先の仮想ネットワークとVLANを組み合わせた名称で設定します。以下の形式で設定します。 *NetworkName*-VLAN:*VlanId* *NetworkName*： 接続先の仮想ネットワーク名を指定します。 -VLAN:： 固定文字列です。 *VlanId*： 仮想NICに割り当てるVLANのIDを指定します。VLANのIDを指定しない場合は、固定文字列 "NONE" を指定します。 「XenServer」： 接続先のネットワークの名前を設定します。
ディスク情報	
システムディスク	仮想マシンのOSインストール先となるディスクの定義を行います。設定を変更する場合、チェックボックスをオンにします。グループで設定が行われている場合、チェックボックスはオンで表示されます。
定義場所	ディスク情報の設定がある定義場所を表示します (テンプレート、グループ、モデル)。
タイプ	Thick / Thinのどちらかを選択します。Hyper-VのDifferential Cloneでは、設定は無効となります。 「Thick」： 作成時に指定したサイズのディスクを作成します。 「Thin」： ディスク利用時に必要に応じて必要な分のサイズのディスクが動的に割り当てられます。指定サイズは、動的に割り当て可能なサイズの上限として使用されます。
サイズ	システムディスクサイズを表示します。編集はできません。
作成先データストア (省略可)	作成するディスクのデータの置き場所となるDatastoreを指定します。Datastoreの指定は省略できます。省略した場合は、仮想マシン作成時に自動的に選択されます。
拡張ディスク	データ用のディスクの定義を行います。設定を変更する場合、チェックボックスをオンにします。グループで設定が行われている場合、チェックボックスはオンで表示されます。
定義場所	ディスク情報の設定がある定義場所を表示します (グループ、モデル)。
タイプ	Thick / Thinのどちらかを選択します。 「Thick」： 作成時に指定したサイズのディスクを作成します。 「Thin」： ディスク利用時に必要に応じて必要な分のサイズのディスクが動的に割り当てられます。指定サイズは、動的に割り当て可能なサイズの上限として使用されます。
サイズ	拡張ディスクサイズを入力します。「10～99999999」の範囲で設定できます。

作成先データストア (省略可)	作成するディスクのデータの置き場所となるDatastoreを指定します。Datastoreの指定は省略できます。省略した場合は、仮想マシン作成時に自動的に選択されます。
[適用]	マシンプロファイル設定情報を適用します。
[戻る]	マシンプロファイル設定情報を適用せず、元のウィンドウに戻ります。

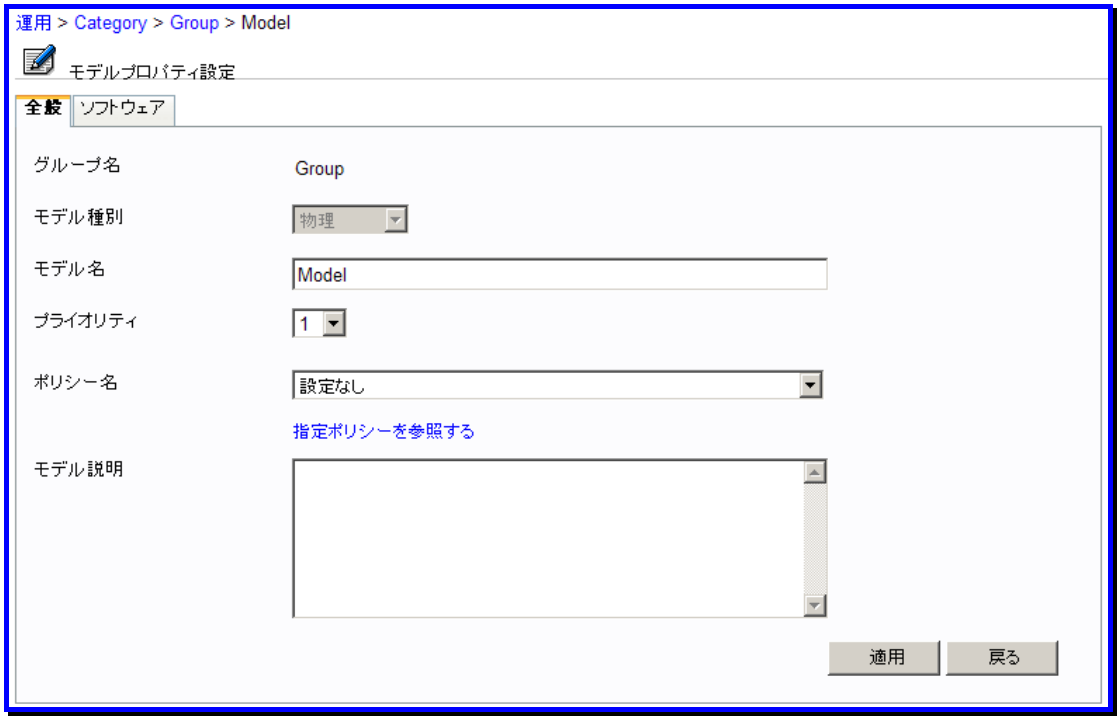
4.7. モデルプロパティ設定

モデルプロパティの表示、設定を行います。

グループプロパティ設定の [モデル] タブから [モデル一覧] グループボックスのプロパティの [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「モデルプロパティ設定」が表示されます。

4.7.1. [全般] タブ (物理マシンの場合)

モデルの種別が [物理] の場合、モデル全般の設定を表示、設定を行います。

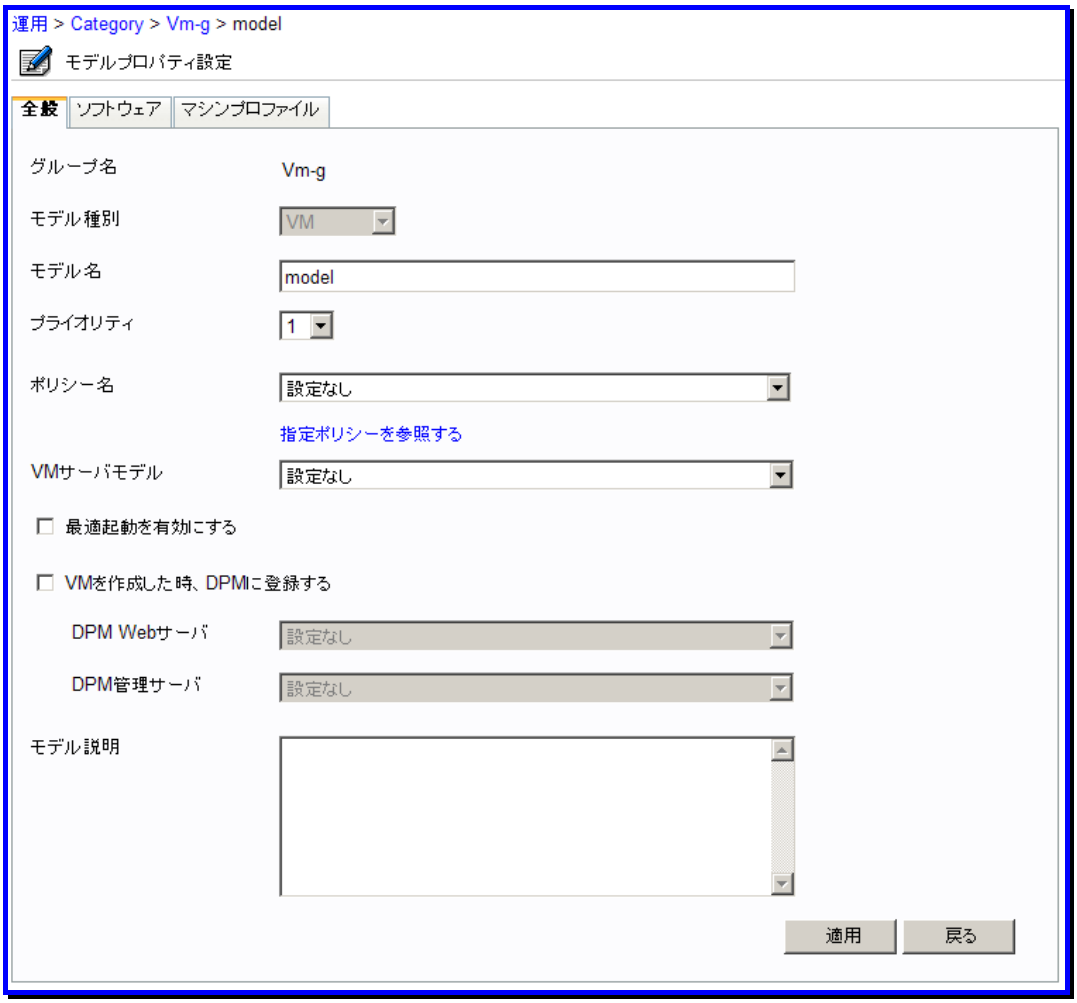


全般	
グループ名	グループ名を表示します。
モデル種別	モデルの種類を表示します。編集はできません。
モデル名 **(入力必須)**	モデル名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。以下の記号は使用できません。 ¥ / : . ; * ? " < > |
プライオリティ	プライオリティを表示し、変更もできます。「1～10」の範囲で選択できます。
ポリシー名	ポリシー名を表示し、変更もできます。
指定ポリシーを参照する	[ポリシー名] プルダウンボックスで指定した「ポリシープロパティ設定」ウィンドウに遷移します。

モデル説明	モデルの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[適用]	モデルプロパティ設定情報を適用します。
[戻る]	モデルプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.7.2. [全般] タブ (仮想マシンの場合)

モデルの種別が [VM] の場合、モデル全般の設定を表示、設定を行います。



全般	
グループ名	グループ名を表示します。
モデル種別	モデルの種類を表示します。編集はできません。

モデル名 **(入力必須)**	モデル名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。以下の記号は使用できません。 ¥ / : . ; * ? " < > |
プライオリティ	プライオリティを表示し、変更もできます。「1～10」の範囲で選択できます。
ポリシー名	ポリシー名を表示し、変更もできます。
指定ポリシーを参照する	[ポリシー名] プルダウンボックスで指定した「ポリシープロパティ設定」ウィンドウに遷移します。
VM サーバモデル	VMモデルとVMサーバモデルを関連付ける場合、 関連付けるモデル名を選択します。
最適起動を有効にする	仮想マシンの最適起動を有効にする場合、チェックボックスをオンにします。
VM を作成した時、DPM に登録する	仮想マシンを稼動時にDPMに登録する場合、チェックボックスをオンにします。
DPM Web サーバ	[VMを作成した時、DPMに登録する] チェックボックスがオンの場合、Webサーバ for DPMを選択します。
DPM 管理サーバ	[VMを作成した時、DPMに登録する] チェックボックスがオンの場合、管理サーバ for DPMを選択します。
モデル説明	モデルの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[適用]	モデルプロパティ設定情報を適用します。
[戻る]	モデルプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

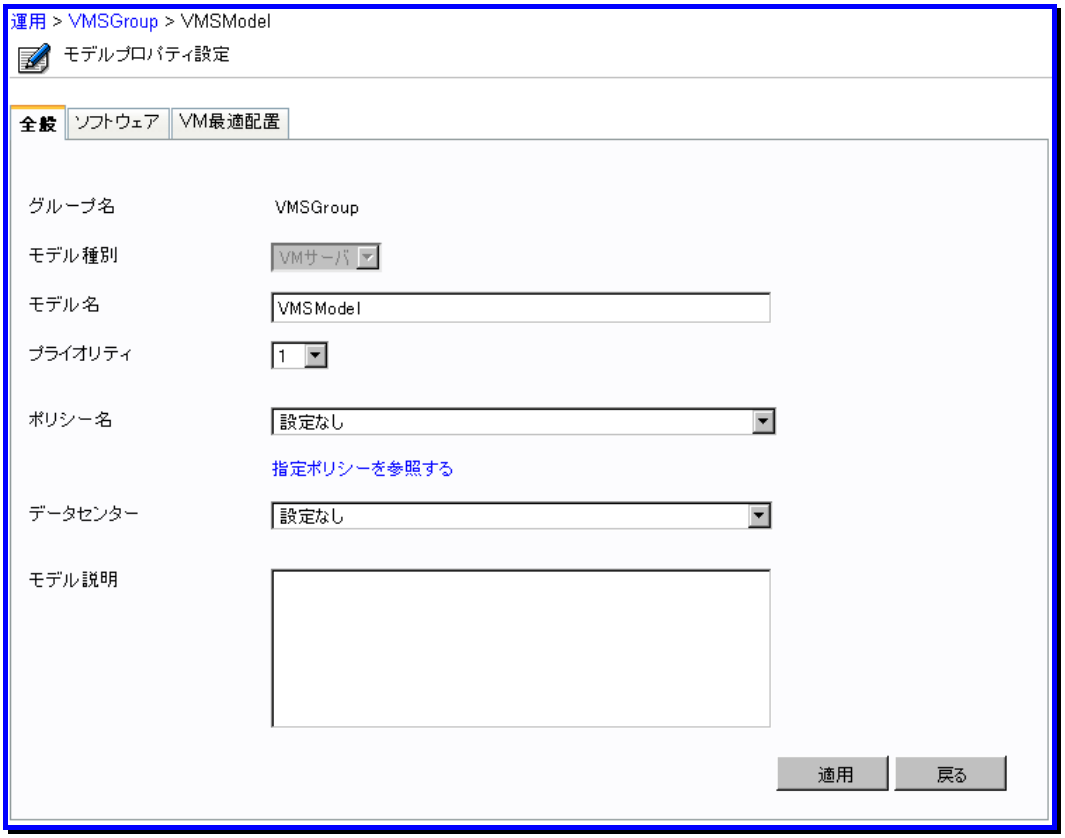
注:

・ スタンドアロン ESXi、および Hyper-V で新規リソース割り当てを行う場合、VM サーバモデルの指定が必須です。スタンドアロン ESXi の場合、指定した VM サーバモデルには、モデル、またはグループに設定した HW Profile Clone 用のテンプレートが存在する Datastore にアクセスが可能な仮想マシンサーバを登録してください。

・ HW Profile Clone、もしくは Disk Clone 用のテンプレートを利用して仮想マシンを作成する場合は、DPM に登録する設定が必須です。Differential Clone 用のテンプレートは、VMware vCenter Server 環境以外の場合、DPM に登録する設定が必須です。

4.7.3. [全般] タブ (仮想マシンサーバの場合)

モデルの種別が [VM サーバ] の場合、モデル全般の設定を表示、設定を行います。



全般	
グループ名	グループ名を表示します。
モデル種別	モデルの種類を表示します。編集はできません。
モデル名 **(入力必須)**	モデル名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。以下の記号は使用できません。 ¥ / : . ; * ? " < > |
プライオリティ	プライオリティを表示し、変更もできます。「1～10」の範囲で選択できます。
ポリシー名	ポリシー名を表示し、変更もできます。
指定ポリシーを参照する	[ポリシー名] プルダウンボックスで指定した「ポリシープロパティ設定」ウィンドウに遷移します。
データセンター	モデルで使用するDataCenterを選択します。
モデル説明	モデルの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[適用]	モデルプロパティ設定情報を適用します。

[戻る]	モデルプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.7.4. [ソフトウェア] タブ

モデルのソフトウェアに関する情報の表示、設定を行います。

ソフトウェア

ソフトウェア一覧

配布のタイミング	ソフトウェアの配布のタイミングを、マシン稼動時に配布 / マシン待機時に配布 / 待機時・シャットダウン後から選択します。
名前	モデルに設定されている、[配布のタイミング] で選択した種類のソフトウェア一覧を表示します。 ソフトウェアは、表示されている順番で配布されます。順序を変更するには、変更するソフトウェアのチェックボックスを選択し、[↑] および [↓] で操作します。
イメージ	ソフトウェアに設定されているイメージ名を表示します。
種別	ソフトウェアの種別を表示します。
イメージ変更	ソフトウェアに設定するイメージを変更します。[ソフトウェア一覧] グループボックスの下部に、[イメージ変更] グループボックスが表示されます。 種別が、Differential Clone、またはDisk Cloneの場合にイメージ変更が可能です。
[↑]	チェックボックスを選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ前に移動します。
[↓]	チェックボックスを選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ後に移動します。

追加	ソフトウェアを追加します。[ソフトウェアー覧] グループボックスの下部に、[ソフトウェア追加] グループボックスが表示されます。
削除	チェックボックスを選択したソフトウェアを削除します。
[適用]	モデルプロパティ設定情報を適用します。
[戻る]	モデルプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[ソフトウェアー覧] グループボックス下部に [ソフトウェア追加] グループボックスが表示されます。

ソフトウェア追加	
ソフトウェア種別	表示するソフトウェアを絞り込みます。 全て / OSイメージ / テンプレート / Backupタスク / アプリケーションとアップデート / スクリプトの中から選択できます。
名前	SigmaSystemCenterに登録されているソフトウェアー覧を表示します。
イメージ	ソフトウェアに設定されているイメージ名を表示します。
種別	ソフトウェアの種別を表示します。

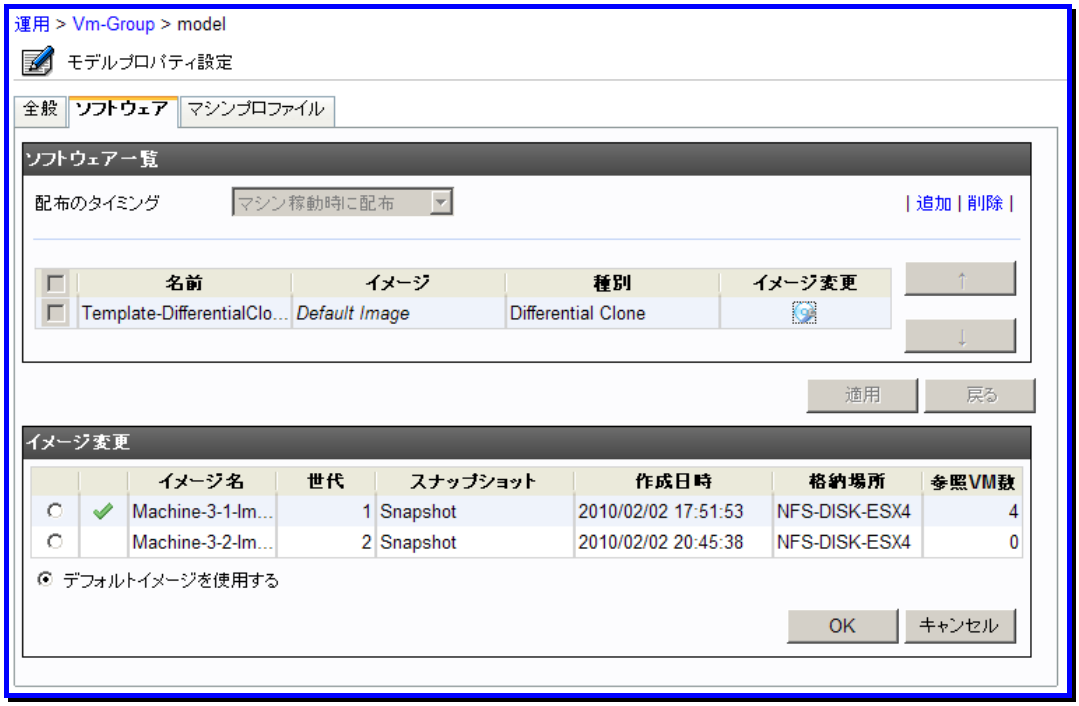
[OK]	チェックボックスを選択したソフトウェアを追加し、[ソフトウェアー覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	ソフトウェア追加情報を保存せずに、[ソフトウェア追加] グループボックスを閉じます。

注:

・ 仮想マシンのテンプレートは、ある仮想マシンサーバに登録されているテンプレートが利用できない場合に、別の仮想マシンサーバに登録されているテンプレートを利用するように複数のテンプレートを設定しておくことができます。設定するテンプレートは同じイメージのテンプレートを設定してください。

・ DPM 配信を利用して仮想マシンを作成する場合は、HW Profile Clone 用のテンプレートを登録してください。また、タイプが異なる仮想マシンのテンプレートを混在して登録はできません。Differential Clone 用のテンプレートの場合は、スタンドアロン ESXi 環境と VMware vCenter Server 環境で作成したテンプレートも混在して登録できません。

[イメージ変更] をクリックすると、[ソフトウェアー覧] グループボックス下部に [イメージ] グループボックスが表示されます。



イメージ変更	
(ラジオボタン)	新たに使用するイメージを選択します。
イメージ名	イメージ名を表示します。
世代	イメージの世代番号を表示します。
スナップショット	スナップショット名を表示します。

	作成日時	イメージを作成した日時を表示します。
	格納場所	イメージの保存先Datastore名を表示します。
	参照 VM 数	参照する仮想マシンの数を表示します。
	[デフォルトイメージを使用する]	イメージを固定せずにテンプレートのデフォルトイメージを使用する場合に選択します。
	[OK]	選択したラジオボタンのイメージをソフトウェアに設定し、[ソフトウェアー覧] グループボックスに表示します。
	[キャンセル]	イメージ変更情報を保存せずに、[ソフトウェア追加] グループボックスを閉じます。

4.7.5. [マシンプロファイル] タブ (仮想マシンの場合)

モデルのマシンプロファイルを設定します。

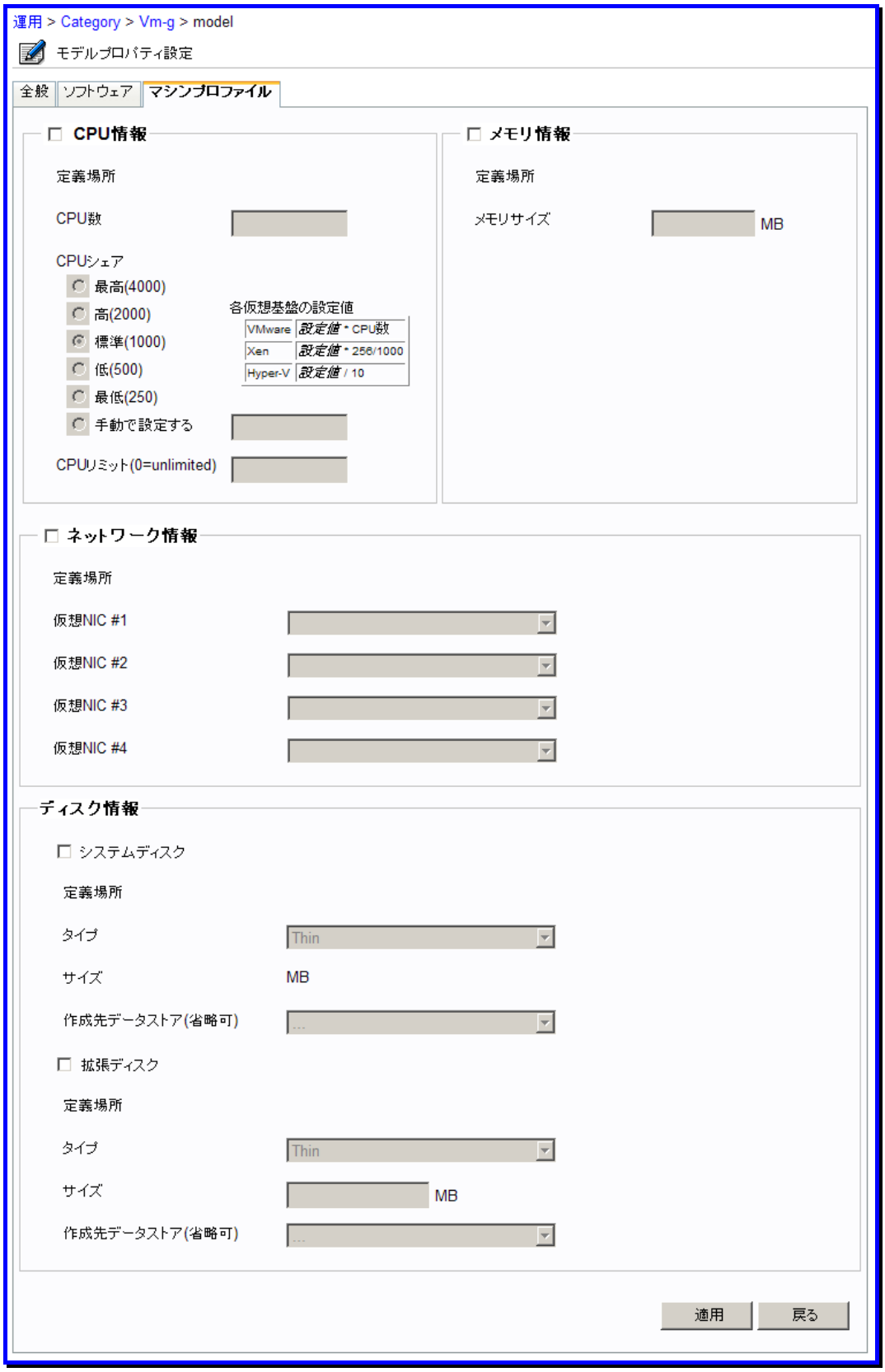
マシンプロファイルとは、新規に作成する仮想マシンや再構成する仮想マシンのハードウェアスペックを指定する設定です。新規リソース割り当て、または再構成の操作を実行したとき、マシンプロファイルで定義したハードウェアスペックを持つ仮想マシンが作成されます。

管理対象マシンが仮想マシン以外の場合、マシンプロファイルの設定は必要ありません。

モデル種別が [VM] のモデルが設定された場合に、[マシンプロファイル] タブが表示されます。

マシンプロファイルの設定は、グループプロパティ設定、モデルプロパティ設定、ホスト設定の [マシンプロファイル] タブで行うことができます。各階層間の関係は、グループ < モデル < ホストの定義で優先されるようになっています。モデルプロパティ設定でのマシンプロファイルの設定は、ホスト設定で個別にマシンプロファイルの設定を行わない場合に使用されます。

モデルプロパティ設定のマシンプロファイルの既定値は、グループプロパティ設定に設定されているマシンプロファイルの設定、またはテンプレートの設定値となります。グループプロパティ設定やホスト設定のマシンプロファイル設定ウィンドウでは、指定モデルの設定を既定の設定として引用することができます。


運用 > Category > Vm-g > model
モデルプロパティ設定
全般
ソフトウェア
マシンプロファイル
CPU情報
定義場所
CPU数
CPUシェア
最高(4000)
高(2000)
標準(1000)
低(500)
最低(250)
手動で設定する
CPUリミット(0=unlimited)
各仮想基盤の設定値
VMware 設定値 * CPU数
Xen 設定値 * 256/1000
Hyper-V 設定値 / 10
メモリ情報
定義場所
メモリサイズ
MB
ネットワーク情報
定義場所
仮想NIC #1
仮想NIC #2
仮想NIC #3
仮想NIC #4
ディスク情報
システムディスク
定義場所
タイプ
Thin
サイズ
MB
作成先データストア(省略可)
拡張ディスク
定義場所
タイプ
Thin
サイズ
MB
作成先データストア(省略可)
適用
戻る

マシンプロファイル		
	CPU 情報	仮想マシンに割り当てるCPU数やCPUの能力を設定します。設定を変更する場合、チェックボックスをオンにします。モデルで設定が行われている場合、チェックボックスはオンで表示されます。
	定義場所	CPU情報の設定がある定義場所を表示します (テンプレート、グループ、モデル)。
	CPU 数	CPU数を入力します。「1～9999」の範囲で設定できます。
	CPU シェア	
	最高 (4000)	CPUリソースの割当量を設定します。 各仮想基盤製品に制御を行う際、設定値を使用して以下の計算を行った結果を使用します。 VMware : 設定値 * CPU数 Hyper-V : 設定値 / 10 XenServer : 設定値 * 256 / 1000
	高 (2000)	
	標準 (1000)	
	低 (500)	
	最低 (250)	
	手動で設定する	CPUリソースの割当量を入力します。「0～99999」の範囲で設定できます。
	CPU リミット (0=unlimited)	CPUリミットを入力します。「0～9999999」の範囲で設定できます。
	メモリ情報	仮想マシンに割り当てるメモリの設定を行います。設定を変更する場合、チェックボックスをオンにします。モデルで設定が行われている場合、チェックボックスはオンで表示されます。
	定義場所	メモリ情報の設定がある定義場所を表示します (テンプレート、グループ、モデル)。
	メモリサイズ	メモリサイズを入力します。「1～9999999」の範囲で設定できます。
	ネットワーク情報	仮想マシンに割り当てる仮想NICと仮想NICの接続先の名称を設定します。設定を変更する場合、チェックボックスをオンにします。モデルで設定が行われている場合、チェックボックスはオンで表示されます。
	定義場所	ネットワーク情報の設定がある定義場所を表示します (テンプレート、グループ、モデル)。
	仮想 NIC #1	仮想マシンに割り当てる仮想NICと仮想NICの接続先の名称を設定します。仮想NICは#1～#4まで設定することができます。仮想NICの接続先は、仮想基盤製品を使用して仮想マシンサーバ上に作成する必要があります。仮想NICの接
	仮想 NIC #2	
	仮想 NIC #3	

仮想 NIC #4	続先の用語や指定形式は、仮想基盤製品別に異なります。 「VMware」： 接続先のポート・グループの名前を設定します。 「Hyper-V」： 接続先の仮想ネットワークとVLANを組み合わせた名称で設定します。以下の形式で設定します。 *NetworkName*-VLAN:*VlanId* *NetworkName*： 接続先の仮想ネットワーク名を指定します。 -VLAN:： 固定文字列です。 *VlanId*： 仮想NICに割り当てるVLANのIDを指定します。VLANのIDを指定しない場合は、固定文字列 "NONE" を指定します。 「XenServer」： 接続先のネットワークの名前を設定します。
ディスク情報	
システムディスク	仮想マシンのOSインストール先となるディスクの定義を行います。設定を変更する場合、チェックボックスをオンにします。モデルで設定が行われている場合、チェックボックスはオンで表示されます。
定義場所	ディスク情報の設定がある定義場所を表示します (テンプレート、グループ、モデル)。
タイプ	Thick / Thinのどちらかを選択します。Hyper-VのDifferential Cloneでは、設定は無効となります。 「Thick」： 作成時に指定したサイズのディスクを作成します。 「Thin」： ディスク利用時に必要に応じて必要な分のサイズのディスクが動的に割り当てられます。指定サイズは、動的に割り当て可能なサイズの上限として使用されます。
サイズ	システムディスクサイズを表示します。編集はできません。
作成先データストア (省略可)	作成するディスクのデータの置き場所となるDatastoreを指定します。Datastoreの指定は省略できます。省略した場合は、仮想マシン作成時に自動的に選択されます。
拡張ディスク	データ用のディスクの定義を行います。設定を変更する場合、チェックボックスをオンにします。モデルで設定が行われている場合、チェックボックスはオンで表示されます。
定義場所	ディスク情報の設定がある定義場所を表示します (グループ、モデル)。
タイプ	Thick / Thinのどちらかを選択します。 「Thick」： 作成時に指定したサイズのディスクを作成します。 「Thin」： ディスク利用時に必要に応じて必要な分のサイズのディスクが動的に割り当てられます。指定サイズは、動的に割り当て可能なサイズの上限として使用されます。
サイズ	拡張ディスクサイズを入力します。「10～99999999」の範囲で設定できます。

作成先データストア (省略可)	作成するディスクのデータの置き場所となるDatastoreを指定します。Datastoreの指定は省略できます。省略した場合は、仮想マシン作成時に自動的に選択されます。
[適用]	マシンプロファイル設定情報を適用します。
[戻る]	マシンプロファイル設定情報を適用せず、元のウィンドウに戻ります。

4.7.6. [VM最適配置] タブ (仮想マシンサーバの場合)

仮想マシンサーバの VM 最適配置を表示、設定します。

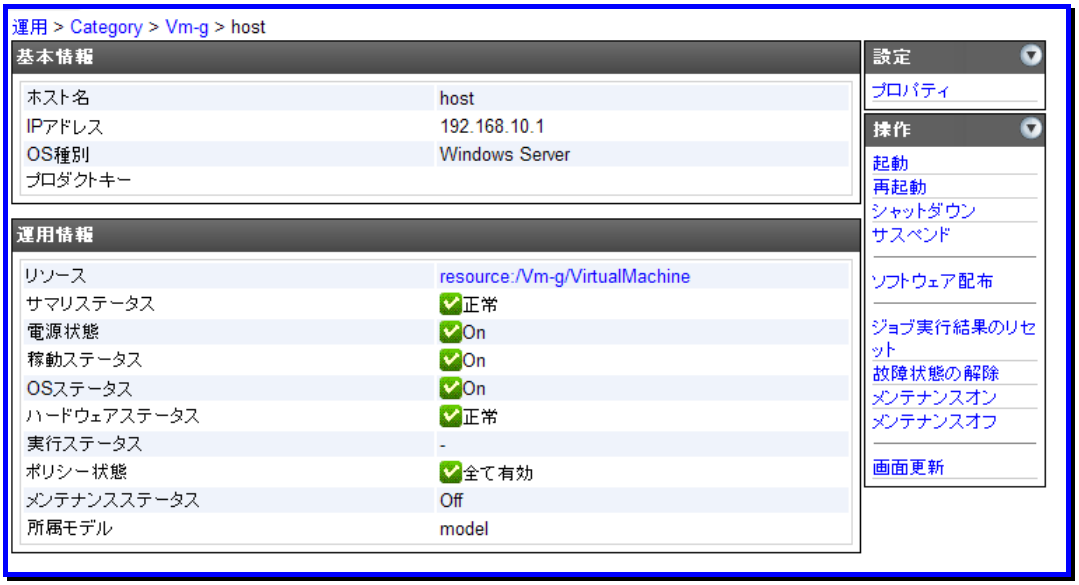
VM 最適配置	
高負荷境界	仮想マシンサーバの高負荷境界 (%) を入力します。整数のみ入力できます。既定値は (60) です。負荷監視が有効である場合に、仮想マシンサーバが高負荷状態かどうかを判断するための境界値として使用されます。

稼動目標域	仮想マシンサーバの負荷の目標の範囲 (%～%) を入力します。整数のみ入力できます。既定値は (10～50) です。負荷分散・省電力では、仮想マシンサーバの負荷が稼動目標域の範囲内となるように仮想マシンを配置します。 VMサーバモデルと関連するVMモデルで最適起動が有効になっている場合は、稼動目標域の上限を超過しないことが見込まれる仮想マシンサーバ上で仮想マシンが起動されます。 状況によっては、稼動目標域の範囲外となる場合もあります。
低負荷境界	仮想マシンサーバの低負荷境界 (%) を入力します。整数のみ入力できます。既定値は (5) です。負荷監視が有効である場合に、仮想マシンサーバが低負荷状態かどうかを判断するための境界値として使用されます。
負荷監視を有効にする (負荷分散・省電力)	負荷監視を有効にする場合、チェックボックスをオンにします。 負荷監視を有効にすると、仮想マシンサーバの負荷が高負荷境界を上回った場合に高負荷検出イベントが、低負荷境界を下回った場合に低負荷検出イベントが通知されるようになります。 負荷分散、または省電力機能を利用する場合は、負荷監視を有効にし、運用グループ (仮想マシンサーバ) のポリシー設定を行う必要があります。 ※負荷分散機能を利用する場合: 高負荷検出イベントに対して負荷分散を実行するポリシーを設定します。 ※省電力機能を利用する場合: 低負荷検出イベントに対して省電力を実行するポリシーを設定します。
負荷の変動に対応するため、停止せずに待機する予備マシンの台数 (省電力)	省電力機能を利用する場合、停止せずに待機する予備マシン (仮想マシンサーバ) の台数を設定します。 予備マシンを設定することにより、仮想マシンサーバの負荷上昇時・障害発生時等に仮想マシンを素早く移動することができるようになります。(1以上を推奨)
[適用]	モデルプロパティ設定情報を適用します。
[戻る]	モデルプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.8. ホストの詳細情報

ホストの詳細情報を表示します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスから [ホスト名] をクリックすると、メインウィンドウにホストの詳細情報が表示されます。



基本情報		
	ホスト名	ホスト名を表示します。
	IP アドレス	ホストのIPアドレスを表示します。
	OS 種別	ホストのOS種別を表示します。
	プロダクトキー	ホストのプロダクトキーを表示します。
運用情報		
	リソース	ホストで運用しているリソースを表示します。
	サマリステータス	リソースのサマリステータスを表示します。
	電源状態	リソースの電源状態を表示します。
	稼動ステータス	リソースの稼動ステータスを表示します。
	OS ステータス	リソースのOSステータスを表示します。
	ハードウェアステータス	リソースのハードウェアステータスを表示します。
	実行ステータス	リソースの実行ステータスを表示します。
	ポリシー状態	リソースのポリシー状態を表示します。
	メンテナンスステータス	リソースのメンテナンスステータスを表示します。

所属モデル	リソースの所属モデルを表示します。

4.9. ホスト設定

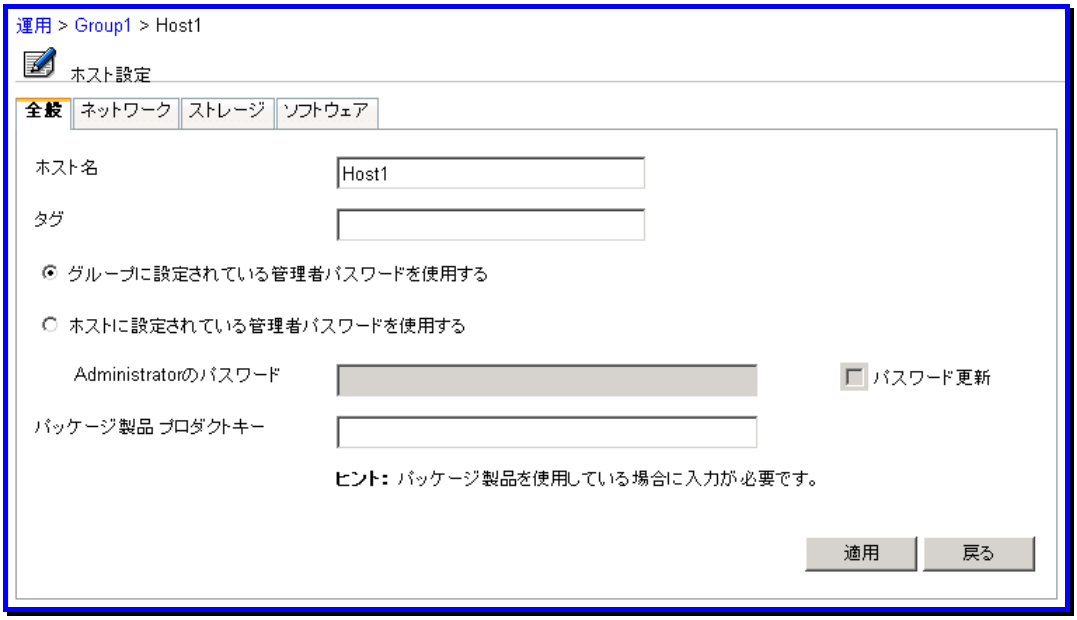
ホストの表示、設定を行います。

グループプロパティ設定の [ホスト] タブから [ホスト一覧] グループボックスのホストのプロパティのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに「ホスト設定」が表示されます。

もしくは、[運用] ツリーから運用グループのアイコンをクリックし、[ホスト一覧] グループボックスから [ホスト名] をクリックし、メインウィンドウにホストの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [プロパティ] をクリックします。

4.9.1. [全般] タブ

ホスト全般に関する情報の表示、設定を行います。



全般		
	ホスト名 **(入力必須)**	ホスト名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は63文字以内です。
	タグ	タグ (キーワード) を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。
	グループに設定されている管理者パスワードを使用する	グループに設定されている管理者パスワードを使用する場合に選択します。
	ホストに設定されている管理者パスワードを使用する	ホストに設定されている管理者パスワードを使用する場合に選択します。
	Administrator のパスワード	Administratorのパスワードを表示し、編集もできます。[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、入力します。

パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。[ホストに設定されている管理者パスワードを使用する] が選択されている場合に限り、チェックボックスをオンにできます。
パッケージ製品プロダクトキー	パッケージ製品プロダクトキーを表示し、編集もできます。
[適用]	ホスト設定情報を適用します。
[戻る]	ホスト設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.9.2. [ネットワーク] タブ

ホストのネットワークに関する情報の表示、設定を行います。

ネットワーク		
	NIC 番号	
	IP アドレス	IPアドレスを表示します。
	サブネットマスク	サブネットマスクを表示します。
	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを表示します。
	編集	IPアドレス設定を編集します。[IPアドレス設定] グループボックスがNIC一覧の下部に表示されます。
	追加	IPアドレス設定情報を追加します。NIC一覧の下部に [IPアドレス設定] グループボックスが表示されます。
	削除	チェックボックスを選択したIPアドレス設定情報をNIC一覧から削除します。

管理用 IP アドレス	管理用IPアドレスを選択します。管理用IPアドレスが［なし］に設定されているホストは、ESMPRO/ServerManagerに自動登録されません。そのため、ESMPRO/ServerManagerによる障害の検出を契機とした障害復旧処理を行うことができません。 SystemProvisioningは、本管理用IPアドレスを指定して管理対象マシンを自動的にESMPRO/ServerManagerに登録します。 SystemMonitor性能監視は、ここで指定する管理用IPアドレスを取得し、SystemMonitor性能監視が監視対象マシンへ接続する際のアドレスとして使用することができます。設定方法については、「SystemMonitor性能監視ユーザーズガイド」の「4.1 監視対象マシンの指定」を参照してください。
[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

各 NIC タブの [追加] をクリックすると、NIC 一覧の下部に [IP アドレス設定] グループボックスが表示されます。

IP アドレス設定	
IP アドレス	IPアドレスを表示し、編集もできます。モデルの種別が［VMサーバ］の場合、NIC#1の1番目に登録されたIPアドレスが仮想マシンサーバのIPアドレスになります。NIC#1の2番目に登録されたIPアドレスは、VMotion用のIPアドレスとして設定されます。
サブネットマスク	サブネットマスクを表示し、編集もできます。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを表示し、編集もできます。
[OK]	設定したIPアドレスを対象NICに追加し、IPアドレスの一覧に表示します。

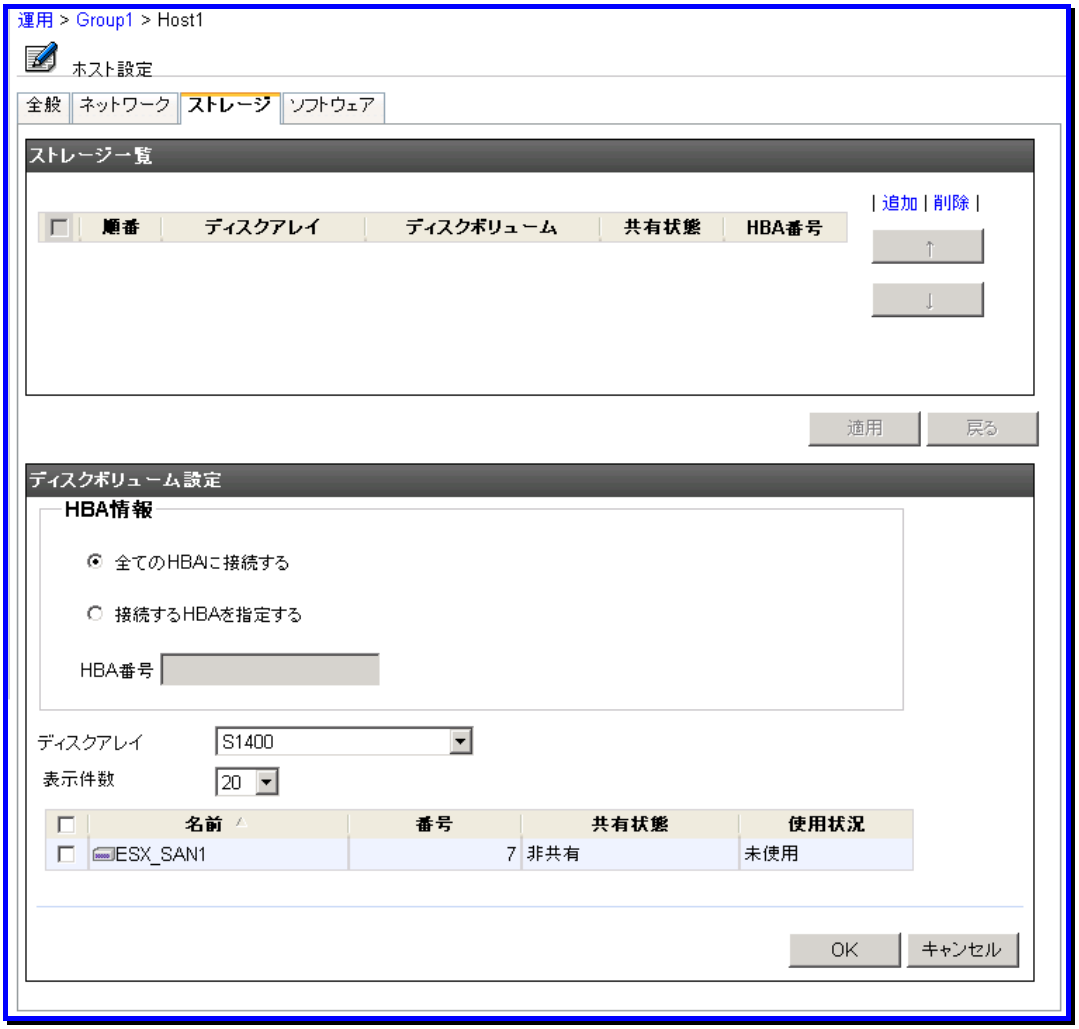
[キャンセル]	IPアドレス設定情報を保存せずに、[IPアドレス設定] グループボックスを閉じます。

4.9.3. [ストレージ] タブ

ホストのストレージに関する情報の表示、設定を行います。

ストレージ		
	ストレージ一覧	
	順番	ホストに接続するディスクボリュームの順番を表示します。
	ディスクアレイ	ホストに設定されているディスクアレイ一覧を表示します。
	ディスクボリューム	ディスクボリュームを表示します。
	共有状態	共有状態を表示します。
	HBA 番号	HBA番号を表示します。
	[↑]	チェックボックスを選択したホストに接続するストレージの1つ前に移動します。
	[↓]	チェックボックスを選択したホストに接続するストレージの1つ後に移動します。
	追加	ディスクボリュームを追加します。[ストレージ一覧] グループボックスの下部に [ディスクボリューム設定] グループボックスが表示されます。
	削除	チェックボックスを選択したディスクアレイ設定情報を [ストレージ一覧] グループボックスから削除します。
	[適用]	ホスト設定情報を適用します。
	[戻る]	ホスト設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[ストレージ一覧] グループボックスの下部に [ディスクボリューム設定] グループボックスが表示されます。



ディスクボリューム設定		
	HBA 情報	
		全ての HBA に接続する すべてのHBAに接続する場合に選択します。
		接続する HBA を指定する 接続するHBAを指定する場合に選択します。
		HBA 番号 HBA番号を入力します。[接続するHBAを指定する] を選択している場合に限り、入力できます。
	ディスクアレイ	ディスクアレイを選択します。
	名前	ディスクボリュームの名前を表示します。
	番号	ディスクボリュームの番号を表示します。
	共有状態	ディスクボリュームの共有状態を表示します。

使用状況	ディスクボリュームの使用状況を表示します。
[OK]	設定したディスクアレイを追加し、[ストレージ一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	ディスクボリューム設定情報を保存せずに、[ディスクボリューム設定] グループボックスを閉じます。

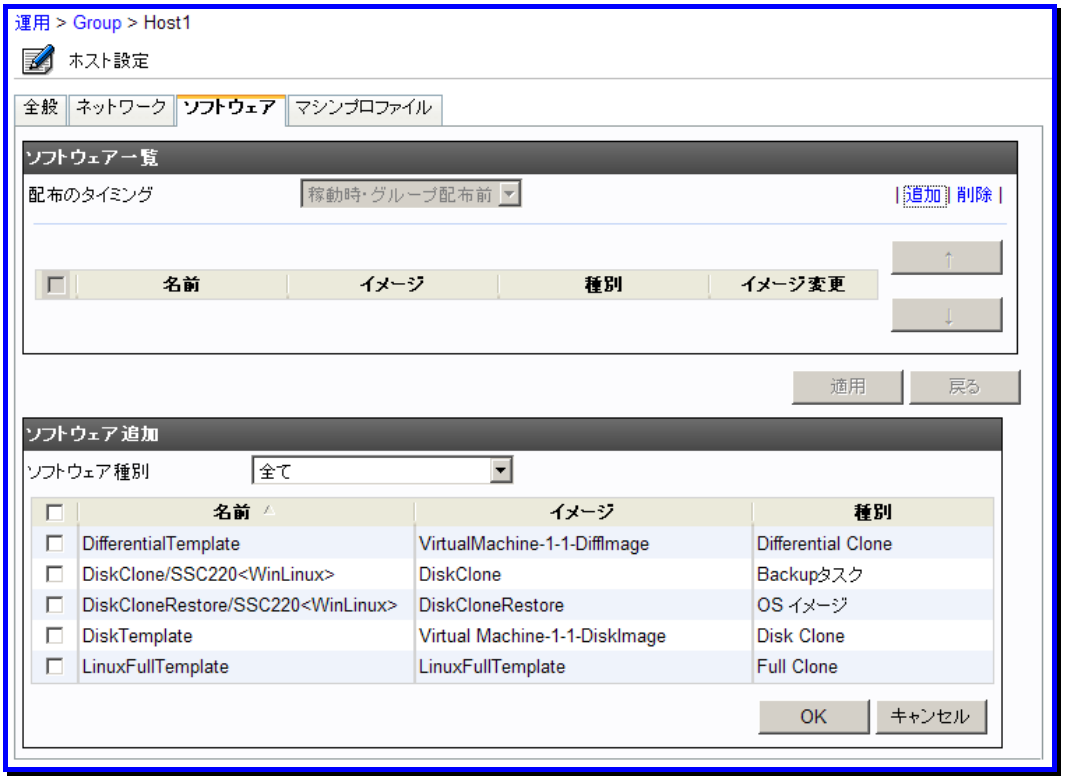
4.9.4. [ソフトウェア] タブ

ホストのソフトウェアに関する情報の表示、設定を行います。

ソフトウェア		
	ソフトウェア一覧	
		配布のタイミング	ソフトウェアの種類を、稼動時･グループ配布前 / 稼動時･配布 / 稼動時･グループ配布後 / 待機時･グループ配布前 / 待機時･配布 / 待機時･グループ配布後 / 待機時･シャットダウン後から選択します。
		名前	ホストに設定されている、[ソフトウェアの種類] で選択した種類のソフトウェア一覧を表示します。 ソフトウェアは、表示されている順番で配布されます。順序を変更するには、変更するソフトウェアのチェックボックスを選択し、[↑] および [↓] で操作します。
		イメージ	ソフトウェアに設定されているイメージ名を表示します。
		種別	ソフトウェアの種別を表示します。
		イメージ変更	ソフトウェアに設定するイメージを変更します。[ソフトウェア一覧] グループボックスの下部に、[イメージ変更] グループボックスが表示されます。 種別が、Differential Clone、またはDisk Cloneの場合にイメージ変更が可能です。

[↑]	チェックボックスを選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ前に移動します。
[↓]	チェックボックスを選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ後に移動します。
追加	ソフトウェアを追加します。[ソフトウェア一覧] グループボックスの下部に [ソフトウェア追加] グループボックスが表示されます。
削除	チェックボックスを選択したソフトウェア情報を [ソフトウェア一覧] グループボックスから削除します。
[適用]	ホスト設定情報を適用します。
[戻る]	ホスト設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[ソフトウェア一覧] グループボックスの下部に [ソフトウェア追加] グループボックスが表示されます。



ソフトウェア追加	
ソフトウェア種別	表示するソフトウェアを絞り込みます。 全て / OSイメージ / テンプレート / Backupタスク / アプリケーションとアップデート / スクリプトの中から選択できます。
名前	SigmaSystemCenterに登録されているソフトウェア名の一覧を表示します。

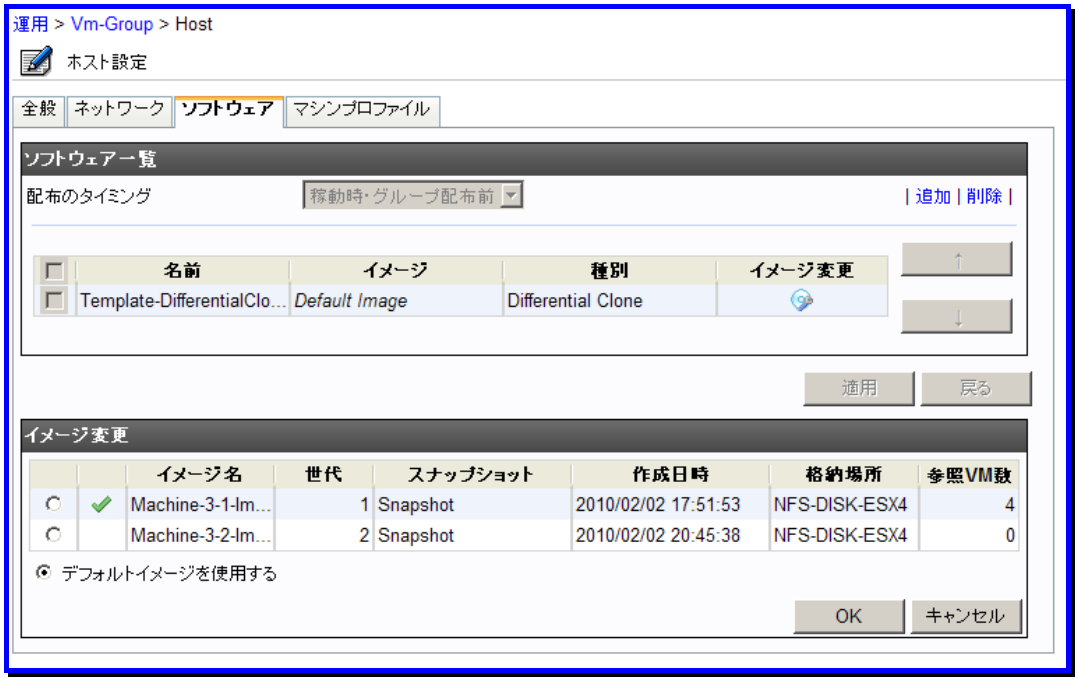
イメージ	ソフトウェアに設定されているイメージ名を表示します。
種別	ソフトウェアの種別を表示します。
[OK]	チェックボックスを選択したソフトウェアを追加し、[ソフトウェアー覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	ソフトウェア追加情報を保存せずに、[ソフトウェア追加] グループボックスを閉じます。

注:

・ 仮想マシンのテンプレートは、ある仮想マシンサーバに登録されているテンプレートが利用できない場合に、別の仮想マシンサーバに登録されているテンプレートを利用するように複数のテンプレートを設定しておくことができます。設定するテンプレートは同じイメージのテンプレートを設定してください。

・ DPM 配信を利用して仮想マシンを作成する場合は、HW Profile Clone 用のテンプレートを登録してください。また、タイプが異なる仮想マシンのテンプレートを混在して登録はできません。Differential Clone 用のテンプレートの場合は、スタンドアロン ESXi 環境と VMware vCenter Server 環境で作成したテンプレートも混在して登録できません。

[イメージ変更] をクリックすると、[ソフトウェアー覧] グループボックス下部に [イメージ] グループボックスが表示されます。



イメージ変更	
(ラジオボタン)	新たに使用するイメージを選択します。
イメージ名	イメージ名を表示します。

	世代	イメージの世代番号を表示します。
	スナップショット	スナップショット名を表示します。
	作成日時	イメージを作成した日時を表示します。
	格納場所	イメージの保存先Datastore名を表示します。
	参照 VM 数	参照する仮想マシンの数を表示します。
	[デフォルトイメージを使用する]	イメージを固定せずにテンプレートのデフォルトイメージを使用する場合に選択します。
	[OK]	選択したラジオボタンのイメージをソフトウェアに設定し、[ソフトウェア一覧] グループボックスに表示します。
	[キャンセル]	イメージ変更情報を保存せずに、[ソフトウェア追加] グループボックスを閉じます。

4.9.5. [マシンプロファイル] タブ

ホストのマシンプロファイルを設定します。

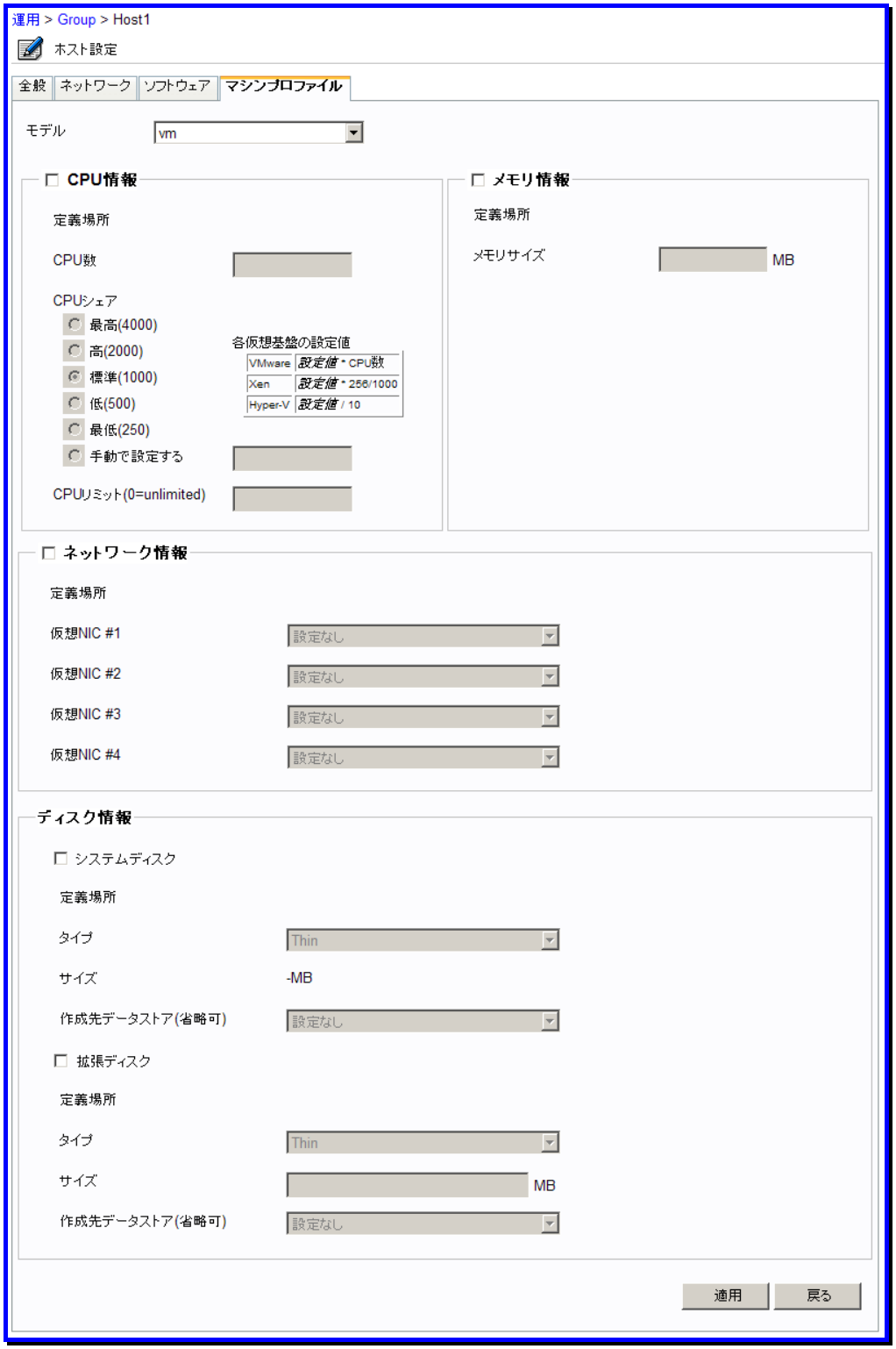
マシンプロファイルとは、新規に作成する仮想マシンや再構成する仮想マシンのハードウェアスペックを指定する設定です。新規リソース割り当て、または再構成の操作を実行したとき、マシンプロファイルで定義したハードウェアスペックを持つ仮想マシンが作成されます。

管理対象マシンが仮想マシン以外の場合、マシンプロファイルの設定は必要ありません。

モデル種別が [VM] のモデルが設定された場合に、[マシンプロファイル] タブが表示されます。

マシンプロファイルの設定は、グループプロパティ設定、モデルプロパティ設定、ホスト設定の [マシンプロファイル] タブで行うことができます。各階層間の関係は、グループ < モデル < ホストの定義で優先されるようになっています。個々のホストに対して、個別のマシンプロファイルを設定したい場合にホスト設定で設定します。設定を行わない場合は、モデルプロパティ設定、グループプロパティ設定優先順に設定されているマシンプロファイル設定が使用されます。

ホスト設定のマシンプロファイルの既定値は、モデルプロパティ設定、グループプロパティ設定の順に設定されているマシンプロファイルの設定、またはテンプレートの設定値となります。また、[モデル] プルダウンボックスを設定すると、指定モデルの設定を既定値として引用することができます。


運用 > Group > Host1
ホスト設定
全般
ネットワーク
ソフトウェア
マシンプロファイル
モデル
vm
CPU情報
定義場所
CPU数
CPUシェア
最高(4000)
高(2000)
標準(1000)
低(500)
最低(250)
手動で設定する
CPUリミット(0=unlimited)
各仮想基盤の設定値
VMware 設定値 * CPU数
Xen 設定値 * 256/1000
Hyper-V 設定値 / 10
メモリ情報
定義場所
メモリサイズ
MB
ネットワーク情報
定義場所
仮想NIC #1
仮想NIC #2
仮想NIC #3
仮想NIC #4
設定なし
ディスク情報
システムディスク
定義場所
タイプ
Thin
サイズ
-MB
作成先データストア(省略可)
拡張ディスク
定義場所
タイプ
Thin
サイズ
MB
作成先データストア(省略可)
設定なし
適用
戻る

マシンプロファイル	
モデル	モデルを選択します。 モデルを選択した場合、選択したモデルに設定されているマシンプロファイル情報と組み合わせた情報が表示されます。 仮想マシンが選択したモデルで稼動する場合に利用される情報を参照したい場合や、モデルに設定した情報をグループ共通情報に設定する場合に使用します。
CPU 情報	仮想マシンに割り当てるCPU数やCPUの能力を設定します。設定を変更する場合、チェックボックスをオンにします。ホストで設定が行われている場合、チェックボックスはオンで表示されます。
定義場所	CPU情報の設定がある定義場所を表示します (テンプレート、グループ、モデル、ホスト)。
CPU 数	CPU数を入力します。「1～9999」の範囲で設定できます。
CPU シェア	
最高 (4000)	CPUリソースの割当量を設定します。 各仮想基盤製品に制御を行う際、設定値を使用して以下の計算を行った結果を使用します。 VMware： 設定値 * CPU数 Hyper-V： 設定値 / 10 XenServer： 設定値 * 256 / 1000
高 (2000)	
標準 (1000)	
低 (500)	
最低 (250)	
手動で設定する	CPUリソースの割当量を入力します。「0～99999」の範囲で設定できます。
CPU リミット (0=unlimited)	CPUリミットを入力します。「0～9999999」の範囲で設定できます。
メモリ情報	仮想マシンに割り当てるメモリの設定を行います。設定を変更する場合、チェックボックスをオンにします。ホストで設定が行われている場合、チェックボックスはオンで表示されます。
定義場所	メモリ情報の設定がある定義場所を表示します (テンプレート、グループ、モデル)。
メモリサイズ	メモリサイズを入力します。「1～9999999」の範囲で設定できます。
ネットワーク情報	仮想マシンに割り当てる仮想NICと仮想NICの接続先の名称を設定します。設定を変更する場合、チェックボックスをオンにします。ホストで設定が行われている場合、チェックボックスはオンで表示されます。
定義場所	ネットワーク情報の設定がある定義場所を表示します (テンプレート、グループ、モデル、ホスト)。
仮想 NIC #1	仮想マシンに割り当てる仮想NICと仮想NICの接続先の名称を設定します。仮想NICは#1～#4まで設定することができます。仮想NICの接続先は、仮想基盤製品を使用して仮想マシンサーバ上に作成する必要があります。仮想NICの接
仮想 NIC #2	
仮想 NIC #3	

仮想 NIC #4	続先の用語や指定形式は、仮想基盤製品別に異なります。 「VMware」： 接続先のポート・グループの名前を設定します。 「Hyper-V」： 接続先の仮想ネットワークとVLANを組み合わせた名称で設定します。以下の形式で設定します。 *NetworkName*-VLAN:*VlanId* *NetworkName*： 接続先の仮想ネットワーク名を指定します。 -VLAN:： 固定文字列です。 *VlanId*： 仮想NICに割り当てるVLANのIDを指定します。VLANのIDを指定しない場合は、固定文字列 "NONE" を指定します。 「XenServer」： 接続先のネットワークの名前を設定します。
ディスク情報	
システムディスク	仮想マシンのOSインストール先となるディスクの定義を行います。設定を変更する場合、チェックボックスをオンにします。ホストで設定が行われている場合、チェックボックスはオンで表示されます。
定義場所	ディスク情報の設定がある定義場所を表示します (テンプレート、グループ、モデル、ホスト)。
タイプ	Thick / Thinのどちらかを選択します。Hyper-VのDifferential Cloneでは、設定は無効となります。 「Thick」： 作成時に指定したサイズのディスクを作成します。 「Thin」： ディスク利用時に必要に応じて必要な分のサイズのディスクが動的に割り当てられます。指定サイズは、動的に割り当て可能なサイズの上限として使用されます。
サイズ	システムディスクサイズを表示します。編集はできません。
作成先データストア (省略可)	作成するディスクのデータの置き場所となるDatastoreを指定します。Datastoreの指定は省略できます。省略した場合は、仮想マシン作成時に自動的に選択されます。
拡張ディスク	データ用のディスクの定義を行います。設定を変更する場合、チェックボックスをオンにします。ホストで設定が行われている場合、チェックボックスはオンで表示されます。
定義場所	ディスク情報の設定がある定義場所を表示します (グループ、モデル、ホスト)。
タイプ	Thick / Thinのどちらかを選択します。 「Thick」： 作成時に指定したサイズのディスクを作成します。 「Thin」： ディスク利用時に必要に応じて必要な分のサイズのディスクが動的に割り当てられます。指定サイズは、動的に割り当て可能なサイズの上限として使用されます。
サイズ	拡張ディスクサイズを入力します。「10～99999999」の範囲で設定できます。

作成先データストア (省略可)	作成するディスクのデータの置き場所となるDatastoreを指定します。Datastoreの指定は省略できます。省略した場合は、仮想マシン作成時に自動的に選択されます。
[適用]	マシンプロファイル設定情報を適用します。
[戻る]	マシンプロファイル設定情報を適用せず、元のウィンドウに戻ります。

4.10. 運用グループへのメニュー操作

運用グループで使用する操作に関するメニューについて説明します。

4.10.1. スケールアウト

「スケールアウト」は、運用グループプールで待機しているマシンを 1 台稼動します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [スケールアウト] をクリックすると、運用グループプールで待機していたマシンが稼動を開始し、[ホスト一覧] グループボックスに表示されます。

注:

・ スケールアウトするマシンが仮想マシンサーバであり、マシン上に仮想マシン、またはテンプレートが既に存在する場合、スケールアウトを行うことはできません。

・ Disk Clone タイプ、および VMware 環境以外の Differential Clone 用のテンプレートが登録されている場合、スケールアウトを行うことはできません。

4.10.2. スケールイン

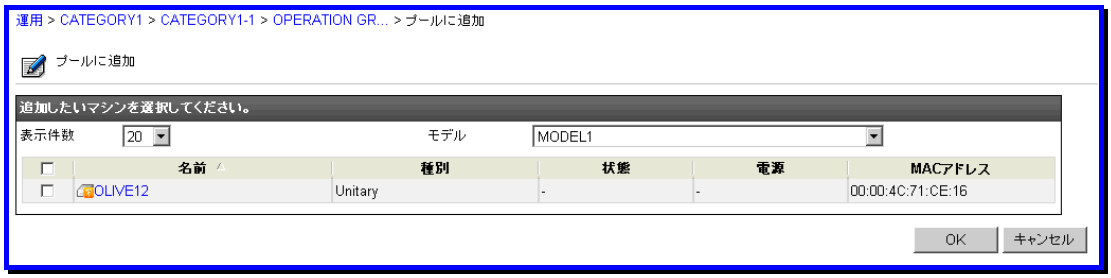
「スケールイン」は、稼動しているマシンを 1 台プールに待機させます。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [スケールイン] をクリックすると、[ホスト一覧] グループボックスで稼動していたマシンがプールに待機し、[リソースプール] グループボックスに表示されます。

4.10.3. プールに追加

「プールに追加」は、管理対象マシンをプールマシンとして追加します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [プールに追加] をクリックすると、メインウィンドウに「プールに追加」が表示されます。プールに追加するマシンのチェックボックスをオンにし、[OK] をクリックするとマシンがプールに追加されます。



プールに追加		
	追加したいマシンを選択してください。	
	モデル	プールに追加するマシンが所属するモデルを選択します。
	名前	管理対象マシンのマシン名を表示します。
	種別	管理対象マシンの種別を表示します。
	状態	管理対象マシンの状態を表示します。
	電源	管理対象マシンの電源状態を表示します。
	MAC アドレス	管理対象マシンのMACアドレスを表示します。
	[OK]	チェックボックスを選択した管理対象マシンをプールに追加し、元のウィンドウに戻ります。
	[キャンセル]	プールに管理対象マシンを追加せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.10.4. 起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンド

マシンの起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンドを行います。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [起動]、[再起動]、[シャットダウン]、もしくは [サスペンド] をクリックすると、ホストにリソースが割り当てられているすべてのマシンの電源を操作することができます。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックス、もしくは [リソースプール] グループボックスの [アクション] メニューから [起動]、[再起動]、[シャットダウン]、もしくは [サスペンド] をクリックすると、各グループボックスのチェックボックスがオンとなっているマシンの電源を操作することができます。

4.10.5. マシン収集

マシンの情報をマシン単位に収集します。

[運用] ツリーから対象のマシンが稼動している運用グループを選択します。[ホスト一覧] グループボックスから対象のマシンが稼動するホストを選択し、[アクション] メニューから [マシン収集] を選択すると、マシン収集が実行されます。

4.10.6. リソース割り当て

「リソース割り当て」は、ホストにリソースの割り当てを行い、グループにマシンを登録します。

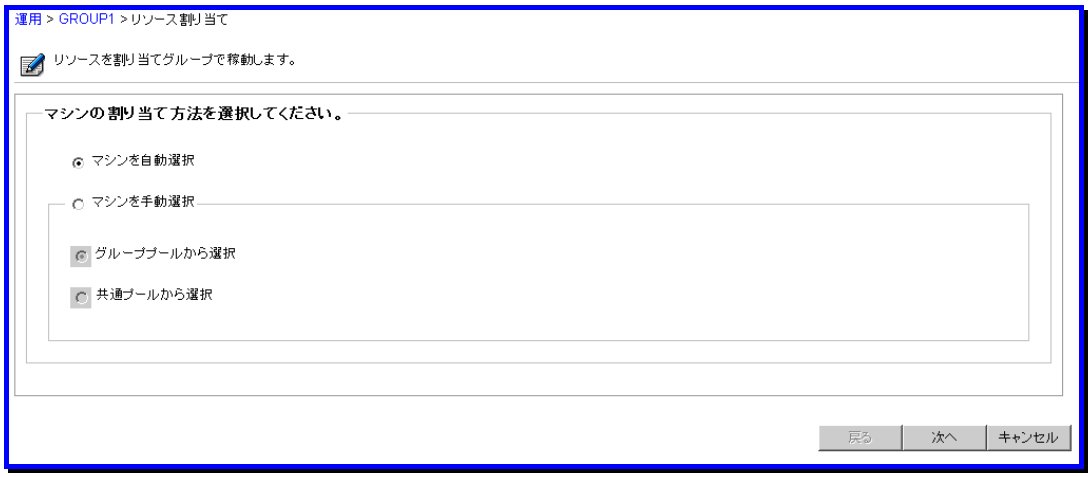
[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスからリソースを割り当てるホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [リソース割り当て] をクリックすると、メインウィンドウに「リソースを割り当てグループで稼動します」が表示されます。

注:

・ [ホスト一覧] グループボックスから複数のホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [リソース割り当て] をクリックすると、「リソースを割り当てグループで稼動します」が表示されずに、リソースが割り当てられます。

・ リソースの割り当てを行うマシンが仮想マシンサーバであり、マシン上に仮想マシン、またはテンプレートが既に存在する場合、リソースの割り当てを行うことはできません。

・ Disk Clone タイプ、および VMware 環境以外の Differential Clone 用のテンプレートが登録されている場合、リソース割り当てを行うことはできません。

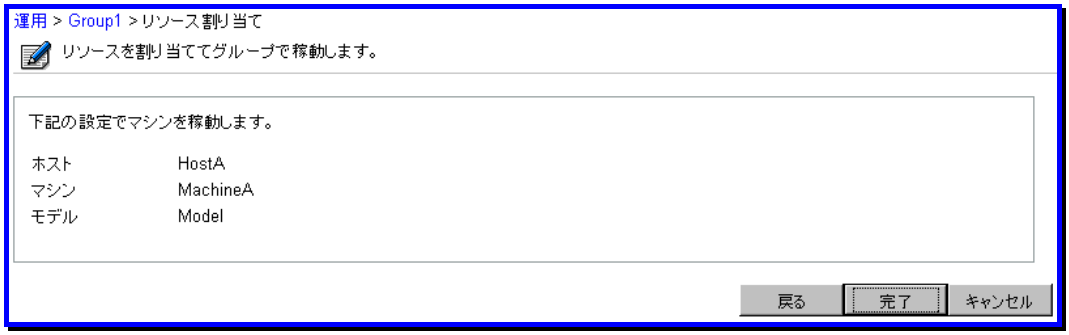


リソースを割り当てグループで稼動します。		
	マシンの割り当て方法を選択してください。	
	マシンを自動選択	割り当てるリソースを自動で選択させる場合に選択します。
	マシンを手動選択	割り当てるリソースを手動で選択する場合に選択します。
	グループプールから選択	グループプールから選択する場合に選択します。
	共通プールから選択	共通プールから選択する場合に選択します。
	[戻る]	このウィンドウではクリックできません。
	[次へ]	次のウィンドウに移動します。
	[キャンセル]	リソース割り当てを行わずに、元のウィンドウに戻ります。

[次へ] をクリックすると、[マシンを手動選択] を選択した場合、以下のウィンドウが表示されます。

リソースを割り当ててグループで稼動します。		
	ホスト	リソースを割り当てるホスト名を表示します。
	追加したいマシンを選択してください。	
	モデル	追加するマシンが所属するモデルを選択します。
	選択	リソースに割り当てるマシンを選択します。
	名前	選択したモデルに所属するマシン名の一覧を表示します。
	種別	マシンの種別を表示します。
	状態	マシンの状態を表示します。
	電源	マシンの電源状態を表示します。
	MAC アドレス	マシンのMACアドレスを表示します。
	[戻る]	前のウィンドウに移動します。
	[次へ]	次のウィンドウに移動します。
	[キャンセル]	リソース割り当てを行わずに、元のウィンドウに戻ります。

[次へ] をクリックすると、以下の確認ウィンドウが表示されます。



リソースを割り当ててグループで稼動します。		
	下記の設定でマシンを稼動します。	
		ホスト	リソースを割り当てるホスト名を表示します。
		マシン	稼動するマシン名を表示します。
		モデル	モデル名を表示します。
	[戻る]	前のウィンドウに移動します。
	[完了]	リソース割り当てを行い、元のウィンドウに戻ります。
	[キャンセル]	リソース割り当てを行わずに、元のウィンドウに戻ります。

4.10.7. 新規リソース割り当て

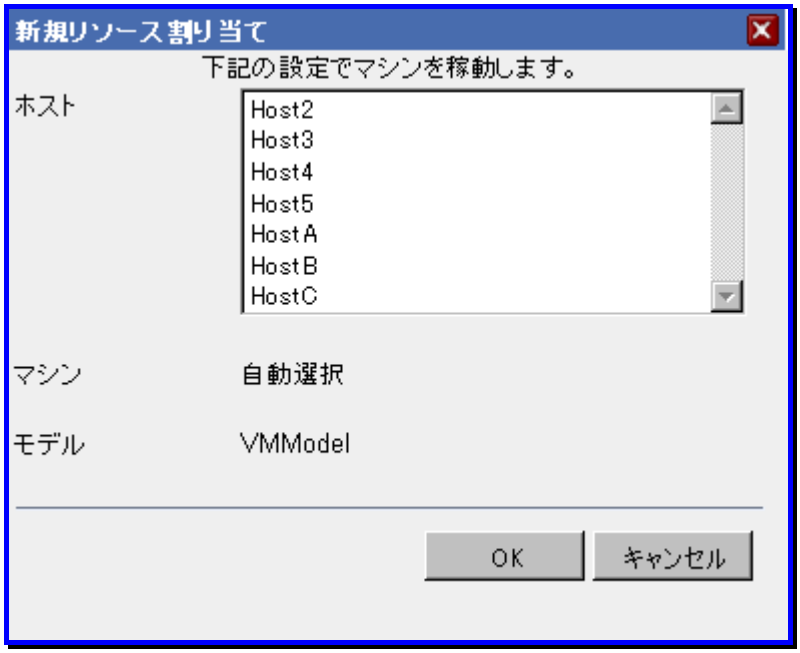
「新規リソース割り当て」は、テンプレートから仮想マシンを作成し、グループにマシンを登録します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスから新規リソース割り当てを行うホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [新規リソース割り当て] をクリックすると、メインウィンドウに「新規リソース割り当て」が表示されます。ホストは複数選択することができます。

注: 新規リソース割り当ての同時実行可能数は、"10" です。

新規リソース割り当て		
	モデル	仮想マシンを作成するモデルを選択します。
	VM サーバを自動選択する	作成先仮想マシンサーバ、仮想マシン名、Datastoreが自動で選択され、仮想マシンを作成します。
	VM サーバを指定する	仮想マシンサーバ、仮想マシン名、Datastoreを指定し、仮想マシンを作成します。
	VM サーバ	仮想マシンサーバを選択します。
	VM 名	仮想マシン名を入力します。入力できる文字数は80文字以内です。ホストが複数選択されている場合、VM名を入力することはできません。
	作成先データストア	作成先Datastoreを選択します。Datastoreは省略できます。作成先Datastoreがなしの場合、自動選択されます。
[OK]		仮想マシンの作成を行い、「新規リソース割り当て」ダイアログボックスを表示します。
[キャンセル]		仮想マシンの作成を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

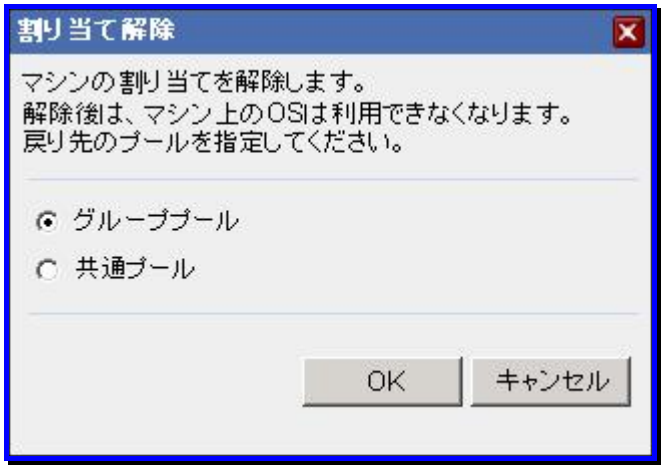
[OK] をクリックすると、「新規リソース割り当て」ダイアログボックスが表示されます。



4.10.8. 割り当て解除

ホストに割り当てられたリソースを解除します。

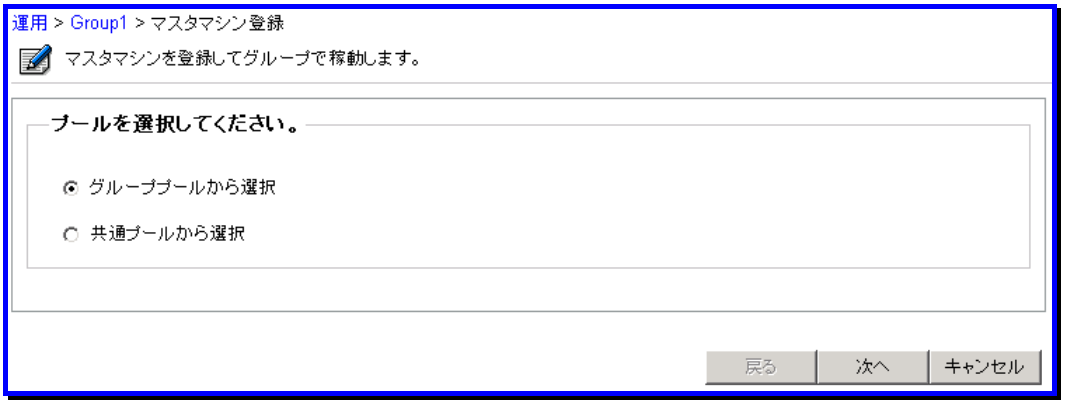
[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスから割り当てを解除するホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [割り当て解除] をクリックします。「割り当て解除」ダイアログボックスが表示されます。グループプールに戻るか共通プールに戻るか選択します。



4.10.9. マスタマシン登録

「マスタマシン登録」は、マスタマシンの登録を行います。SigmaSystemCenter では、ネットワーク設定やソフトウェアのインストールなどが完了しており、そのまま運用に使用できるマシンを "マスタマシン" と呼びます。また、ソフトウェアの配布やネットワーク設定を行わずにマスタマシンをグループで稼動することを "マスタマシン登録" と呼びます。

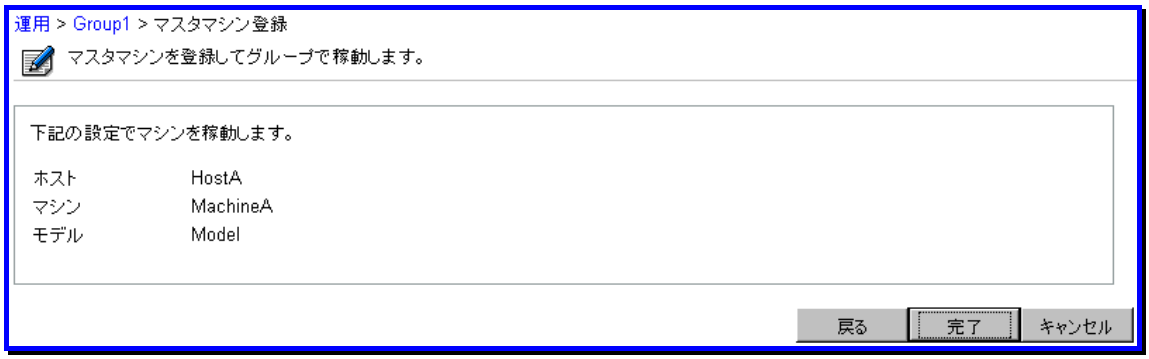
[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスからマスタマシン登録するホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [マスタマシン登録] をクリックすると、メインウィンドウに「マスタマシンを登録してグループで稼動します。」が表示されます。追加したいマシンを選択して、[次へ] をクリックするとマスタマシンを登録して運用グループで稼動します。



マスタマシンを登録してグループで稼動します。		
	プールを選択してください。	
	グループプールから選択	グループプールから選択する場合に選択します。
	共通プールから選択	共通プールから選択する場合に選択します。
[戻る]		このウィンドウではクリックできません。
[次へ]		次のウィンドウに移動します。
[キャンセル]		マスタマシンの登録を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

マスタマシンを登録してグループで稼動します。		
	ホスト	マスタマシンを登録するホスト名を表示します。
	追加したいマシンを選択してください。	
		モデル	モデルを選択します。
		選択	マスタマシンに登録するマシンを選択します。
		名前	マシン名を表示します。
		種別	マシンの種別を表示します。
		状態	マシンの状態を表示します。
		電源	マシンの電源状態を表示します。
		MAC アドレス	マシンのMACアドレスを表示します。
[戻る]		このウィンドウではクリックできません。
[次へ]		次のウィンドウへ移動します。
[キャンセル]		マスタマシン登録を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

[次へ] をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。



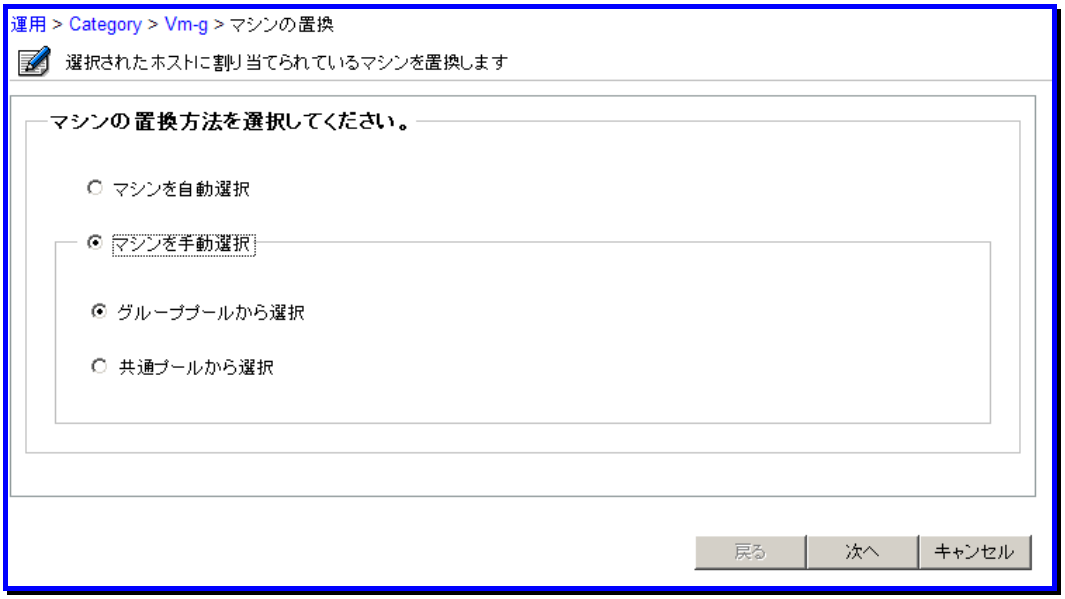
マスタマシンを登録してグループで稼動します。	
下記の設定でマシンを稼動します。	
ホスト	マスタマシンを登録するホスト名を表示します。
マシン	稼動するマシン名を表示します。
モデル	モデル名を表示します。
[戻る]	前のウィンドウに移動します。
[完了]	マスタマシン登録を行い、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	マスタマシン登録を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

4.10.10. マシンの置換

「マシンの置換」は、運用グループの稼働中のマシンとプールマシンを置換します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスからマシンの置換を行うホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [マシンの置換] をクリックすると、マシンが置換されます。

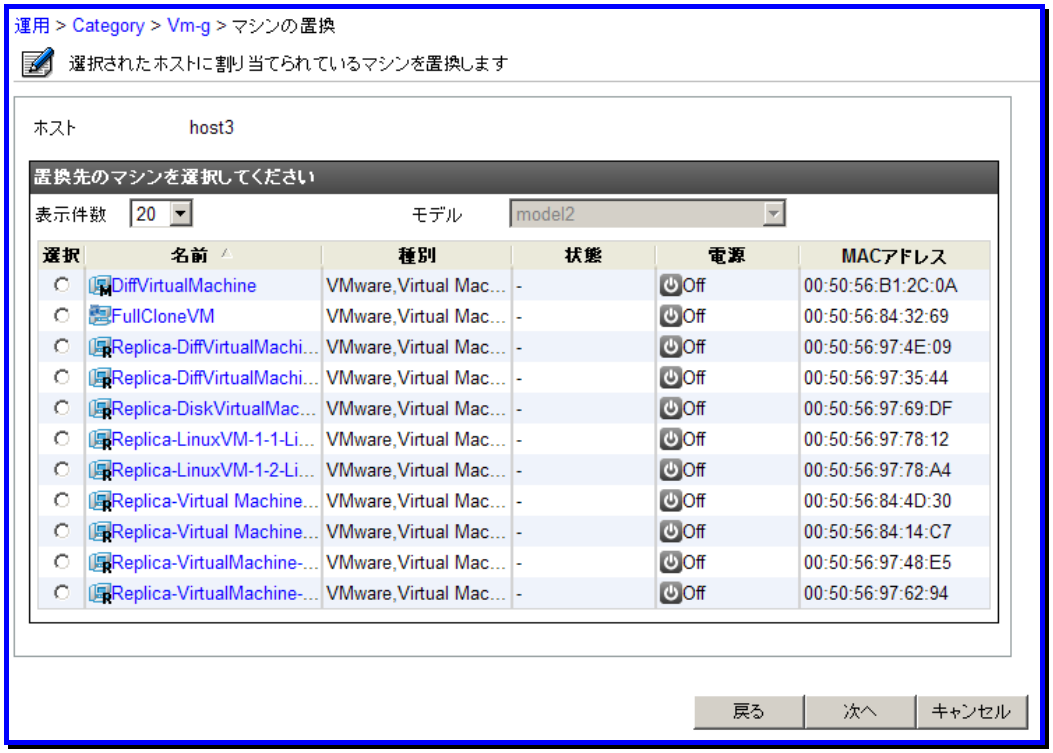
注: 仮想マシンサーバ、および仮想マシンの置換を行うことはできません。



選択されたホストに割り当てられているマシンを置換します	
マシンの置換方法を選択してください。	
マシンを自動選択	置換するマシンを自動で選択させる場合に選択します。

マシンを手動選択	置換するマシンを手動で選択する場合に選択します。
グループプールから選択	置換するマシンをグループプールから選択する場合に選択します。
共通プールから選択	置換するマシンを共通プールから選択する場合に選択します。
[戻る]	このウィンドウではクリックできません。
[次へ]	次のウィンドウに移動します。
[キャンセル]	マシンの置換を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

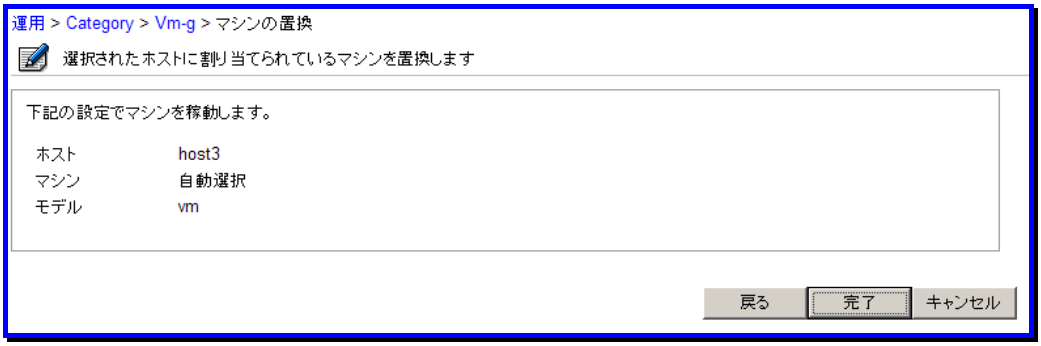
[次へ] をクリックすると、[マシンを手動選択] を選択した場合、以下のウィンドウが表示されます。



選択されたホストに割り当てられているマシンを置換します	
ホスト	マシンを置換するホスト名を表示します。
置換先のマシンを選択してください	
モデル	置換元のマシンが所属するモデルを選択します。前のウィンドウで [グループプールから選択] を選択した場合、モデルを選択することはできません。
選択	置換を行うマシンを選択します。
名前	選択したモデルに所属するマシン名の一覧を表示します。

種別	マシンの種別を表示します。
状態	マシンの状態を表示します。
電源	マシンの電源状態を表示します。
MAC アドレス	マシンのMACアドレスを表示します。
[戻る]	前のウィンドウに移動します。
[次へ]	次のウィンドウへ移動します。
[キャンセル]	マシンの置換を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

[次へ] をクリックすると、以下の確認ウィンドウが表示されます。



選択されたホストに割り当てられているマシンを置換します	
下記の設定でマシンを稼動します。	
ホスト	マシンの置換で割り当てられるホスト名を表示します。
マシン	置換されるマシン名を表示します。
モデル	置換元のマシンが所属するモデル名を表示します。
[戻る]	前のウィンドウに移動します。
[完了]	マシンの置換を行い、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	マシンの置換を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

4.10.11. マシンの用途変更

「マシンの用途変更」は、稼動マシンをプールマシンとして登録している他のグループの稼動マシンへ用途変更します。

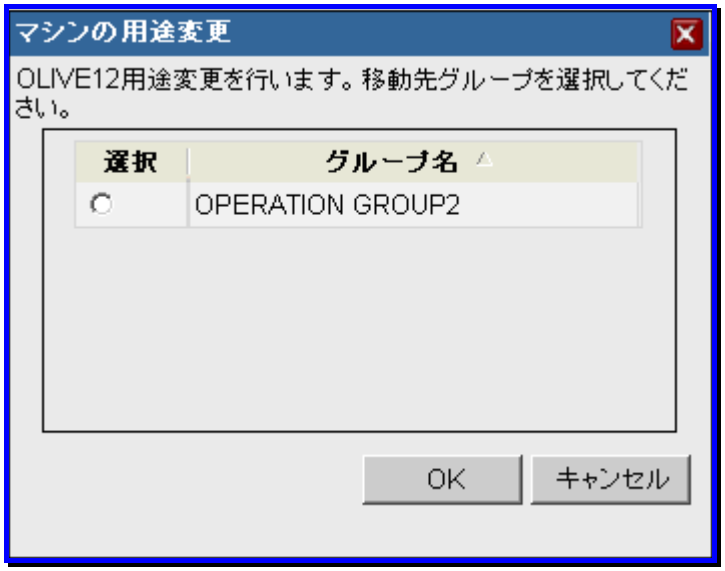
[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスからマシンの用途変更を行うホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [マシンの用途変更] をクリックすると、「マシンの用途変更」ダイアログボックスが表示されます。移動先グループを選択して、[OK] をクリックすると用途変更先のグループへマシンが移動します。

注:

・ VM サーバモデルの運用グループで稼働中の仮想マシンサーバは、物理モデルの運用グループに用途変更を行うことはできません。

・ 仮想マシンサーバに仮想マシン、またはテンプレートが存在する場合、用途変更を行うことはできません。

・ 仮想マシンの用途変更を行うことはできません。



マシンの用途変更		
	選択	用途変更先のグループを選択します。
	グループ名	用途変更先候補のグループを表示します。
[OK]		マシンの用途変更を行い、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		マシンの用途変更を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

4.10.12. VM移動

仮想マシンを別の仮想マシンサーバへ移動します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスから VM 移動を行うホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [VM 移動] をクリックすると、メインウィンドウに「VM 移動」が表示されます。仮想マシンの移動先、移動方法、移動後の状態を指定し、[OK] をクリックして仮想マシンを移動します。

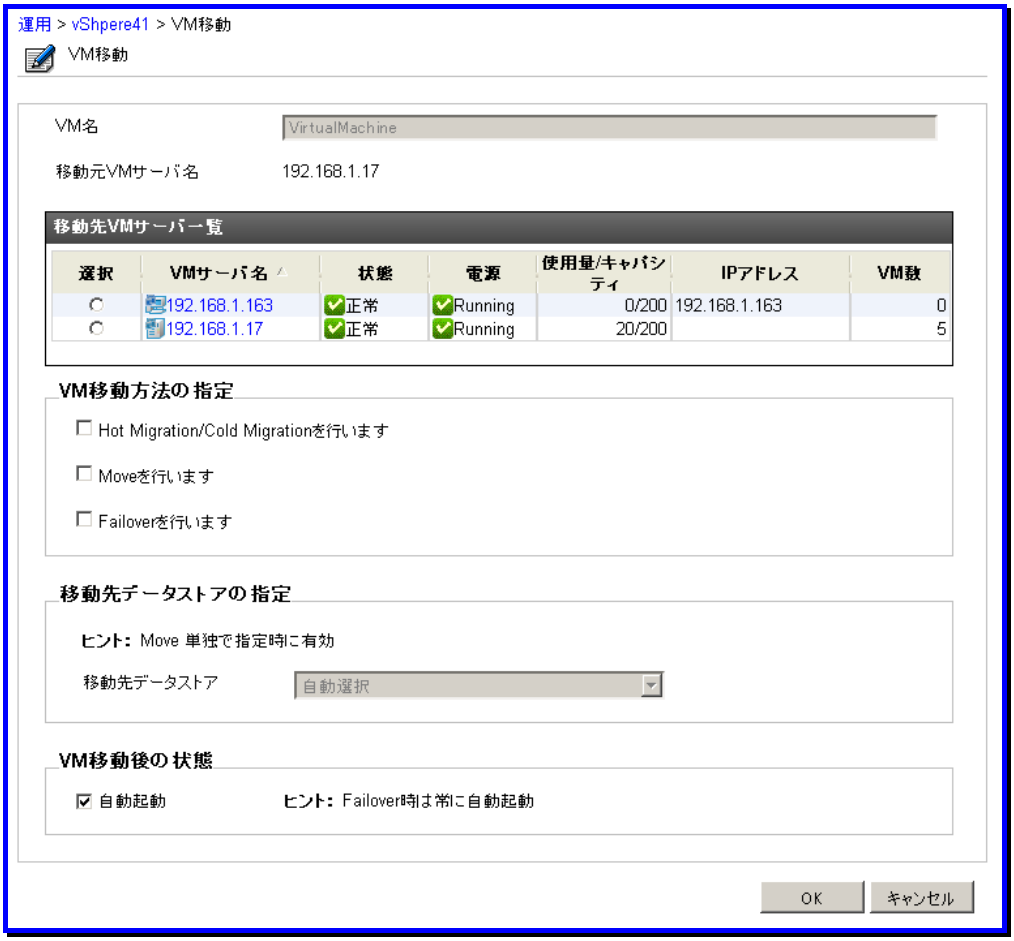
注:

・ Hyper-V 単体は、仮想マシンの移動をサポートしていません。

・ Hyper-V クラスタ環境では、Hot Migration / Cold Migration のみサポートしています。Hot Migration と Cold Migration は、それぞれ Hyper-V の Live Migration とノード間の VM 移動に相当します。画面の Move と Failover は選択できません。

・ ESXi は、共有ストレージ (NFS を除く) 上の仮想マシンのみ、Move と Failover をサポートしています。

・ Differential Clone の仮想マシンの Move はサポートしていません。電源オンの仮想マシンを Move すると移動が失敗し、電源オフになる場合があります。



VM 移動	
VM 名	仮想マシン名を表示します。編集はできません。
移動元 VM サーバ名	移動元の仮想マシンサーバ名を表示します。編集はできません。
移動先 VM サーバー覧	
選択	移動先仮想マシンサーバ名を選択します。
VM サーバ名	移動先候補の仮想マシンサーバ名を表示します。
状態	仮想マシンサーバの状態を表示します。
電源	仮想マシンサーバの電源状態を表示します。
使用量 / キャパシティ	仮想マシンサーバの使用量 / キャパシティを表示します。
IP アドレス	仮想マシンサーバのIPアドレスを表示します。
VM 数	仮想マシンサーバに作成されている仮想マシン台数を表示します。
VM 移動方法の指定 (選択必須)	
Hot Migration / Cold Migration を行います	Hot Migration / Cold Migrationを行う場合、チェックボックスをオンにします。電源オンの仮想マシンをHot Migration、電源オフの仮想マシンをCold Migrationで移動します。仮想マシンが共有ディスク上に存在する場合有効です。
Move を行います	Moveを行う場合、チェックボックスをオンにします。仮想マシンをシャットダウン後にディスクを含めて移動します。
Failover を行います	Failoverを行う場合、チェックボックスをオンにします。仮想マシンサーバが障害などでダウンしている場合、仮想マシンを移動します。仮想マシンが共有ディスク上に存在する場合有効です。VM移動後の電源状態はオンになります。
移動先データストアの指定	
移動先データストア	[Moveを行います] チェックボックスがオンの場合、移動先データストアを選択します。
VM 移動後の状態	
自動起動	電源オフの仮想マシンを移動した後、自動で電源をオンにする場合、[自動起動] チェックボックスをオンにします。
[OK]	仮想マシンを移動し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	仮想マシンを移動せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.10.13. 再構成

仮想マシンを再構成します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスから再構成を行うホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [再構成] をクリックすると、メインウィンドウに「再構成」が表示されます。再構成の種類、最大同時実行数、実行間隔、実行条件を指定し、[OK] をクリックして仮想マシンの再構成をします。

再構成が完了した仮想マシンの電源状態はオンになります。

注:

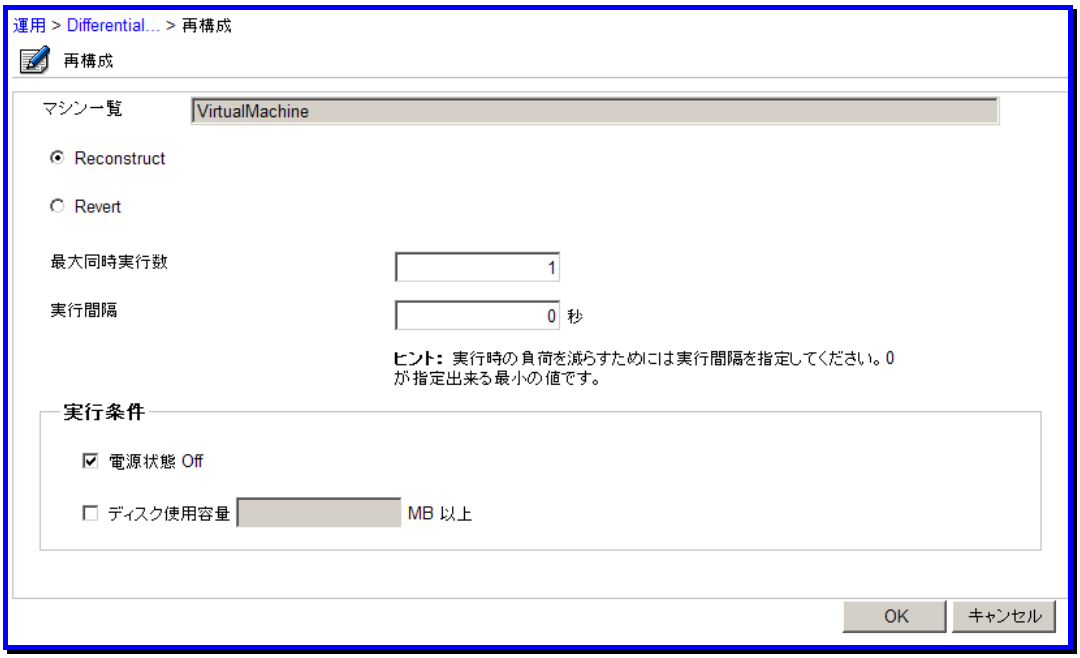
・再構成により拡張ディスクのドライブレターが変更される場合があります。再構成を行う場合は、あらかじめ仮想マシンの CD デバイスのドライブレターを拡張ディスクより後になるように変更してください。

・再構成を行うと、拡張ディスクへの変更を除いた変更部分やスナップショットが破棄されます。機能を理解した上でご利用ください。

・複数台を同時に指定した場合、実行条件に一致しない仮想マシンは処理を行いません。また、イメージが同じ場合などで処理をスキップする場合があります。マシン毎の実行結果については、運用ログを確認してください。

・Revert を実行する場合は、サブシステムにパスワードを入力する必要があります。

・再構成は、Differential Clone 用のテンプレートで作成した仮想マシンのみサポートしています。



再構成	
マシン一覧	対象のマシン名を表示します。
Reconstruct	対象のマシンを再作成する場合に指定します。拡張ディスク、およびテンプレート中にあるシステムディスク以外のディスクは、そのままの状態で維持されます。
Revert	対象のマシンのシステムディスクを作成時の状態に戻す場合に指定します。拡張ディスク、およびテンプレート中にあるシステムディスク以外のディスクは、そのままの状態で維持されます。
最大同時実行数	再構成を行う最大同時実行数を指定します。「1～100」の範囲で設定できます。
実行間隔 (秒)	複数の対象のマシンを連続で再構成を行う場合の実行間隔を指定します。「0～99999」の範囲で設定できます。
実行条件	
電源状態 Off	電源状態を指定します。チェックボックスをオフにすると、電源状態に関係なく実行します。電源オンの仮想マシンは、シャットダウンしてから実行します。指定がない場合は、すべてのマシンが対象になります。
ディスク使用容量 (MB 以上)	ディスク使用容量を指定します。指定したサイズ以上を使用している場合に実行します。「10～99999999」の範囲で設定できます。
[OK]	再構成を実行し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	再構成を実行せずに、元のウィンドウに戻ります。

例) 5 台のマシンに対して、最大同時実行数 3、実行間隔 30 秒を指定した場合

[1 台目ジョブ起動] → [30 秒後、2 台目ジョブ起動] → [30 秒後、3 台目起動] → [30 秒後、4 台目] で最大同時実行数の指定により、いずれかのジョブが完了するのを待ち合わせします。

[1 台目ジョブ完了→4 台目起動] → [30 秒後、5 台目の多重度待ち合わせ]、[2 台目ジョブ完了→5 台目起動] となります。

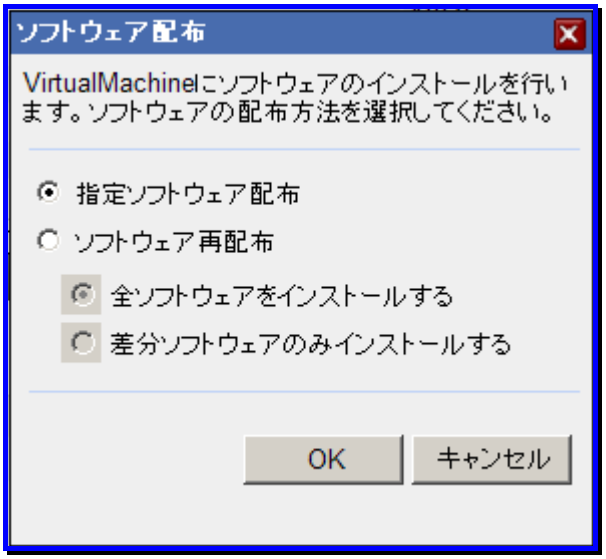
4.10.14. ソフトウェア配布 ([ホスト一覧] グループボックス)

「ソフトウェア配布」は、指定された単一のホストに指定されたソフトウェアを配布します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスからソフトウェアを配布するホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [ソフトウェア配布] をクリックすると、「ソフトウェア配布」ダイアログボックスが表示されます。

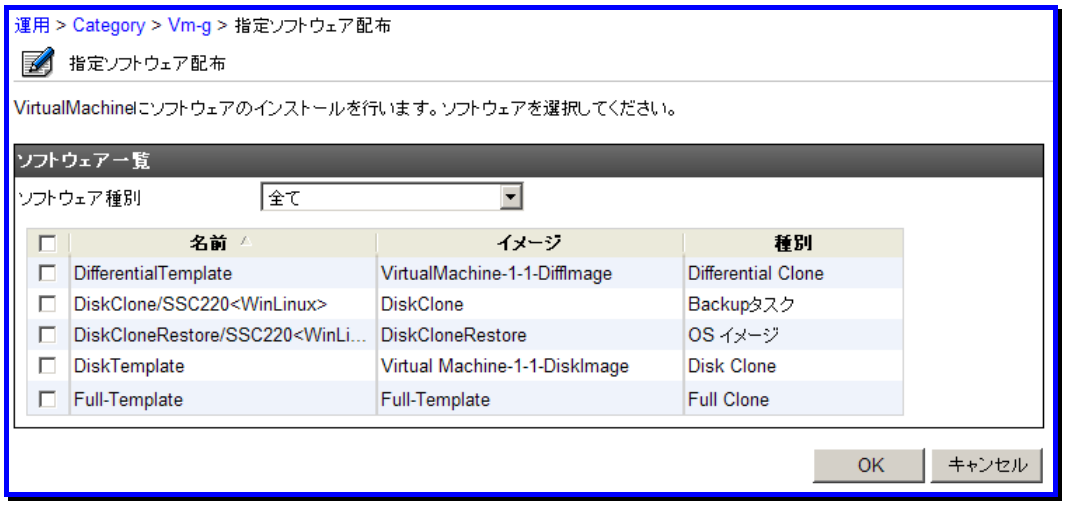
もしくは、運用グループの詳細情報の [ホスト一覧] グループボックスから対象のホストの [ホスト名] をクリックし、メインウィンドウにホストの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [ソフトウェア配布] をクリックします。ソフトウェアの配布方法を選択し、[OK] をクリックしソフトウェアの配布を行います。

注: この操作はリソースが割り当てられていないホストに対しては、実行できません。



ソフトウェア配布		
	指定ソフトウェア配布	指定ソフトウェアの配布を指定します。次のウィンドウへ遷移します。
	ソフトウェア再配布	
	全ソフトウェアをインストールする	既にインストールしているソフトウェアを含め、全ソフトウェアをインストールします。
	差分ソフトウェアのみインストールする	差分ソフトウェアのみをインストールします。
[OK]		指定ソフトウェアの場合、次のウィンドウに遷移します。ソフトウェア再配布の場合、ソフトウェアの配布を行います。
[キャンセル]		ソフトウェアの配布をせずに、元のウィンドウに戻ります。

[指定ソフトウェア配布] を選択した場合、以下のウィンドウが表示されます。

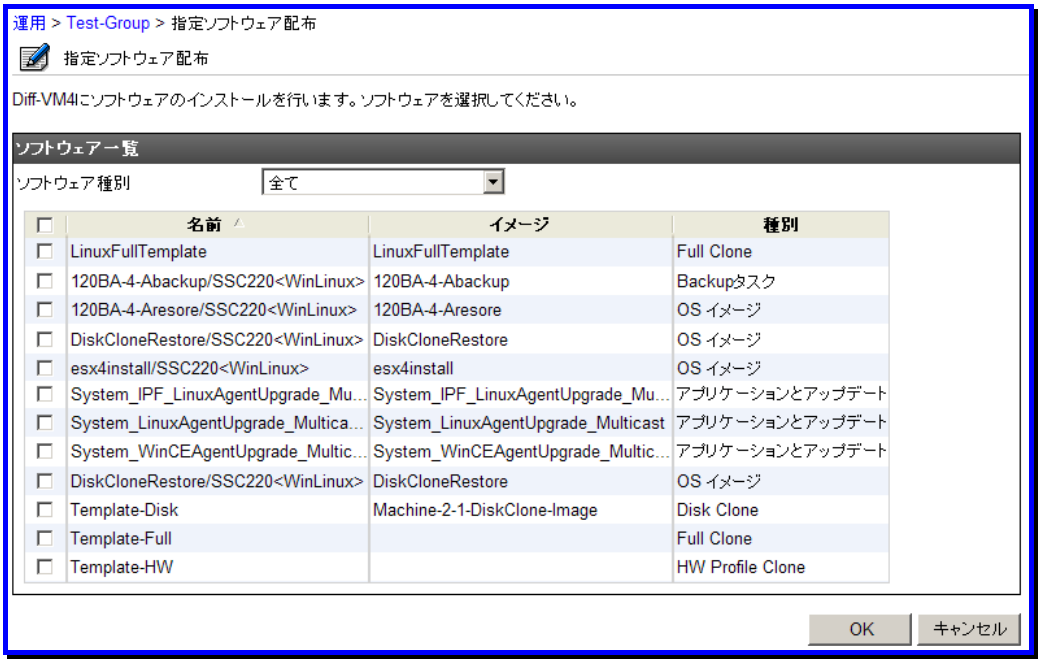


指定ソフトウェア配布		
	ソフトウェア一覧	
		ソフトウェア種別 表示するソフトウェアを絞り込みます。 全て / OSイメージ / テンプレート / Backupタスク / アプリケーションとアップデート / スクリプトの中から選択できます。
		名前 システムリソースに登録されているソフトウェア名を表示します。ソフトウェアは、表示されている順番で配布されます。順序を変更するには、変更するソフトウェアのチェックボックスを選択し、[↑] および [↓] で操作します。
		イメージ ソフトウェアに設定されているイメージ名を表示します。
		種別 ソフトウェアの種別を表示します。
	[OK]	指定したソフトウェアの配布を行います。
	[キャンセル]	指定したソフトウェアの配布を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

4.10.15. ソフトウェア配布 ([リソースプール] グループボックス)

対象のリソースに指定ソフトウェアの配布を行います。

[運用] ツリーから対象のグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウにグループの詳細情報を表示します。[リソースプール] グループボックスからソフトウェアを配布するリソースのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [指定ソフトウェア配布] をクリックすると、メインウィンドウに「指定ソフトウェア配布」が表示されます。配布するソフトウェア、配布順を指定し、[OK] をクリックしてソフトウェアの配布を行います。



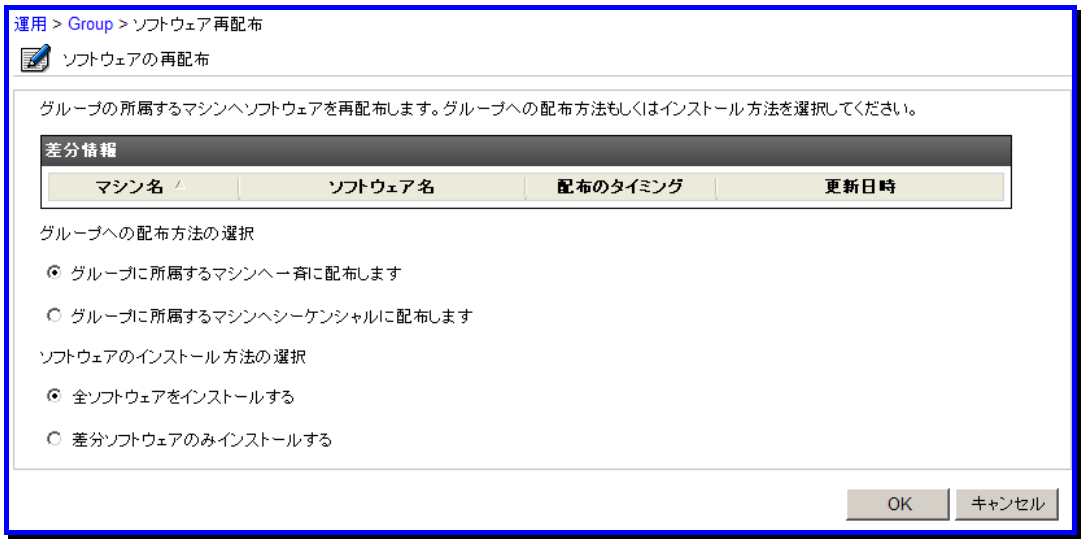
指定ソフトウェア配布		
	ソフトウェアー覧	
		ソフトウェア種別
		名前
		イメージ
		種別
	[OK]	
	[キャンセル]	

	表示するソフトウェアを絞り込みます。 全て / OSイメージ / テンプレート / Backupタスク / アプリケーションとアップデート / スクリプトの中から選択できます。
	システムリソースに登録されているソフトウェア名を表示します。
	イメージ名を表示します。
	ソフトウェアの種別を表示します。
	指定したソフトウェアの配布を行います。
	指定したソフトウェアの配布を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

4.10.16. ソフトウェア再配布

「ソフトウェアの再配布」は、グループに所属するマシンへソフトウェアの再配布をします。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [ソフトウェア再配布] をクリックすると、メインウィンドウに「ソフトウェアの再配布」が表示されます。ソフトウェアの再配布の方法を選択し、[OK] をクリックしてソフトウェアを再配布します。



ソフトウェアの再配布		
	差分情報	
		マシン名	マシン名を表示します。
		ソフトウェア名	配布済みソフトウェア名を表示します。
		配布のタイミング	ソフトウェアを配布するタイミングを表示します。
		更新日時	ソフトウェアの更新日時を表示します。
	グループへの配布方法の選択	
		グループに所属するマシンへ一斉に配布します	グループに所属するマシンに一斉配布する場合に選択します。
		グループに所属するマシンへシーケンシャルに配布します	グループに所属するマシンにシーケンシャル配布する場合に選択します。
	ソフトウェアのインストール方法の選択	
		全ソフトウェアをインストールする	すべてのソフトウェアをインストールする場合に選択します。
		差分ソフトウェアのみインストールする	差分のあるソフトウェアのみインストールする場合に選択します。
[OK]			ソフトウェアの再配布を行います。

[キャンセル]	ソフトウェアの再配布を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

4.10.17. ジョブ実行結果のリセット

SystemProvisioning は、何らかの理由によりポリシーによるアクションや Web コンソールの操作などからマシンの起動・停止など、アクションの実行に失敗するとリソースの状態を「異常終了」に設定します。「異常」となっているマシンに関してログの採取や障害原因を取り除いた後、ジョブ実行結果をリセットします。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックス、もしくは [リソースプール] グループボックスの [アクション] メニューから [ジョブ実行結果のリセット] をクリックすると、各グループボックスのチェックボックスがオンとなっているマシンのジョブ実行結果のリセットすることができます。

もしくは、運用グループの詳細情報の [ホスト一覧] グループボックスから対象のホストの [ホスト名] をクリックし、メインウィンドウにホストの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [ジョブ実行結果のリセット] をクリックします。

4.10.18. 故障状態の解除

マシンのハードウェア状態を故障から正常に解除します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックス、もしくは [リソースプール] グループボックスの [アクション] メニューから [故障状態の解除] をクリックすると、各グループボックスのチェックボックスがオンとなっているマシンの故障状態を解除することができます。

もしくは、運用グループの詳細情報の [ホスト一覧] グループボックスから対象のホストの [ホスト名] をクリックし、メインウィンドウにホストの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [故障状態の解除] をクリックします。

4.10.19. メンテナンスオン / メンテナンスオフ

メンテナンスモードをオン、もしくはオフにします。

メンテナンスモードをオフにすると、ポリシー状態も "すべて有効" に変更されます。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックス、もしくは [リソースプール] グループボックスからメンテナンスモードに移行 / 解除するマシンのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [メンテナンスオン]、もしくは [メンテナンスオフ] をクリックすると、メンテナンスモードがオン / オフになります。

もしくは、運用グループの詳細情報の [ホスト一覧] グループボックスから対象のホストの [ホスト名] をクリックし、メインウィンドウにホストの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [メンテナンスオン]、もしくは [メンテナンスオフ] をクリックします。

4.10.20. プールから削除

プールから待機中のリソースを削除します。

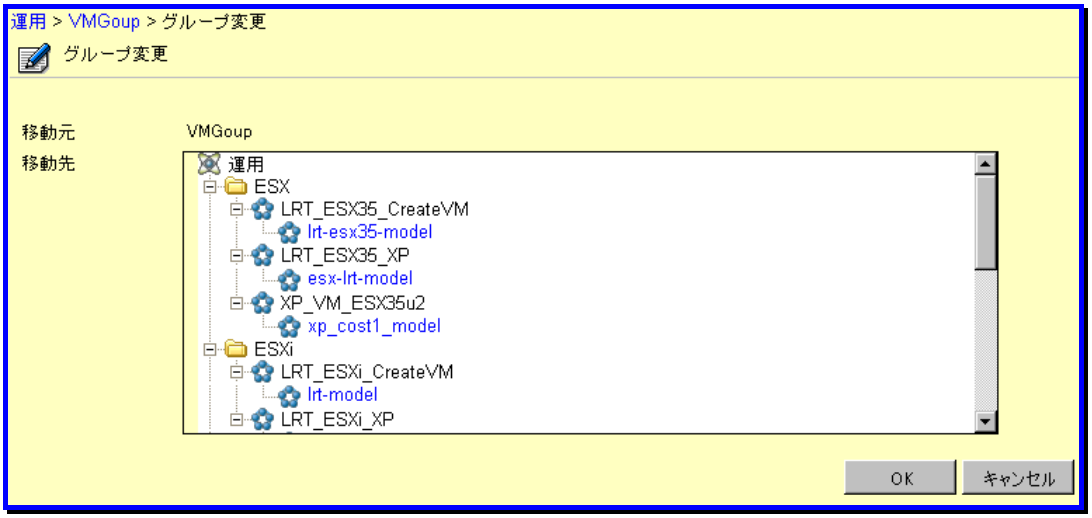
[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[リソースプール] グループボックスからプールから削除するリソースのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [プールから削除] をクリックします。

4.10.21. グループ変更

ホストを別のグループへ移動します。

[運用] ツリーから保守用の操作メニューを表示する運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [保守操作を表示] をクリックすると、メインウィンドウの [ホスト一覧] グループボックスの [アクション] メニューに "グループ変更" が表示されます。[ホスト一覧] グループボックスの [アクション] メニューから [グループ変更] をクリックすると、メインウィンドウに「グループ変更」が表示されます。移動先のモデルを選択し、[OK] をクリックするとグループが変更されます。

注: Administrator 権限でない場合は、[設定] メニューに [保守操作を表示] は表示されません。また、対象の運用グループにモデルの種別が [VM] の場合のみ表示されます。



グループ変更		
	移動元	移動元のモデル名を表示します。
	移動先	ツリーより移動先のモデルを選択します。
[OK]		グループ変更情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		グループ変更情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5. 仮想

[仮想] ビューでは、SigmaSystemCenterの仮想マシンの管理を行います。

本章で説明する項目は以下の通りです。

- 5.1 [仮想] ビュー 288
- 5.2 [仮想] アイコン 288
- 5.3 仮想マネージャの詳細情報 290
- 5.4 データセンターの詳細情報 293
- 5.5 VMサーバの詳細情報 298
- 5.6 性能情報 308
- 5.7 VMの詳細情報 312
- 5.8 スナップショット管理 345
- 5.9 コンソール 349
- 5.10 コンソールスクリーンショット 350
- 5.11 テンプレートの詳細情報 351
- 5.12 仮想マシンサーバ、および仮想マシンへのメニュー操作 362

5.1. [仮想] ビュー

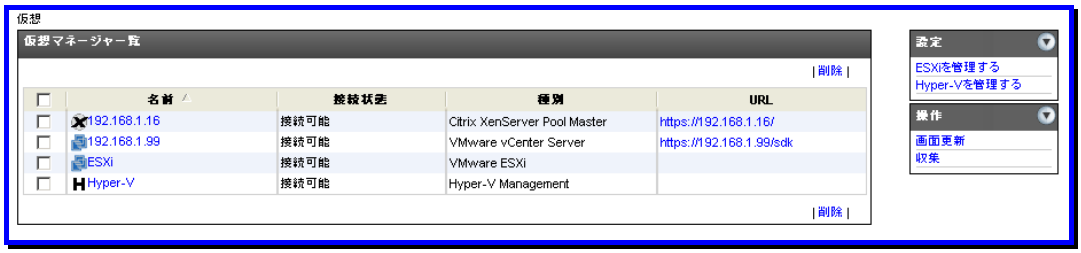
[仮想] ビューでは、SigmaSystemCenter が管理対象とする仮想環境の構成を把握することができます。また、仮想マシンの作成や移動など仮想環境に特化した制御を実行することができます。

タイトルバーの [仮想] をクリックすると、[仮想] ビューに切り替わります。

5.2. [仮想] アイコン

[仮想] アイコンでは、仮想マシンの管理を行います。

[仮想] ツリーから [仮想] アイコンをクリックします。



仮想マネージャー覧	
名前	SigmaSystemCenterに登録されている仮想マネージャの名前の一覧を表示します。
接続状態	仮想マネージャの接続状態を表示します。
種別	仮想マネージャの種別を表示します。
URL	仮想マネージャのURLを表示します。
削除	チェックボックスを選択した仮想マネージャを削除します。

5.2.1. ESXiを管理する

SystemProvisioning ではスタンドアロン ESXi を管理することでスタンドアロン ESXi の電源操作、およびスタンドアロン ESXi 上の仮想マシンの作成、電源操作などを行うことができます。スタンドアロン ESXi を管理するためには、あらかじめスタンドアロン ESXi を束ねる仮想マネージャを作成する必要があります。

[仮想] ツリーの [設定] メニューから [ESXi を管理する] をクリックします。

5.2.2. Hyper-V単体を管理する

SystemProvisioning では、Microsoft Failover Cluster に管理されていない Hyper-V 単体を管理することで Hyper-V 単体の電源操作、および Hyper-V 単体上の仮想マシンの作成、電源操作などを行うことができます。Hyper-V 単体を管理するためには、あらかじめ Hyper-V 単体を束ねる仮想マネージャを作成する必要があります。

[仮想] ツリーの [設定] メニューから [Hyper-V を管理する] をクリックします。

5.2.3. 仮想マネージャ削除

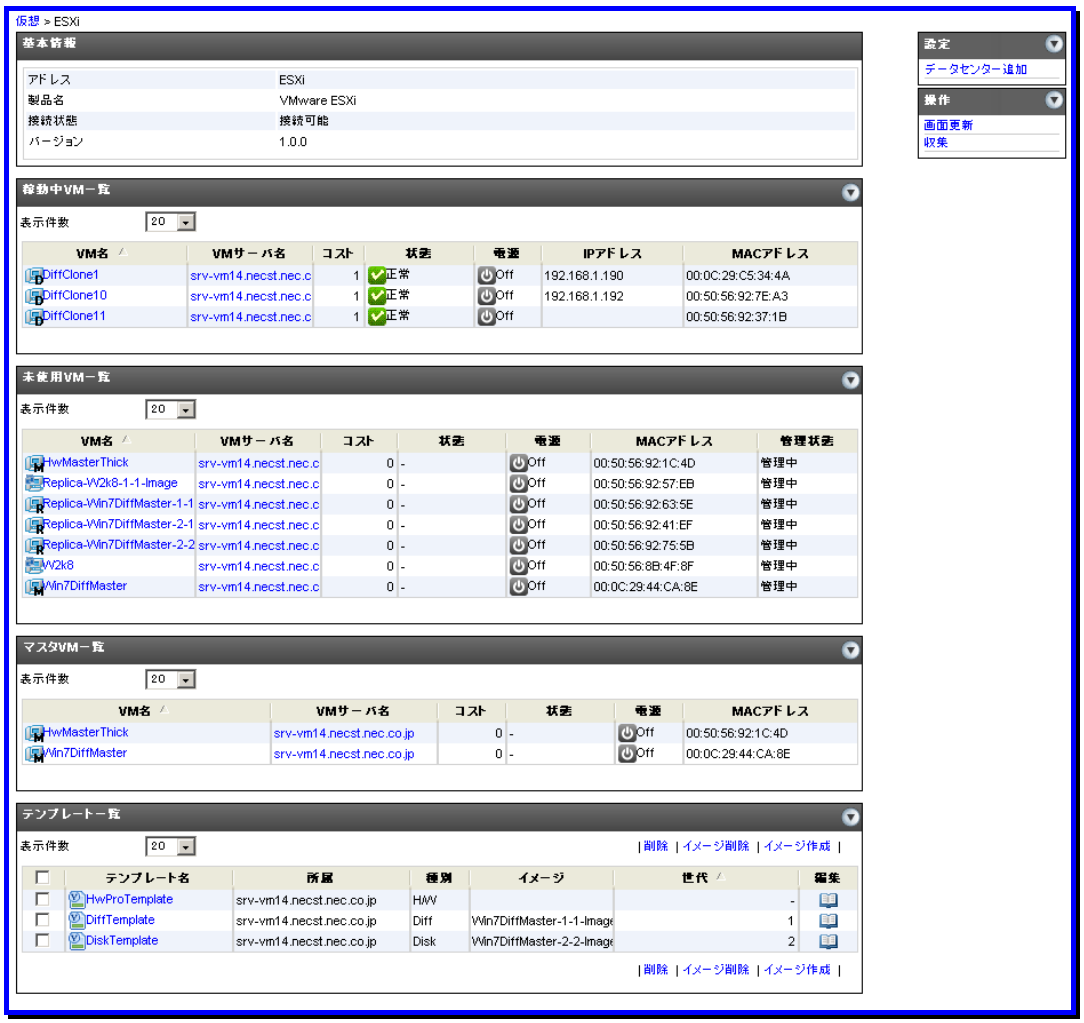
仮想マネージャを削除します。

[仮想] ツリーから [仮想] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [仮想マネージャー覧] グループボックスを表示します。[仮想マネージャー覧] グループボックスから削除する仮想マネージャのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [削除] をクリックします。

5.3. 仮想マネージャの詳細情報

仮想マネージャの詳細情報を表示します。

[仮想] ツリーから対象の仮想マネージャのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに仮想マネージャの詳細情報が表示されます。



基本情報		
	アドレス	仮想マネージャのアドレスを表示します。
	製品名	仮想マネージャの製品名を表示します。
	接続状態	仮想マネージャの接続状態を表示します。
	バージョン	仮想マネージャのバージョンを表示します。
稼働中 VM 一覧		
	VM 名	稼働中仮想マシン名を表示します。
	VM サーバ名	仮想マシンサーバ名を表示します。

コスト	稼働中仮想マシンのコストを表示します。
状態	稼働中仮想マシンの状態を表示します。
電源	稼働中仮想マシンの電源状態を表示します。
IP アドレス	稼働中IPアドレスを表示します。
MAC アドレス	稼働中仮想マシンのMACアドレスを表示します。
未使用 VM 一覧	
VM 名	未使用仮想マシン名を表示します。
VM サーバ名	仮想マシンサーバ名を表示します。
コスト	未使用仮想マシンのコストを表示します。
状態	未使用仮想マシンの状態を表示します。
電源	未使用仮想マシンの電源状態を表示します。
MAC アドレス	未使用仮想マシンのMACアドレスを表示します。
管理状態	未使用仮想マシンの管理状態を表示します。
マスタ VM 一覧	
VM 名	マスタVM名を表示します。 マスタVMは種別が「Full Clone」以外のテンプレートと関連している仮想マシンです。
VM サーバ名	仮想マシンサーバ名を表示します。
コスト	マスタVMのコストを表示します。
状態	マスタVMの状態を表示します。
電源	マスタVMの電源状態を表示します。
MAC アドレス	マスタVMのMACアドレスを表示します。
テンプレート一覧	
テンプレート名	テンプレート名を表示します。
所属	テンプレートが保存されている仮想マシンサーバを表示します。
種別	テンプレートの種別を表示します。
イメージ	テンプレートのデフォルトイメージ名を表示します。
世代	デフォルトイメージの世代番号を表示します。
編集	テンプレートを編集します。「テンプレート編集」ウィンドウへ遷移します。
削除	チェックボックスを選択したテンプレートを削除します。
イメージ削除	チェックボックスを選択したテンプレートのイメージを削除します。「イメージ削除」ウィンドウに遷移します。イメージ削除については、「3.21.2 イメージ削除」を参照してください。

	イメージ作成	チェックボックスを選択したテンプレートのイメージを作成します。「イメージ作成」ウィンドウへ遷移します。

5.4. データセンターの詳細情報

DataCenter、またはクラスタの詳細情報を表示します。

[仮想] ツリーから対象の DataCenter のアイコンをクリックすると、メインウィンドウにデータセンターの詳細情報が表示されます。

注:

・ 仮想マシンサーバ移動は、ESXi、および Hyper-V 単体の仮想マネージャのみサポートしています。

・ vCenter Server のクラスタは、SigmaSystemCenter では DataCenter と同等に扱います。

基本情報		
	名前	DataCenter名、またはクラスタ名を表示します。
	説明	DataCenter、またはクラスタの説明を表示します。
VM サーバー覧		
	VM サーバ名	仮想マシンサーバ名を表示します。
	状態	仮想マシンサーバの状態を表示します。
	電源	仮想マシンサーバの電源状態を表示します。
	接続状態	仮想マシンサーバの接続状態を表示します。
	使用量 / キャパシティ	仮想マシンサーバのキャパシティを表示します。
	IP アドレス	仮想マシンサーバのIPアドレスを表示します。
	VM 数	仮想マシンサーバに登録している仮想マシンの台数を表示します。
	マシン収集	選択した仮想マシンサーバのマシン情報のみを収集します。

移動	チェックボックスを選択した仮想マシンサーバを移動します。「VMサーバ移動」ウィンドウに遷移します。
削除	チェックボックスを選択した仮想マシンサーバを削除します。複数選択した仮想マシンサーバを一括削除できます。
起動	チェックボックスを選択した仮想マシンサーバを起動します。
再起動	チェックボックスを選択した仮想マシンサーバを再起動します。
シャットダウン	チェックボックスを選択した仮想マシンサーバをシャットダウンします。

テンプレート一覧

テンプレート名	テンプレート名を表示します。
所属	テンプレートが保存されている仮想マシンサーバを表示します。
種別	テンプレートの種別を表示します。
イメージ	テンプレートのデフォルトイメージ名を表示します。
世代	デフォルトイメージの世代番号を表示します。
編集	テンプレートを編集します。「テンプレート編集」ウィンドウへ遷移します。
削除	チェックボックスを選択したテンプレートを削除します。
イメージ削除	チェックボックスを選択したテンプレートのイメージを削除します。「イメージ削除」ウィンドウに遷移します。
イメージ作成	チェックボックスを選択したテンプレートのイメージを作成します。「イメージ作成」ウィンドウへ遷移します。

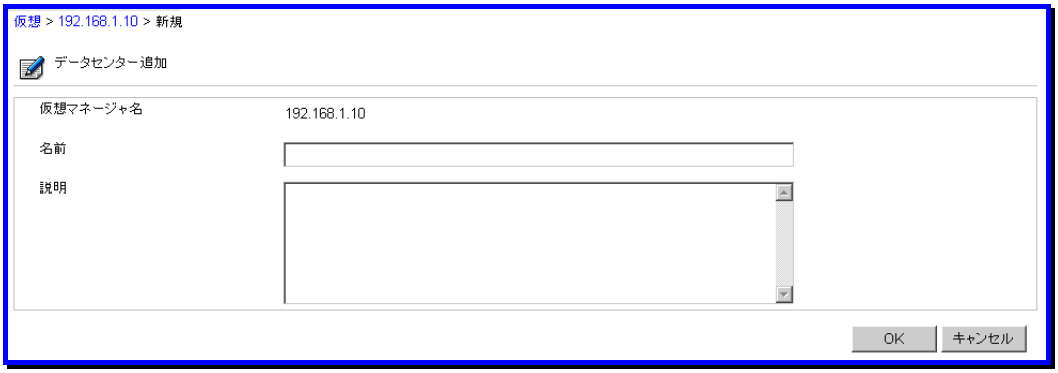
5.4.1. データセンター追加

DataCenter を追加します。

[仮想] ツリーから対象の仮想マネージャのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マネージャの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [データセンター追加] をクリックすると、メインウィンドウに「データセンター追加」が表示されます。データセンター情報を入力し、[OK] をクリックするとデータセンターが追加されます。

注:

- SigmaSystemCenter からクラスタの作成はサポートしていません。
- Hyper-V クラスタ環境では、データセンター追加はサポートしていません。



データセンター追加		
	仮想マネージャ名	仮想マネージャ名を表示します。編集はできません。
	名前 **(入力必須)**	DataCenter名を入力します。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および記号（"_"、"-"）です。
	説明	DataCenterの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]		DataCenter追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		DataCenter追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.4.2. データセンター編集

DataCenter、またはクラスタを編集します。

[仮想] ツリーから対象の DataCenter のアイコンをクリックし、メインウィンドウにデータセンターの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [データセンター編集] をクリックすると、メインウィンドウに「データセンター編集」が表示されます。データセンター情報を編集し、[OK] をクリックするとデータセンター情報が変更されます。

注:

・ vCenter Server のクラスタは、SigmaSystemCenter では DataCenter と同等に扱います。

・ Hyper-V クラスタ環境では、DataCenter の名前の変更はサポートしていません。

データセンター編集		
	仮想マネージャ名	仮想マネージャ名を表示します。編集はできません。
	名前 **(入力必須)**	DataCenter名、またはクラスタ名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および記号（"_"、"-"）です。
	説明	DataCenter、またはクラスタの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
	管理対象にする	チェックボックスをオンにすると、DataCenter、またはクラスタが管理対象として登録されます。
[OK]		DataCenter編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		DataCenter編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.4.3. データセンター削除

DataCenter、またはクラスタを削除します。

[仮想] ツリーから対象の DataCenter のアイコンをクリックし、メインウィンドウにデータセンターの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [データセンター削除] をクリックすると、削除されます。

注:

・ vCenter Server のクラスタは、SigmaSystemCenter では DataCenter と同等に扱います。

・ Hyper-V クラスタ環境では、データセンター削除はサポートしていません。

5.5. VM サーバの詳細情報

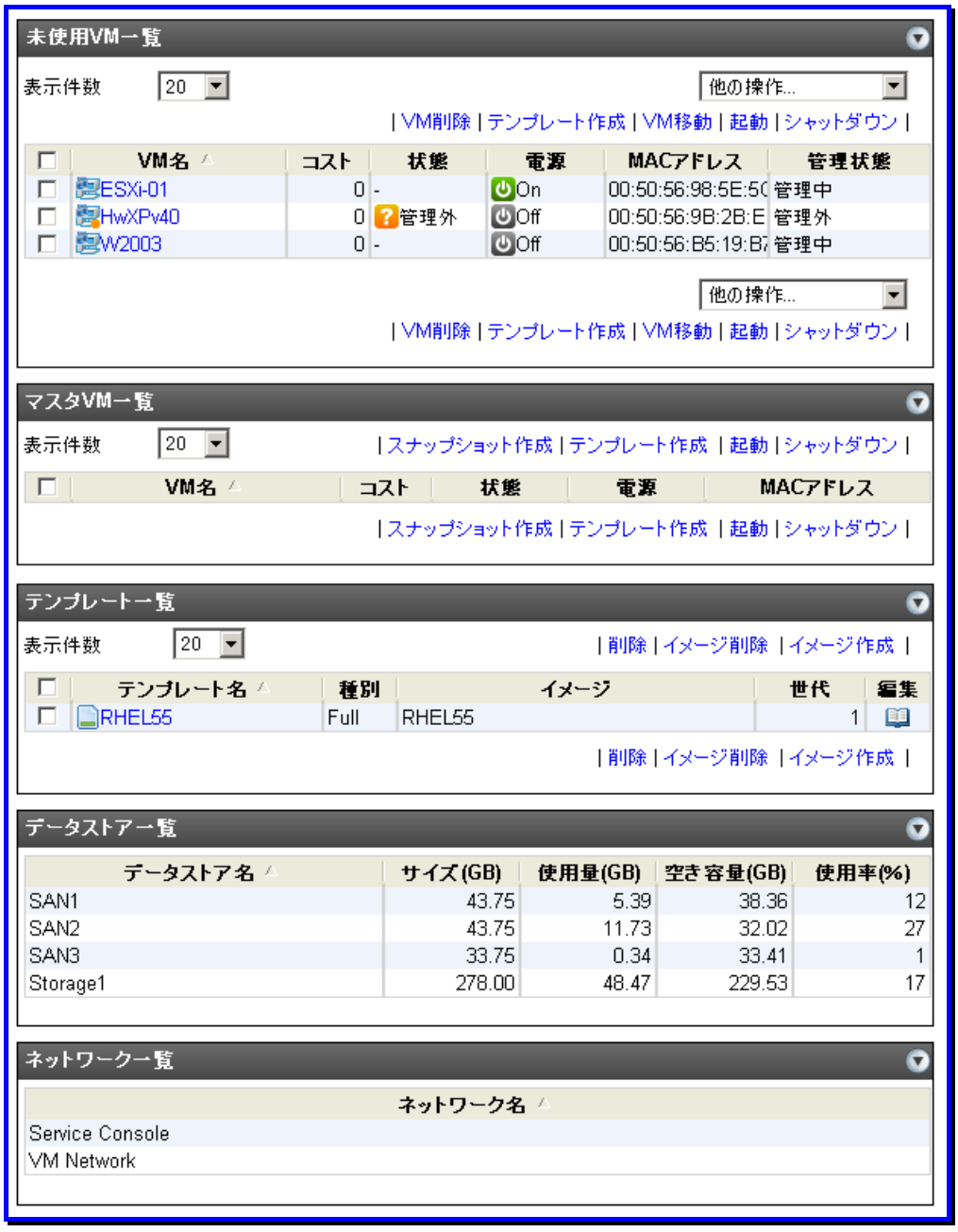
仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。

[仮想] ツリーから対象の仮想マシンサーバのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報が表示されます。

基本情報	
マシン名	仮想マシンサーバ名を表示します。
リソースパス	システムリソースのパスを表示します。
UUID	仮想マシンサーバのUUIDを表示します。
キャパシティ値	仮想マシンサーバで動作可能な仮想マシンのキャパシティ値を表示します。

使用量	仮想マシンサーバの使用量を表示します。
マネージャ URL	仮想マシンサーバのIPアドレスを表示します。XenServer、およびHyper-Vの場合は、表示されません。
製品名	仮想マシンサーバの製品名を表示します。
バージョン	仮想マシンサーバのバージョンを表示します。
CPU 種別	仮想マシンサーバのCPUの種類を表示します。
プロセッサ	仮想マシンサーバのプロセッサを表示します。
メモリサイズ	仮想マシンサーバのメモリサイズを表示します。
説明	仮想マシンサーバの説明を表示します。
運用情報	
ホスト名	ホスト名を表示します。
稼動グループ	稼動グループを表示します。
サマリステータス	サマリステータスを表示します。
電源状態	電源状態を表示します。
接続状態	ホストの接続状態を表示します。
稼動ステータス	稼動ステータスを表示します。
OS ステータス	OSステータスを表示します。
ハードウェアステータス	ハードウェアステータスを表示します。
実行ステータス	実行ステータスを表示します。
ポリシー状態	ポリシー状態を表示します。
メンテナンスステータス	メンテナンスステータスを表示します。
管理状態	管理状態を表示します。
稼働中 VM 一覧	
VM 名	稼働中仮想マシン名を表示します。
コスト	稼動中仮想マシンのコストを表示します。
状態	稼働中仮想マシンの状態を表示します。
電源	稼動中仮想マシンの電源状態を表示します。
IP アドレス	固定IPアドレスの場合、IPアドレスを表示します。DHCPの場合は表示されません。
MAC アドレス	稼働中仮想マシンのMACアドレスを表示します。
VM 移動	チェックボックスを選択した稼動中仮想マシンを移動します。
起動	チェックボックスを選択した稼働中仮想マシンを起動します。
再起動	チェックボックスを選択した稼働中仮想マシンを再起動します。

	シャットダウン	チェックボックスを選択した稼働中仮想マシンをシャットダウンします。
	サスペンド	チェックボックスを選択した稼動中仮想マシンをサスペンドします。
	(プルダウンボックス)	チェックボックスを選択した稼働中の仮想マシンの個別操作を行います。 [稼働中VM一覧] グループボックスから操作する仮想マシンのチェックボックスをオンにし、スナップショット作成 / 電源ON / 強制OFF / リセット / 再構成 / ジョブ実行結果のリセット / 故障状態の解除 / メンテナンスオン / メンテナンスオフの中から操作を選択できます。



未使用 VM 一覧	
VM 名	未使用仮想マシン名を表示します。
コスト	未使用仮想マシンのコストを表示します。
状態	未使用仮想マシンの状態を表示します。
電源	未使用仮想マシンの電源状態を表示します。
MAC アドレス	未使用仮想マシンのMACアドレスを表示します。
管理状態	管理状態を表示します。
VM 削除	チェックボックスを選択した未使用仮想マシンを削除します。
テンプレート作成	チェックボックスを選択した未使用仮想マシンからテンプレートを作成します。「テンプレート作成」ウィンドウに遷移します。
VM 移動	チェックボックスを選択した未使用仮想マシンを移動します。
起動	チェックボックスを選択した未使用仮想マシンを起動します。
シャットダウン	チェックボックスを選択した未使用中仮想マシンをシャットダウンします。
(プルダウンボックス)	チェックボックスを選択した未使用の仮想マシンの個別操作を行います。 [未使用VM一覧] グループボックスから操作する仮想マシンのチェックボックスをオンにし、スナップショットの作成 / 再起動 / サスペンド / 電源ON / 強制OFF / リセットの中から操作を選択できます。
マスタ VM 一覧	
VM 名	マスタVM名を表示します。 マスタVMは種別が「Full Clone」以外のテンプレートと関連している仮想マシンです。
コスト	マスタVMのコストを表示します。
状態	マスタVMの状態を表示します。
電源	マスタVMの電源状態を表示します。
MAC アドレス	マスタVMのMACアドレスを表示します。
スナップショット作成	チェックボックスを選択したマスタVMのスナップショットを作成します。「スナップショット作成」ウィンドウに遷移します。
テンプレート作成	チェックボックスを選択したマスタVMからテンプレートを作成します。「テンプレート作成」ウィンドウに遷移します。
起動	チェックボックスを選択したマスタVMを起動します。
シャットダウン	チェックボックスを選択したマスタVMをシャットダウンします。
テンプレート一覧	
テンプレート名	テンプレート名を表示します。
種別	テンプレートの種別を表示します。

	イメージ	テンプレートに設定されているデフォルトイメージ名を表示します。
	世代	デフォルトイメージの世代番号を表示します。
	編集	テンプレートを編集します。「テンプレート編集」ウィンドウに遷移します。
	削除	チェックボックスを選択したテンプレートを削除します。
	イメージ削除	チェックボックスを選択したテンプレートのイメージを削除します。「イメージ削除」ウィンドウへ遷移します。
	イメージ作成	チェックボックスを選択したテンプレートのイメージを作成します。「イメージ作成」ウィンドウへ遷移します。
データストアー覧		
	データストア名	Datastore名を表示します。
	サイズ (GB)	Datastoreのサイズを表示します。
	使用量 (GB)	Datastoreの使用量を表示します。
	空き容量 (GB)	Datastoreの空き容量を表示します。
	使用率 (%)	Datastoreの使用率を表示します。
ネットワークー覧		
	ネットワーク名	ネットワーク名を表示します。

5.5.1. VMサーバ追加

仮想マシンサーバを追加します。

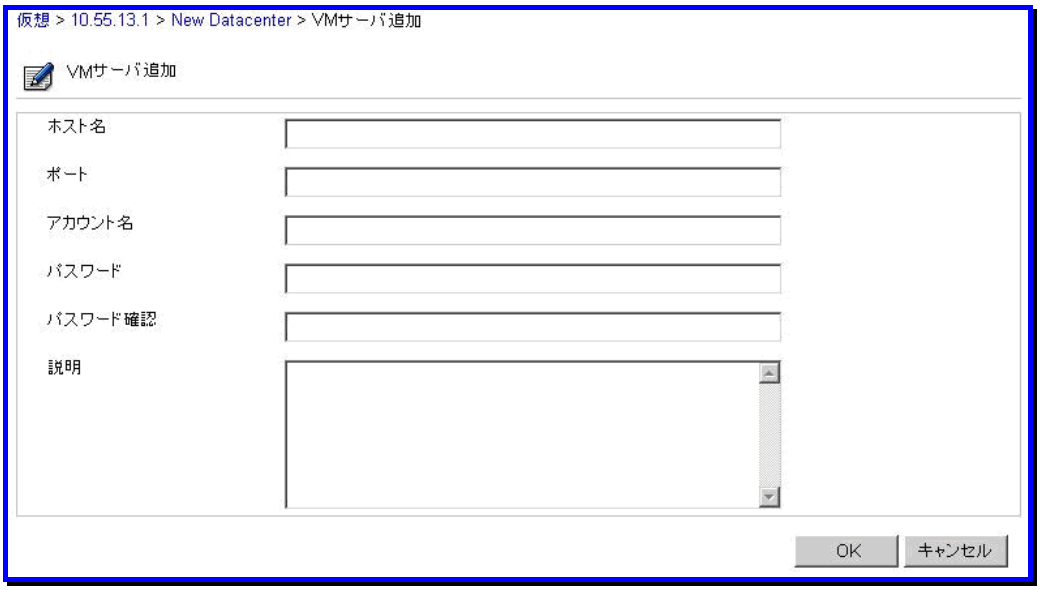
[仮想] ツリーから対象の DataCenter のアイコンをクリックし、メインウィンドウにデータセンターの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [VM サーバ追加] をクリックすると、メインウィンドウに「VM サーバ追加」が表示されます。仮想マシンサーバ情報を入力し、[OK] をクリックすると仮想マシンサーバが追加されます。

注:

・ 仮想マシンサーバの追加後にメインウィンドウにデータセンターの詳細情報を表示すると、追加した仮想マシンサーバが表示されない場合があります。その場合は、[設定] メニューから [画面更新] をクリックし、画面を更新してください。

・ vCenter Server のクラスタは、SigmaSystemCenter では DataCenter と同等に扱います。

・ Hyper-V クラスタ環境では、VM サーバ追加はサポートしていません。



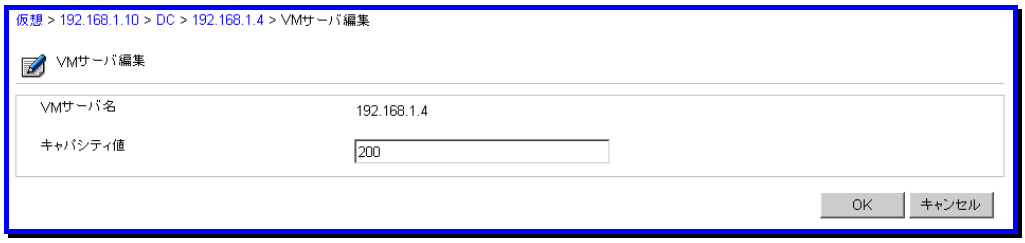
VM サーバ追加	
ホスト名	仮想マシンサーバのホスト名、またはIPアドレスを入力します。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	仮想マシンサーバのポート番号を入力します。Hyper-Vの場合、このテキストボックスは表示されません。
アカウント名	仮想マシンサーバの管理用のアカウント名を入力します。
パスワード	仮想マシンサーバの管理用のアカウントのパスワードを入力します。
パスワード確認	確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	仮想マシンサーバの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	仮想マシンサーバ追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	仮想マシンサーバ追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.5.2. VMサーバ編集

仮想マシンサーバを編集します。

[仮想] ツリーから編集を行う仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに VM サーバの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [VM サーバ編集] をクリックすると、メインウィンドウに「VM サーバ編集」が表示されます。仮想マシンサーバ情報を編集し、[OK] をクリックすると仮想マシンサーバ情報が変更されます。

注: 仮想マシンサーバが稼働中にキャパシティ値の変更を行う場合は、仮想マシンサーバのメンテナンスモードをオンにしてください。また、キャパシティ値の変更後、メンテナンスモードをオフにしてください。メンテナンスモードの切り替えについては、「4.10.19 メンテナンスオン / メンテナンスオフ」を参照してください。



VM サーバ編集		
	VM サーバ名	仮想マシンサーバ名を表示します。編集はできません。
	キャパシティ値	キャパシティ値を入力します。「1～100000」の範囲で設定できます。
[OK]		仮想マシンサーバ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		仮想マシンサーバ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.5.3. VM作成 (テンプレート)

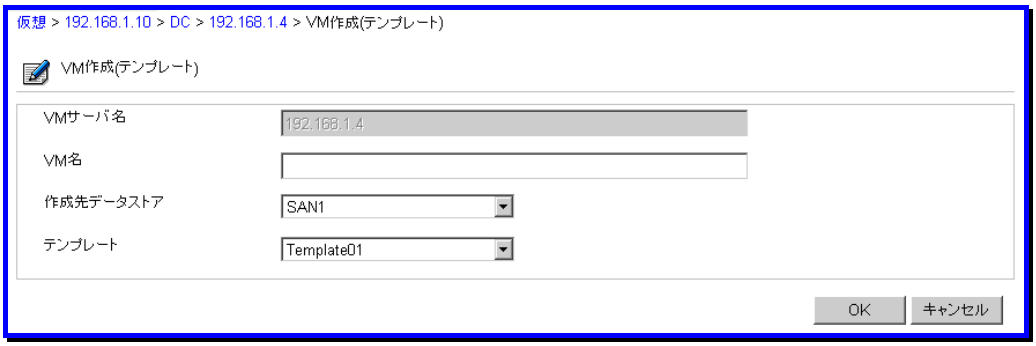
テンプレートから仮想マシンを作成します。仮想マシンはテンプレートを複製したものになります。

[仮想] ツリーから仮想マシン作成を行う仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [VM 作成 (テンプレート)] をクリックすると、メインウィンドウに「VM 作成 (テンプレート)」が表示されます。仮想マシン情報を入力し、[OK] をクリックすると仮想マシンが作成されます。

注:

・ VM 作成 (テンプレート) は、スタンドアロン ESXi、および Hyper-V では実行することはできません。

・ VM 作成 (テンプレート) は、Full Clone 用のテンプレートのみサポートしています。



VM 作成 (テンプレート)		
	VM サーバ名	仮想マシン作成先の仮想マシンサーバ名を表示します。編集はできません。
	VM 名	作成する仮想マシン名を入力します。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および記号（"_"、"-"）です。
	作成先データストア	仮想マシンを作成するDatastoreを選択します。
	テンプレート	テンプレートを選択します。
[OK]		入力情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		入力情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.5.4. VMサーバ移動

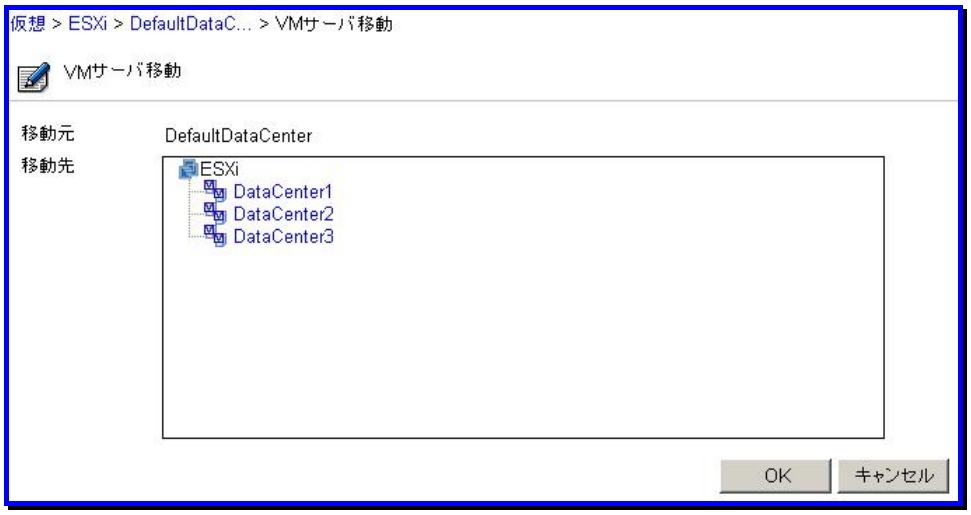
仮想マシンサーバを移動します。

[仮想] ツリーから対象の DataCenter のアイコンをクリックし、メインウィンドウにデータセンターの詳細情報を表示します。[VM サーバー覧] グループボックスから移動する仮想マシンサーバのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [移動] をクリックすると、メインウィンドウに「VM サーバ移動」が表示されます。仮想マシンサーバの移動先を選択し、[OK] をクリックすると仮想マシンサーバが移動します。

注:

・ 仮想マシンサーバ移動は、スタンドアロン ESXi、および Hyper-V 単体の仮想マネージャのみサポートしています。

・ vCenter Server のクラスタは、SigmaSystemCenter では DataCenter と同等に扱います。



VM サーバ移動		
	移動元	移動元のDataCenterを表示します。
	移動先	ツリーより移動先のDataCenterを選択します。
[OK]		仮想マシンサーバ移動情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		仮想マシンサーバ移動情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.5.5. VMサーバ削除

仮想マシンサーバを削除します。

[仮想] ツリーから対象の仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [VM サーバ削除] をクリックします。

もしくは、[仮想] ツリーから対象の DataCenter のアイコンをクリックし、メインウィンドウにデータセンターの詳細情報を表示します。[VM サーバー覧] グループボックスから削除する仮想マシンサーバのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [削除] をクリックすると、仮想マシンサーバは削除されます。

注:

・ 仮想マシンサーバの削除後にメインウィンドウにデータセンターの詳細情報を表示すると、削除した仮想マシンサーバが表示されている場合があります。その場合は、[設定] メニューから [画面更新] をクリックし、画面を更新してください。

・ vCenter Server のクラスタは、SigmaSystemCenter では DataCenter と同等に扱います。

・ Hyper-V クラスタ環境では、VM サーバ削除はサポートしていません。

・ マスタ VM が存在する仮想マシンサーバは削除できません。仮想マシンサーバ上の Full Clone タイプ以外のテンプレートを削除してから実行してください。

5.6. 性能情報

仮想マシンサーバ、および仮想マシンの性能情報を表示します。

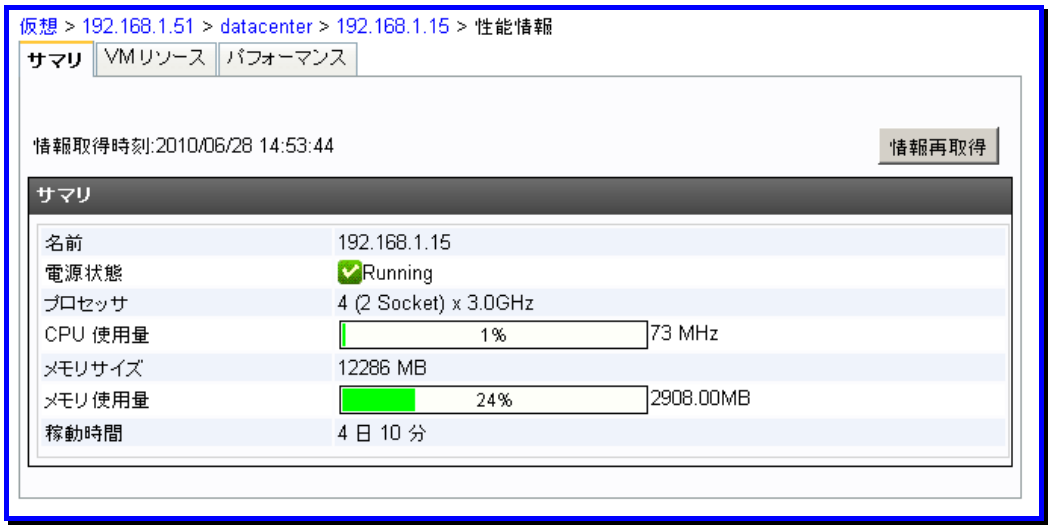
[仮想] ツリーから対象の仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [性能情報] をクリックします。

注: 仮想マシンサーバに接続できない場合や一時的に情報が取得できない場合、「性能情報」ウィンドウで仮想マシンサーバ、および仮想マシンの情報を表示できない場合があります。

5.6.1. [サマリ] タブ

仮想マシンサーバのサマリ情報を表示します。

注: 仮想マシンサーバが起動していない場合、稼働時間は表示されず、前回の起動時間が表示されます。



サマリ		
	情報取得時刻	性能情報の取得時刻を表示します。
	[情報再取得]	性能情報を再取得します。
	サマリ	
	名前	仮想マシンサーバ名を表示します。
	電源状態	仮想マシンサーバの電源状態を表示します。
	プロセッサ	仮想マシンサーバのプロセッサを表示します。

CPU 使用量	仮想マシンサーバのCPU使用量を表示します。
メモリサイズ	仮想マシンサーバのメモリサイズを表示します。
メモリ使用量	仮想マシンサーバのメモリ使用量を表示します。
稼動時間	仮想マシンサーバの稼働時間を表示します。

5.6.2. [VMリソース] タブ

仮想マシンサーバに作成されている仮想マシンのリソースを表示します。

注: 仮想マシンに複数の IP アドレスが設定されている場合は、IP アドレスはいずれか１つだけ表示されます。

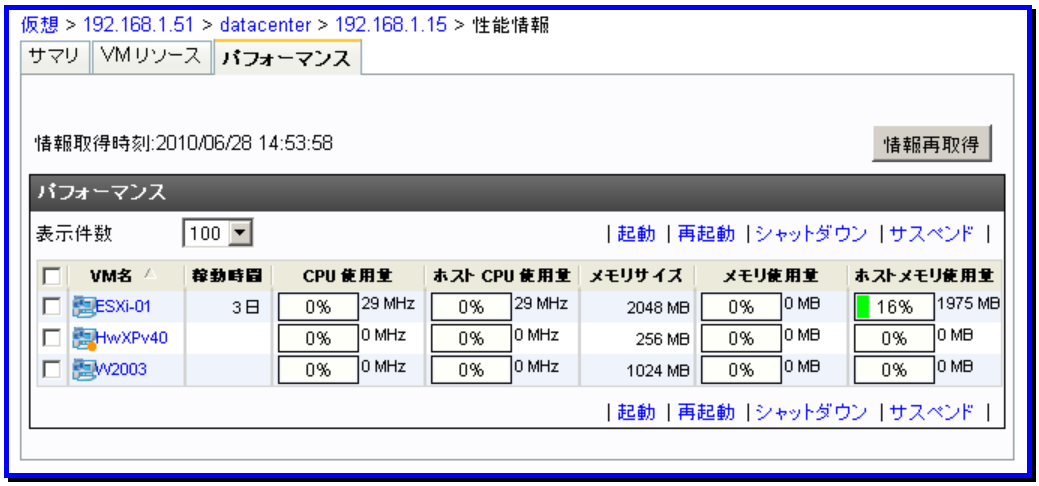
VM リソース		
	情報取得時刻	性能情報の取得時刻を表示します。
	[情報再取得]	性能情報を再取得します。
	VM リソース	
	VM 名	仮想マシン名を表示します。仮想マシン名をクリックすると、対象VMの詳細情報に遷移します。
	電源状態	仮想マシンの電源状態を表示します。
	CPU 数	仮想マシンのCPU数を表示します。
	CPU リミット	仮想マシンのCPUリミットを表示します。
	CPU シェア	仮想マシンのCPUシェアを表示します。
	メモリサイズ	仮想マシンのメモリサイズを表示します。
	ディスク使用量	仮想マシンが使用しているディスク使用量を表示します。
	IP アドレス	仮想マシンのIPアドレスを表示します。

起動	チェックボックスを選択した仮想マシンを起動します。
再起動	チェックボックスを選択した仮想マシンを再起動します。
シャットダウン	チェックボックスを選択した仮想マシンをシャットダウンします。
サスペンド	チェックボックスを選択した仮想マシンをサスペンドします。

5.6.3. [パフォーマンス] タブ

仮想マシンサーバに作成されている仮想マシンのリソースのパフォーマンス情報を表示します。

注: 仮想マシンの情報が一時的に情報取得できない場合は、各項目が表示されない場合があります。



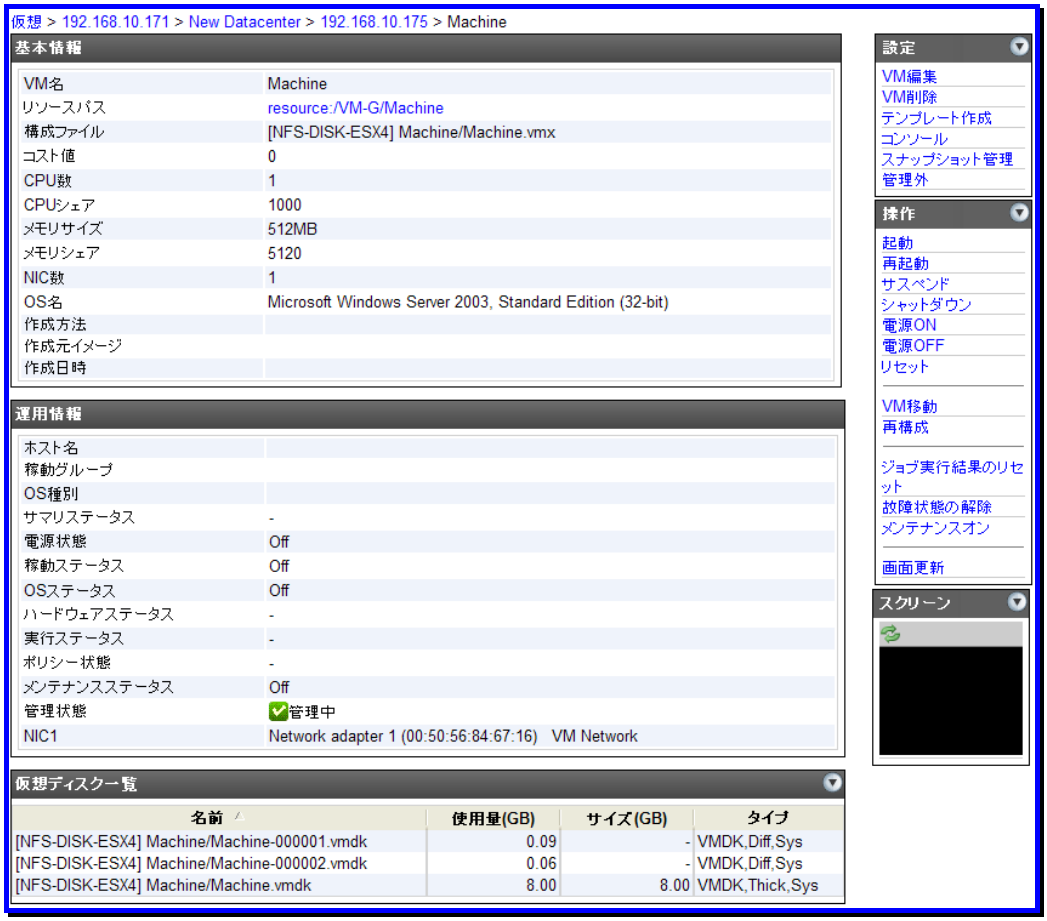
パフォーマンス		
	情報取得時刻	性能情報の取得時刻を表示します。
	[情報再取得]	性能情報を再取得します。
	パフォーマンス	
	VM 名	仮想マシン名を表示します。仮想マシン名をクリックすると、対象VMの詳細情報に遷移します。
	稼動時間	仮想マシンの稼動時間を表示します。
	CPU 使用量	仮想マシンが使用しているCPU使用量を表示します。
	ホスト CPU 使用量	仮想マシンサーバにおける仮想マシンのCPU使用量を表示します。
	メモリサイズ	仮想マシンのメモリサイズを表示します。

メモリ使用量	仮想マシンが使用しているメモリ使用量を表示します。
ホストメモリ使用量	仮想マシンサーバにおける仮想マシンのメモリ使用量を表示します。
起動	チェックボックスを選択した仮想マシンを起動します。
再起動	チェックボックスを選択した仮想マシンを再起動します。
シャットダウン	チェックボックスを選択した仮想マシンをシャットダウンします。
サスペンド	チェックボックスを選択した仮想マシンをサスペンドします。

5.7. VM の詳細情報

仮想マシンの詳細情報を表示します。

[仮想] ツリーから対象の仮想マシンのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報が表示されます。



基本情報	
VM 名	仮想マシン名を表示します。
リソースパス	リソースパスを表示します。
構成ファイル	仮想マシンを作成しているDatastoreを表示します。VMware環境の場合は、vmxファイルを含めて表示します。Hyper-Vの場合は、構成ファイルを含めて表示します。
コスト値	仮想マシンのコスト値を表示します。
CPU 数	仮想マシンの仮想CPU数を表示します。
CPU シェア	仮想マシンのCPUのシェア値を表示します。
メモリサイズ	仮想マシンのメモリサイズを表示します。

メモリシェア	仮想マシンのメモリのシェア値を表示します。Xen Server、Hyper-Vの仮想マシンの場合は、メモリシェア値は表示されません。
NIC 数	仮想マシンのNIC数を表示します。
OS 名	仮想マシンのOS名を表示します。
作成方法	仮想マシンの作成方法 (作成元テンプレート種別) を表示します。作成方法は、SigmaSystemCenterから作成された仮想マシンの場合のみ表示されます。
作成元イメージ	仮想マシンの作成元イメージを表示します。作成イメージは、SigmaSystemCenterから作成された仮想マシンの場合のみ表示されます。
作成日時	仮想マシンの作成日時を表示します。作成日時は、SigmaSystemCenterから作成された仮想マシンの場合のみ表示されます。
運用情報	
ホスト名	稼動中の場合、仮想マシンのホスト名を表示します。
稼動グループ	稼動中の場合、稼動グループを表示します。
OS 種別	稼働中の場合、稼動グループに設定されているOS種別を表示します。
サマリステータス	サマリステータスを表示します。
電源状態	電源状態を表示します。
稼動ステータス	稼動ステータスを表示します。
OS ステータス	OSステータスを表示します。
ハードウェアステータス	ハードウェアステータスを表示します。
実行ステータス	実行ステータスを表示します。
ポリシー状態	ポリシーの設定状態を表示します。
メンテナンスステータス	メンテナンスステータスを表示します。
管理状態	管理状態を表示します。
NIC1～	ネットワークアダプタ名、MACアドレス、接続されているネットワーク名を表示します。仮想マシンが持つNICがすべて表示されます。
仮想ディスク一覧	
名前	仮想ディスクが格納されているDatastoreを含めた名称を表示します。
使用量 (GB)	仮想ディスクの使用量を表示します。仮想マシンサーバから見た使用量を示しています。VMwareのThickディスク、XenのLVMベースのDatastore上に格納されている仮想ディスク、Hyper-Vの容量固定の仮想ハードディスクの使用量は、サイズと等しくなります。

	サイズ (GB)	仮想ディスクの定義サイズを表示します。Differential Clone 方式で作成した仮想マシンの場合、親ディスクの情報も表示されます。子ディスク (差分ディスク) の場合、サイズは表示されません。
	タイプ	仮想ディスクのタイプを表示します。

5.7.1. VM編集

仮想マシンを編集します。

[仮想] ツリーから編集を行う仮想マシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [VM 編集] をクリックすると、メインウィンドウに「VM 編集」が表示されます。仮想マシン情報を編集し、[OK] をクリックすると仮想マシン情報が変更されます。

注:

・ VMware 環境では、拡張ディスクの切断はサポートしていません。

・ Xen 環境では、Differential Clone タイプの拡張ディスクは編集できません。

VM 編集	
VM サーバ名	仮想マシンサーバ名を表示します。編集はできません。
VM 名	仮想マシン名を表示します。仮想マシン名はシステムで一意となるように設定してください。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および記号（"_"、"-"）です。
コスト値	仮想マシンのコスト値を表示します。「1～1000」の範囲で設定できます。
CPU 情報	
CPU 数	仮想マシンの仮想CPU数を表示します。仮想マシンサーバにより設定可能な値は変化します。

CPU シェア	仮想マシンのシェア値を表示します。最高、高、標準、低、最低、および数値で表示します。CPUシェア値を変更する場合は、該当する項目を選択します。数値で指定する場合は、「手動で設定する」を選択し、数値を入力します。「1～99999」の範囲で設定できます。
CPU リミット(0=unlimited)	CPUリミットを入力します。仮想マシンに割り当てるCPUリソースの上限を設定します。"0" を設定すると制限しません。「0～9999999」の範囲で設定できます。
メモリ情報	
メモリサイズ	仮想マシンのメモリサイズを表示します。仮想マシンサーバにより設定可能な値は変化します。
メモリシェア	仮想マシンのメモリシェア値を表示します。高、標準、低、および数値で表示します。メモリシェア値を変更する場合は、該当する項目を選択します。数値で指定する場合は、「手動で設定する」を選択し、数値を入力します。「1～999999」の範囲で設定できます。Xen Server、Hyper-Vの仮想マシンの場合は、メモリシェア値は表示されません。
ディスク情報	
システムディスク	仮想マシンのシステムディスク情報を表示します。編集はできません。
タイプ	システムディスクのタイプ (Thick / Thin) を表示します。編集はできません。
サイズ	システムディスクのサイズをMB単位で表示します。編集はできません。
データストア	ディスクのデータの置き場所を表示します。編集はできません。
ディスクファイル	システムディスクファイル名を表示します。編集はできません。
拡張ディスク	仮想マシンの拡張ディスク情報を表示します。拡張ディスクは追加、切断、および削除ができます。複数の拡張ディスクは編集できません。
タイプ	Thick / Thinのどちらかが表示されます。 「Thick」： 作成時に指定したサイズのディスクを作成します。 「Thin」： ディスク利用時に必要に応じて必要な分のサイズのディスクが動的に割り当てられます。指定サイズは、動的に割り当て可能なサイズの上限として使用されます。
サイズ	作成するディスクの容量をMB単位で指定します。
データストア	作成するディスクのデータの置き場所となるDatastoreを指定します。
ディスクファイル	拡張ディスクファイル名を表示します。編集はできません。
[OK]	仮想マシン編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	仮想マシン編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.7.2. VM移動

仮想マシンを別の仮想マシンサーバへ移動します。

[仮想] ツリーから移動する仮想マシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [VM 移動] をクリックします。

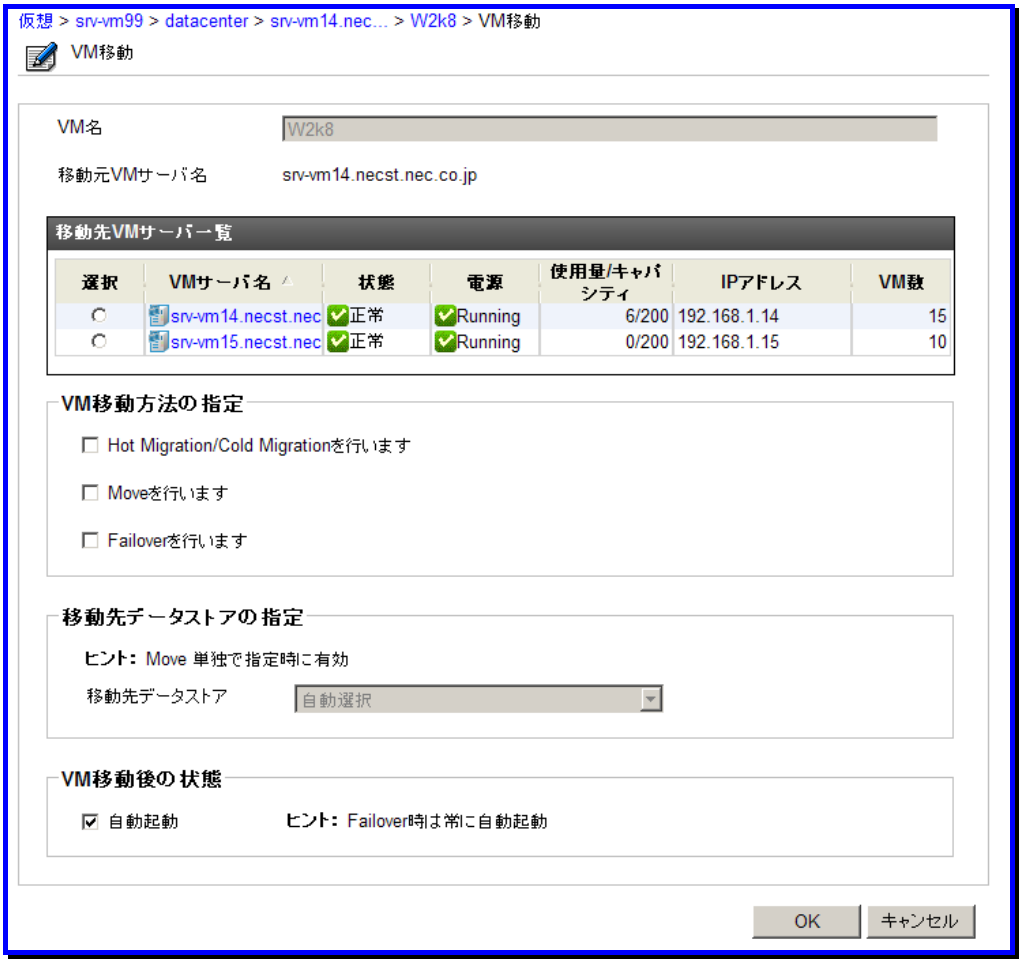
もしくは、仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。[稼働中 VM 一覧] グループボックス、および [未使用 VM 一覧] グループボックス内の移動する仮想マシンのチェックボックスをオンにし、[VM 移動] をクリックすると、メインウィンドウに「VM 移動」が表示されます。仮想マシンの移動先を選択し、[OK] をクリックすると仮想マシンが移動します。

注:

・ Hyper-V 単体の場合、VM 移動はサポートしていません。

・ Hyper-V クラスタ環境では、Hot Migration / Cold Migration のみサポートしています。Hot Migration と Cold Migration は、それぞれ Hyper-V の Live Migration とノード間の VM 移動に相当します。画面の Move と Failover は選択できません。

・ Differential Clone タイプの仮想マシンの Move はサポートしていません。電源オンの仮想マシンを Move すると移動が失敗し、電源オフになる場合があります。



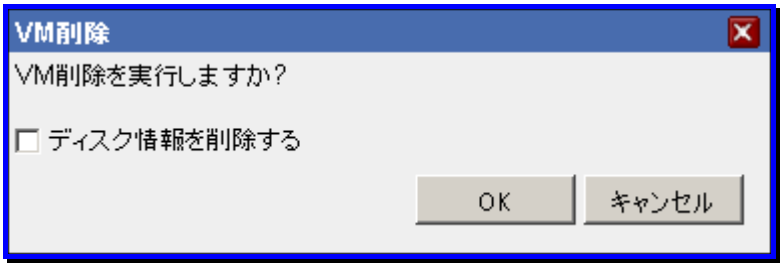
VM 移動		
	VM 名	仮想マシン名を表示します。編集はできません。
	移動元 VM サーバ名	移動元の仮想マシンサーバ名を表示します。編集はできません。
	移動先 VM サーバー覧	
	選択	移動先仮想マシンサーバ名を選択します。
	VM サーバ名	移動先候補の仮想マシンサーバ名を表示します。
	状態	仮想マシンサーバの状態を表示します。
	電源	仮想マシンサーバの電源状態を表示します。
	使用量 / キャパシティ	仮想マシンサーバの使用量 / キャパシティを表示します。
	IP アドレス	仮想マシンサーバのIPアドレスを表示します。
	VM 数	仮想マシンサーバに作成されている仮想マシン台数を表示します。
	VM 移動方法の指定 (選択必須)	
	Hot Migration / Cold Migration を行います	Hot Migration / Cold Migrationを行う場合、チェックボックスをオンにします。電源オンの仮想マシンをHot Migration、電源オフの仮想マシンをCold Migrationで移動します。仮想マシンが共有ディスク上に存在する場合有効です。
	Move を行います	Moveを行う場合、チェックボックスをオンにします。仮想マシンをシャットダウン後にディスクを含めて移動します。
	Failover を行います	Failoverを行う場合、チェックボックスをオンにします。仮想マシンサーバが障害などでダウンしている場合、仮想マシンを移動します。仮想マシンが共有ディスク上に存在する場合有効です。仮想マシン移動後の電源状態はオンになります。
	移動先データストアの指定	
	移動先データストア	[VM移動方法の指定] グループボックスの [Moveを行います] チェックボックスのみオンとした場合、移動先データストアをプルダウンボックスから選択します。
	VM 移動後の状態	
	自動起動	電源オフの仮想マシンを移動した後、自動で電源をオンにする場合、[自動起動] チェックボックスをオンにします。
[OK]		仮想マシンを移動し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		仮想マシンを移動せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.7.3. VM削除

仮想マシンを削除します。

[仮想] ツリーから削除する仮想マシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [VM 削除] をクリックします。

もしくは、仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバ詳細情報を表示します。[未使用 VM 一覧] グループボックス内の削除する仮想マシンのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [VM 削除] をクリックすると、「VM 削除」のポップアップが表示されます。



注:

・ マスタ VM、およびレプリカ VM (エッジキャッシュレプリカ VM を除く) は、削除できません。

・ Differential Clone タイプの仮想マシンを削除すると、その仮想マシンが参照しているエッジキャッシュレプリカ VM も、他に参照する仮想マシンが存在しない場合は、自動的に削除されます。ただし、再構成 (Reconstruct) を実行して、エッジキャッシュレプリカ VM を他に参照する仮想マシンが存在しなくなった場合は自動的に削除されません。別途、個別にエッジキャッシュレプリカ VM を削除する必要があります。また、Xen 環境の場合は、エッジキャッシュレプリカ VM は、同時に削除されません。

・ Xen 環境の場合、不要となったエッジキャッシュレプリカ VM は手動で削除してください。

・ スタンドアロン ESXi 環境の場合、レプリカ VM は [ディスク情報を削除する] チェックボックスをオンにしても、ディスク情報は削除されません。

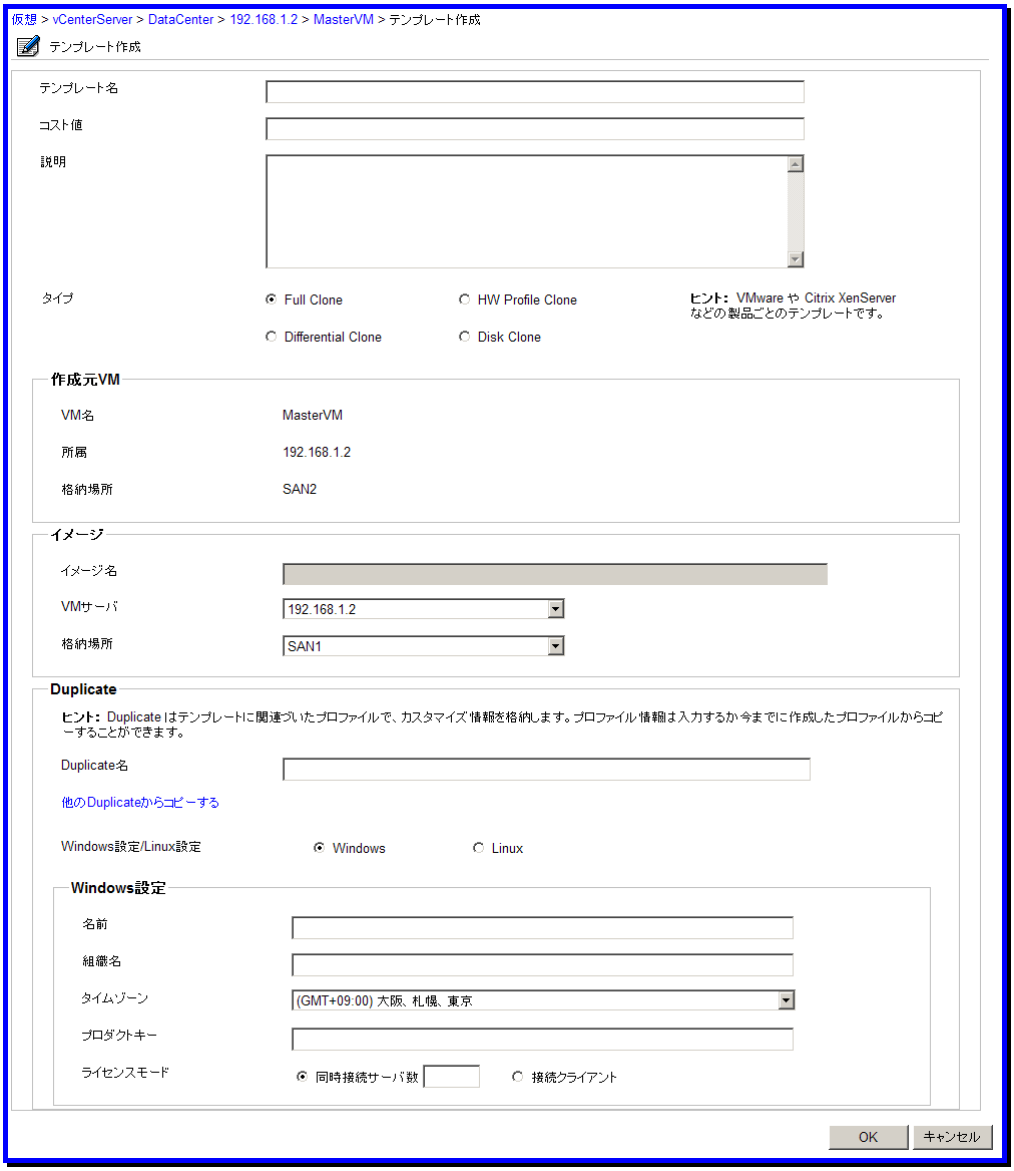
・ SigmaSystemCenter1.2 / 1.3 でディスク切り替え機能により作成された仮想マシン (仮想マシン名に "_ (数字) " が付加されています) の仮想ディスクイメージは、別の仮想マシンからも参照されている可能性があります。仮想マシンの削除の操作は、仮想ディスクイメージも同時に削除されます。従って、上記のような仮想マシンを削除する場合は、vSphere Client を使用して仮想ディスクイメージを削除する仮想マシンから切断して削除してください。

5.7.4. Full Clone用のテンプレート作成 (VMware vCenter Server環境の場合)

Full Clone 用のテンプレートを作成します。VMware vCenter Server 上の仮想マシンから作成する場合とその他の環境上の仮想マシンから作成する場合で表示ウィンドウが異なります。

[仮想] ツリーから Full Clone 用のテンプレートの元となる仮想マシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [テンプレート作成] をクリックすると、メインウィンドウに「テンプレート作成」が表示されます。

もしくは、対象の仮想マシンが所属する仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。[未使用 VM 一覧] グループボックスから対象の仮想マシンのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [テンプレート作成] をクリックします。テンプレート情報を入力し、[OK] をクリックするとテンプレートが作成されます。



テンプレート作成	
テンプレート名 **(入力必須)**	Full Clone用のテンプレートの名称を入力します。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および記号（"_"、"-"、"("、")"）です。
コスト値	Full Clone用のテンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する仮想マシンのコスト値を入力します。「1～1000」の範囲で設定できます。
説明	Full Clone用のテンプレートの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
タイプ	"Full Clone" を選択します。
作成元 VM	
VM 名	テンプレートの元となる仮想マシン名を表示します。

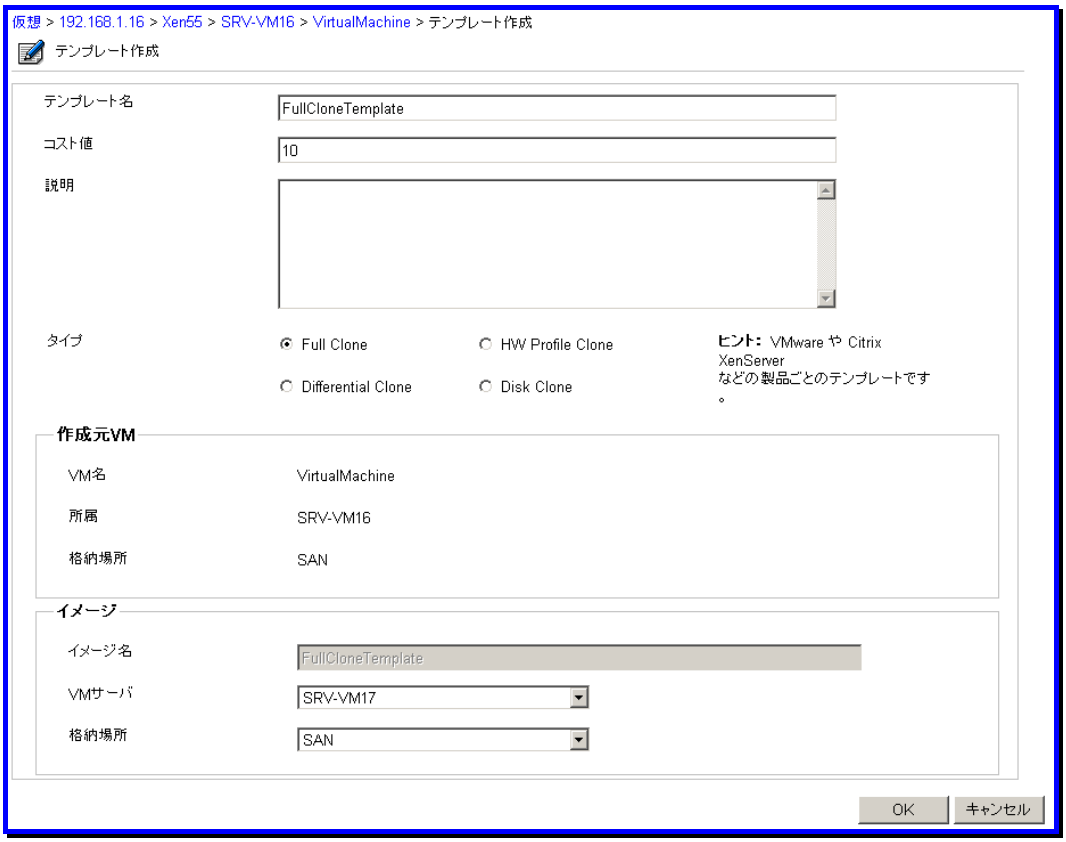
所属	仮想マシンが所属する仮想マシンサーバを表示します。
格納場所	仮想マシンが所属するDatastoreを表示します。
イメージ	
イメージ名	イメージ名は入力できません。テンプレート名と同じ名前になります。
VM サーバ	格納先の仮想マシンサーバを選択します。
格納場所	イメージが所属するDatastore名を選択します。
Duplicate	
Duplicate 名	Full Clone用のテンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する情報 (Duplicate) につける名称を入力します。Duplicate名の重複はできません。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' " ; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ = +
他の Duplicate からコピーする	既に別のFull Clone用のテンプレートにDuplicate情報が登録されている場合、登録情報をDuplicate一覧として表示します。Duplicate一覧から選択した情報を選んで [OK] をクリックすると、選択したDuplicateと同じ設定を反映します。
Windows 設定 / Linux 設定	Full Clone用のテンプレートのOSの種類をWindows、もしくはLinuxから選択します。
Windows 設定	
名前	使用するOSライセンスの所有者名を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' " ; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ = +
組織名	使用するOSライセンスの所有組織名を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' " ; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ = +
タイムゾーン	使用するタイムゾーンを選択します。
プロダクトキー	使用するOSライセンスのプロダクトキーを入力します。入力できる文字は半角英数字のみです。入力は (XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX) 形式で入力します。
ライセンスモード	[同時接続ユーザ数]、もしくは [接続クライアント数] から選択します。[同時接続ユーザ数] を選択する場合、テキストボックスにユーザ数を入力します。「1～999999」の範囲で設定できます。
[OK]	テンプレート作成情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	テンプレート作成情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.7.5. Full Clone用のテンプレート作成 (VMware vCenter Server環境以外の場合)

Full Clone 用のテンプレートを作成します。VMware vCenter Server 上の仮想マシンから作成する場合とその他の環境上の仮想マシンから作成する場合で表示ウィンドウが異なります。

[仮想] ツリーから Full Clone 用のテンプレートの元となる仮想マシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [テンプレート作成] をクリックすると、メインウィンドウに「テンプレート作成」が表示されます。

もしくは、対象の仮想マシンが所属する仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。[未使用 VM 一覧] グループボックスから対象の仮想マシンのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [テンプレート作成] をクリックします。テンプレート情報を入力し、[OK] をクリックするとテンプレートが作成されます。



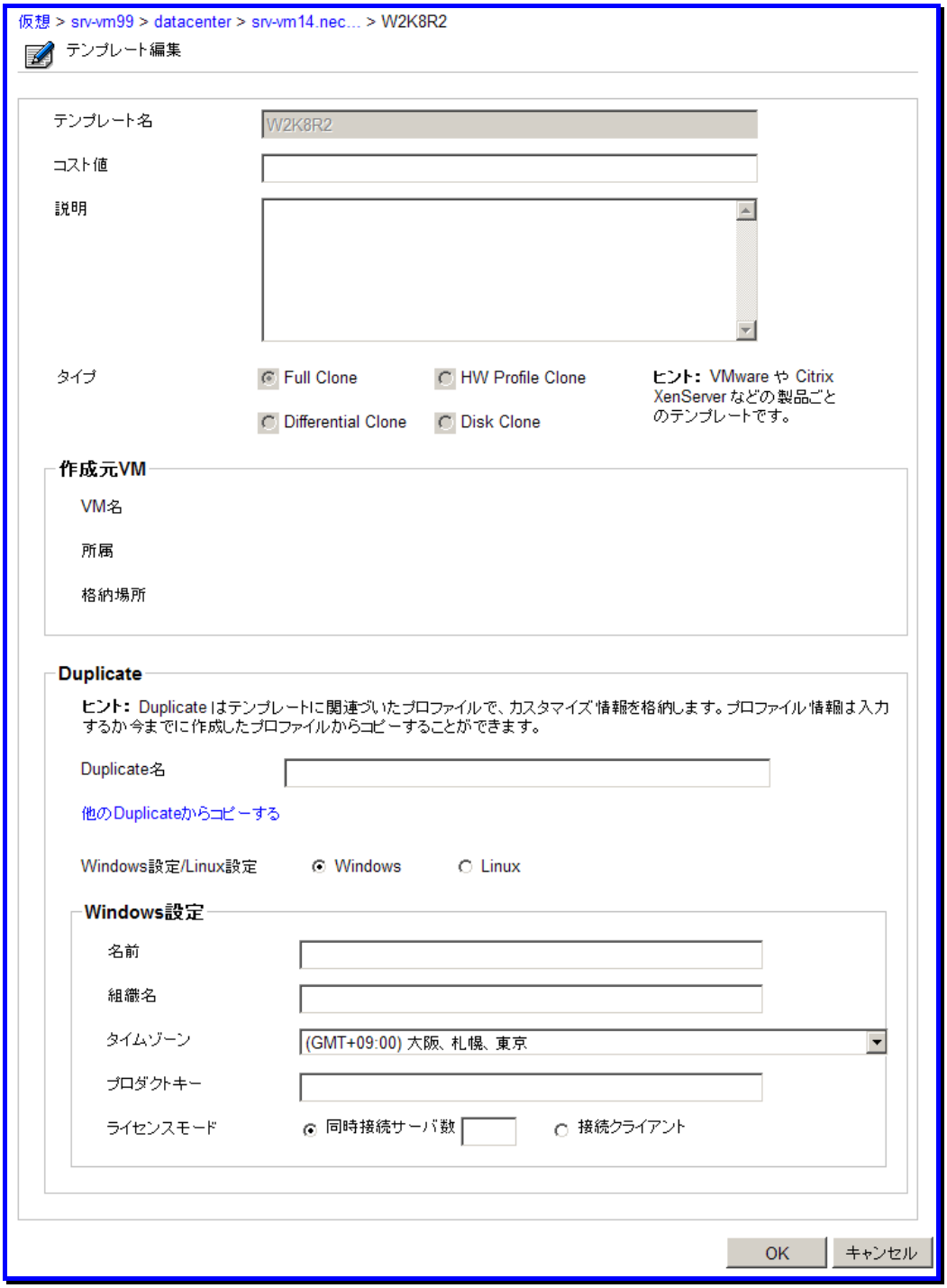
テンプレート作成	
テンプレート名 (入力必須)	Full Clone用のテンプレートの名称を入力します。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および記号（"_"、"-"、"("、")"）です。

コスト値	Full Clone用のテンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する仮想マシンのコスト値を入力します。「1～1000」の範囲で設定できます。
説明	Full Clone用のテンプレートの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
タイプ	"Full Clone" を選択します。
作成元 VM	
VM 名	テンプレートの元となる仮想マシン名を表示します。
所属	仮想マシンが所属する仮想マシンサーバを表示します。
格納場所	仮想マシンが所属するDatastoreを表示します。
イメージ	
イメージ名	イメージ名は入力できません。テンプレート名と同じになります。
VM サーバ	格納先の仮想マシンサーバを選択します。
格納場所	イメージが所属するDatastore名を選択します。
[OK]	テンプレート作成情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	テンプレート作成情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.7.6. Full Clone用のテンプレート編集 (VMware vCenter Server環境の場合)

Full Clone 用のテンプレートを編集します。

[仮想] ツリーから仮想マネージャ、DataCenter、または仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに各詳細情報を表示します。[テンプレート一覧] グループボックスから編集する Full Clone 用のテンプレートの [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「テンプレート編集」が表示されます。テンプレート情報を編集し、[OK] をクリックするとテンプレート情報が変更されます。



テンプレート編集	
テンプレート名	Full Clone用のテンプレートの名称を表示します。編集はできません。
コスト値	Full Clone用のテンプレートのコスト値を表示し、編集もできます。「1～1000」の範囲で設定できます。
説明	Full Clone用のテンプレートの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。

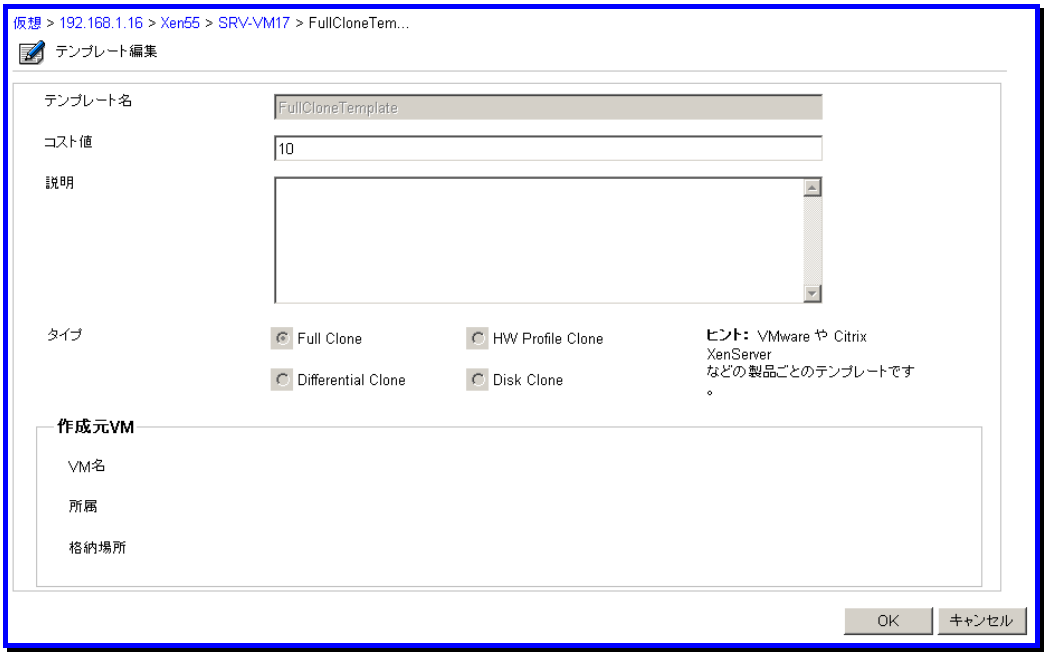
タイプ	"Full Clone" を表示します。変更はできません。
作成元 VM	
VM 名	テンプレート作成時に使用した仮想マシン名を表示します。
所属	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが所属する仮想マシンサーバ名を表示します。
格納場所	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが所属するDatastoreを表示します。
Duplicate	
Duplicate 名	Duplicate名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' " ; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ = +
他の Duplicate からコピーする	既に別のFull Clone用のテンプレートでDuplicate情報が登録されている場合、登録情報をDuplicate一覧として表示します。Duplicate一覧から選択した情報を選んで [OK] をクリックすると選択したDuplicateと同じ設定を反映します。
Windows 設定 / Linux 設定	Full Clone用のテンプレートのOSの種類を表示し、変更もできます。
Windows 設定	
名前	OSライセンスの所有者名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' " ; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ = +
組織名	OSライセンスの所有組織名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' " ; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ = +
タイムゾーン	タイムゾーンを表示し、変更もできます。
プロダクトキー	OSライセンスのプロダクトキーを表示し、編集もできます。入力できる文字は半角英数字のみです。入力は (XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX) 形式で入力します。
ライセンスモード	ライセンスモードを表示し、変更もできます。[同時接続ユーザ数] を選択する場合、テキストボックスにユーザ数を入力します。「1～999999」の範囲で設定できます。
[OK]	テンプレート編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	テンプレート編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

注: 連携製品上で作成したテンプレートの場合、作成元 VM 情報は表示されません。

5.7.7. Full Clone用のテンプレート編集 (VMware vCenter Server環境以外の場合)

Full Clone 用のテンプレートを編集します。

[仮想] ツリーから仮想マネージャ、DataCenter、または仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに各詳細情報を表示します。[テンプレート一覧] グループボックスから編集する Full Clone 用のテンプレートの [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「テンプレート編集」が表示されます。テンプレート情報を編集し、[OK] をクリックするとテンプレート情報が変更されます。



テンプレート編集		
	テンプレート名 (入力必須)	Full Clone用のテンプレートの名称を表示します。編集はできません。
	コスト値	Full Clone用のテンプレートのコスト値を表示し、編集もできます。「1～1000」の範囲で設定できます。
	説明	Full Clone用のテンプレートの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
	タイプ	"Full Clone" を選択します。変更はできません。
	作成元 VM	
	VM 名	テンプレート作成時に使用した仮想マシン名を表示します。
	所属	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが所属する仮想マシンサーバ名を表示します。

		格納場所	テンプレート作成時に使用した仮想マシンの所属するDatastoreを表示します。
[OK]			テンプレート編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]			テンプレート編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

注: 連携製品上で作成したテンプレートの場合、作成元 VM 情報は表示されません。

5.7.8. Full Clone用のテンプレート削除

Full Clone 用のテンプレートを削除します。

[仮想] ツリーから仮想マネージャ、DataCenter、または仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに各詳細情報を表示します。[テンプレート一覧] グループボックスから削除する対象の Full Clone 用のテンプレートのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [削除] をクリックすると削除されます。

5.7.9. HW Profile Clone用のテンプレート作成

HW Profile Clone 用のテンプレートを作成します。

[仮想] ツリーから HW Profile Clone 用のテンプレートの元となるマスタ VM のアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [テンプレート作成] をクリックすると、メインウィンドウに「テンプレート作成」が表示されます。

もしくは、対象の仮想マシンが所属する仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。[未使用 VM 一覧] グループボックスから対象の仮想マシンのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [テンプレート作成] をクリックします。テンプレート情報を入力し、[OK] をクリックするとテンプレートが作成されます。

テンプレート作成		
	テンプレート名 **(入力必須)**	HW Profile Clone用のテンプレート名を入力します。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および半角記号（"("、")"、"-"、"_"）です。
	コスト値 **(入力必須)**	HW Profile Clone用のテンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する仮想マシンのコスト値を入力します。「1～1000」の範囲で設定できます。
	説明	HW Profile Clone用のテンプレートの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
	タイプ	"HW Profile Clone" を選択します。
	作成元 VM	
	VM 名	仮想マシン名を表示します。
	所属	仮想マシンが所属する仮想マシンサーバを表示します。
	格納場所	仮想マシンが所属するDatastoreを表示します。
[OK]		テンプレート作成情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		テンプレート作成情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.7.10. HW Profile Clone用のテンプレート編集

HW Profile Clone 用のテンプレートを編集します。

[仮想] ツリーから仮想マネージャ、DataCenter、または仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに各詳細情報を表示します。[テンプレート一覧] グループボックスから編集する HW Profile Clone 用のテンプレートの [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「テンプレート編集」が表示されます。テンプレート情報を編集し、[OK] をクリックするとテンプレート情報が変更されます。

テンプレート編集		
	テンプレート名 **(入力必須)**	HW Profile Clone用のテンプレート名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および半角記号 ("("、")"、"-"、"_") です。
	コスト値 **(入力必須)**	HW Profile Clone用のテンプレートのコスト値を表示し、編集もできます。「1～1000」の範囲で設定できます。
	説明	HW Profile Clone用のテンプレートの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
	タイプ	"HW Profile Clone" を表示します。変更はできません。
	作成元 VM	
	VM 名	テンプレート作成時に使用した仮想マシン名を表示します。
	所属	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが所属する仮想マシンサーバ名を表示します。
	格納場所	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが所属するDatastoreを表示します。

[OK]	テンプレート編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	テンプレート編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.7.11. HW Profile Clone用のテンプレート削除

HW Profile Clone 用のテンプレートを削除します。

[仮想] ツリーから仮想マネージャ、DataCenter、または仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに各詳細情報を表示します。[テンプレート一覧] グループボックスから削除する対象の HW Profile Clone 用のテンプレートのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [削除] をクリックすると削除されます。

5.7.12. Differential Clone用のテンプレート作成 (VMware vCenter Server環境の場合)

Differential Clone 用のテンプレートを作成します。VMware vCenter Server 上の仮想マシンから作成する場合とその他の環境上の仮想マシンから作成する場合で表示ウィンドウが異なります。

[仮想] ツリーから Differential Clone 用のテンプレートの元となる仮想マシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [テンプレート作成] をクリックすると、メインウィンドウに「テンプレート作成」が表示されます。

もしくは、対象の仮想マシンが所属する仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。[未使用 VM 一覧] グループボックスから対象の仮想マシンのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [テンプレート作成] をクリックします。テンプレート情報を入力し、[OK] をクリックするとテンプレートが作成されます。

仮想 > srv-vm3 > datacenter > srv-vm15.nec... > VirtualMachine > テンプレート作成
テンプレート作成
テンプレート名
コスト値
説明
タイプ
Full Clone
HW Profile Clone
Differential Clone
Disk Clone
ヒント: マスタとなるVMの仮想ディスクを参照し、差分データのみを持つVMを作成するテンプレートです。
作成元VM
VM名
VirtualMachine
所属
srv-vm15.necst.nec.co.jp
格納場所
SAN2
イメージ
イメージ名
Image
VMサーバ
srv-vm15.necst.nec.co.jp
格納場所
Local-SRV-VM15
作成元スナップショット
スナップショット名
作成日時
パス
Snapshot
2010/03/23 11:39:41
/Snapshot
Duplicate
ヒント: Duplicate はテンプレートに関連づいたプロファイルで、カスタマイズ情報を格納します。プロファイル情報は入力するか今までに作成したプロファイルからコピーすることができます。
Duplicate名
他のDuplicateからコピーする
Windows設定/Linux設定
Windows
Linux
Windows設定
名前
組織名
タイムゾーン
(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京
プロダクトキー
ライセンスモード
同時接続サーバ数
接続クライアント
OK
キャンセル

テンプレート作成	
テンプレート名 **(入力必須)**	Differential Clone用のテンプレートの名称を入力します。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および記号（"_"、"-"、"("、")"）です。
コスト値	Differential Clone用のテンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する仮想マシンのコスト値を入力します。「1～1000」の範囲で設定できます。
説明	Differential Clone用のテンプレートの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
タイプ	"Differential Clone" を選択します。
作成元 VM	
VM 名	テンプレートの元となる仮想マシン名を表示します。
所属	仮想マシンが所属する仮想マシンサーバを表示します。
格納場所	仮想マシンが所属するDatastoreを表示します。
イメージ一覧	
イメージ名 **(入力必須)**	イメージ名を入力します。入力できる文字数は53文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および半角記号（"("、")"、"-"、"_"）です。既定値は、"Image" が入力されています。
VM サーバ	格納先の仮想マシンサーバを選択します。
格納場所	イメージが所属するDatastore名を選択します。
作成元スナップショット	
スナップショット名	スナップショット名を表示します。
作成日時	スナップショットの作成日時を表示します。
パス	スナップショットのパスを表示します。
Duplicate	
Duplicate 名	Differential Clone用のテンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する情報 (Duplicate) につける名称を入力します。Duplicate名の重複はできません。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' " ; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ = +
他の Duplicate からコピーする	既に別のDifferential Clone用のテンプレートにDuplicate情報が登録されている場合、登録情報をDuplicate一覧として表示します。Duplicate一覧から選択した情報を選んで [OK] をクリックすると、選択したDuplicateと同じ設定を反映します。
Windows 設定 / Linux 設定	Differential Clone用のテンプレートのOSの種類をWindows、もしくはLinuxから選択します。
Windows 設定	

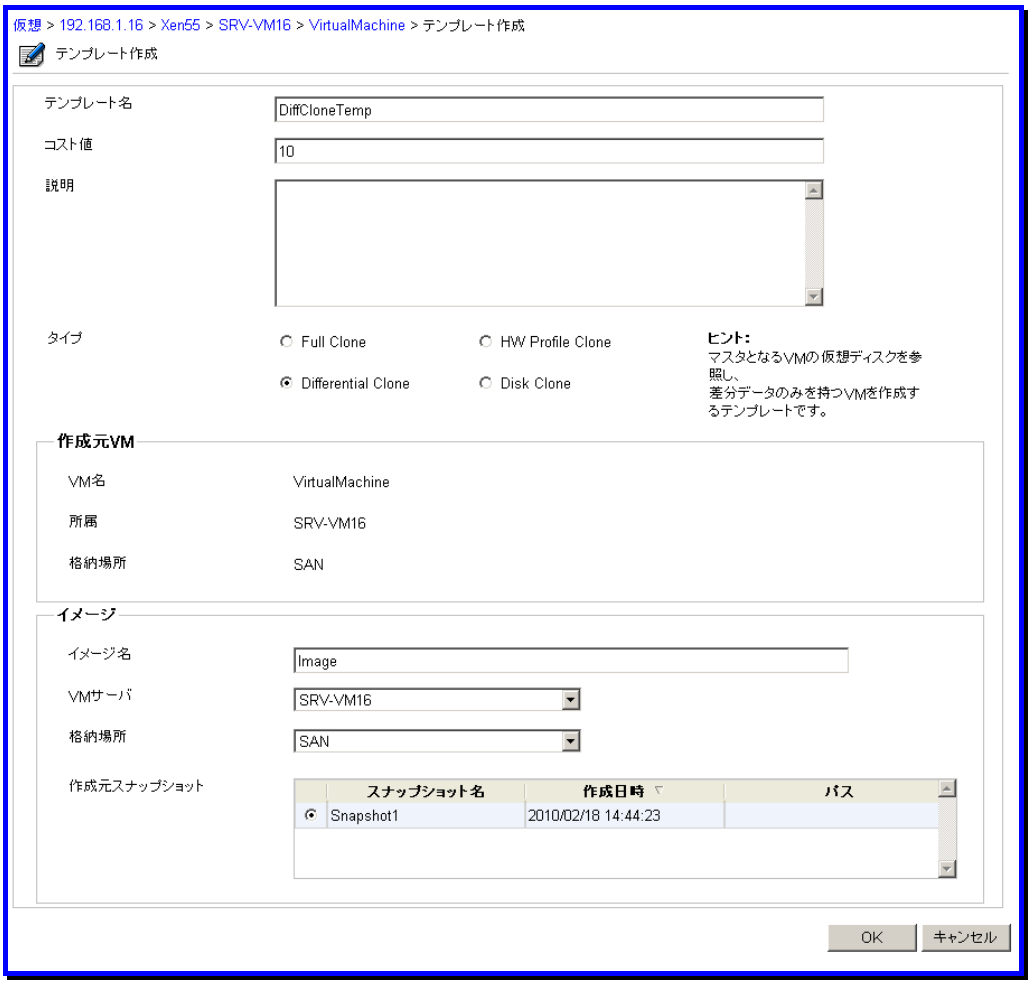
名前	使用するOSライセンスの所有者名を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' " ; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ = +
組織名	使用するOSライセンスの所有組織名を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' " ; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ = +
タイムゾーン	使用するタイムゾーンを選択します。
プロダクトキー	使用するOSライセンスのプロダクトキーを入力します。入力できる文字は半角英数字のみです。入力は (XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX) 形式で入力します。
ライセンスモード	[同時接続ユーザ数]、もしくは [接続クライアント数] から選択します。[同時接続ユーザ数] を選択する場合、テキストボックスにユーザ数を入力します。「1～999999」の範囲で設定できます。
[OK]	テンプレート作成情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	テンプレート作成情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.7.13. Differential Clone用のテンプレート作成 (VMware vCenter Server環境以外の場合)

Differential Clone 用のテンプレートを作成します。VMware vCenter Server 上の仮想マシンから作成する場合とその他の環境上の仮想マシンから作成する場合で表示画面が異なります

[仮想] ツリーから Differential Clone 用のテンプレートの元となる仮想マシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [テンプレート作成] をクリックすると、メインウィンドウに「テンプレート作成」が表示されます。

もしくは、対象の仮想マシンが所属する仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。[未使用 VM 一覧] グループボックスから対象の仮想マシンのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [テンプレート作成] をクリックします。テンプレート情報を入力し、[OK] をクリックするとテンプレートが作成されます。



テンプレート作成		
	テンプレート名 **(入力必須)**	Differential Clone用のテンプレートの名称を入力します。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および記号（"_"、"-"、"("、")"）です。
	コスト値	Differential Clone用のテンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する仮想マシンのコスト値を入力します。「1～1000」の範囲で設定できます。
	説明	Differential Clone用のテンプレートの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
	タイプ	"Differential Clone" を選択します。
	作成元 VM	
	VM 名	テンプレートの元となる仮想マシン名を表示します。
	所属	仮想マシンが所属する仮想マシンサーバを表示します。
	格納場所	仮想マシンが所属するDatastoreを表示します。
	イメージ	

	イメージ名 **(入力必須)**	イメージ名を入力します。入力できる文字数は53文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および半角記号（"("、")"、"-"、"_"）です。既定値は、"Image" が入力されています。
	VM サーバ	格納先の仮想マシンサーバを選択します。
	格納場所	イメージの格納場所を選択します。
	作成元スナップショット	
	スナップショット名	スナップショット名を表示します。
	作成日時	スナップショットの作成日時を表示します。
	パス	スナップショットのパスを表示します。
[OK]		テンプレート作成情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		テンプレート作成情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.7.14. Differential Clone用のテンプレート編集 (VMware vCenter Server環境の場合)

Differential Clone 用のテンプレートを編集します。

[仮想] ツリーから仮想マネージャ、DataCenter、または仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに各詳細情報を表示します。[テンプレート一覧] グループボックスから編集する Differential Clone 用のテンプレートの [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「テンプレート編集」が表示されます。テンプレート情報を編集し、[OK] をクリックするとテンプレート情報が変更されます。

仮想 > srv-vm99 > datacenter > srv-vm14.nec... > Differential...
テンプレート編集
テンプレート名
DifferentialTemplate
コスト値
1
説明
タイプ
Full Clone
HW Profile Clone
Differential Clone
Disk Clone
ヒント: マスタとなるVMの仮想ディスクを参照し、差分データのみを持つVMを作成するテンプレートです。
作成元VM
VM名
W2k8
所属
srv-vm14.necst.nec.co.jp
格納場所
srv14-datastore1
イメージ一覧
表示件数
20
イメージ名
世代
スナップショット
作成日時
格納場所
参照VM数
W2k8-1-1-Image
1
Base
2010/02/18 14:51:30
Local-SRV-VM14
0
Duplicate
ヒント: Duplicate はテンプレートに関連づいたプロファイルで、カスタマイズ情報を格納します。プロファイル情報は入力するか今までに作成したプロファイルからコピーすることができます。
Duplicate名
Differential
他のDuplicateからコピーする
Windows設定/Linux設定
Windows
Linux
Windows設定
名前
pvm
組織名
xxxxx
タイムゾーン
(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京
プロダクトキー
xxxxx-xxxxx-xxxxx-xxxxx-xxxxx
ライセンスモード
同時接続サーバ数
5
接続クライアント
OK
キャンセル

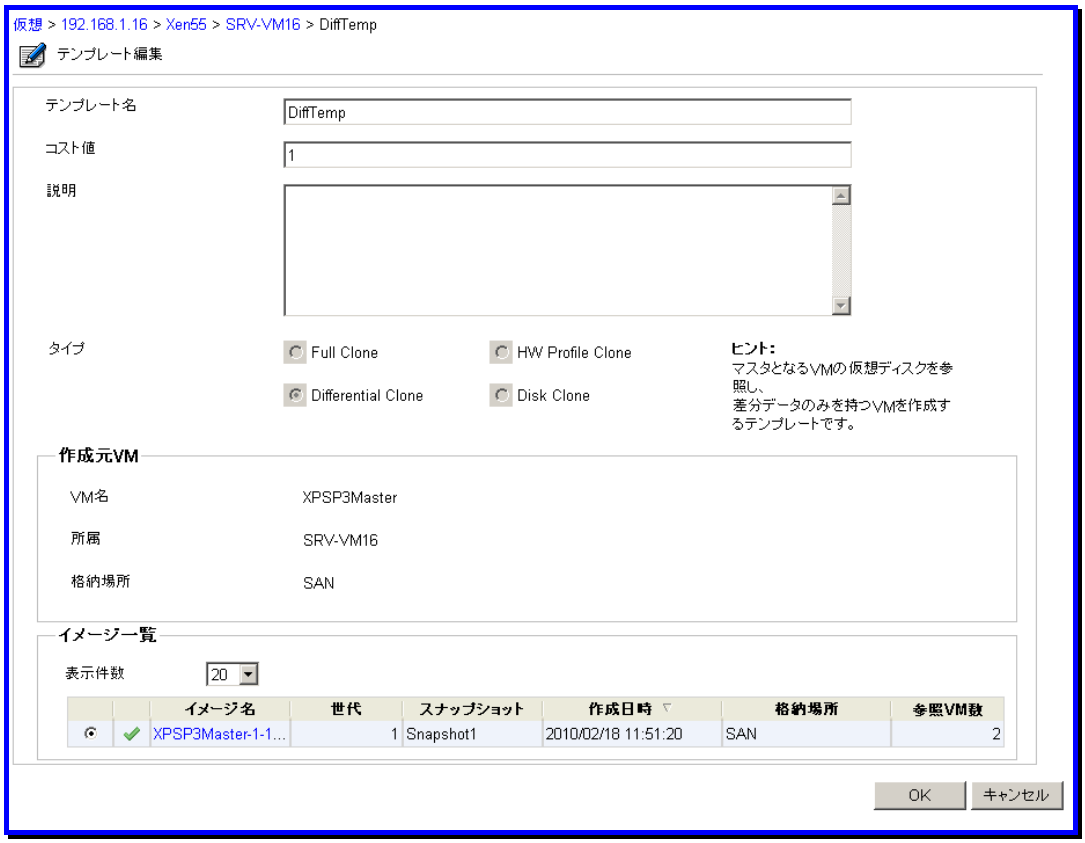
テンプレート編集		
	テンプレート名	Differential Clone用のテンプレートの名称を表示し、編集もできます。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および記号（"_"、"-"、"("、")"）です。
	コスト値	Differential Clone用のテンプレートのコスト値を表示し、編集もできます。「1～1000」の範囲で設定できます。
	説明	Differential Clone用のテンプレートの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
	タイプ	"Differential Clone" を表示します。変更はできません。
	作成元 VM	
	VM 名	テンプレート作成時に使用した仮想マシン名を表示します。
	所属	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが所属する仮想マシンサーバ名を表示します。
	格納場所	テンプレート作成時に使用した仮想マシンの所属するDatastoreを表示します。
	イメージ一覧	
	イメージ名	イメージ名を表示します。
	世代	イメージの世代番号を表示します。
	スナップショット	イメージの作成元となったスナップショット名を表示します。
	作成日時	イメージを作成した日時を表示します。
	格納場所	イメージが所属するDatastore名を表示します。
	参照 VM 数	イメージを参照して作成された仮想マシン数を表示します。
	Duplicate	
	Duplicate 名	Duplicate名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' " ; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ = +
	他の Duplicate からコピーする	既に別のDifferential Clone用のテンプレートでDuplicate情報が登録されている場合、登録情報をDuplicate一覧として表示します。Duplicate一覧から選択した情報を選んで [OK] をクリックすると選択したDuplicateと同じ設定を反映します。
	Windows 設定 / Linux 設定	Differential Clone用のテンプレートのOSの種類を表示し、変更もできます。
	Windows 設定	
	名前	OSライセンスの所有者名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' " ; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ = +

組織名	OSライセンスの所有組織名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および以下の記号です。 ! @ # $ % ^ & * ( ) , . < > ? / ' " ; : { } [ ] ¥ | ~ ` - _ = +
タイムゾーン	タイムゾーンを表示し、変更もできます。
プロダクトキー	OSライセンスのプロダクトキーを表示し、編集もできます。入力できる文字は半角英数字のみです。入力は (XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX) 形式で入力します。
ライセンスモード	ライセンスモードを表示し、変更もできます。[同時接続ユーザ数] を選択する場合、テキストボックスにユーザ数を入力します。「1～999999」の範囲で設定できます。
[OK]	テンプレート編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	テンプレート編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.7.15. Differential Clone用のテンプレート編集 (VMware vCenter Server環境以外の場合)

Differential Clone 用のテンプレートを編集します。

[仮想] ツリーから仮想マネージャ、DataCenter、または仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに各詳細情報を表示します。[テンプレート一覧] グループボックスから編集する Differential Clone 用のテンプレートの [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「テンプレート編集」が表示されます。テンプレート情報を編集し、[OK] をクリックするとテンプレート情報が変更されます。



テンプレート編集	
テンプレート名 **(入力必須)**	Differential Clone用のテンプレートの名称を表示し、編集もできます。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および記号（"_"、"-"、"("、")"）です。
コスト値	Differential Clone用のテンプレートのコスト値を表示し、編集もできます。「1～1000」の範囲で設定できます。
説明	Differential Clone用のテンプレートの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
タイプ	"Differential Clone" を表示します。選択はできません。
作成元 VM	
VM 名	テンプレート作成時に使用した仮想マシン名を表示します。
所属	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが所属する仮想マシンサーバ名を表示します。
格納場所	テンプレート作成時に使用した仮想マシンの所属するDatastoreを表示します。
イメージ一覧	
イメージ名	イメージ名を表示します。
世代	イメージの世代番号を表示します。

	スナップショット	イメージの作成元となったスナップショット名を表示します。
	作成日時	イメージを作成した日時を表示します。
	格納場所	イメージが所属するDatastore名を表示します。
	参照 VM 数	イメージを参照して作成された仮想マシン数を表示します。
[OK]		テンプレート編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		テンプレート編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.7.16. Differential Clone用のテンプレート削除

Differential Clone 用のテンプレートを削除します。

[仮想] ツリーから仮想マネージャ、DataCenter、または仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに各詳細情報を表示します。[テンプレート一覧] グループボックスから削除する対象の Differential Clone 用のテンプレートのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [削除] をクリックすると削除されます。

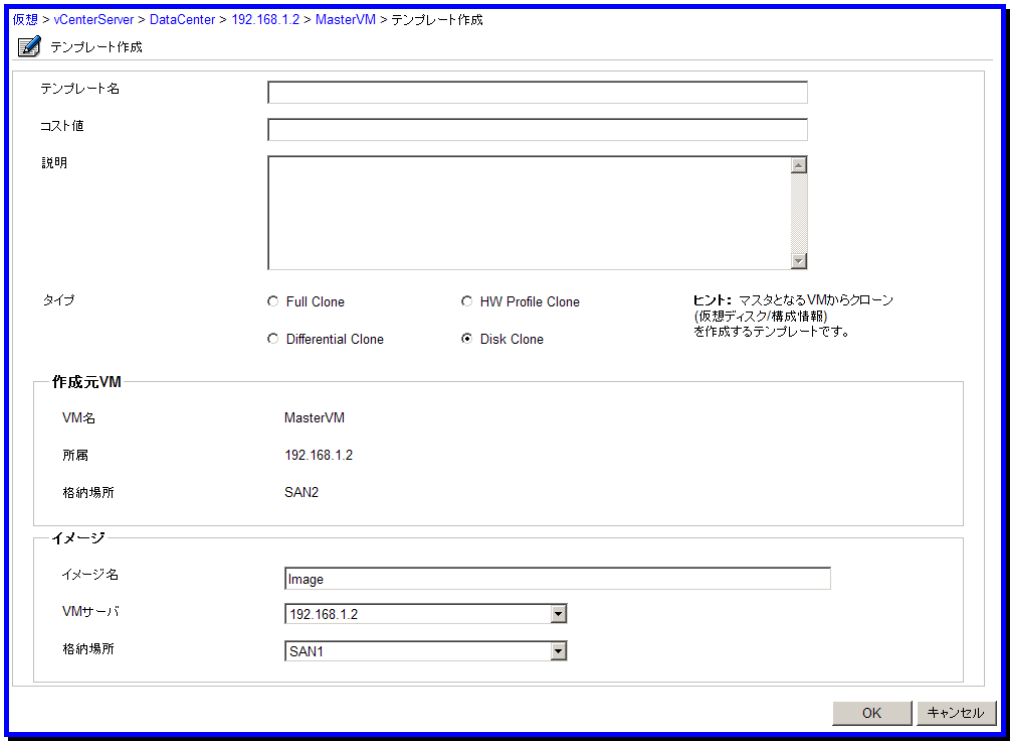
注: テンプレートに関連するイメージ (レプリカ VM) もすべて削除されます。イメージを参照している仮想マシンが存在する場合、テンプレートは削除できません。イメージを参照している仮想マシンをすべて削除してから再度実行してください。

5.7.17. Disk Clone用のテンプレート作成

Disk Clone 用のテンプレートを作成します。

[仮想] ツリーから Disk Clone 用のテンプレートの元となるマスタ VM のアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [テンプレート作成] をクリックすると、メインウィンドウに「テンプレート作成」が表示されます。

もしくは、対象の仮想マシンが所属する仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。[未使用 VM 一覧] グループボックスから対象の仮想マシンのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [テンプレート作成] をクリックします。テンプレート情報を入力し、[OK] をクリックするとテンプレートが作成されます。



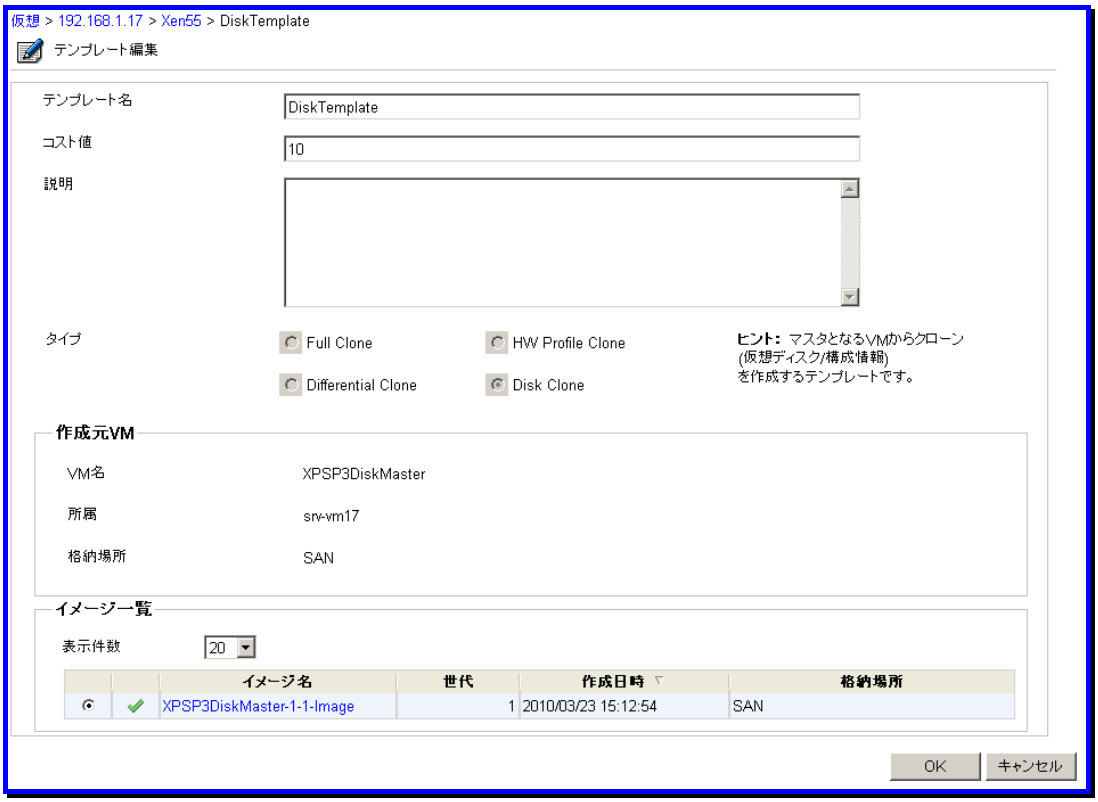
テンプレート作成	
テンプレート名 **(入力必須)**	Disk Clone用のテンプレート名を入力します。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および半角記号（"("、")"、"-"、"_"）です。
コスト値 **(入力必須)**	Disk Clone用のテンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する仮想マシンのコスト値を入力します。「1～1000」の範囲で設定できます。
説明	Disk Clone用のテンプレートの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
タイプ	"Disk Clone" を選択します。
作成元 VM	
VM 名	仮想マシン名を表示します。
所属	仮想マシンが所属する仮想マシンサーバを表示します。
格納場所	仮想マシンが所属するDatastoreを表示します。
イメージ	
イメージ名	イメージ名を入力します。入力できる文字数は53文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および半角記号（"("、")"、"-"、"_"）です。既定値は、"Image" が入力されています。
VM サーバ	格納先の仮想マシンサーバを選択します。
格納場所	イメージの格納場所を選択します。

[OK]	テンプレート作成情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	テンプレート作成情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.7.18. Disk Clone用のテンプレート編集

Disk Clone 用のテンプレートを編集します。

[仮想] ツリーから仮想マネージャ、DataCenter、または仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに各詳細情報を表示します。[テンプレート一覧] グループボックスから編集する Disk Clone 用のテンプレートの [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「テンプレート編集」が表示されます。テンプレート情報を編集し、[OK] をクリックするとテンプレート情報が変更されます。



テンプレート編集	
テンプレート名 **(入力必須)**	Disk Clone用のテンプレート名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は半角英数字、半角空白、および半角記号（"("、")"、"-"、"_"）です。
コスト値 **(入力必須)**	Disk Clone用のテンプレートのコスト値を表示し、編集もできます。「1～1000」の範囲で設定できます。
説明	Disk Clone用のテンプレートの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。

	タイプ	"Disk Clone" を表示します。変更はできません。
	作成元 VM	
	VM 名	テンプレート作成時に使用した仮想マシン名を表示します。
	所属	テンプレート作成時に使用した仮想マシンが所属する仮想マシンサーバ名を表示します。
	格納場所	テンプレート作成時に使用した仮想マシンの所属するDatastoreを表示します。
	イメージ一覧	
	イメージ名	イメージ名を表示します。
	世代	イメージの世代番号を表示します。
	作成日時	イメージを作成した日時を表示します。
	格納場所	イメージが所属するDatastore名を表示します。
[OK]		テンプレート編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		テンプレート編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.7.19. Disk Clone用のテンプレート削除

Disk Clone 用のテンプレートを削除します。

[仮想] ツリーから仮想マネージャ、DataCenter、または仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに各詳細情報を表示します。[テンプレート一覧] グループボックスから削除する対象の Disk Clone 用のテンプレートのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [削除] をクリックすると削除されます。

注: テンプレートに関連するイメージ (レプリカ VM) もすべて削除されます。

5.8. スナップショット管理

仮想マシンの状態を保存するスナップショットを管理します。Differential Clone 用のテンプレート、およびイメージを作成する場合は、マスタ VM の電源状態をオフにして作成したスナップショットが必要です。

[仮想] ツリーから対象の仮想マシンのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報が表示されます。[設定] メニューから [スナップショット管理] をクリックします。

注: 同じ名前のスナップショットが複数ある場合、操作はできません。連携製品で同じ名前のスナップショットを作成しないでください。存在する場合は、どちらかのスナップショットを連携製品で削除してください。

基本情報		
	VM 名	仮想マシン名を表示します。
	リソースパス	仮想マシンのリソースパスを表示します。
	ホスト名	仮想マシンのホスト名を表示します。
	稼動グループ	仮想マシンの稼動しているグループを表示します。
	電源状態	仮想マシンの電源状態を表示します。
	稼動ステータス	仮想マシンの稼動ステータスを表示します。
スナップショット一覧		
	カレント	仮想マシンが使用中のスナップショットを表示します。
	スナップショット名	スナップショット名を表示します。
	作成日時	スナップショットの作成日時を表示します。
	パス	スナップショットの階層を表示します。
	編集	スナップショットを編集します。「スナップショット編集」ウィンドウへ遷移します。

復元	選択したスナップショットを復元します。
削除	選択したスナップショットを削除します。

5.8.1. スナップショット作成

仮想マシンの状態を保存するスナップショットを作成します。

[仮想] ツリーから対象の仮想マシンのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報が表示されます。[設定] メニューから [スナップショット管理] をクリックします。メインウィンドウにスナップショットの詳細情報が表示されます。[設定] メニューから [スナップショット] の [作成] をクリックします。

スナップショット作成	
作成元 VM	作成元の仮想マシンを表示します。編集はできません。
スナップショット名 **(入力必須)**	スナップショット名を入力します。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は、半角英数字、半角空白、および半角記号 ("("、")"、"-"、"_"、":"、"/") です。VMware環境の場合、半角記号 ("/") は使用できません。
説明	スナップショットの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	スナップショット作成情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	スナップショット作成情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.8.2. スナップショット編集

仮想マシンの状態を保存するスナップショットを編集します。

[仮想] ツリーから対象の仮想マシンのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報が表示されます。[設定] メニューから [スナップショット管理] をクリックします。メインウィンドウにスナップショットの詳細情報が表示されます。[スナップショット一覧] グループボックスから編集するスナップショットの [編集] アイコンをクリックします。

スナップショット編集		
	作成元 VM	作成元の仮想マシンを表示します。編集はできません。
	スナップショット名 **(入力必須)**	スナップショット名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は80文字以内です。使用できる文字は、半角英数字、半角空白、および半角記号 ("("、")"、"-"、"_"、":"、"/") です。VMware環境の場合、半角記号 ("/") は使用できません。
	説明	スナップショットの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]		スナップショット情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		スナップショット情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.8.3. スナップショット復元

仮想マシンの状態を保存するスナップショットを復元します。

[仮想] ツリーから対象の仮想マシンのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報が表示されます。[設定] メニューから [スナップショット管理] をクリックします。メインウィンドウにスナップショットの詳細情報が表示されます。[スナップショット一覧] グループボックスから復元するスナップショットのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [復元] をクリックします。

5.8.4. スナップショット削除

仮想マシンの状態を保存するスナップショットを削除します。

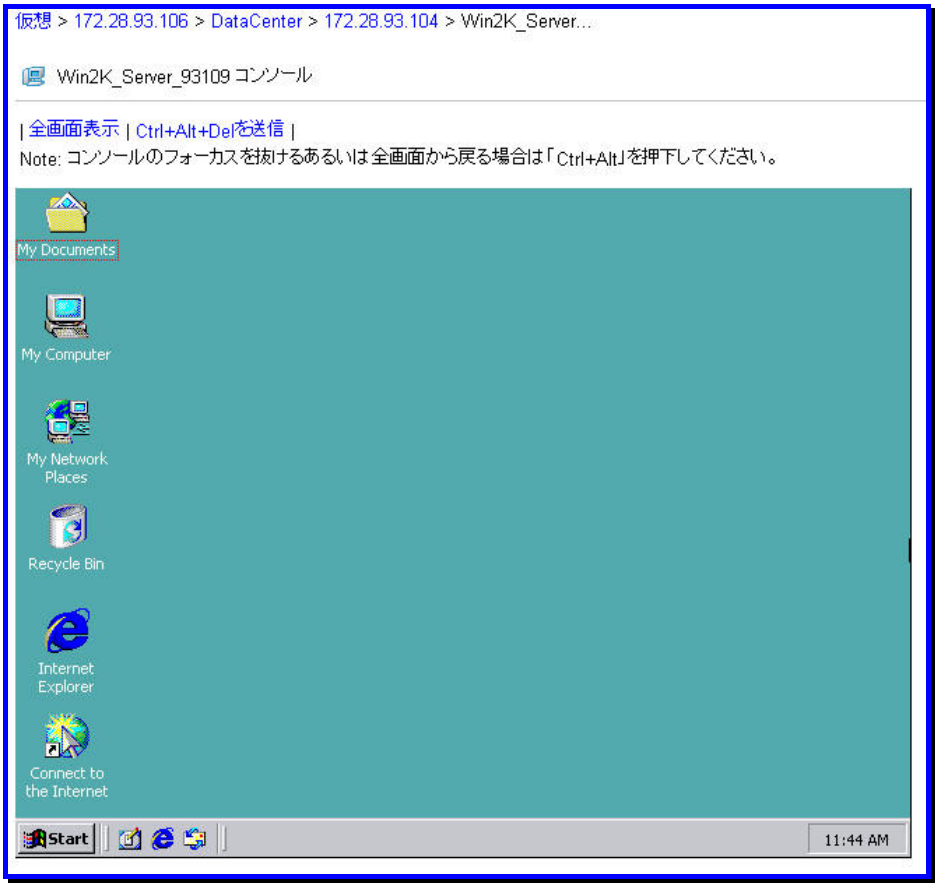
[仮想] ツリーから対象の仮想マシンのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報が表示されます。[設定] メニューから [スナップショット管理] をクリックします。メインウィンドウにスナップショットの詳細情報が表示されます。[スナップショット一覧] グループボックスから削除するスナップショットのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [削除] をクリックします。また、すべてのスナップショットを削除する場合は、[設定] メニューから [すべて削除] をクリックします。

5.9. コンソール

仮想マシンのコンソールに接続して、コンソール画面を表示します。

[仮想] ツリーからコンソールに接続する仮想マシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [コンソール] をクリックすると、メインウィンドウに仮想マシンのコンソールが表示されます。

注: Xen Server、および Hyper-V はサポートしていません。



コンソール	
全画面表示	コンソール画面を全表示します。全画面から戻る場合は、**Ctrl**+**Alt**キーを押します。
Ctrl+Alt+Del を送信	選択した仮想マシンに**Ctrl**+**Alt**+**Del**を送信します。**Ctrl**+**Alt**+**Del**を送信を押した際に、ブラウザを起動しているマシンのOSによっては、Windowsのセキュリティダイアログが表示される場合があります。

5.10. コンソールスクリーンショット

仮想マシンコンソールのスクリーンショットを表示します。

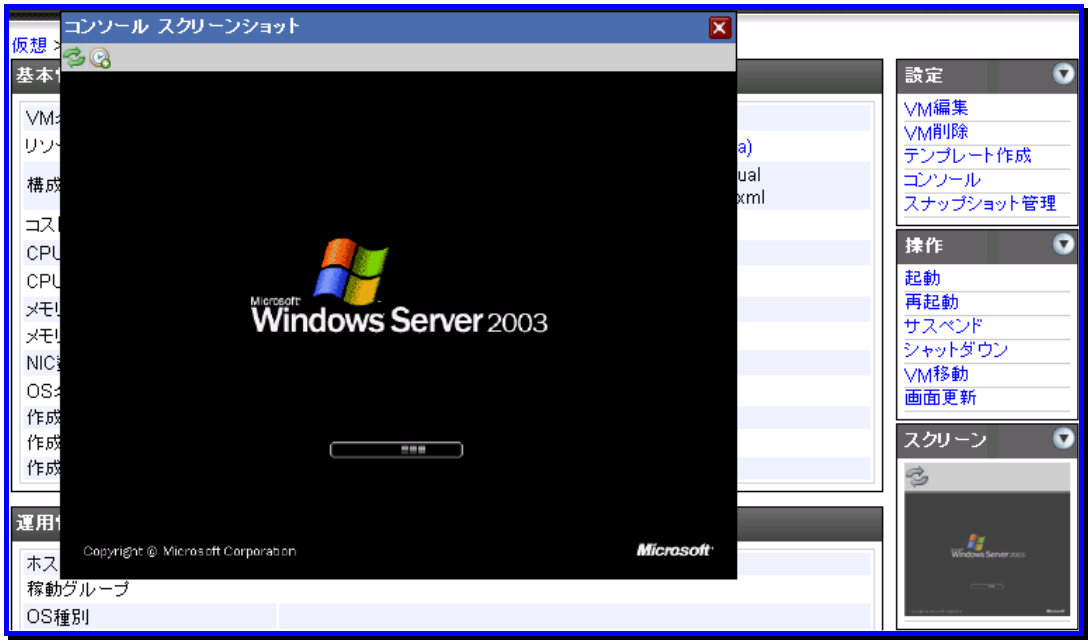
[仮想] ツリーからコンソールを表示する仮想マシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報を表示します。[スクリーン] メニューに仮想マシンコンソールのスクリーンショットが表示されます。また、[スクリーン] メニューのスクリーンショットをクリックすることで拡大表示できます。

注:

・ VMware vCenter Server環境の場合、仮想マシンサーバのアカウント設定が必要です。詳細は、「2.11.10 サブシステム編集 (VMware ESX / ESXi)」、および「2.13.4 [仮想リソース] タブ」を参照してください。

・ VMware の場合、仮想マシンのシャットダウン、または再起動中はスクリーンショットを表示できません。

・ XenServer はサポートしていません。



コンソールスクリーンショット	
(更新)	コンソール画面を更新します。
(自動更新を開始)	コンソール画面の自動更新を開始します。自動更新の間隔は10秒です。

5.11. テンプレートの詳細情報

テンプレートの詳細情報を表示します。

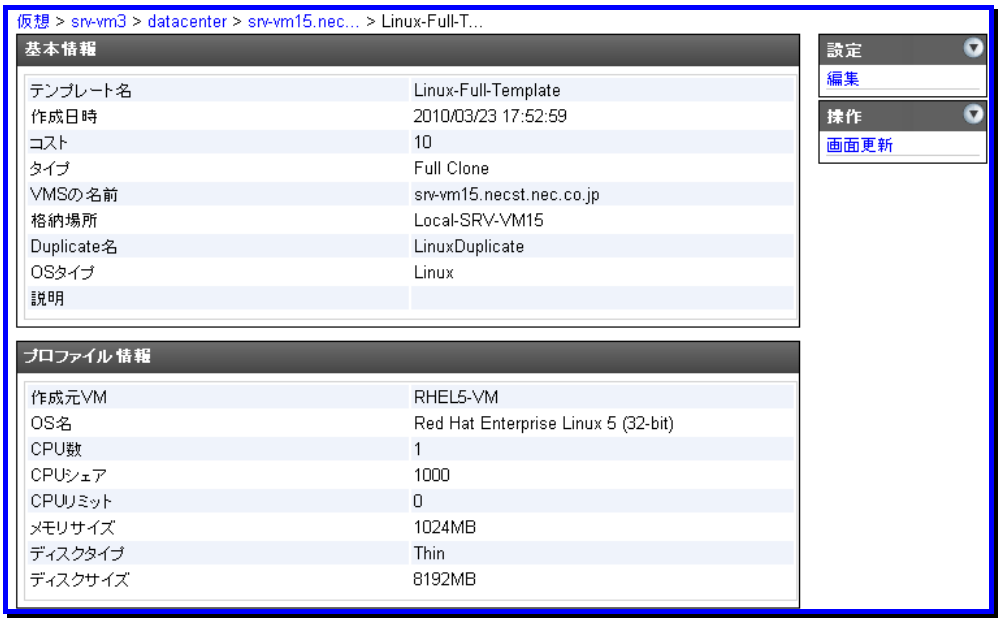
[仮想] ツリーから対象のテンプレートのアイコンをクリックし、メインウィンドウにテンプレートの詳細情報を表示します。

◆ Full Clone 用のテンプレート (VMware vCenter Server 環境) の場合

[所有者]、[組織名]、[タイムゾーン]、[プロダクトキー]、[ライセンスモード]、[最大コネクション数] は、Windows の場合のみ表示します。

＜Windows の場合＞

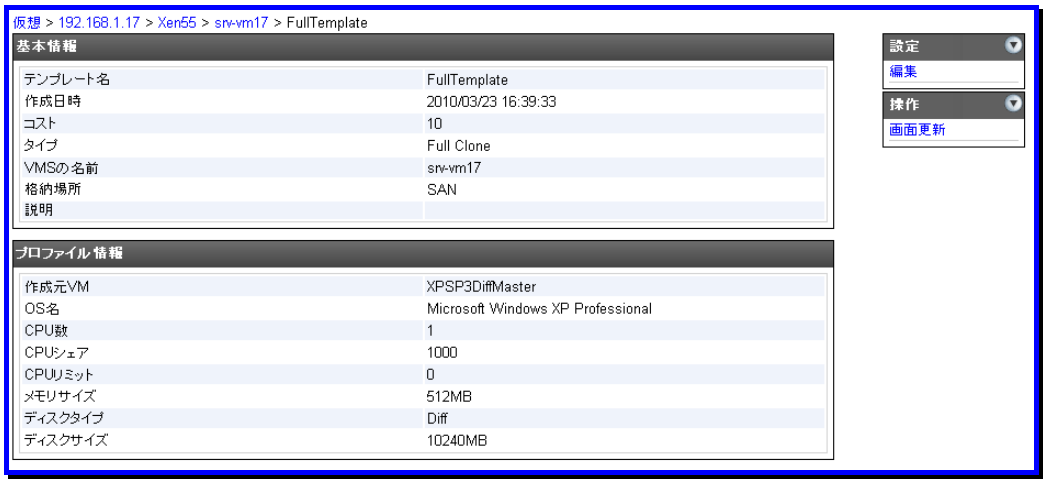
＜Windows 以外の場合＞



基本情報	
テンプレート名	テンプレート名を表示します。
作成日時	テンプレートの作成、もしくは編集日時を表示します。
コスト	テンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する仮想マシンのコスト値を表示します。
タイプ	テンプレートのタイプを表示します。
VMS の名前	テンプレートが登録されている仮想マシンサーバの名前を表示します。
格納場所	テンプレートが保存されているDatastoreを表示します。
Duplicate 名	テンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する情報（Duplicate）につける名称を表示します。
OS タイプ	テンプレートに登録されているOSの種類を表示します。
所有者	テンプレートに登録されているOSライセンスの所有者名を表示します（Windowsの場合のみ表示)。
組織名	テンプレートに登録されているOSライセンスの所有組織名を表示します（Windowsの場合のみ表示)。
タイムゾーン	テンプレートに登録されているタイムゾーンを表示します(Windowsの場合のみ表示)。
プロダクトキー	テンプレートに登録されているOSライセンスのプロダクトキーを表示します（Windowsの場合のみ表示)。
ライセンスモード	テンプレートに登録されているライセンスモードを表示します（Windowsの場合のみ表示)。

	最大コネクション数	テンプレートに登録されているライセンスモードでPerServerが表示されている場合、WindowsのPerServerMode (同時使用ユーザ数モード) に設定されるユーザ数を表示します (Windowsの場合のみ表示)。
	説明	テンプレートの説明を表示します。
プロファイル情報		
	作成元 VM	テンプレート作成時に指定した、マスタマシン名を表示します。
	OS 名	テンプレート作成時に指定したマスタマシンにインストールされていたOS名を表示します。
	CPU 数	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPU数を表示します。
	CPU シェア	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPUのシェア値を表示します。
	CPU リミット	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのリミットを表示します。
	メモリサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのメモリを表示します。
	ディスクタイプ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクタイプを表示します。
	ディスクサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクサイズを表示します。

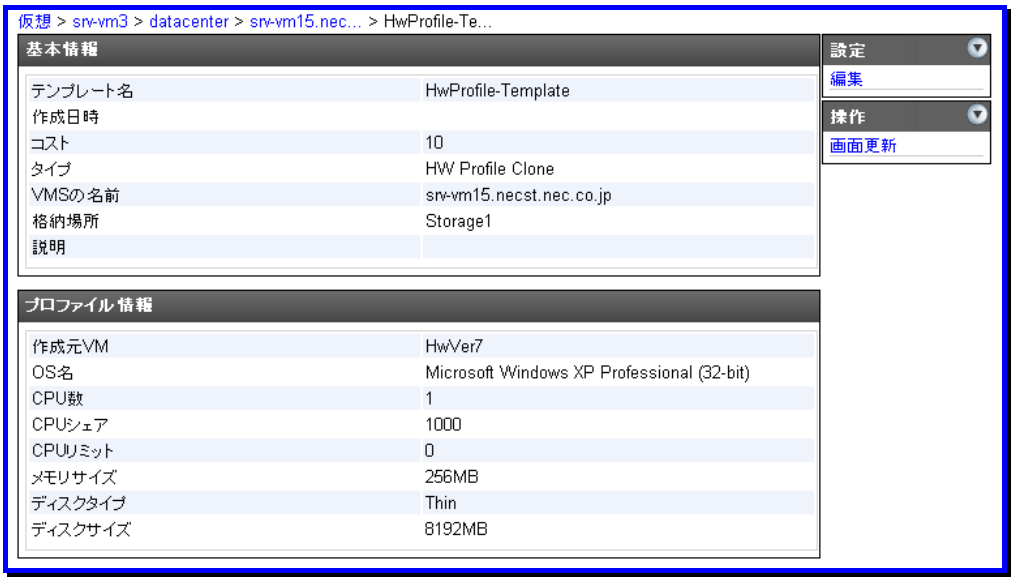
◆ Full Clone 用のテンプレート (VMware vCenter Server 以外の環境) の場合



基本情報		
	テンプレート名	テンプレート名を表示します。
	作成日時	テンプレートの作成日時を表示します。

	コスト	テンプレートのコストを表示します。
	タイプ	テンプレートのタイプを表示します。
	VMS の名前	テンプレートが登録されている仮想マシンサーバの名前を表示します。
	格納場所	テンプレートの格納場所を表示します。
	説明	テンプレートの説明を表示します。
プロファイル情報		
	作成元 VM	テンプレート作成時に指定したマスタマシン名を表示します。
	OS 名	テンプレート作成時に指定したマスタマシンにインストールされていたOS名を表示します。
	CPU 数	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPU数を表示します。
	CPU シェア	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPUのシェア値を表示します。
	CPU リミット	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのリミットを表示します。
	メモリサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのメモリを表示します。
	ディスクタイプ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクタイプを表示します。
	ディスクサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクサイズを表示します。

◆ HW Profile Clone 用のテンプレートの場合



基本情報	
テンプレート名	テンプレート名を表示します。
作成日時	日時は表示されず、空白になります。
コスト	テンプレートのコストを表示します。
タイプ	テンプレートのタイプを表示します。
VMS の名前	テンプレートが登録されている仮想マシンサーバの名前を表示します。
格納場所	テンプレートの格納場所を表示します。
説明	テンプレートの説明を表示します。
プロファイル情報	
作成元 VM	テンプレート作成時に指定したマスタマシン名を表示します。
OS 名	テンプレート作成時に指定したマスタマシンにインストールされていたOS名を表示します。
CPU 数	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPU数を表示します。
CPU シェア	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPUのシェア値を表示します。
CPU リミット	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのリミットを表示します。
メモリサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのメモリを表示します。
ディスクタイプ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクタイプを表示します。
ディスクサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクサイズを表示します。

◆ Differential Clone 用のテンプレート (VMware vCenter Server 環境) の場合

[所有者]、[組織名]、[タイムゾーン]、[プロダクトキー]、[ライセンスモード]、[最大コネクション数] は、Windows の場合のみ表示します。

＜Windows の場合＞

＜Windows 以外の場合＞

基本情報		
	テンプレート名	テンプレート名を表示します。
	作成日時	テンプレートの作成日時を表示します。
	コスト	テンプレートのコストを表示します。
	タイプ	テンプレートのタイプを表示します。
	VMS の名前	テンプレートが登録されている仮想マシンサーバの名前を表示します。
	格納場所	テンプレートの格納場所を表示します。
	Duplicate 名	テンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する情報 (Duplicate) につける名称を表示します。
	OS タイプ	テンプレートに登録されているOSの種類を表示します。
	所有者	テンプレートに登録されているOSライセンスの所有者名を表示します (Windowsの場合のみ表示)。
	組織名	テンプレートに登録されているOSライセンスの所有組織名を表示します (Windowsの場合のみ表示)。
	タイムゾーン	テンプレートに登録されているタイムゾーンを表示します (Windowsの場合のみ表示)。
	プロダクトキー	テンプレートに登録されているOSライセンスのプロダクトキーを表示します (Windowsの場合のみ表示)。

	ライセンスモード	テンプレートに登録されているライセンスモードを表示します (Windowsの場合のみ表示)。
	最大コネクション数	テンプレートに登録されているライセンスモードでPerServerが表示されている場合、WindowsのPerServerMode (同時使用ユーザ数モード) に設定されるユーザ数を表示します (Windowsの場合のみ表示)。
	説明	テンプレートの説明を表示します。
プロファイル情報		
	作成元 VM	テンプレート作成時に指定したマスタマシン名を表示します。
	OS 名	テンプレート作成時に指定したマスタマシンにインストールされていたOS名を表示します。
	CPU 数	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPU数を表示します。
	CPU シェア	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPUのシェア値を表示します。
	CPU リミット	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのリミットを表示します。
	メモリサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのメモリを表示します。
	ディスクタイプ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクタイプを表示します。
	ディスクサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクサイズを表示します。
イメージ一覧		
	イメージ名	イメージ名を表示します。
	世代	イメージの世代番号を表示します。
	スナップショット	イメージの作成元となったスナップショット名を表示します。
	作成日時	イメージを作成した日時を表示します。
	格納場所	イメージが格納されているDataStore名を表示します。
	参照 VM 数	イメージを参照して作成された仮想マシン数を表示します。
	デフォルト登録	選択したイメージをテンプレートのデフォルトイメージに登録します。
	削除	選択したイメージを削除します。ただし、デフォルトイメージに登録されているイメージは削除できません。

◆ Differential Clone 用のテンプレート (VMware vCenter Server 以外の環境) の場合

基本情報		
	テンプレート名	テンプレート名を表示します。
	作成日時	デフォルトイメージの作成日時を表示します。
	コスト	テンプレートのコストを表示します。
	タイプ	テンプレートのタイプを表示します。
	VMS の名前	テンプレートが登録されている仮想マシンサーバの名前を表示します。
	格納場所	テンプレートの格納場所を表示します。
	説明	テンプレートの説明を表示します。
プロファイル情報		
	作成元 VM	テンプレート作成時に指定したマスタマシン名を表示します。
	OS 名	テンプレート作成時に指定したマスタマシンにインストールされていたOS名を表示します。
	CPU 数	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPU数を表示します。
	CPU シェア	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPUのシェア値を表示します。
	CPU リミット	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのリミットを表示します。

	メモリサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのメモリを表示します。
	ディスクタイプ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクタイプを表示します。
	ディスクサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクサイズを表示します。
イメージ一覧		
	イメージ名	イメージ名を表示します。
	世代	イメージの世代番号を表示します。
	スナップショット	イメージの作成元となったスナップショット名を表示します。
	作成日時	イメージを作成した日時を表示します。
	格納場所	イメージが格納されているDataStore名を表示します。
	参照 VM 数	イメージを参照して作成された仮想マシン数を表示します。
	デフォルト登録	選択したイメージをテンプレートのデフォルトイメージに登録します。
	削除	選択したイメージを削除します。ただし、デフォルトイメージに登録されているイメージは削除できません。

◆ Disk Clone 用のテンプレートの場合

基本情報	
テンプレート名	テンプレート名を表示します。
作成日時	デフォルトイメージの作成日時を表示します。
コスト	テンプレートのコストを表示します。
タイプ	テンプレートのタイプを表示します。
VMS の名前	テンプレートが登録されている仮想マシンサーバを表示します。
格納場所	テンプレートの格納場所を表示します。
説明	テンプレートの説明を表示します。
プロファイル情報	
作成元 VM	テンプレート作成時に指定したマスタマシン名を表示します。
OS 名	テンプレート作成時に指定したマスタマシンにインストールされていたOS名を表示します。
CPU 数	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPU数を表示します。
CPU シェア	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのCPUのシェア値を表示します。
CPU リミット	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのリミットを表示します。
メモリサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのメモリを表示します。
ディスクタイプ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクタイプを表示します。
ディスクサイズ	テンプレート作成時に指定したマスタマシンのディスクサイズを表示します。
イメージ一覧	
イメージ名	イメージ名を表示します。
世代	イメージの世代番号を表示します。
作成日時	イメージを作成した日時を表示します。
格納場所	イメージが格納されているDataStore名を表示します。
デフォルト登録	選択したイメージをテンプレートのデフォルトイメージに登録します。
削除	選択したイメージを削除します。ただし、デフォルトイメージに登録されているイメージは削除できません。

5.12. 仮想マシンサーバ、および仮想マシンへのメニュー操作

仮想マシンサーバ、および仮想マシンに対する操作に関するメニューについて説明します。

5.12.1. 起動 / 再起動 / シャットダウン (仮想マシンサーバ)

仮想マシンサーバの起動 / 再起動 / シャットダウンを行います。

[仮想] ツリーから対象の仮想マシンサーバが所属する DataCenter のアイコンをクリックし、メインウィンドウにデータセンターの詳細情報を表示します。対象の仮想マシンサーバのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [起動]、[再起動] 、もしくは [シャットダウン] をクリックすると、仮想マシンサーバの電源を操作することができます。

もしくは、[仮想] ツリーから対象の仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。 [操作] メニューから [起動]、[再起動]、[シャットダウン] をクリックすると、仮想マシンサーバの電源を操作することができます。

注: Hyper-V クラスタ環境の場合、仮想マシンサーバの再起動 / シャットダウンは、クラスタの運用に影響がある場合がありますので、注意してください。

5.12.2. 起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンド (仮想マシン)

仮想マシンの起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンドを行います。

仮想マシンサーバ上の稼働している単数、および複数の仮想マシンの電源を操作するには、[仮想] ツリーから対象の仮想マシンが所属する仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。[稼動中 VM 一覧] グループボックスの [アクション] メニューから [起動]、[再起動]、[シャットダウン]、もしくは [サスペンド] をクリックすると、グループボックスのチェックボックスがオンとなっている稼動中の仮想マシンの電源を操作することができます。

仮想マシンサーバ上の単数、および複数の未使用仮想マシンの電源を操作するには、所属する仮想マシンサーバの詳細情報の [未使用 VM 一覧] グループボックスの [アクション] メニューから [起動]、もしくは [シャットダウン] をクリックすると、グループボックスのチェックボックスがオンとなっている未使用の仮想マシンの電源を操作することができます。

注: 仮想マシンサーバの詳細情報からは、未使用の仮想マシンの再起動、およびサスペンドはできません。

6. 監視

[監視] ビューでは、SigmaSystemCenterの管理対象マシンの状態やログの参照、および管理サーバの編集について説明をします。

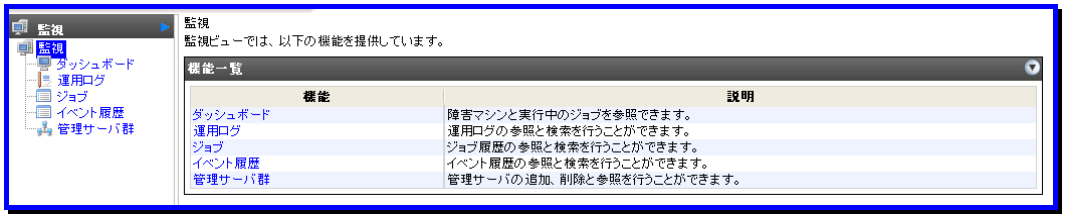
本章で説明する項目は以下の通りです。

- 6.1 [監視] ビュー 364
- 6.2 [ダッシュボード] アイコン 365
- 6.3 [運用ログ] アイコン 367
- 6.4 [ジョブ] アイコン 370
- 6.5 [イベント履歴] アイコン 373
- 6.6 [管理サーバ群] アイコン 381

6.1. [監視] ビュー

[監視] ビューでは、SigmaSystemCenter の管理対象のリソースの状態やジョブの実行状況の監視や運用ログ、ジョブ履歴、イベント履歴を参照することができます。また、複数の SystemProvisioning 管理サーバについて管理対象マシンのサマリ情報を閲覧することができます。

タイトルバーの [監視] をクリックすると、[監視] ビューに切り替わります。



6.2. [ダッシュボード] アイコン

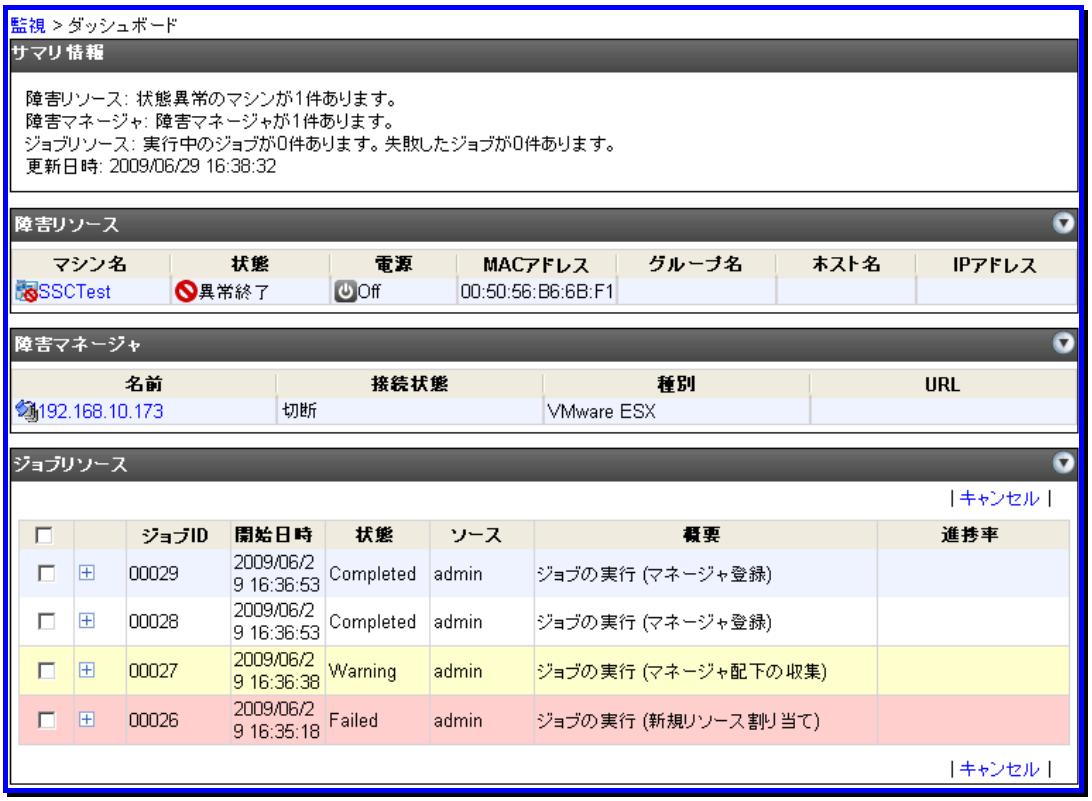
障害マシン、障害マネージャ、および実行中のジョブを参照します。ジョブを中断することもできます。

[監視] ツリーから [ダッシュボード] アイコンをクリックすると、メインウィンドウにダッシュボードが表示されます。

初期表示は、実行中のジョブ、および60分以内に完了 (成功、または失敗終了など) したジョブを表示します。自動更新もこの条件に一致したジョブが表示されます。また、実行したジョブが異常終了した場合や重大イベントが表示される場合、行全体がピンク色で表示されるなど、レベルに合わせて色つきで表示されます。

ジョブは、イベント (GUI からの操作、コマンド操作、ポリシーなど) と、実際に実行されたアクションの組み合わせで表示されます。

⊞アイコンを押すことでアクションの状況を参照することができます。



サマリ情報	ジョブやリソースの障害件数、更新日時を表示します。
障害リソース	
マシン名	障害リソースのマシン名を表示します。
状態	障害リソースの状態を表示します。
電源	障害リソースの電源状態を表示します。

MAC アドレス	障害リソースのMACアドレスを表示します。
グループ名	障害リソースが所属する運用グループ名を表示します。
ホスト名	障害リソースのホスト名を表示します。
IP アドレス	障害リソースのIPアドレスを表示します。
障害マネージャ	
名前	障害マネージャ名を表示します。
接続状態	障害マネージャの接続状態を表示します。
種別	障害マネージャの種別を表示します。
URL	障害マネージャのURLを表示します。
ジョブリソース	
ジョブ ID	ジョブIDを表示します。
開始日時	ジョブの開始日時を表示します。
状態	ジョブの状態を表示します。
ソース	ジョブを実行したユーザ名、またはシステムモジュール名を表示します。
概要	ジョブの内容を表示します。
進捗率	進捗率を表示します。
キャンセル	チェックボックスを選択した実行中のジョブを中断します。

6.3. [運用ログ] アイコン

運用ログの参照と検索を行います。

[監視] ツリーから [運用ログ] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに [運用ログ] グループボックスが表示されます。

初期表示は、レベルが「通常」で、最新のログから 3 日以内に発生した運用ログから最大 100 件の運用ログを表示します。また、実行したジョブが異常終了した場合や重大イベントが表示される場合、行全体がピンク色で表示されるなど、レベルに合わせて色つきで表示されます。

運用ログ	
開始日時	テキストボックスに日時を入力します。年月日の入力は (YYYY/MM/DD) 形式で入力します。または、テキストボックス横の アイコンをクリックすると表示されるカレンダーから日付を選択します。
(時刻)	時刻を選択します。選択後、[更新] をクリックすると、指定された時刻以降の運用ログが表示されます。初期表示は、現在の時間を表示します。
(日数)	指定した日時を起点として、何日前まで検索するか選択します。選択可能日数は、「1～3日前」までです。
レベル	レベルを選択します。選択後、[更新] をクリックすると、指定されたレベル以上のログが表示されます。初期表示は、"通常" を表示します。
[更新]	開始日時、および指定されたレベルの内容で運用ログを更新します。
オプション	運用ログを表示する条件をオプション表示します。
日時	ログの日時を表示します。

レベル	ログのレベルを表示します。レベルの詳細は以下の表を参照してください。
ジョブ ID	ジョブ履歴の番号を表示します。ジョブと関連がない場合やジョブ実行前の運用ログの場合は空白が表示されます。
イベント	イベント管理番号を表示します。クリックすると、メインウィンドウにイベントの詳細情報を表示します。 SYxxxxx： システムモジュールにて実行されたイベント (定期収集など) UCxxxxx : Webコンソール、pvmutlコマンド、またはSystemMonitorからの操作、実行されたイベント RExxxxx： 受信した、関連製品のイベント
メッセージ	ログのメッセージを表示します。
← 前の期間	表示されている一番古いログを起点として、それより過去のログを検索して表示します。
次の期間 →	表示されている一番新しいログを起点として、それより新しいログを検索して表示します。

注: イベントの詳細情報は、指定されたイベント情報がデータベースに保持されている間のみ表示することができます。データベースから削除されていた場合は、既に削除されたことを示すメッセージを表示します。

[オプション] をクリックすると、[オプション] グループボックスが表示されます。

オプション	
開始日時	テキストボックスに日時を入力します。年月日の入力は (YYYY/MM/DD) 形式で入力します。または、テキストボックス横の アイコンをクリックすると表示されるカレンダーから日付を選択します。
(時刻)	時刻を選択します。選択後、[更新] をクリックすると、指定された時刻以降の運用ログが表示されます。初期表示は、現在の時間を表示します。
(日数)	指定した日時を起点として、何日前まで検索するか選択します。選択可能日数は、「1～3日前」までです。
レベル	レベルを選択します。選択後、[更新] をクリックすると、指定されたレベル以上のログが表示されます。初期表示は、"通常" を表示します。
イベント区分	ユーザ (UC～)、ポリシー (RE～)、およびシステム (SY～) を指定します。
絞込み	ジョブID、およびイベント番号で絞込み検索を行ないます。
[更新]	開始日時、指定されたレベル、イベント区分、および絞込みの内容で運用ログを更新します。

注: ジョブ ID、およびイベント番号による検索は、指定された開始日時に関わらず絞込み条件に該当するログを検索します。

◆ 運用ログレベル

運用ログレベルには、障害の内容によりレベルが設定されています。

状態	説明
異常 (致命的)	システムの重要な障害が発生した場合に設定されます。 行全体がピンク色で表示されます。
異常	Webコンソール、pvmutlコマンド、ポリシー実行などから要求された処理が実行できない場合に異常となります。 行全体がピンク色で表示されます。
警告	要求処理の全体は成功していますが、一部処理をスキップするなどの場合に警告となります。 行全体が黄色で表示されます。
通常	要求処理の開始、終了が表示されます。 行全体が青と白を交互に表示されます。
詳細	内部動作の詳細状況を表示します。 行全体が青と白を交互に表示されます。
トレース	内部動作の "詳細" よりも更に詳細状況を表示します。 行全体が青と白を交互に表示されます。

6.4. [ジョブ] アイコン

ジョブ履歴の参照と検索を行います。

[監視] ツリーから [ジョブ] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに [ジョブ履歴] グループボックスが表示されます。

初期表示は、1 日前までのジョブ履歴を 100 件まで表示します。また、実行したジョブが異常終了した場合や重大イベントが表示される場合、行全体がピンク色で表示されるなど、レベルに合わせて色つきで表示されます。

ジョブは、イベント (GUI からの操作、コマンド操作、ポリシーなど) と、実際に実行されたアクションの組み合わせで表示されます。

アイコンを押すことでアクションの状況を参照することができます。

注:

・ Warning となるジョブ (行全体が黄色で表示されます) は、アクションには正常終了の情報しかない場合があります。その場合は、運用ログを参照し、警告となった要因を確認してください。

・ 指定された期間内のジョブが 100 件以上存在する場合でも、アクションの数が多い場合、100 件未満で表示されます。

ジョブ履歴	
開始日時	テキストボックスに日時を入力します。年月日の入力は (YYYY/MM/DD) 形式で入力します。または、テキストボックス横の アイコンをクリックすると表示されるカレンダーから日付を選択します。
(時刻)	時刻を選択します。選択後、[更新] をクリックすると、指定された時刻以降の運用ログが表示されます。初期表示は、現在の時間を表示します。
(日数)	指定した日時を起点として、何日前まで検索するか選択します。選択可能日数は、「1～3日前」までです。
[更新]	開始日時と時刻の内容でジョブ履歴を更新します。

オプション	ジョブを表示する条件をオプション表示します。
番号	ジョブ履歴の番号を表示します。
開始日時	ジョブの開始日時を表示します。
終了日時	ジョブの終了日時を表示します。
状態	ジョブの状態を表示します。
イベント	イベント管理番号を表示します。クリックすると、メインウィンドウにイベントの詳細情報を表示します。 SYxxxxx : システムモジュールにて実行されたイベント (定期収集など) UCxxxxx : Webコンソール、pvmutlコマンド、またはSystemMonitorからの操作、実行されたイベント RExxxxx : 受信した、関連製品のイベント
ソース	ジョブを実行したユーザ名、またはシステムモジュール名を表示します。pvmutlコマンドから実行した場合は、"System"と表示されます。
概要	ジョブの概要を表示します。
← 前の期間	表示されている一番古いジョブを起点として、それより過去のログを検索して表示します。
次の期間 →	表示されている一番新しいジョブを起点として、それより新しいログを検索して表示します。

注: イベントの詳細情報は、指定されたイベント情報がデータベースに保持されている間のみ表示することができます。データベースから削除されていた場合は、既に削除されたことを示すメッセージを表示します。

[オプション] をクリックすると、[オプション] グループボックスが表示されます。

オプション

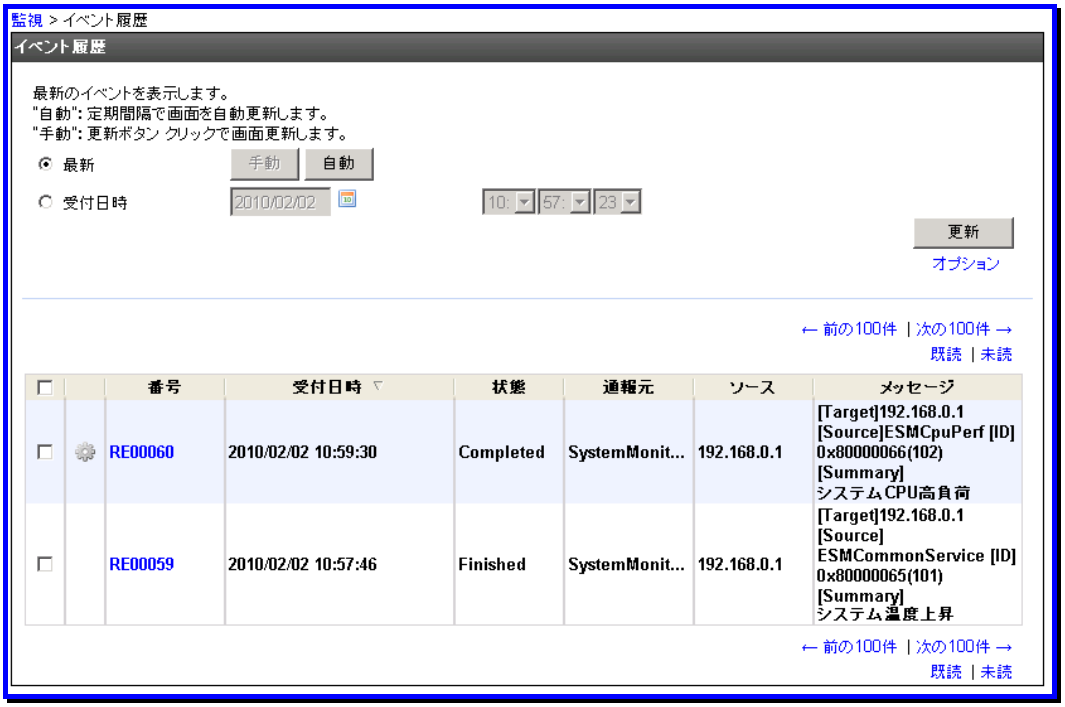
開始日時	テキストボックスに日時を入力します。年月日の入力は (YYYY/MM/DD) 形式で入力します。または、テキストボックス横の アイコンをクリックすると表示されるカレンダーから日付を選択します。
(時刻)	時刻を選択します。
(日数)	指定した日時を起点として、何日前まで検索するか選択します。選択可能日数は、「1～3日前」までです。
イベント区分	ユーザ (UC～)、ポリシー (RE～)、およびシステム (SY～) を指定します。
[更新]	開始日時、指定されたレベル、イベント区分、および絞込みの内容で運用ログを更新します。

6.5. [イベント履歴] アイコン

関連製品から受信したポリシーの対象となるイベントの発生履歴の参照と検索を行います。[監視] ツリーから [イベント履歴] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに [イベント履歴] グループボックスが表示されます。

初期表示は、最新のイベント履歴を 1 ページあたり 100 件まで表示します。また、イベント発生を契機に実行したジョブが異常終了した場合や重大イベントが表示される場合、行全体がピンク色で表示されるなど、レベルに合わせて色つきで表示されます。

イベント履歴では、イベントの未読 / 既読状態の管理を行うことができます。未読状態のイベントは、太字で表示されます。詳細情報が参照されたイベントは自動的に既読状態になります。



イベント履歴	
最新	最新のイベントを表示する場合に選択します。[自動] を選択した場合、定期的にイベント履歴が更新されます。検索条件を変更する場合は、条件を選択した後、[更新] をクリックします。[手動] を選択した場合、[更新] をクリックするたびにイベント履歴が更新されます。
受付日時	受付日時を指定する場合に選択します。テキストボックスに日時を入力します。年月日の入力は、(YYYY/MM/DD) 形式で入力します。または、テキストボックス横の アイコンをクリックすると、表示されるカレンダーから日付を選択します。

	(時刻)	時刻を選択します。選択後、[更新] をクリックすると、指定された時刻以降のイベントが表示されます。初期表示は、現在の時刻を表示します。
	[更新]	指定された条件でイベント履歴を更新します。
	オプション	イベント履歴を表示する条件をオプション表示します。
	(ジョブ実行有無)	ポリシーによりジョブが実行された場合、 アイコンを表示します。
	番号	イベント管理番号を表示します。クリックすると、メインウィンドウにイベントの詳細情報を表示します。
	受付日時	イベントを受信した日時を表示します。
	状態	イベントの状態を表示します。 Finished : ポリシーによりジョブを実行せずに、イベント受付完了した状態を表します。 Started : ポリシーによりジョブの実行を開始した状態を表します。 Completed : ポリシーによるジョブの実行が正常終了した状態を表します。 Warning : ポリシーによるジョブの実行が一部異常終了した状態を表します。 Failed : ポリシーによるジョブの実行が異常終了した状態を表します。
	通報元	イベントの通報元を表示します。
	ソース	イベントの発生源を特定するための情報を表示します。
	メッセージ	イベントのメッセージを表示します。
	← 前の 100 件	表示されているイベントより過去のイベントを表示します。
	→ 次の 100 件	表示されているイベントより新しいイベントを表示します。
	既読	選択したイベントを既読状態にします。
	未読	選択したイベントを未読状態にします。

注: イベントの詳細情報の表示や未読 / 既読状態の変更は、指定されたイベント情報がデータベースに保存されている間のみ行うことができます。データベースが削除されていた場合は、既に削除されたことを示すメッセージを表示します。この場合、[更新] をクリックし、イベント履歴を最新の状態に更新してください。

[オプション] をクリックすると、[オプション] グループボックスが表示されます。

オプション	
最新	最新のイベントを表示する場合に選択します。[自動] を選択した場合、定期的にイベント履歴が更新されます。検索条件を変更する場合は、条件を選択した後、[更新] をクリックします。[手動] を選択した場合、[更新] をクリックするたびにイベント履歴が更新されます。
受付日時	受付日時を指定する場合に選択します。テキストボックスに日時を入力します。年月日の入力は (YYYY/MM/DD) 形式で入力します。または、テキストボックス横の アイコンをクリックすると表示されるカレンダーから日付を選択します。
(時刻)	時刻を選択します。選択後、[更新] をクリックすると、指定された時刻以降のイベントが表示されます。初期表示は、現在の時間を表示します。

イベントの表示	イベントの確認状態を選択します。選択後、[更新] をクリックすると、指定された確認状態のイベントが表示されます。 全て ： 既読 / 未読両方のイベントを表示します。 既読 ： 既読状態のイベントのみ表示します。 未読 ： 未読状態のイベントのみ表示します。
状態	イベントの状態を選択します。選択後、[更新] をクリックすると、指定された状態のイベントが表示されます。
通報元	通報元を選択します。選択後、[更新] をクリックすると、指定された通報もとのイベントが表示されます。
リソース絞り込み条件	
名前	マシン名を表示します。
種別	マシンの種別を表示します。
状態	マシンの状態を表示します。
電源	マシンの電源状態を表示します。
稼動グループ	マシンの稼動グループを表示します。
MAC アドレス	マシンのMACアドレスを表示します。
削除	選択したマシンをリソース絞り込み条件から削除します。
リソースを検索する	[リソース検索] グループボックスを表示します。
[更新]	指定された条件でイベント履歴を更新します。

[リソースを検索する] をクリックすると、[リソース検索] グループボックスが表示されます。

リソース検索	
(タグクラウド)	タグクラウドを操作して、マシンを検索します。
名前	マシン名を表示します。
種別	マシンの種別を表示します。
状態	マシンの状態を表示します。
電源	マシンの電源状態を表示します。
稼動グループ	マシンの稼動グループを表示します。
MAC アドレス	マシンのMACアドレスを表示します。
[追加]	選択したマシンを [リソース絞り込み条件] に追加します。[更新] をクリックすると、[リソース絞り込み条件] に追加されたマシンが関連するイベントが表示されます。

6.5.1. イベントの詳細情報

イベントの詳細情報を表示します。

イベント履歴の番号、またはジョブや運用ログのイベントをクリックすると、メインウィンドウにイベントの詳細情報が表示されます。イベント発生を契機に実行されたジョブの情報と、イベントやジョブで記録された運用ログを総合して確認することができます。

注: イベントの詳細情報の表示や詳細情報ウィンドウでの操作は、指定されたイベント情報がデータベースに保持されている間のみ行うことができます。データベースから削除されていた場合は、既に削除されていたことを示すメッセージを表示します。

イベント	
確認状態	イベントの確認状態を表示します。[イベント履歴] グループボックス以外のウィンドウから遷移した場合は、表示されません。

番号	イベント管理番号を表示します。
受付日時	イベントを受信した日時を表示します。
発生日時	イベントが発生した日時を表示します。
状態	イベントの状態を表示します。
通報元	イベントの通報元を表示します。
ソース	イベントの発生源を特定するための情報を表示します。
イベント区分	イベント区分を表示します。イベント区分は、検出可能なイベントを分類しています。
イベント	イベントの種類を表示します。
ジョブ ID	イベントに付随するジョブが存在する場合、ジョブ履歴の番号を表示します。
メッセージ	イベントのメッセージを表示します。
未読 / 既読	イベントを未読状態、または既読状態にします。イベントが既読状態の場合は "未読"、未読状態の場合は "既読" が表示されます。[イベント履歴] グループボックス以外のウィンドウから遷移した場合は、表示されません。
[↓]	[イベント履歴] グループボックスで下に表示されていたイベントの詳細情報を表示します。[イベント履歴] グループボックス以外のウィンドウから遷移した場合は、表示されません。
[↑]	[イベント履歴] グループボックスで上に表示されていたイベントの詳細情報を表示します。[イベント履歴] グループボックス以外のウィンドウから遷移した場合は、表示されません。
ジョブ	
フィルタ	ジョブの表示状態を選択します。 フィルタなし ： すべてのジョブを表示します。 選択したジョブ ： チェックボックスをオンにしたジョブのみ表示します。
番号	ジョブ履歴の番号を表示します。
開始日時	ジョブの開示日時を表示します。
終了日時	ジョブの終了日時を表示します。
状態	ジョブの状態を表示します。
概要	ジョブの概要を表示します。
運用ログ	
レベル	レベルを選択します。レベルを選択すると、指定されたレベル以上の運用ログが表示されます。
日時	運用ログの日時を表示します。
レベル	運用ログのレベルを表示します。
ジョブ ID	ジョブ履歴の番号を表示します。ジョブと関連がない場合やジョブ実行前の運用ログの場合は、空白が表示されます。

メッセージ	ログのメッセージを表示します。
[更新]	ジョブの表示条件とレベルの内容でイベントの詳細情報を更新します。
[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

6.6. [管理サーバ群] アイコン

「管理サーバ群」ウィンドウでは、複数の SystemProvisioning 管理サーバを登録し、それぞれの管理サーバが管理対象とするマシンのサマリ情報を閲覧することができます。

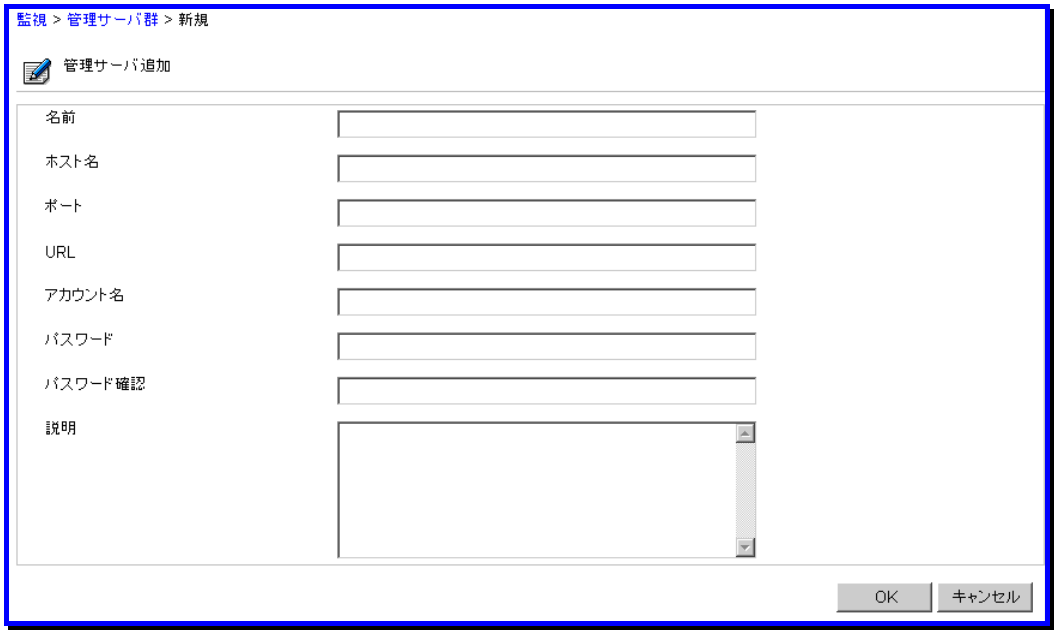
[監視] ツリーから [管理サーバ群] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに [管理サーバー覧] グループボックスが表示されます。

管理サーバー覧	
アドレス	管理サーバの名前を表示します。
状態	管理サーバとの通信状態を表示します。
正常	正常に動作している管理対象マシンの台数を表示します。
警告	警告を出している管理対象マシンの台数を表示します。
異常	異常を出している管理対象マシンの台数を表示します。
処理中	処理中の管理対象マシンの台数を表示します。
メンテナンス中	メンテナンス中の管理対象マシンの台数を表示します。
不明	ハードウェア状態が管理されていないマシンの台数を表示します。
合計	管理対象マシンの合計台数を表示します。
編集	管理サーバの編集を行います。「管理サーバ編集」ウィンドウに遷移します。
追加	管理サーバの追加を行います。「管理サーバ追加」ウィンドウに遷移します。
削除	チェックボックスを選択した管理サーバを削除します。

6.6.1. 管理サーバ追加

管理サーバの追加を行います。

[監視] ツリーから [管理サーバ群] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [管理サーバー覧] グループボックスを表示します。[管理サーバー覧] グループボックスの [アクション] メニューから [追加] をクリックすると、メインウィンドウに「管理サーバ追加」が表示されます。



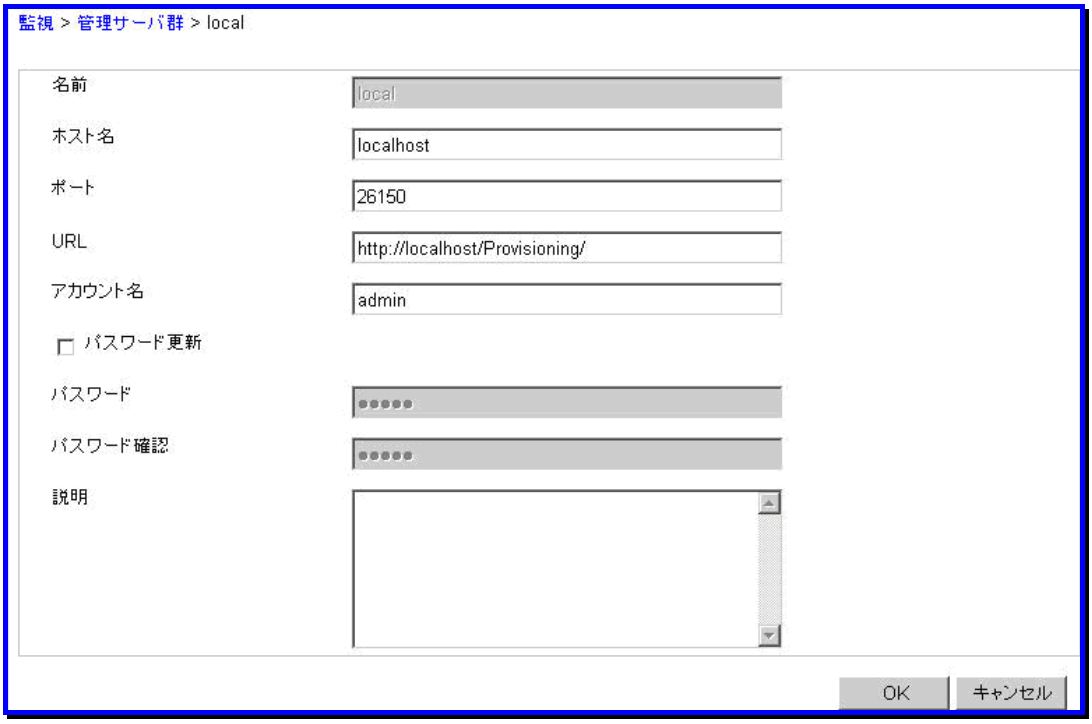
管理サーバ追加	
名前 **(入力必須)**	管理サーバ名を入力します。入力できる文字数は32文字以内です。
ホスト名 **(入力必須)**	管理サーバのホスト名を入力します。入力できる文字数は32文字以内です。
ポート **(入力必須)**	管理サーバのポート番号を入力します。管理サーバのポート番号の既定値は (26150) です。「1～65535」の範囲で設定できます。
URL	管理サーバのURLを入力します。ブラウザを起動して、指定された管理サーバのWebコンソールに接続します。
アカウント名 **(入力必須)**	SystemProvisioningのアカウント名を入力します。入力できる文字数は32文字以内です。別管理サーバとの通信、接続処理に必要になります。
パスワード **(入力必須)**	アカウントのパスワードを入力します。入力できる文字数は128文字以内です。別管理サーバとの通信、接続処理に必要になります。

パスワード確認 **(入力必須)**	確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	管理サーバの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	管理サーバ追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	管理サーバ追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

6.6.2. 管理サーバ編集

管理サーバの編集を行います。

[監視] ツリーから [管理サーバ群] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [管理サーバー覧] グループボックスを表示します。[管理サーバー覧] グループボックスから編集する管理サーバの [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「管理サーバ編集」が表示されます。



管理サーバ編集	
名前	管理サーバ名を表示します。編集はできません。
ホスト名 **(入力必須)**	管理サーバのホスト名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は32文字以内です。
ポート **(入力必須)**	管理サーバのポート番号を表示し、編集もできます。「1～65535」の範囲で設定できます。

	URL	管理サーバのURLを表示し、編集もできます。
	アカウント名 **(入力必須)**	アカウント名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は32文字以内です。
	パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
	パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。入力できる文字数は128文字以内です。
	パスワード確認	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
	説明	管理サーバの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]		管理サーバ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		管理サーバ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

6.6.3. 管理サーバ削除

管理サーバを削除します。

[監視] ツリーから [管理サーバ群] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [管理サーバー覧] グループボックスを表示します。[管理サーバー覧] グループボックスから削除する管理サーバのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [削除] をクリックすると、削除されます。

セクション II Web コンソール以外の設定

このセクションでは、SigmaSystemCenterのWebコンソール以外の画面説明を記載します。

- 7 構成情報管理 387

7. 構成情報管理

SystemProvisioningで管理するシステムリソースの情報を格納するデータベース (構成情報データベース) に関する設定について説明します。

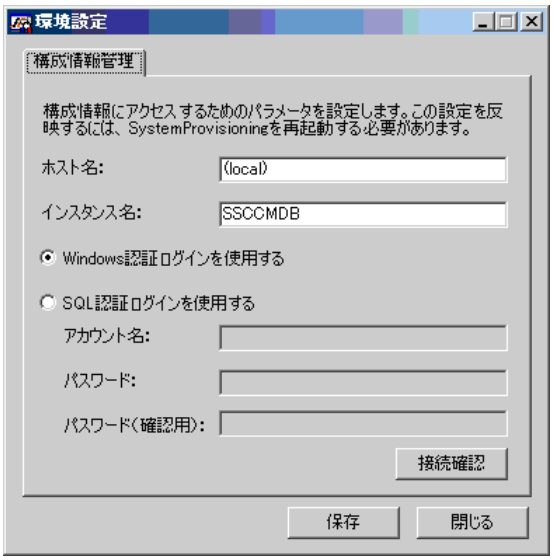
本章で説明する項目は以下の通りです。

- 7.1 構成情報管理画面 388

7.1. 構成情報管理画面

SystemProvisioning で管理するシステムリソースの情報を格納するデータベース (構成情報データベース) に関する設定を行います。SystemProvisioning のインストールディレクトリ¥bin 配下の PvmConfig.exe から構成情報管理画面を起動します。

注: 設定内容を変更した場合は、SystemProvisioning を再起動してください。



構成情報管理	
ホスト名 **(入力必須)**	SystemProvisioningの構成情報データベースが動作するホスト名を入力します。 ローカルマシンを使用する場合は "(local)" を指定してください。 [ホスト名] テキストボックスと [インスタンス名] テキストボックスの入力文字数を合わせて127文字以内に設定してください。使用できる文字は記号を含む半角英数字です。全角文字列は、貼り付け (ペースト) に限り入力可能です。
インスタンス名 **(入力必須)**	SystemProvisioningの構成情報データベースのインスタンス名を指定します。 SQL Server 2005のセットアップで作成したインスタンス名です。 SystemProvisioningで使用するインスタンス名の既定値は "SSCCMDB" です。 入力できる文字数は16文字以内です。使用できる文字は記号を含む半角英数字です。全角文字列は、貼り付け (ペースト) に限り入力可能です。

Windows 認証ログインを使用する	SystemProvisioningの構成情報データベースにアクセスするときに、Windows統合認証を使用する場合は、オンにします。 ネットワークユーザのセキュリティ属性を使用して、ログオンセキュリティをWindows 2000、またはWindows 2003と統合し、ログオンアクセスを制御します。ユーザのネットワークセキュリティ属性はネットワークログオン時に確立され、Windowsドメインコントローラにより検証されます。
SQL 認証ログインを使用する	SystemProvisioningの構成情報データベースにアクセスするときに、SQL認証を使用する場合は、オンにします。 特定のアカウント名とパスワードを使用して信頼関係接続以外で接続すると、SQL Server 2005は、指定したパスワードと一致するパスワードでSQL Serverログオンアカウントがセットアップされているかどうかを調べて認証を行います。SQL Server 2005にログオンアカウントが設定されていない場合は、認証が失敗します。
アカウント名 **(入力必須)**	SystemProvisioningの構成情報データベースにアクセスするためのアカウントを入力します。アカウントは、SQL Server 2005のシステム管理者である必要があります。 システム管理者アカウントの既定値は "sa" です。 入力できる文字数は128文字以内です。使用できる文字は記号を含む半角英数字です。全角文字列は、貼り付け (ペースト) に限り入力可能です。
パスワード **(入力必須)**	SystemProvisioningの構成情報データベースへアクセスするためのパスワードを入力します。SQL Server 2005にあらかじめ登録されているアカウント名に対するパスワードを指定します。 入力できる文字数は、128文字以内です。使用できる文字は記号を含む半角英数字です。全角文字列は、貼り付け (ペースト) に限り入力可能です。
パスワード (確認用) **(入力必須)**	確認のため再度同じパスワードを入力します。 入力できる文字数は、128文字以内です。使用できる文字は記号を含む半角英数字です。全角文字列は、貼り付け (ペースト) に限り入力可能です。
[接続確認]	SystemProvisioningの構成情報データベースに接続確認を行います。
[保存]	接続確認が実施されます。成功した場合は、保存確認メッセージが表示され、[はい(Y)] をクリックすると構成情報管理の変更を保存し、ダイアログを閉じます。[いいえ(N)] をクリックすると、元のダイアログに戻ります。
[閉じる]	構成情報管理の変更を保存せずに、ダイアログを閉じます。

付録

- 付録 A　改版履歴..... 393

付録 A　　改版履歴

- 第 5 版 (2010.7): アップデートモジュール (SSC0201-0017) での機能強化に関する記載を追加して改版

- 第 4 版 (2010.3): Update 3 での機能強化に関する記載を追加して改版

収集対象を指定した目的別収集機能サポートによる記載追加

3章　「3.22.2 収集 (ALL) / マシン収集 / ソフトウェア収集 / センサー収集」

Differential Clone (旧称 Linked Clone) 正式対応による記載追加

3章　「3.20 ソフトウェアの基本情報」
「3.20.1 ソフトウェア編集」
「3.21 イメージの詳細情報」
「3.21.1 イメージ作成」

4章　「4.6.4 [ソフトウェア] タブ」
「4.7.4 [ソフトウェア] タブ」
「4.9.4 [ソフトウェア] タブ」
「4.10.1 スケールアウト」
「4.10.6 リソース割り当て」
「4.10.12 VM移動」

5章　「5.6.1 VM編集」
「5.6.2 VM移動」
「5.6.3 VM削除」
「5.6.12 Differential Clone用のテンプレート作成 (VMware vCenter Server環境の場合)」
「5.6.13 Differential Clone用のテンプレート作成 (VMware vCenter Server環境以外の場合)」
「5.6.14 Differential Clone用のテンプレート編集 (VMware vCenter Server環境の場合)」
「5.6.15 Differential Clone用のテンプレート編集 (VMware vCenter Server環境以外の場合)」
「5.6.16 Differential Clone用のテンプレート削除」
「5.7 スナップショット管理」

Hyper-V クラスタ環境サポートによる記載追加

1章　「1.1.5 マシンの種別」

2章　「2.10.3 サブシステム追加 (Hyper-V Cluster)」
「2.11.3 サブシステム編集 (Hyper-V Cluster)」
「2.12 サブシステム削除」

4章　「4.10.12 VM移動」

5章　「5.4.1 データセンター追加」
「5.4.2 データセンター編集」
「5.4.3 データセンター削除」
「5.5.1 VMサーバ追加」
「5.5.5 VMサーバ削除」

「5.6.2 VM移動」
「5.11.1 起動 / 再起動 / シャットダウン (仮想マシンサーバ)」

BMC を利用した物理マシン管理機能強化による記載追加

3章 「3.7 スマートグループ」
「3.8 スマートグループの詳細情報」
「3.8.1 スマートグループ追加」
「3.8.2 スマートグループ編集」
「3.8.3 スマートグループ移動」
「3.8.4 スマートグループ削除」
「3.8.5 スマートグループ複製」
「3.8.6 既定のスマートグループ」
「3.9 タグクラウド」
「3.9.1 タグの文字の色とサイズについて」
「3.9.2 タブ」
「3.9.3 タグクラウドによる絞込み」
「3.9.4 タグクラウドによる絞込みの解除」
「3.12 IPMI情報」
「3.12.1 [SEL] タブ」
「3.12.2 [センサー] タブ」
「3.22.10 マシンの保守操作」

ポリシー設定の機能強化による記載追加、および修正

2章 「2.7 ポリシープロパティ設定」
「2.7.1 対応処置詳細設定」

ストレージ管理強化による記載追加、および修正

3章 「3.11.3 [ストレージ] タブ」
「3.14 ストレージの詳細情報」

ログ機能強化による記載追加、および修正

6章 「6.1 [監視] ビュー」
「6.3 [運用ログ] アイコン」
「6.4 [ジョブ] アイコン」
「6.5 [イベント履歴] アイコン」

◆ 第 3 版 (2009.7): Update 2 での機能強化に関する記載を追加して改版

仮想マシンサーバでライセンスを消費する機能強化による記載

2章 「2.2 [ライセンス] アイコン」

ポリシー機能強化による記載追加、および修正

2章 「2.6 ポリシーの詳細情報」
「2.7 ポリシープロパティ設定」
「2.7.1 対応処置詳細設定」
「2.7.2 アクションパラメータ詳細」

SIGMABLADE controller 連携機能サポート終了による記載削除

1章 「1.1.5 マシンの種別」

2章　「2.10 サブシステム追加」
(第3版から削除)「2.10.5 サブシステムの追加 (SIGMABLADE controller)」
(第3版から削除)「2.11.5 サブシステムの編集 (SIGMABLADE controller)」
「2.12 サブシステム削除」

4章　「4.5 運用グループの詳細情報」
「4.6.1 [全般] タブ」
「4.10.10 マシンの置換」

ストレージ機能強化による記載追加

2章　「2.10.7 サブシステム追加 (ストレージ管理サーバ)」
「2.11.7 サブシステム編集 (ストレージ管理サーバ)」

3章　「3.8.3 [ストレージ] タブ」
(第3版から削除)「3.10.1 ディスクアレイとディスクボリューム登録」
「3.10.2 ディスクアレイ登録 (CLARiXの場合)」

メール通報のポリシーアクション追加による記載追加

2章　「2.13.2 [通報] タブ」

ESMPRO/ServerManager へのリトライ回数、間隔設定機能追加による記載追加

2章　「2.13.6 [その他] タブ」

VLAN 設定時にタグ情報の設定を追加する記載追加

3章　「3.12 スイッチの詳細情報」
「3.12.5 VLAN追加」
「3.12.6 VLAN編集」

4章　「4.6.5 [VLAN設定] タブ」

ロードバランサ情報の追加による記載追加

4章　「4.6.6 [LB設定] タブ」

収集の機能強化による記載修正

3章　「3.14 [ソフトウェア] アイコン」
「3.16.8 DPM収集」
「3.16.9 スクリプト収集」

ESMPRO/ServerManager、ESMPRO/ServerAgent を SigmaSystemCenter から設定する機能追加による記載

4章　「4.6.10 [ESMPRO / SM] タブ」

新規リソース割り当て複数対応による記載

4章　「4.10.7 新規リソース割り当て」

保守操作追加による記載追加

1章　「1.1.3 保守操作」

3章　「3.16.10 マシンの電源ON / 強制OFF / リセット」

4章　「4.10.20 グループ変更」

◆ 第 2 版 (2009.2): Update 1 での機能強化に関する記載を追加して改版

Cluster, EVC サポートによる記載追加

5章 「5.4 データセンターの詳細情報」
「5.4.1 データセンター追加」
「5.4.2 データセンター編集」
「5.4.3 データセンター削除」
「5.5.1 VMサーバ追加」
「5.5.4 VMサーバ移動」
「5.5.5 VMサーバ削除」

Linked Clone, Disk Clone 機能追加による章・記載追加

3章 「3.15 ソフトウェアの基本情報」
「3.15.1 ソフトウェア編集」

4章 「4.6.4 [ソフトウェア] タブ」
「4.7.2 [全般] タブ (仮想マシンの場合)」
「4.7.4 [ソフトウェア] タブ」
「4.9.4 [ソフトウェア] タブ」

5章 「5.6 VMの詳細情報」
「5.6.3 VM削除」
「5.6.12 Linked Clone用のテンプレート作成 (VMware VirtualCenter環境の場合)」
「5.6.13 Linked Clone用のテンプレート作成 (VMware VirtualCenter環境以外の場合)」
「5.6.14 Linked Clone用のテンプレート編集 (VMware VirtualCenter環境の場合)」
「5.6.15 Linked Clone用のテンプレート編集 (VMware VirtualCenter環境以外の場合)」
「5.6.16 Linked Clone用のテンプレート削除」
「5.6.17 Disk Clone用のテンプレート作成」
「5.6.18 Disk Clone用のテンプレート編集」
「5.6.19 Disk Clone用のテンプレート削除」

VM 制御関連コマンドの機能強化による記載変更・削除

4章 「4.10.11 VM移動」

5章 「5.6.3 VM削除」

VM 標準ポリシー追加による記載追加

2章 「2.6.5 標準ポリシー (仮想マシン) 複製」
「2.6.6 作成済みのポリシー複製」

ストレージ設定の改善による章追加

3章 「3.10.2. ディスクアレイ登録」
「3.10.3. ディスクアレイ解除」
「3.10.4. ディスクボリューム登録」

割り当て解除時のマシンの移動先の変更による記載削除

4章 「4.10.7. 割り当て解除」

◆ 第 1 版 (2008.10): 新規作成